

令和4年度国土交通省補助事業

住宅市場整備推進等事業（木造住宅・都市木造建築物における生産体制整備事業（うち、都市木造建築物設計支援事業））

令和4年度中大規模木造建築ポータルサイト整備事業 報告書

令和5年3月

公益財団法人 日本住宅・木材技術センター

令和4年度 中大規模木造建築ポータルサイト整備検討委員会 委員会名簿
(敬称略、順不同)

委員長:	大橋 好光	東京都市大学 名誉教授
委員:	稲山 正弘	東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授
	腰原 幹雄	東京大学 生産技術研究所 教授
	中島 史郎	宇都宮大学 地域デザイン科学部 教授
	安井 昇	桜設計集団一級建築士事務所 代表／ 早稲田大学大学院 理工学研究所 招聘研究員
	山代 悟	有限会社ビルディングランドスケープ 代表取締役／ 芝浦工業大学 建築学部 教授
	安達 功	株式会社 日経 BP 執行役員 総合研究所 フェロー
	槌本 敬大	国立研究開発法人 建築研究所 材料研究グループ 上席研究員
	犬飼 瑞郎	国土技術政策総合研究所 建築研究部 建築新技術統括研究官
	海老澤 涉	一般社団法人 不動産協会
	村上 淳史	公益社団法人 日本建築士会連合会
	南 孝雄	一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会
	筒井 信也	公益社団法人 日本建築家協会
	山田 憲明	一般社団法人 日本建築構造技術者協会
	小林 道和	一般社団法人 日本建設業連合会
	白井 清広	一般社団法人 新都市ハウジング協会
	中村 孝	一般社団法人 プレハブ建築協会
	逢坂 達男	一般社団法人 日本木造住宅産業協会
	清野 明	一般社団法人 日本ツーバイフォー建築協会
	坂部 芳平	一般社団法人 日本 CLT 協会
	安達 広幸	一般社団法人 日本木造耐火建築協会
	青木 哲也	一般社団法人 JBN・全国工務店協会
	功刀 友輔	一般社団法人 中大規模木造プレカット技術協会
	清水 邦夫	日本集成材工業協同組合
	山田 誠	一般社団法人 建築性能基準推進協会
	沼田 良平	一般社団法人 木を活かす建築推進協議会
	向井 昭義	公益財団法人 日本住宅・木材技術センター

行政: 国土交通省住宅局住宅生産課木造住宅振興室 (石井、高梨、若井)
国土交通省住宅局参事官(建築企画担当) (納富、今田)
国土交通省大臣官房官庁営繕部 (山下)
林野庁林政部木材産業課木材製品技術室 (熊谷、吹抜)
林野庁林政部木材利用課木造公共建築物促進班 (櫻井)

事務局: 公益財団法人 日本住宅・木材技術センター
(金子、飯島、清水、増村、高橋、板橋、渡部、緒方)
株式会社 アルセッド建築研究所 (大倉、山口、塙、黒田)
東京印刷 株式会社 (真田)

中大規模木造建築ポータルサイト整備検討委員会 運営 WG 名簿

(敬称略、順不同)

顧問:	大橋 好光	東京都市大学 名誉教授
主査:	山代 悟	有限会社 ビルディングランドスケープ 代表取締役／ 芝浦工業大学 建築学部 教授
委員:	青木 謙治	東京大学大学院 農学生命科学研究科 准教授
	中島 史郎	宇都宮大学 地域デザイン科学部 教授
	安井 昇	桜設計集団一級建築士事務所 代表／ 早稲田大学大学院 理工学研究所 招聘研究員
	海老澤 渉	一般社団法人 不動産協会
	小林 道和	一般社団法人 日本建設業連合会
	青木 哲也	一般社団法人 JBN・全国工務店協会
	功刀 友輔	一般社団法人 中大規模木造プレカット技術協会
行政:	石井 秀明	国土交通省住宅局住宅生産課木造住宅振興室長
	高梨 潤	国土交通省住宅局住宅生産課木造住宅振興室 課長補佐
	若井健一郎	国土交通省住宅局住宅生産課木造住宅振興室
事務局:		公益財団法人 日本住宅・木材技術センター 株式会社 アルセッド建築研究所 東京印刷 株式会社

令和4年度 中大規模木造建築ポータルサイト整備事業 報告書

目次

1.	事業の概要	1
1. 1	事業の目的と手法	2
1. 2	検討のアウトプット	4
1. 3	検討委員会の開催	5
1. 4	運営WGの開催	7
2.	ポータルサイト拡充に向けての取組み	13
2. 1	ヒアリング実施一覧	14
2. 2	ヒアリング結果概要	17
	・一般社団法人全国 LVL 協会	18
	・一般社団法人日本木造住宅産業協会	20
	・一般社団法人中大規模木造プレカット技術協会	23
	・一般社団法人 JBN・全国工務店協会	26
	・一般社団法人日本木造耐火建築協会	29
	・一般社団法人日本ツーバイフォー建築協会	31
2. 3	ポータルサイトシステムの改良、拡充内容	33
2. 4	ポータルサイトコンテンツの拡充	54
2. 5	ポータルサイトセミナーの開催	54
2. 6	ポータルサイトのメンテナンス	83
3.	本事業のアウトプット	91
3. 1	中大規模木造建築ポータルサイトの内容	92
3. 2	中大規模木造建築普及促進策	252
4.	参考資料	277
4. 1	中大規模木造建築ポータルサイトコンテンツ作成掲載マニュアル	278
4. 2	中大規模木造建築ポータルサイト広告掲載マニュアル	280

1. 事業の概要

1. 1 事業の目的と手法

木に対する国民の好感度は高く、過半を超える住宅は木造で建設されているものの、事務所、商業施設等の非住宅の中大規模建築物については、木造で建設されるものは未だ少ない状況にある。

したがって、本事業は、中大規模木造建築物等の都市木造建築物の設計の円滑化に資する環境の整備を進めるため、関係団体等による中大規模木造の普及促進策の総合的な展開を図るとともに、都市木造建築物の設計に関する各種の技術情報のほか、都市木造建築物の設計に関する講習、各種支援制度に関する情報をインターネットを介して一元的に提供する「中大規模木造建築ポータルサイト」について、ユーザーのニーズを反映して改良、拡充整備を図ることを目的とする。

(1) 内容

① 中大規模木造建築ポータルサイトのシステム改良、拡充検討

学識経験者、関係団体等により構成される検討委員会を設置し、中大規模木造の普及促進策とその情報提供のあり方等について検討を進めるとともに、ポータルサイトのユーザー（意匠設計者、構造設計者等）のニーズをアンケート調査等により集約し、ポータルサイトのシステムの改良やコンテンツ等の拡充について検討を行う。

② ポータルサイトのユーザーのニーズ把握等の検討

ポータルサイトのコンテンツとなる掲載情報の拡充を図るため、ポータルサイトのユーザー（意匠設計者、構造設計者等）のほか、設計情報を提供する関係団体に対しヒアリング等を行い、ユーザー等のニーズを反映して、システム改良について検討するほか、中大規模木造建築物に係る各種の動画等の自前コンテンツの拡充、担い手・サプライチェーン情報等の外部コンテンツとのリンクの拡充等の検討を行う。

③ ポータルサイトのシステム改良、コンテンツ拡充等の検討

これらの検討に基づき、ポータルサイトのシステム改良、Web コンテンツの拡充を行うとともに、ポータルサイトの持続的な運営を目指し、外部から中大規模木造建築の情報が提供されるような情報の掲載促進策や、広告の掲載等の促進策について検討を行う。

④ 中大規模木造の普及促進策の検討

中大規模木造の普及促進に関する様々な取組みや今後の計画、新たに取り組むべき方策等について、学識経験者や実務経験者、関係団体等に対しヒアリング等を行い、取組みに関する情報共有や新たな普及促進策の具体化方策等の検討を行う。

⑤ 報告書の作成

本事業の成果として、事業の成果等を取りまとめた報告書を作成、公表するとともに、展示会の出展等により、本事業成果の普及を図る。

(2) 事業スケジュール

表 1-1-1 スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
委員会				☆#1 委員会						☆#2 委員会		
運営 WG	☆#1WG			☆#2WG			☆#3WG		☆#4WG		☆#5WG 報告書のとりまとめ	
中大規模木造建築の普及促進策の検討	中大規模木造建築普及促進策に係る各種取組みについての情報共有						各種取組みについての情報共有					
	各種普及資料、データ充実						各種普及資料、データ充実等			普及促進策の具体化検討		
ポータルサイトの改良、拡充	アクセス状況分析						アクセス状況分析					
	ユーザーアンケートヒアリングの実施						追加アンケート、ヒアリングの実施					
	ポータルサイトのシステム改良検討						ポータルサイトのシステム改良					
	ポータルサイトのコンテンツ拡充検討						Web ポータルサイトのコンテンツ拡充					
							マニュアル整備					
	相談箱フォロー											

1. 2 検討のアウトプット

意匠設計者や構造設計者等が、中大規模木造建築に関する設計情報等が入手しやすくなり、中大規模木造建築に取り組みやすくなるよう、以下の観点から中大規模木造建築ポータルサイトの改良・拡充検討を中心に、検討のアウトプットとした。

表 1-1-2 検討のアウトプット一覧

観 点	アウトプット
① 様々な中大規模木造建築の設計に関する情報を手軽に入手できるようにする	中大規模木造建築ポータルサイトのシステム改良、コンテンツ拡充、運営
② 中大規模建築の木造化に関心のある設計者のほか、木に関心のある建築主向けに、ポータルサイトについて広く紹介する	中大規模木造建築ポータルサイトに関する各種普及資料の作成、展示会の出展等
③ 今後、更に建築主や設計施工者に木造選択を促すための課題と対応方を明らかにする	中大規模木造建築普及に向けた課題と対応策（案）

1. 3 検討委員会の開催

【第1回】

日 時：令和4年8月3日（水） 18：00～20：00

場 所：ワイム貸会議室 赤坂スターゲートプラザ

（東京都港区赤坂 2-3-5 赤坂スターゲートプラザ B1F）

出席者：（敬称略、順不同）※下線は Web 参加、括弧は欠席予定者

委 員：大橋好光、稲山正弘、腰原幹雄、中島史郎、（安井昇）、山代悟、安達功、
槌本敬大、犬飼瑞郎、海老澤渉、村上淳史、南孝雄、筒井信也、山田憲明、
小林道和、白井清広、（中村孝）、逢坂達男、清野明、坂部芳平、安達広幸、
青木哲也、功刀友輔、清水邦夫、山田誠、沼田良平、向井昭義

行 政：【国交省住宅局住宅生産課】石井秀明、高梨潤、（若井健一郎）

【国交省住宅局参事官（建築企画担当）付】納富昭光、今田多映

【国土交通省大臣官房官庁営繕部】山下雅文

【林野庁木材産業課】熊谷有理、吹抜祥平

【林野庁木材利用課】櫻井知、山下孝

事務局：【住木センター】金子弘、（飯島敏夫）、清水俊二、（増村浩）、高橋秀樹、板橋雄一、
緒方舞、渡部宥太

【アルレット】大倉靖彦、山口克己、埜加寿雄

【東京印刷】真田政彦

議事概要：

（1）国交省 挨拶

国土交通省住宅局住宅生産課木造住宅振興室長の石井氏より挨拶があった。

（2）委員紹介

事務局より、委員と行政の紹介を行い、大橋委員長より挨拶があった。

（3）今年度の取組内容の説明

事務局より、資料を用いて今年度の取組内容の説明を行った。

（4）ポータルサイトについて

事務局より、資料を用いてポータルサイトの概要説明を行った。その後、アクセス状況の報告、システムとコンテンツの拡充について、工事費・積算に関する情報分析について、セミナーの開催について発表を行い、質疑応答を行った。

（5）中大規模普及促進の取組について

事務局より、資料を用いて普及促進の取組内容の説明と質疑応答を行った。

（6）今後の予定について

事務局より、今後の予定について説明した。次回の委員会は2月に日程調整し開催することとした。

【第2回】

日 時：令和5年3月1日（水） 17：00～18：30

場 所：ワイム貸会議室 赤坂スターゲートプラザ

（東京都港区赤坂 2-3-5 赤坂スターゲートプラザ B1F）

出席者：（敬称略、順不同）※下線は Web 参加、括弧は欠席予定者

委 員：大橋好光、稲山正弘、（腰原幹雄）、中島史郎、安井昇、山代悟、安達功、植本敬大、（犬飼瑞郎）、海老澤渉、村上淳史、南孝雄、筒井信也、山田憲明、小林道和、白井清広、中村孝、逢坂達男、清野明、坂部芳平、安達広幸、青木哲也、功刀友輔、清水邦夫、山田誠、沼田良平、向井昭義

行 政：【国交省住宅局住宅生産課】石井秀明、高梨潤、若井健一郎

【国交省住宅局参事官(建築企画担当)付】納富昭光、今田多映

【国土交通省大臣官房官庁営繕部】山下雅文

【林野庁木材産業課】熊谷有理、吹抜祥平

【林野庁木材利用課】櫻井知、山下孝

事務局：【住木センター】金子弘、（飯島敏夫）、清水俊二、（増村浩）、高橋秀樹、板橋雄一、

緒方舞、渡部宥太

【アルセッド】大倉靖彦、山口克己、埴加寿雄、黒田唯香

【東京印刷】真田政彦

議事概要：

（1）国交省挨拶

国土交通省住宅局住宅生産課木造住宅振興室長の石井氏より挨拶があった。

（2）前回議事要録の確認

事務局より資料を用いて委員と、議事録の確認を行った。

（3）ポータルサイトについて

事務局より、資料を用いてポータルサイトのアクセス状況の報告、システムの改良・コンテンツの拡充について説明を行った。続いてセミナー開催について、工事費・積算に関する情報分析について、動画コンテンツの制作について説明を行い、質疑応答を行った。

（4）中大規模木造建築普及促進の取組について

事務局より、資料を用いて今年度の取組内容の説明を行い、中大規模木造建築普及について意見交換を行った。

（5）報告書の目次案

事務局より、資料を用いて報告書の目次案の説明を行った。

（6）今後の予定について

事務局より、来年度より中大規模木造建築ポータルサイト協議会が設立する旨の説明を行った。また、委員会終了の後に総会を開くことを伝えた。

1. 4 運営WGの開催

【第1回】

日 時：令和4年5月25日（水） 10：00～12：00

場 所：オンライン会議

出席者：（順不同、敬称略）※括弧は欠席者

顧 問：大橋好光

主 査：山代悟

委 員：青木謙治、中島史郎、（安井昇）、海老澤渉、小林道和、青木哲也、
功刀友輔

行 政：【国土交通省住宅局住宅生産課】前田亮、高梨潤、若井健一郎

ワザバー：阿部裕介、西澤高男

事務局：【住木センター】金子弘、伊巻和貴、高橋秀樹、渡部宥太、緒方舞

【アルセッド】大倉靖彦、山口克己、埴加寿雄

【東京印刷】真田政彦

議事概要：

（1）国交省挨拶

国土交通省住宅局住宅生産課木造住宅振興室長の前田氏より挨拶があった。

（2）主査挨拶

山代主査より挨拶があった。

（3）令和4年度ポータルサイトの検討について

事務局より、本年度の主な取り組み内容について説明があった。

（4）ポータルサイトの進捗報告

東京印刷の真田氏より、資料を用いて説明を頂いた。アクセス状況とユーザー登録者の属性によるアクセス状況の解析について、今年度内の拡充・改善予定の内容、今後の課題について説明をした。

（5）広告掲載について

事務局より、資料を用いて広告掲載について説明した。

（6）システムとコンテンツの拡充について

事務局より、資料を用いてシステムとコンテンツの拡充内容について説明した。

（7）今年度の収集・分析する情報について（工事費・積算など）

事務局より、資料を用いて木造建築物の工事費・積算に関する情報及びRC造・S造との比較に関する情報の拡充を行っていく旨を説明した。

（8）施主向けに訴求する動画の制作について

事務局より資料を用いて、動画制作の進捗状況の説明をした。

（9）今後の予定について

事務局より、今年度の予定や取り組み、次回WGの日程についてお伝えした。

【第2回】

日 時：令和4年7月25日（月） 16：00～18：00

場 所：オンライン会議

出席者：（順不同、敬称略）※括弧は欠席者

顧 問：大橋好光

主 査：山代悟

委 員：（青木謙治）、中島史郎、（安井昇）、海老澤渉、小林道和、青木哲也、
功刀友輔

行 政：【国土交通省住宅局住宅生産課】石井秀明、若井健一郎

ワザバー：西澤高男、三宅賢一

事務局：【住木センター】金子弘、伊巻和貴、高橋秀樹、板橋雄一、緒方舞、渡部宥太
【アセット】大倉靖彦、山口克己、埴加寿雄
【東京印刷】真田政彦

議事概要：

（1）国交省挨拶

国土交通省住宅局住宅生産課木造住宅振興室の石井室長より挨拶があった。

（2）前回議事録の確認

事務局より、資料を用いて前回議事録の確認を行った。

（3）ポータルサイトの進捗報告

事務局より資料を用いて、ポータルサイトのアクセス状況の説明、目標設定に関する説明を行い、意見交換を行った。

（4）システムとコンテンツの拡充について

事務局より、資料を用いてポータルサイトの実装済みのシステムとコンテンツの拡充について説明を行い、意見交換を行った。

（5）広告バナーの掲載申込について

事務局より、資料を用いて広告バナーの掲載状況の説明を行い、意見交換を行った。

（6）セミナー開催について

事務局より、資料を用いてセミナー開催についての説明を行い、意見交換を行った。

（7）よくある質問の拡充

事務局より、資料を用いて「よくある質問」の拡充についての説明を行い、意見交換を行った。

（8）映像コンテンツについて

事務局より、資料を用いて今年度制作する動画についての説明を行い、意見交換を行った。

（9）今後の予定について

事務局より、次回WGの日程調整に関して、後日メールで行う旨を説明した。

【第3回】

日 時：令和4年10月6日（木） 18：00～20：00

場 所：オンライン会議

出席者：（順不同、敬称略）※括弧は欠席者

顧 問：大橋好光

主 査：山代悟

委 員：青木謙治、中島史郎、（安井昇）、海老澤渉、小林道和、青木哲也、
功刀友輔

行 政：【国土交通省住宅局住宅生産課】石井秀明、高梨潤、若井健一郎

ワザパー：西澤高男、（三宅賢一）

事務局：【住木センター】金子弘、清水俊二、高橋秀樹、板橋雄一、緒方舞、渡部宥太
【アセット】大倉靖彦、山口克己、埴加寿雄
【東京印刷】真田政彦

議事概要：

- （1）主査挨拶
山代主査より挨拶があった。
- （2）前回議事録の確認
事務局より、資料を用いて前回議事録の確認を行った。
- （3）ポータルサイトの進捗報告
事務局より資料を用いて、アクセス状況の説明を行い、意見交換を行った。
- （4）システムとコンテンツの拡充について
事務局より、資料を用いてポータルサイトの実装済みのシステムとコンテンツの拡充について説明を行い、意見交換を行った。
- （5）連載コラム掲載ルールについて
事務局より、資料を用いてコラム掲載について説明し、意見交換を行った。
- （6）セミナー開催について
事務局より、資料を用いてセミナー開催までの流れ、登壇者候補の進捗状況の報告を行い、意見交換を行った。
- （7）よくある質問の拡充
事務局より、資料を用いて「よくある質問」の拡充についての説明を行い、意見交換を行った。
- （8）映像コンテンツについて
事務局より、資料を用いて今年度制作する動画についての説明を行い、意見交換を行った。
- （9）今後の予定について
事務局より、次回WGの日程調整に関して、後日メールで行う旨を説明した。

【第4回】

日 時：令和4年12月7日（水） 10：00～12：00

場 所：オンライン会議

出席者：（順不同、敬称略）※括弧は欠席者

顧 問：大橋好光

主 査：山代悟

委 員：青木謙治、中島史郎、（安井昇）、海老澤渉、小林道和、青木哲也、
（功刀友輔）

行 政：【国土交通省住宅局住宅生産課】（石井秀明）、高梨潤、若井健一郎

ワザパー：西澤高男、三宅賢一

事務局：【住木センター】金子弘、清水俊二、高橋秀樹、（板橋雄一）、（緒方舞）、（渡部宥太）

【アセット】大倉靖彦、山口克己、埴加寿雄、黒田唯香

【東京印刷】真田政彦

議事概要：

（1）主査挨拶

山代主査より挨拶があった。

（2）前回議事録の確認

事務局より、資料を用いて前回議事録の確認を行った。

（3）ポータルサイトの進捗報告、システムとコンテンツの拡充について

事務局より資料を用いて、アクセス状況の説明やポータルサイトの実装済みのシステムとコンテンツの拡充について説明を行い、意見交換を行った。

（4）連載コラム掲載ルールについて

事務局より、資料を用いて連載コラムの掲載ルールについて説明し、意見交換を行った。

（5）セミナー開催について

事務局より、資料を用いてセミナー開催について説明し、意見交換を行った。

（6）工事費・積算情報の分析について

事務局より、資料を用いて取りまとめている工事費・積算情報の分析についての進捗報告を行い、意見交換を行った。

（7）映像コンテンツについて

事務局より、資料を用いて動画制作の進捗状況、来年度以降の制作予定についての説明を行い、意見交換を行った。

（8）今後の予定について

事務局より、次回WGと委員会の日程について連絡をした。

【第5回】

日 時：令和5年2月13日（月） 17：00～19：00

場 所：オンライン会議

出席者：（順不同、敬称略）※括弧は欠席者

顧 問：大橋好光

主 査：山代悟

委 員：青木謙治、中島史郎、安井昇、海老澤渉、小林道和、青木哲也、
功刀友輔

行 政：【国土交通省住宅局住宅生産課】石井秀明、高梨潤、若井健一郎

オブザーバー：西澤高男、三宅賢一

事務局：【住木センター】金子弘、清水俊二、高橋秀樹、板橋雄一、緒方舞、渡部宥太
【アセット】大倉靖彦、山口克己、埴加寿雄、黒田唯香
【東京印刷】真田政彦

議事概要：

（1）主査挨拶

山代主査より挨拶があった。

（2）前回議事録の確認

事務局より、資料を用いて前回議事録の確認を行った。

（3）ポータルサイトの進捗報告、システムとコンテンツの拡充について

事務局より資料を用いて、アクセス状況の説明やポータルサイトの実装済みのシステムとコンテンツの拡充について説明を行い、意見交換を行った。

（4）連載コラム掲載2巡目について

事務局より、資料を用いて連載コラムの掲載2巡目についての提案をし、意見交換を行った。

（5）セミナー開催の効果について

事務局より、12月15日に開催したセミナーの効果について説明し、意見交換を行った。

（6）工事費・積算情報の分析について

事務局より、資料を用いて今年度取りまとめる工事費・積算情報の分析についての説明を行い、意見交換を行った。

（7）映像コンテンツについて

事務局より、資料を用いて今年度の動画制作についての説明を行い、意見交換を行った。

（8）今後の予定について

事務局より、次回の委員会の日程について連絡をした。

2. ポータルサイト拡充に向けての取組み

2. 1 ヒアリング実施一覧

中大規模木造建築物の設計に係わる各種の設計者の情報ニーズを把握するとともに、関係団体等における中大規模木造建築物に関する普及促進策の取組み状況、ポータルサイトに掲載可能な各種設計情報（木質材料、構造、防耐火、耐久性、各種標準図・接合部実験データ、実例データベース等）等の詳細のほか、中大規模木造建築普及の課題と普及促進策について情報集約するため、検討委員会の学識者、関係団体、その他推薦を受けた設計実務者に対してヒアリングを実施した。

(1) ヒアリング対象者

ヒアリング実施日	ヒアリング先	氏名
2022年8月29日(月)	一般社団法人 全国 LVL 協会	李元羽
2022年10月4日(火)	一般社団法人 木造住宅産業協会	越海 興一
2022年10月4日(火)	一般社団法人 木造住宅産業協会	高橋 雅司
2022年10月28日(金)	一般社団法人 中大規模木造プレカット技術協会	功刀 友輔
2022年年11月1日(火)	一般社団法人 JBN・全国工務店協会	青木 哲也
2022年年11月1日(火)	一般社団法人 JBN・全国工務店協会	大桃 一浩
2022年年11月1日(火)	一般社団法人 JBN・全国工務店協会	橋本 英俊
2022年年11月1日(火)	一般社団法人 JBN・全国工務店協会	阿部 一雄
2022年年11月1日(火)	一般社団法人 JBN・全国工務店協会	島田 浩司
2022年年11月1日(火)	一般社団法人 日本木造耐火建築協会	安達 広幸
2022年年11月2日(水)	一般社団法人 日本ツーバイフォー建築協会	清野 明
2022年年11月2日(水)	一般社団法人 日本ツーバイフォー建築協会	坂口 晴一
2022年年11月2日(水)	一般社団法人 日本ツーバイフォー建築協会	近藤 浩一

(2) 関係団体向けヒアリング項目

- ① ポータルサイトに関するヒアリング項目例
 - ・ポータルサイトの良い点・悪い点
 - ・団体として提供したい・提供可能な情報（設計技術情報、表彰制度情報、講習会情報、担い手・サプライチェーン情報）
 - ・団体以外でポータルサイトに掲載が望ましい書籍、Web サイト等の情報
- ② 中大規模木造建築普及の取組みに関するヒアリング項目例
 - ・中大規模木造建築の普及の課題について
 - ・上記の課題に対する取組み（予定）について
 - ・その他の取組み（予定）

2. 2 ヒアリング結果概要

実施日時：令和4年8月29日（月）10：30～11：35（Zoom ミーティング形式）

ヒアリング対象者：李（全国 LVL 協会）

事務局：金子、高橋、板橋、渡部（住木センター）／大倉、埴（アルビト建築研究所）（以上、敬称略）

(1) ポータルサイトについてのご意見

◆良い点・悪い点等

- ・中大規模木造建築データベースは以前から会議にも参加しているが、中大規模木造建築ポータルサイトあまり把握していなかった。よい情報がたくさん集まっており、あちこち飛ばずに閲覧できるのがよい。
→データベースは事例を通じて施主にも理解してもらう資料で、設計者、発注者の両方を対象としている。ポータルサイトは設計者向けなので専門的だが、素人にも見てもらう情報も増やしていきたい。

（事務局：大倉）

- データベースは林野庁が先行して取り組んでいるもので、事業主が木使って建てる際に、どのような事業者が設計・施工を行ったのか、また、木材どのように使われているか等を理解してもらうためのものである。一方、国交省が取り組んでいるポータルサイトは建物を実現するためのプロセスを重視しており、設計段階から設計者に活用してもらうものである。両者を車の両輪のように使ってもらいと有難い。（事務局：金子）

◆団体として提供したい・できそうな情報

- 協会の動画は掲載している。（事務局：高橋）

〔設計技術情報〕

- ・報告書、マニュアル化したものを提供できる。

〔表彰制度情報〕

- ・LVL 賞、T1 グランプリがある。

〔講習会情報〕

- ・講習会は計画途中である。実施するには是非掲載してほしい。

〔担い手・サプライチェーン情報〕

- ・LVL 協会、CLT 協会、日集協に同一の会員企業がいる。LVL を製作できる企業は日集協、CLT 協会と同じような様式で出せるのではないか。

→LVL の製作や加工の企業のリスト等があればリンクを貼らせてほしい。（事務局：高橋）

(2) 中大規模木造建築の普及に向けてのご意見

◆普及にあたっての課題・問題等

〔防耐火試験の基準〕

- ・LVL 協会が積極的に取り組んでいるのは防耐火だが、海外と日本の基準に乖離がある。日本では海外よりも試験方法が厳しい。建築の中でも防耐火の専門の方々のみで基準や試験方法を決めている状況がある。

→海外でできて日本でできないこと整理されているか？（事務局：大倉）

- ・ウィーン工科大学の谷氏が整理しているはずである。各国の試験方法が異なっている。木造に関しては

さらに過酷で技術の乖離がある。乖離を埋めるか海外の基準に合わせる必要がある。炉内放置は日本独自のもの。木造に関しては炉内放置が試験機関同士の連携があり、国の法律ではなくてそこで決まっているだけである。

◆課題・問題解決への取組み（予定を含む）

〔技術開発について〕

- ・2時間耐火、1時間耐火の寸法拡大について、住木センターに申請書を提出している所である。

〔人材育成について〕

- ・防耐火に関する講習会をLVL耐火委員会、腰原委員長、桜設計集団・安井氏、芝浦工大・山代氏参画のもと、企画中である。
→講習会は年度内か？（事務局：高橋）
- ・協会事業でやっているのので年度は関係ない。これから企画して、時機を見てやりたい。是非ポータルサイトで宣伝をお願いしたい。
→ポータルサイトは、講習会募集で人数増加の実績があるので是非活用いただきたい。（事務局：高橋）

◆普及すべきターゲット

〔階数・規模〕

- ・ターゲットは5階建て以下としている。スーパーゼネコンは自社技術使いたい所が多く、当協会の技術は使わないだろう。今まで3～4階建てを建てるにあたり鉄骨を選択していたが、木造に取り組み始めた地域ゼネコンに情報提供していきたい。
→地域ゼネコンと連携がとれればと思うが、そういった事業者がどこにいるのかわからず人づてにあっているのが現状である。そうした事業者の一覧があるとよい。（事務局：高橋）

〔主体〕

- ・構造見学会を開催するとゼネコンが参加してくる。日建連の木造部会があるが、どこも大きい事業者である。地域ゼネコンまでどう情報持って行くかが課題である。
→そこがポイントになる。地域ゼネコンが取り組んでくれないと広がらない。鉄骨ファブのようにLVLファブみたいのがないと地域ゼネコンは施工管理するのが難しい。（事務局：大倉）
- ・隈さんと稲山さんとの対談で鉄骨とのハイブリッドが話題となっていた。ファブリケータが受け入れられる技術開発を進めた方がよい。
→材料事業者と施工事業者を繋ぐ木造の段取り工事をきちっとやってくれる人をどう育てるかが大事である。（事務局：大倉）
- ・鉄骨のファブと共同できるとよい。

以上

実施日時：令和4年10月4日（火）15：30～：16：50（Zoom ミーティング形式）

ヒアリング対象者：越海、高橋（一般社団法人 日本木造住宅産業協会）

国交省：高梨、若井

事務局：金子、高橋、板橋、渡部（住木センター）／大倉、埴（アルビッド建築研究所）（以上、敬称略）

(1) ポータルサイトについてのご意見

◆良い点・悪い点等

〔コンテンツ〕

- ・コンテンツ、情報が増えて充実してきた。一方で文字入力による検索ができないため検索しにくいイメージある。
→わかりにくいかもしれないが、トップ画面で自由記入できるようにはしている。（事務局：高橋）
- ・設計技術情報に入ってから検索したくなる。
→情報量かなり多くなってきたので、or 検索から and 検索に見直すことを検討したい。（事務局：高橋）
- ・対象が設計者向けになっている。施主にアピールする仕組みが必要。
- ・人気コンテンツは1週間ごとに頻繁に変わる。直近で変わってるものと1ヶ月単位ぐらいで多くの人に見られてるものの両方があるとよい。

〔中大規模木造建築の定義〕

- ・JBNは平屋2階でも中大規模木造のイメージだが、木住協では3、4階の非住宅建築としており、定義が異なっている。JBNでも使ってもらえるようにするのか、構成員により中大規模木造のイメージが異なっている可能性があるので注意をした方がよい。
- ・中大規模の定義が中高層と捉えるようになっている。低層で規模の大きいものの方が積極的に取り組む必要ある。
- ・当初関係団体、国交省の意見を聞いて誰もがカバーすべき範囲を対象とするようにした。住宅の3階以下は木造が多いので除外し、非住宅の3階以下と住宅・非住宅に関わらず4階以上とした。各団体が力点とする範囲を聞いて、木を華々しくやっていると取り込みながらと考えている。（事務局：金子）
→JBNは住宅部品が使える等住宅の延長線上で考えている。木住協は構成や部品が課題となってくる3、4階ターゲットにして裾野広げていくのがよい。（事務局：大倉）

◆団体として提供したい・できそうな情報

〔設計技術情報〕

- ・書籍を1年に1回発行している。今年度は、高度な準耐火のフィジビリティスタディを進めているので成果も是非載せてほしい。75分・90分準耐火や、開口部・スプリンクラーの基準など選択しにくいので、検討プロセスの整理を進めている。

〔講習会情報〕

- ・木住協では単発の講習会はあまりやっていないため新着情報に出てこない。表に出るような工夫してくれると有難い。年初に1年分は掲載してもらっている。
→その都度追加していく等、うまく掲載していけるようにしたい。このタイミングで掲載してほしいとあれば、対応したい。1時間耐火の講習会は毎月開催している。申込期間の前の告知すべきサイクルを教えてもらって、システムとして告知できるようにしたい。（事務局：金子）

- ・毎月上げるなどした方が目につきやすい。
→主催者側で入力してもらう方法もある。効果的、システムチックな方法で対応にしたい。（事務局：金子）
- 講習会情報は団体で掲載できるようにしている。権限与えれば各自で書き込みできるようにしている。相談させていただきたい。（事務局：高橋）

◆その他

- ・「森林を活かす都市の木造化推進法（大成出版社）（8月初旬出版）」に根拠となる社会的背景等が示されている。CO₂を蓄積できるなどの施主へのアピール材料・資料も設計の人にも見てもらい説得材料として使ってもらってはどうか。協議会のサイトもあり、木材促進条例出しているところや県産材利用進めるところ等も確認できる。。担い手サプライチェーン情報に関する情報にあたるのではないかな。
- 高倍率の耐力壁、耐火構造等の情報はオープンにできないか？わかってない人に紹介するリーフレット等掲載しておけるものはないか。（事務局：大倉）
- ・講習会に参加した人だけにしか提供していない。

(2) 中大規模木造建築の普及に向けてのご意見

◆普及にあたっての課題・問題等

〔工事費情報の不足〕

- ・コスト比較、コスト低減のための対応策の比較検討の資料の不足が一番の障害である。
- ・木造かS造かの選択で分かりやすい資料があると木造を導入しやすい。
→木造は安いというのは本来的でない。性能が同等なら単価は同じであるべきである。安いというだけでなく、環境低減含めて選択してもらうのではないかな。コストだけで選択されるものでない。（事務局：大倉）

〔設計技術情報の不足〕

- ・開口部の納まりや、特許工法との関係などについて、JBN、木住協レベルの資料があまりない。鉄骨造、RC造のようにディテール集があるとよい。
- ・シャッター、EV、区画の貫通部や準耐火、耐火等の防耐火設計についてのガイドラインあると普及しやすい。現在は設計者に判断が委ねられ、主事と協議と回答するしかなく苦慮している。
- ・だれも主体的にアクションを起こしておらず、資料にも書かれていない。高層に行くほど特許化、認定化している。ブレイクスルーのためにもメーカーを集めて住木センターが取り組むべきところではないかな。
→今ある材料、技術を使って何ができるかの情報が必要である。（事務局：大倉）

〔木材情報の不足〕

- ・住宅用以外のJAS材が十分に回っていない。ルートをどのJAS工場でどのような材を買えるのか。
- ・法律上の動きも含め、木造が追い風になっている。受注競争に勝てるバックアップ資料の強化が必要。

◆課題・問題解決への取組み（予定を含む）

〔技術開発について〕

- ・延べ面積を1000㎡切るようにすることや、幼稚園の2階にトイレや保育室を設けない等、用途・規模制限が抵触しないように、耐火建築物とならないように設計する設計者が多い。準耐火でどこまでできるか、木現しでできるようにするための方策などの整理を検討したい。

〔サプライチェーンについて〕

- ・JAS製材が流通していないので頓挫している。製材JAS規格の見直しにかかっている。発注する際に集成材の方に強度の高いランキングがあるので製材が負けてしまう。パーツの企画から不整合・不合理がないのかチェックが必要である。

〔人材育成について〕

- ・引き続き講習会を開催し、充実していく取組みをしている。

◆普及するべきターゲット

〔規模・構法〕

- ・木造のよさを発揮するターゲットとして、まず、ポータルサイトがJBNレベルを基盤として作っていくのがベースとしてある。その上に中高層ターゲット、街中の狭小ビルの建て替え、既存基礎を活用した建替えモデルが考えられる。
- ・RCプレキャストはCLTが似ているので、CLTに置換していくことをCLT協会でも考えてもらおうとよい。
- ・ある種典型的な壁式構造とラーメン構造を併せた骨組みモデルとして、学校の教室、病院の病室、ホテルの客室等が考えられる。実務的に設計規準的な技術資料を作りやすいのではないか。（越海）
 - 3、4階建てでラーメン構造を併用するものを検討している。1000㎡程度のものを工務店が取り組めるものとして育てていければと思う。（事務局：金子）
 - 3、4階建てが準耐火木造のよさを遡及できるのではないか。4階になると耐火構造が主流になってくる。木造がいろいろできること世の中に出していく必要がある。できることをやりながら裾野を広げていくのを頑張って続けてもらいたい。（事務局：大倉）

以上

実施日時：令和4年10月28日（金）10：30～12：00（Zoom ミーティング形式）

ヒアリング対象者：功刀 友輔氏（一般社団法人 中大規模木造プレカット技術協会）

国交省：若井

事務局：金子、高橋（住木センター）／大倉、山口（アルゼット建築研究所）（以上、敬称略）

(1) ポータルサイトについてのご意見

◆良い点・悪い点等

- ・トップページの画像について、JBNと一緒に取り組んでいる普通と思っている物件を掲載していただき、敷居の高さが和らいだ印象をもっている。協会内でも広告に興味を持っている金物メーカーがあり、情報提供している。
- ・金額の件も協会内で了承を得られる公算が高い。

◆団体として提供したい・できそうな情報

- ・とくに協会で制作しているものは現時点ではない。

〔設計技術情報〕

- ・設計技術情報については年度末に挙げさせていただく。

〔表彰制度情報〕

- ・表彰制度情報では、プレカットのCADオペレーターを表彰する制度をつくらうと思っている。プレカットCADの人にやる気を持ってもらうことが肝要と考えている。
→プレカット技術者の表彰はどのような観点で行っているか？（事務局：高橋）
→これまでの技術を工夫して展開している人、地域の材料活用提案など。

〔担い手・サプライチェーン情報〕

- ・担い手に関係するかどうかだが、協会内で共済会をつくり保険制度を運用している。物件に対して保険を課すことができ、非住宅系の瑕疵担保責任の保険期間は10年である。プレカット工場が誤入力をした場合などにも適用可。
→プレカットは不可欠なので、CADオペレーターの支援は重要。保険制度については、木造ファブrikエーターに関連して建設保険への加入も検討してもらいたいと思う。（事務局：大倉）
→CADオペレーター支援は、業務の信頼性が増す重要な取組みと思うので、上手く紐づけられればと考える。（事務局：金子）
- ・中大規模木造のプレカットの例として、京丹波のプロジェクトでは、半分以上は住宅用、残りは特殊加工機（フンデガー）である。それぞれの加工機を使い分けて、相互に補完できる状況であり、それに対応できる技術者を有している事業者がある。使い分けのマネジメントの仕組みをつくり、効率が高まると考えている。設計と施工の両方に関わることも重要であり、対応しやすくなる。設計段階で入っていないと全てが特殊加工機になりかねない。
→その使い分けはとても重要であるが、公共建築で設計段階から入ってもらうことは難しい面があり課題である。熊本では木造コーディネータに設計段階から参画してもらった。（事務局：大倉）
- ・協会で整備している標準図は、毎年6月頃に更新し、マニュアルも作成している。
→更新した情報を教えてもらえると、サイトに掲載できる。（事務局：高橋）

◆掲載が望ましい書籍・Web サイト等

- ・特にないが、サイトが情報の海になってしまうのは懸念される。しかし、検索すればヒットするシステムなので使いやすいと感じている。
- ・木材利用促進月間を知っている人は、25人中2人くらいと少ない。サイトを見ている人は多いので、そういう情報をアップすることも有用なのではないか。

(2) 中大規模木造建築の普及に向けてのご意見

◆課題・問題解決に向けての取組み（予定を含む）

[プレカット事業者のリスト化]

- ・事業者のリスト化については、色々意見があり検討中である。

[JIS A 3301 の活用]

- ・(参考資料 2) p.4 の JIS A3301 に関して、それを元に建設した学校はないと思う。要素技術は使えるが、それでやり切ることではコンペに勝つのも難しい。JIS が施主の望んでいるものであるかどうかの検証は必要。これまでアップデートして皆の目に触れてモデル化することがオーソライズされ、木構造の設計者が使用し、要素技術として使われるようになってきていると認識している。ある自治体からそれでやり切れないかとの問い合わせがあったが、プランの変更の要望があったため対応は難しいと回答した。

[プレカット工場間の連携体制]

- ・(参考資料 2) p.7 のプレカット工場間の連携体制について、共済会内で横持ち連携という考えがあり、事業者間でどう情報共有できるかを考えている。共済会内では災害協定の締結を考えていて、火災、水害などの被災時に支援し合う協定を準備している。
→リスト化と公表が実現されることを期待する。頑張っている事業者への評価は、地域間連携への活用などにもつながり得る。(事務局：大倉)

[加工データフォーマットについて]

- ・(参考資料 2) p.7 の加工データフォーマットについては確認しておくが、模索中の状況であり、ほとんど進展はないと認識している。

[非住宅用部品について]

- ・(参考資料 2) p.8 の非住宅用サッシについては、需要の喚起がまず必要ではないかと考える。
→防水紙にかぶせるディテールができるような商品開発が必要であり、サッシメーカーと個別対応した情報は公表されている。(事務局：大倉)

[コスト情報について]

- ・(参考資料 2) p.9 の部材、加工コストに関する情報の整備、サービスについては、積算事務所の仕事と認識している。木部分の仕事が普及・確立してれば、知識も必要であるが、情報の整備が進むことは期待できよう。協会としても検討していく考えである。

[地域材利用について]

- ・地域材の利用の問題について、住宅と違い非住宅のボリュームへの対応は難しい。だんだん無理しない

のが現実的であることが認知されてきている。2項ルートは製材が使えない(含水率15%が困難)ので、施策面の対応も必要である。製材をきちんと評価してもらう仕組みができ、山に還元することが重要。

〔木材利用の持続可能性について〕

・中大規模木造建築の普及の目標とは、木材の利用であると考えているが、普及が優先されていて、本来の目的を逸脱していると感じている。持続可能な社会、森林資源の活用が重要で、山にお金を還元すべきところ、そうっていない。製材利用、大径材利用しているものが埋もれている。中大規模木造をつくれれば終わり、というのは違うのではないか。協会としては、例えば、新しい高倍率耐力壁、共済会で横持ち、構造設計者への情報提供などの取組みをしている。製材を使える低層非住宅については、引き続き、講習会を通じて普及していく予定である。

→木造建築をやっている結果、山に金が戻っているかは不明瞭。確かに本来的な目的が達成されているかということ、そうではない面はあろう。(事務局：大倉)

→製材、大径材を利用すること、仕組みとして今後活かせるような取組みが必要になってくる。含水率については全木連が検討しているようだが、まだ時間はかかりそうな状況ときいている。(事務局：金子)

◆普及すべきターゲット

〔規模・用途〕

・JBNと一緒に取り組んでいるような案件で、500㎡前後のものでよいと思っている。低層でS造になっているものの木造化を進められればと思う。店舗、事務所は地方では可能性があると思っている。

以上

実施日時：令和4年11月1日（火）14：00～16：00：(Zoom ミーティング形式)

ヒアリング対象者：青木、阿部、大桃、島田、橋本（一般社団法人 JBN・全国工務店協会）

事務局：金子、高橋、板橋、渡部（住木センター）／大倉、埜（アレルト 建築研究所）（以上、敬称略）

(1) ポータルサイトについてのご意見

◆良い点・悪い点等

- ・大規模で特殊な事例が多く扱われている。我々工務店が使えるコンテンツが少ない印象である。
- ・講習会で本サイトの紹介をしている。来週JBN会員向け全国大会でも触れる予定である。
- ・動画の編集が進んでいるが、大規模で技術的に高度な事例が多い。
→施主の了解を得ないと撮影が難しい関係で、施主が取材に積極的な先進的な事例が多い。（事務局：高橋）
- ・内容的にはゼネコン向けの印象である。工務店レベルでコンテンツを隅々まで見ておこうという気持ちになり難い。こういうものやっぺいこうという自覚がまだない。設計事務所でも実績がないので、深く掘り下げてみようという意識が低いのではないか。
→工務店の中にも積極的に取り組んでいる人たちはいる。そうした人たちの動きが見えれば、意欲は高まるのではないか。（事務局：大倉）
- ・本日欠席の中大規模木造委員会委員の意見を紹介したい。情報が集約されておりよいが、専門家寄りになりすぎている印象がある。木造で建てるには発注者の理解が必要であるため、発注者が直接見てもらえるような入口が必要ではないか。用途、地域別で事例検索ができるとよい。
- ・ユーザー登録をすると新着情報があるとメールをいただける。気になる話題があれば閲覧している。効果的である。（青木）
→更新頻度が低いと見に行かなくなってしまうため、発信頻度を高めるようにしている。まずは知ってもらうことが大事であると考えている。（事務局：高橋）

◆団体として提供したい・できそうな情報

〔設計技術情報〕

- ・2月に口準耐火1号の設計施工マニュアルの発行及び講習会を予定している。事例は散見しているが、危険なものとして、確認申請の取得に時間がかかる。建築主事、適判資格者、国交省、建研、国総研と連携し、専用金物の開発や設計が許容される範囲について触れている。

〔講習会情報〕

- ・施工管理マニュアルの第3弾の講習会を2～3月に開催を予定している。ひな形を示しながら、施工管理に不慣れな工務店が木造としてのポイントや木工事以外の部分も押さえた施工計画書を作成できるようにしている。

(2) 中大規模木造建築の普及に向けてのご意見

◆普及にあたっての課題・問題等

〔施主説明用の情報の不足〕

- ・民間発注はコストが重視される。鉄骨が安ければ鉄骨に流れてしまう。設計者は鉄骨の方がコスト算出しやすい状況もある。木造と鉄骨造のコストが同等なのかの判断は難しい。シンボリックな建物よりも、

外観からは木造なのか鉄骨なのかわからないようなものを木造で取り組めるようになる必要がある。

→一般的な木造の建物のコスト情報を収集しているが、情報提供できないものが多い。補助金の関係があるのかもしれないが、シンボリックなものの方が提供してくれることが多い。(事務局：高橋)

- ・設計者が鉄骨と木造で比較した場合、根拠なしに鉄骨が選ばれてしまう。施主も耐久性を考えると補修・メンテナンスが必要となると鉄骨を選んでしまう。木造の優位性を説明できる、コスト、施工容易性実績等の情報があるとよい。

【材料調達】

- ・2000 m²を超えると乾燥材、地域材、外材の確保しづらく供給が難しい。4800 m²の高齢者施設では1年半前から木材を準備した。
- ・製材工場は増えない。JAS規格認定取るのにお金かかる。検査県木連お金かかる。お客さんがよき解らない。説明できない、

【非住宅用部品】

- ・木造の耐火構造用のサッシが未開発である。
→日本サッシ協会では非住宅木造建築用の部品を開発してない。(事務局：大倉)

【現場管理体制】

- ・現行の建設業法では、受注額7千万円を超えると現場管理技術者が専任でなければならなくなる。例えば受注額1億円、工期1年の非住宅木造の場合1人がかかり切りとなるが、住宅の場合は1人が3件同時に3千万×3件で9千万円の工事を管理することができる。工期を半年とすると2回転でき、住宅の方が利益が大きい。
- ・非住宅の現場管理をできる代理人は2、3人に1人と少ない。ある程度規定が緩和されることを期待している。

【人材不足】

- ・構造計算をしたことのない工務店が多い。
- ・中大規模木造の建て方は金物が多く、また、部材をラフターで1本ずつ吊る等、鉄骨造の鉄が木になっただけで、自分たちの仕事ではないと思っている大工が多い。研修や視察が必要である。
- ・実務者が不足している。現場管理、施工図作成等を通常業務しながら身に付けるのは厳しい。

【省エネ適合義務化に伴う各種手続き】

- ・ZEH水準等の建築物における必要壁量を計算するための建防協の早見表が理解しにくい。階高や1、2階の床面積比、多雪地域か否かを考慮する必要がある。WEBプログラム出してもらえよう国交省にお願いをしている。
- ・2025年の省エネ適合義務化により確認検査機関が構造も省エネもチェックすることにより負担が増え、審査期間が7日以内から35日以内になる。これにより着工が延びるのが目に見えている。確認検査機関が電算プログラム認証を認めて、構造計算データをそのまま審査機関で読み込んでチェックしてくれると合理化できる。

【その他】

- ・構造計算ソフト「ホームズ君」が以前より規模の大きい建物への対応がしやすくなったことは確認して

いるが、延べ面積 2000 m²以上のものに対応できるようになったかは確認してない。以前は 1000 m²ぐらいのものを計算すると固まるがあった。

- ・地盤改良工法は、延べ面積が 1500 m²までしか対応できないもの多い。
- ・火事に関するニュースでは「木造住宅」の火災と報道される。木造以外でも火災は発生するので構造種別を分けなくてほしい。

◆課題・問題解決への取組み（予定を含む）

〔技術開発について〕

- ・施工管理、施工計画書のひな形を整理したい。

〔その他（受注体制について）〕

- ・田舎ではプレカット事業者が元請事業者の 1 次下請けに入って工務店に流すケースが多いように思う。プレカット事業者は、職人の手配、工程管理、施工図作成ができず、工務店に委ねている。できない事業者が受注していることが原因だが、このままいくと工務店はプレカット事業者の下請けになりかねない。

◆普及すべきターゲット

〔規模・階数〕

- ・住宅の延長線上で取り扱いやすい3階までの低層をターゲットとしている。プレカット事業者も元々の付き合いの中ででき、鉄骨造と競争できる。部材も住宅用でできるため開発も不要である。足場も楔足場が使える。
- ・4階ぐらいになると安全面の管理が大変になる。大工も経験ないので3階が限界である。
- ・会社規模によるが、特別なことには取り組みにくい。3階以下、延べ面積1000m²以下程度が目安である。

以上

実施日時：令和4年11月1日（火）16：00～17：45：（Zoom ミーティング形式）

ヒアリング対象者：安達（一般社団法人 日本木造耐火建築協会）

事務局：金子、高橋、板橋、渡部（住木センター）／大倉、埜（アレット建築研究所）（以上、敬称略）

(1) ポータルサイトについてのご意見

◆良い点・悪い点等

- ・当サイトを使う側の問題なので良い点、悪い点はとくにない。
- ・どのくらいの方がどんな目的で。どのくらい反響あるか確認してみたいと考え、広告のバナーを変えた場合の反響も試している。月ごとに見ると問い合わせが増えているので、木造で何かをやらうとする人が増えている認識でいる。
- ・どういう発信をしていくのが課題である。新しい情報に更新していくことが問われているので、企業なり団体なりの努力が必要である。
→防耐火の動画、見学会等情報は日々集めている。サイトが廃れないようにしたい。その後更新されていないものがあるが、基本は毎日更新したい。有益かつ興味を引く情報を発信している。（事務局：高橋）
- ・広告バナーは月に1度変えるようにしている。特定のバナーをチェックしている人多い。目につくデザインにするよう意識している。

◆団体として提供したい・できそうな情報

〔動画情報〕

- ・2022年4月に開館した山形市の「シェルターインクルーシブプレイスコパル」の動画は、どのように提供できるか検討して構成している所である。
→動画製作過程からポータルの運営業務の中でやってみてはという話がある。（事務局：高橋）
- ・あったら検討してみたい。プレイヤーが増えるとよい。
→木造の価値、意義について情報発信して、参加者を増やしていくのは重要である。（事務局：大倉）

〔設計技術情報〕

- ・耐火関連情報については、木造の耐火構造が見られる機会は少ないので、建物が完成した際に積極的に公開し、見学会も開催している。積極的に公開してもらうように。協会も支援すると共にオーナー、設計、建設会社に協力してもらっている。

〔講習会情報〕

- ・木質耐火部材を用いた木造耐火建築物設計 マニュアルの第二弾の講習会を開催している。

◆その他

- ・ビルオーナー、幼稚園・保育所のオーナー（園長先生）、高齢者施設関連のオーナー等、木で建てたいと思う人が増えてもらうのがよい。施主が建てたいというのが一番早い。
→施主が木造で建てたいと言っても、設計者が木造経験ないと木造が実現できない。現在は設計者が木造を選択できるようにする段階で、施主は次の段階と考えている。（事務局：高橋）
→素人が見る入口作った方がいい。事例→コスト、耐火と入ってガイドするような素人向けの道筋ができるといい。（事務局：大倉）
→医療福祉系の方が集まる場に本サイトを知ってもらおうとよい。医療福祉系の大会がある場合には情報

提供している。施主の開拓、認識を持ってもらうのも必要である。

(2) 中大規模木造建築の普及に向けてのご意見

◆普及にあたっての課題・問題等

[木現しに対する考え方]

- 石膏ボードは告示で使え、コストを考えると石膏ボードに勝るものはない。木の場合は薬剤注入しかないが高価である。石膏ボードは作る時のインシヤルコスト、解体する時のコスト。改修の仕組みまで考えられている。木造でやるからには木を現しにするというのがあるが、海外はポストアンドビームを石膏ボードで囲って木を現しにしないケースも多い。
→木造の場合、見えてなくても現場は寒くない。木造の快適性を経験してもらうの重要である。(事務局：大倉)
- 中大規模というと、3.5~4寸角でつくる老健1000坪という領域だけでなく、地方都市では4~5層の高層建築も必要ではないか。木造だから現しにしるとリードしすぎていないか。現しに普及版木造と2択でできるようにした方がよい。

◆課題・問題解決への取組み（予定を含む）

[技術開発について]

- 木造の場合、雨仕舞と火の出ない作業大事であると考え、資料を提供している。
- 告示仕様と大臣認定仕様の取合いや、木造の柱と鉄骨の梁の取合い等の納まりについて、実験検証を通じて講習会で紹介している。
- 接合部の開発を進めている。耐火被覆の中に接合が含まれているのが条件となるが、理解しづらい所である。最終的にはマニュアルを整理して提唱していきたい。
- 中高層建物の外被の目標値の一番はコストである。仙台駅前の高惣木工ビルでは、RC、Sの賃貸価格調査から建設費を算出し、銀行から承認を得た。外壁は乾式とし、塗装と目地止めは現場で行ったが、プレハブ化できるとよかった。工場生産で取り付ける部分も試みている。屋根に設備を設置するので、振動、遮音、防水、設備機器の設置方法は今後の課題である。

[サプライチェーンについて]

- プレカット工場によって設備が異なる。地方の中小規模工場で生業が成り立つようにする必要がある。30工場に対して、人材育成も含め進めている。

◆普及するべきターゲット

[主体]

- 大手・中堅デベロッパーが木造を試みる流れになっている。まずは仕事を作るためには施主をターゲットするべきである。
→地に足の着いた普及版の事例を作っていく必要がある。(事務局：大倉)

以上

実施日時：令和4年11月2日（水）16：30～18：00（Zoom ミーティング形式）

ヒアリング対象者：清野、近藤、坂口（一般社団法人 日本ツーバイフォー建築協会）

事務局：金子、高橋、板橋、渡部（住木センター）／大倉、埴（アレルト 建築研究所）（以上、敬称略）

(1) ポータルサイトについてのご意見

◆良い点・悪い点等

[コンテンツ]

- ・中大木データベースへは中大規模木造建築入門ガイド経由だとわかりにくいので、建築紹介というタブを1項目追加してすぐにアクセスできるとよい。
- ・設計事務所は木造コーディネータを見つけないと取組みにくい。相談窓口の情報が必要ではないか。団体の資料を集約して公開するだけでなく、取り組みたいことを入力すると関連の資料が集められる等、方向付けしてくれる機能があるとよい。仕組みの紹介程度でもよい。
 - 熊本の木造設計アドバイザー制度では、アドバイス、コーディネートできる人、県産材扱う加工場等を紹介している。県内の地方公共団体が発注する木造建築物の設計に対してアドバイスを上乗せしてアドバイザーを派遣している。（事務局：大倉）
 - 相談窓口については、木活協でそれぞれの地域でできること・できないこと等、地域間連携のツールを作っている。来年春頃に整理できるので、本サイトに上げる予定である。（事務局：大倉）
- ・誰がいつ何をやらないといけないかがわかる、段取りのフローを示してあげるとよい。入札前に先行して材料を発注しないとけない等、発注者が理解しておく必要がある。
- ・相談箱の運用について、質問して回答する人がいないときはサイト側で回答を入れているのか。
 - 運営 WG で回答できないか検討しているが、主事判断が必要となるような回答しにくいものもある。（事務局：高橋）
- ・動画による事例紹介はわかりやすくよい。

[その他]

- ・国産材が供給されるようになってきたので、担い手サプライチェーンに工場のリストを加えたい。
- ・次年度から補助事業でなくなるとサイトの自由度は拡大するのか？
 - 収益的なものでは進めない。このままの延長の予定である。運営規約を用意している。構成メンバーの自主的な判断で趣旨にそうものは積極的にのせてもらう。（事務局：金子）
- ・耐震性能シミュレーションソフト「wallstat」で確認申請まではできないが、普及は進んでいる。（一社）耐震性能見える化協会は掲載してはどうか。（坂口）
- ・日本建築家協会へのリンクはされているか？
 - 設計者情報としては、リンク集に日本建築家協会、建築士会連合会、建築士事務所協会連合会はあげている。（事務局：高橋）
 - 設計者を乗せるのいいが本当に対応ができるのか懸念がある。（事務局：大倉）

◆団体として提供したい・できそうな情報

- ・新しい情報は、随時お知らせしたい。
- ・運営団体のページ作ってもらい、そこに入れておけばアップロードしてもらえるとよい。
 - それぞれの団体で情報登録できるようにしようとしている。伝えたいことをタイムリーに伝えられるようにしたい。（事務局：高橋）

- ・内容によって担当が分かれてしまっている。また、資料の改訂・更新もある。自分たちで更新できるとよい。団体のホームページを更新する際に合わせて更新するので、その都度連絡する。

(2) 中大規模木造建築の普及に向けてのご意見

◆普及にあたっての課題・問題等

- ・中大規模木造は、建築家が主導し、木の現しにこだわっているが、大量に木造建築を供給していこうと思うと現しでは難しい。ヨーロッパではCLTを用いても現しとしていない。CO₂の削減を目的で木造とするのであれば、現しとしなくてもよい。2×4は材種が少なく(5~6種類)、また歩留まりもよい。短工期でコストパフォーマンスがよいのが2×4である。ギャングネイルトラスが最も安く、畜舎では普及が進んでいる。メリットのあるもの使っていく理解が進むとよい。
 - 表彰制度では木現しが前提となり、現しとすることに拍車をかけている。隠しても評価されると変わってくるのではないか。(事務局：高橋)
 - 中高層になると木現しにはできない。ヨーロッパでは木が人を包み込む環境が如何に気持ちがいいか、木造のポテンシャルを理解している。木造は被覆されても快適であることの体験を増やしていくとよい。(事務局：大倉)

◆課題・問題解決への取組み(予定を含む)

[技術開発について]

- ・NLTの遮音性能の計測は実施し、当団体の会員専用ページに公開している。NLTの振動試験は継続中である。
- ・ハウスメーカー、コンポーネント会社、製材工場が集まって協議会を作る準備を進めている。11/8に設立総会を開催予定である。
- ・国交省補助で2×4パネル工法の標準的なものへの統一化を進めている。
- ・建築基準整備促進事業 F22：「防火設備の告示仕様等に係る検討」で省エネ性、防火性を有するサッシについて継続検討中であり、今年度でまとまりそうである。

◆普及すべきターゲット

[用途]

- ・高齢者施設、幼稚園・保育園、サ高住、ホテルが2×4の得意分野である。

以上

2. 3 ポータルサイトのシステム改良、拡充内容

(1) ポータルサイトのシステム改良、内容の拡充検討の方法

本ポータルサイトのシステム改良、拡充内容の検討に当たり、学識者、関係機関、関係団体から構成される「中大規模木造建築ポータルサイト検討委員会」（委員長：大橋 好光 東京都市大学名誉教授）、（以下「本委員会」という。）及び当該委員会のコアメンバーからなる運営WG（主査：山代 悟 有限会社 ビルディングランドスケープ代表取締役／芝浦工業大学建築学部教授）において、検討を重ね、ポータルサイトの直接的なユーザーのほか、主要なターゲットとして想定される設計者（意匠設計者、構造設計者等）をはじめ、中大規模木造建築に関わる施工者や部材供給事業者、建築主や金融・投資家サイド等の情報ニーズを第一に反映することとした。

このため、以下の取組により、中大規模木造建築に関する情報ニーズを把握し、ポータルサイトのシステム改良、内容の拡充を検討することとした。

- ① ポータルサイトのアクセス状況の把握
- ② ポータルサイトでの利用者アンケートの実施
- ③ 関係団体に対するポータルサイトに関するヒアリングの実施
（内容については、2. 2 ヒアリング結果概要のとおり）

(2) ポータルサイトのアクセス状況概要

ポータルサイトのユーザーの情報ニーズを把握し、ユーザーのニーズに沿ったポータルサイトのシステム改良、内容の拡充に努め、中大規模木造建築に関する一元的な情報提供を行うポータルサイトとして発展していくため、将来の持続的な運営基盤の確立を目指して、ポータルサイトのアクセス数の目標ほか、顧客となるユーザー登録会員数に関する目標を設定するとともに、ポータルサイトの各ページのアクセス状況、キーワード検索の内容等について把握、解析を行った。

アクセス状況の把握、解析に当たっては、Google Analytics 及び独自の解析プログラムを開発して行った。

令和5年2月28日現在のアクセス状況の概要は以下のとおり。

① アクセス数の目標値と実績値

表 2-3-1 ポータルサイトのアクセス数の目標値と実績値一覧

	セッション数		ユーザー数*3			直帰率(%)A		直帰率(%)B	
	全体	会員	全体	会員	新規*3	全体	会員	*2	
R5年3月末 目標	15,000 /月	3,000 /月*1	12,000 /月	650/月 *1		50% 以内			
R4	4月	12,440	2,146	8,030	325	6,965	52.18	23.77	44.95
	5月	12,305	1,549	8,543	298	7,371	55.74	25.11	46.75
	6月	11,024	1,625	6,999	291	5,995	51.86	27.38	45.22
	7月	11,503	1,864	7,348	333	6,240	52.44	26.58	45.07
	8月	10,275	1,223	6,927	287	5,966	55.93	29.93	46.33
	9月	10,421	1,360	6,872	277	5,961	55.55	26.62	46.38
	10月	11,527	1,644	7,489	304	6,496	53.24	22.99	45.54
	11月	11,696	1,561	7,685	311	6,553	54.28	32.22	43.32
R5	12月	13,720	2,388	8,122	366	6,886	49.04	22.99	44.98
	1月	13,108	1,674	8,322	341	7,086	53.58	24.61	44.28
	2月	14,230	2,185	8,726	372	7,360	53.96	27.64	45.53

*1:アクセス解析の会員判定は2021年9月15日以降ログイン履歴があり、Cookieを削除していない会員。

*2:新指標 GA4 による[エンゲージメント率]と100%の差で求めた値。

エンゲージメント:閲覧が10秒以上継続したセッションはエンゲージメントしたセッションとする指標。

*3:過去にセッションしたことが無く、当月、初めてセッションしたユーザーの数。但し、Cookieを削除または有効期限切れ、異なるブラウザや機器でのセッションは異なるユーザーとなります。

② 登録会員数の推移

表 2-3-2 ポータルサイトの登録会員数の推移

R5年3月末 目標 1,500	R4年									R5年	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
会員数(累計)	956	988	1,031	1,069	1,102	1,122	1,200	1,317	1,416	1,448	1,483

③ 会員の属性別内訳

会員数：1,483人（R5年2月28日）

会員の属性別内訳（延べ人数：1,854人）*会員属性は2種登録可能。

	延べ 人数	%		延べ 人数	%
意匠設計事務所	371	20.0%	建材メーカー	101	5.4%
構造設計事務所	209	11.3%	林業	12	0.6%
設備設計事務所	4	0.2%	製造業	64	3.5%
ゼネコン（設計）	146	7.9%	プレカット加工業	90	4.9%
ゼネコン（施工）	79	4.3%	木材流通業	64	3.5%
ゼネコン（その他）	72	3.9%	行政	63	3.4%
ハウスメーカー（設計）	71	3.8%	大学／研究機関	54	2.9%
ハウスメーカー（施工）	28	1.5%	公益団体／NPO	33	1.8%
ハウスメーカー（その他）	55	3.0%	その他	216	11.7%
工務店・大工	90	4.9%	属性なし	32	1.7%

④ 主なアクセス内容（全ユーザー）

④ -1 [ページビュー ランキング*1] 対象期間：R4年4月1日～R5年2月15日

ページ タイトル	ページビュー数
中大規模木造建築ポータルサイト(TOP ページ)	60,696
設計技術情報	23,318
中大規模木造建築入門ガイド	13,261
講習会情報	9,378
担い手・サプライチェーン情報	8,628
補助金・表彰制度情報	7,465
動画情報	5,172
ユーザー登録	3,044
ポータルサイトについて	2,596
リレーコラムもく log(R4年11月～掲載開始)	2,335
相談箱	1,919
よくある質問	1,391
委員会について	544
アンケート	254
お問い合わせ	206

*1：検索結果および個別の掲載情報は除き、画面上部メニューによる分類のページビュー

④ -2 設計技術情報の情報別イベント数（各情報に付されたリンクボタン等のクリック）

ランキング R4年4月1日～R5年2月13日

情報タイトル	イベント数
高層木造ビル事例集	1,393
木でつくる中大規模建築の設計入門	1,230
非住宅施設の木造化にかかる低コストマニュアル・事例集	938
中規模ビルの木造化のすすめ「木でつくる 中規模ビルのモデル設計」(令和3年度)	701
中大規模木造公共建築物事例集	661
木造低層小規模建築物事例集	650
木質工事特記仕様書および木造軸組接合部標準図	544
木造低層小規模建築物の実践方策の手引き～非住宅建築物の木造化に向けて～	531
公共建築木造工事標準仕様書	510
茨城県産材 中大規模木造建築物促進マニュアル(茨城県)	446
公共建築物における木材利用優良事例集	405
木造建築物の床衝撃音対策～考え方と測定データ	383
建物の内装木質化のすすめ「内装木質化した建物事例とその効果」(令和3年度)	380
中大規模木造建築物設計のための大断面集成材スパン表(金物データ付き)	379
非住宅木造建築詳細設計テキスト～外部開口部:窓～	379
木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2017年版)	359
JAS 構造材が拓くニッポンの木造	323
CLT 建築事例集 2021	309
中大規模木造建築データベース	294
ウッドデザイン賞 受賞作品データベース	289
脱炭素社会づくりを推進する木造中高層建築のすすめ	285
バリアフリー法逐条解説(建築物)2021年版	277
中大規模木造建築物設計のための大断面集成材スパン表(令和4年12月版)	276
『ここまでできる木造建築のすすめ』(令和2年度版)	267
建築コスト研究 118号(特集 建築物への木材利用の加速化～様々な木造建築物の挑戦～)	262
身近なまちの建物の木造化のすすめ「建ててみましょう!木造で」	259
モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～(令和4年6月No.9)	252
モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～(令和4年8月No.11)	241
『京都の木で木造建築物を建てるための…チリヌ』(経済波及効果編)	236
森とまちをつなぐ 木と建築 No.1	231
オフィス木質化 GUIDE	225

建築コスト研究 117号(特集 建築物への木造利用の加速化～行政等の取組み～)	223
CLT 建築物ディテール集	219
木造建築物の振動障害に関する設計資料	212
住宅供給における安定的木材需給のための連携のすすめ	211
くまもと県産木材による木造建築物普及の手引き	207
モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～(令和4年9月 No.12)	206
モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～(令和4年11月 No.14)	201
森林を活かす都市の木造化推進法	199
「建てるのなら、木造で」	198
中大規模木造建築のコストマネジメント・ガイドブック	194
モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～(令和4年12月 No.15)	190
くまもと県産木材中大規模木造建築物計画・設計のご案内(施主、事業者向け)	189
モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～(令和4年10月 No.13)	182
サステナビリティ経営のための CLT 活用ハンドブック	179
モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～(令和4年7月 No.10)	178
モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～(令和5年1月 No.16)	174
横架材の国産材活用マニュアル	173
既存木造建築物健全性調査・診断の考え方(案)(木質部材・接合部等)	164
モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～(令和4年5月 No.8)	161
モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～(令和4年4月 No.7)	154
木構造テラス流 中規模木造構造設計の実務マニュアル	154
中大規模木造建築物の耐久設計と維持保全	149
木造建築物の防・耐火設計マニュアル	148
公共建築物における木材の利用の取組に関する事例集(令和2年版)	145
CLT を用いた建築物の設計施工マニュアル 2021年構造・材料増補版	144
木造の中層建築物を木材がそのまま見えるあらかわしで建築できるようになりました	140
こうすればできる「純木造3階建て事務所建築」中大規模木造の検討	139
建築技術 2022年 11月号 [雑誌]	139
JSCA 版木造建築構造の設計	124
木造軸組接合部標準図(金物工法)	111
中大規模木造設計セミナーテキスト	105
CLT 建築物の設計ガイドブック	98
中規模ビルの木造化のすすめ “木でつくる”中規模ビルのモデル設計	98
科学的データによる木材・木造建築物の Q&A	91
令和3年度 森林・林業白書	88

⑤ 全ユーザーの検索機能によるワード選択数 R4年5月17日～R5年2月15日

*本ポータルサイトの条件検索を利用し検索（選択）されたキーワード。

<設計技術情報>

設計技術情報	
意匠設計	83
材料	64
構造設計	232
防火設計	99
設備設計	10
耐久性・維持管理	38
環境・省エネ	15
遮音・振動	24
積算	12
施工	20
コスト（建築主向け）	34
木造の良さ（建築主向け）	14
資料の識別	
テキスト	54
事例集	73
web サイト・データベース	35
標準図・設計例	99
工法（任意）	
木造軸組	129
木造ラーメン	53
2×4	27
CLT パネル	45
混構造	20
その他	18

建物用途（任意）	
全般（建物用途不問）	54
事務所・庁舎	27
店舗	16
共同住宅	19
学校	10
幼稚園	13
保育所	17
図書館・博物館	5
体育館	4
集会場・ホール	8
病院・診療所	7
高齢者福祉施設	12
ホテル・旅館	5
工場・倉庫	13
その他	6
オススの種類	
中大規模木造建築をこれから始める方にオススメ	37

<講習会情報>

講習会種別の選択	
講習会・セミナー	207
シンポジウム	19
見学会	21
その他	6
講習形式	
対面	101
web・オンライン	76
DVD 配布	9
講習内容の選択	
意匠設計	33
材料	9
構造設計	69
防耐火設計	22
設備設計	7
耐久性・維持管理	17
環境・省エネ	97
遮音・振動	7
積算	4
施工	24
コスト（建築主向け）	6
木造の良さ（建築主向け）	11

工法（任意）	
木造軸組	120
木造ラーメン	32
2×4	25
CLT パネル	12
混構造	16
その他	19
対象者の選択	
意匠設計者	79
構造設計者	53
その他	37

<動画情報>

設計技術情報	
意匠設計	10
材料	6
構造設計	12
防耐火設計	5
設備設計	0
耐久性・維持管理	4
環境・省エネ	4
遮音・振動	0
積算	0
施工	1
林業	0
コスト（建築主向け）	0
木造の良さ（建築主向け）	1

動画の種類	
講習会・シンポジウム	16
事例紹介	13
インタビュー・説明	6
建設・製造・加工	2
実験	5
ニュース・特集	3

工法（任意）	
木造軸組	15
木造ラーメン	4
2×4	3
CLT パネル	4
混構造	0
その他	0

オススメの種類	
中大規模木造建築をこれから始める方にオススメ	13

⑥ 会員限定機能[お気に入り]の利用状況

R3年11月1日～R5年2月28日の情報登録数（累計）

入門ガイド	142
設計技術情報	429
補助金・表彰制度	49
講習会情報	355
動画情報	319
もく log	72

⑦ もく log のアクセス状況

対象期間：R4年11月1日～R5年2月28日

[ページビュー] 2,367 *各コラムの一般公開期間中のページビューは200～400程度

⑧ SNS 拡散機能と URL コピーの利用状況

		R4 年						R5 年		
		6 月 10 日～	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月
Facebook	シェア数	3	7	5	5	10	3	2	2	3
	経由セッション数	75	145	218	81	99	126	121	88	87
Twitter	シェア数	2	3	1	3	0	2	2	1	13
	経由セッション数	94	188	151	142	111	135	148	188	440
Line	シェア数	3	1	3	3	1	7	2	0	4
Yahoo! Chiebukuro	経由セッション数	5	10	12	16	22	20	12	21	26
YouTube	経由セッション数	0	6	5	9	17	19	25	12	2
FC2	経由セッション数	0	6	0	1	0	0	0	0	0
URL コピー数		71	148	122	119	132	127	166	70	84

⑨ 会員の属性別の傾向

例：：設計技術情報×設計技術情報（R4 年 5 月 17 日～R5 年 2 月 15 日）

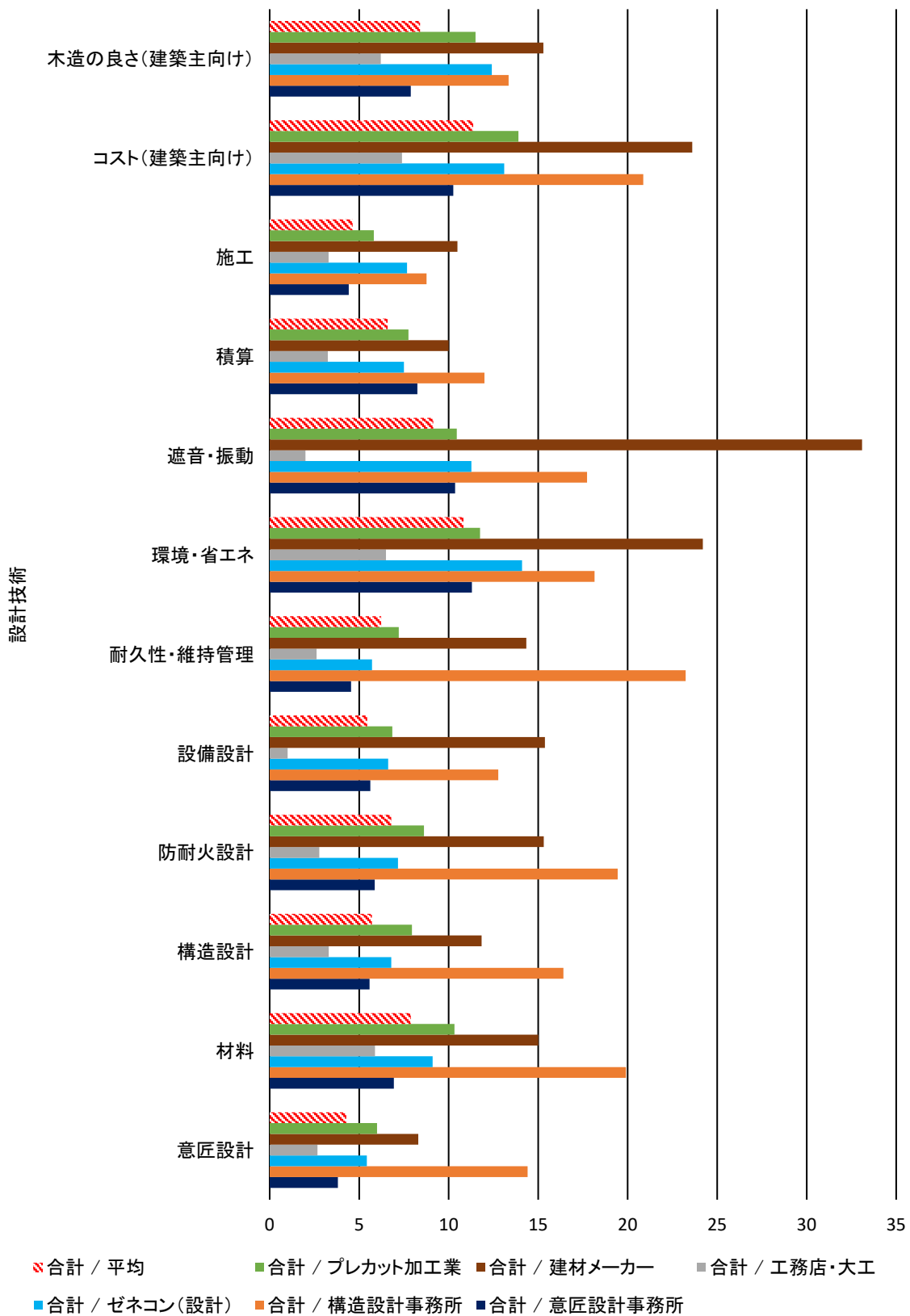
補正係数による歪みの少ない（登録会員数の多い）属性のデータを示す。

補正係数：各属性間の比較を行う為、属性人数を 400 に補正した値。400/属性人数。

イベント数：会員の各情報に付された内外リンクボタンのクリック数。

各属性の棒：強い関心を示した度合い。属性別の各項目のイベント数に補正係数を乗じた値を
情報数で除し、情報 1 件当たりの関心度を求めた値。

赤斜線横棒：会員全属性の棒（値）の平均値。



(3) ポータルサイトのシステム改良の内容

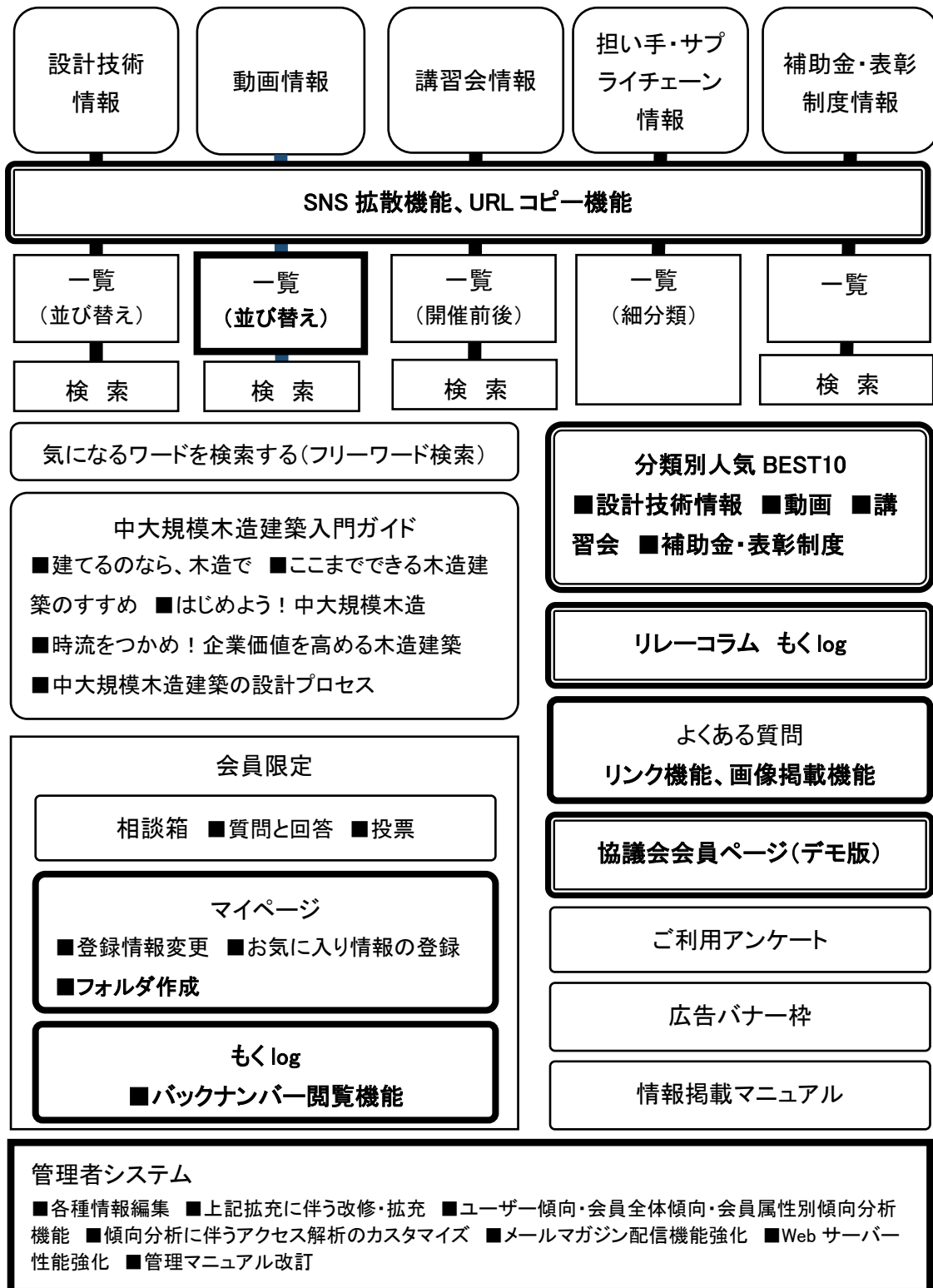
このような検討を経て、本ポータルサイトのシステムに関して、以下のような各種機能の追加、管理者システムの改良を行った。

- 各種機能の追加：
 - ① SNS 拡散機能、URL コピー機能の追加
 - ② 分類別人気BEST10コンテンツ表示の追加
 - ③ 「よくある質問」にリンク機能等の追加
 - ④ 動画情報の検索結果の並び替え機能の追加
 - ⑤ リレーコラム「もくlog」の新設
 - ⑥ 「お気に入り」のフォルダー作成機能の追加

- 管理者システムの改良：
 - ⑦ 傾向分析に伴うアクセス解析のカスタマイズ
 - ⑧ ユーザー傾向・会員全体傾向・会員属性別傾向分析機能
 - ⑨ メールマガジン配信機能強化
 - ・ 配信数/時の増強、他
 - ⑩ Webサーバー性能強化
 - CPU 処理速度向上、ネットワーク高速化、ハードウェアの無停止メンテナンス追加、他
 - ⑪ 管理マニュアル改訂

(図 2-3-1 ポータルサイトの構成図にシステム改良の内容を示す。)

図 2-3-1 ポータルサイトの構成図



* 太枠・太字部分: 今年度拡充内容

(図 2-3-2 管理マニュアルの表紙～目次を示す。)

図 2-3-2

中大規模木造建築ポータルサイト管理システム

利用マニュアル

閲覧は管理者・編集者に限定

第 3.00 版

2023 年 3 月 2 日

管理者マニュアルはセキュリティの都合上、公開は目次までとします。

改訂表

改訂日時	改訂内容
2021.01.29	第 1.00 版作成
2021.02.05	第 1.01 版に改訂 [改訂箇所] 1) 3 頁「3.権限分別」
2022.03.02	第 2.00 版に改訂 [主な改訂箇所] 1) 以下を追加 ・動画情報 ・各種集計 2) 以下を変更 ・広告バナー
2023.03.02	第 3.00 版に改訂 [主な改訂箇所] 1) リレーコラム「もく log」を追加 2) 協議会会員を追加 3) 会員全体および会員属性別傾向分析を追加 4) 全ユーザー（会員・非会員）傾向分析を追加 5) Google Analytics についてを追加

目次

1. ご利用にあたり.....	1
(1) 推奨環境.....	1
(2) 用語.....	1
2. 管理者および編集者の登録およびログインについて.....	2
(1) 管理者および編集者の新規登録手順.....	2
(2) ログインについて.....	2
(3) ログアウトについて.....	2
(4) 登録情報の変更.....	2
3. 権限分別.....	3
4. 機能.....	4
4. 1 基本的な共通操作.....	4
4. 2 入門ガイド.....	8
4. 3 設計技術情報.....	9
4. 4 動画情報.....	12
4. 5 講習会情報.....	12
4. 6 担い手・サプライチェーン情報.....	14
4. 7 補助金・表彰制度情報.....	15
4. 8 よくある質問の登録.....	15
4. 9 相談箱.....	18
4. 10 広告バナー.....	20
4. 11 会員.....	20
4. 12 新着情報およびリンク集.....	23
4. 13 もく log.....	24
4. 14 協議会会員.....	27
4. 15 各種集計.....	27
4. 15 会員属性別傾向分析.....	29
5. Google Analytics について.....	37
5. 1 現バージョン UA の利用停止について.....	37

① SNS拡散機能、URLコピー機能の追加

中大規模木造建築を手がけようとしているポータルサイトの利用者が、ポータルサイトから入手した情報を、知人や共同事業者等にインターネットを活かして手軽に知らせることができるように、SNS拡散機能、URLコピー機能を追加した。

具体的には、図 2-3-3 のとおり、設計技術情報や講習会情報、補助金・表彰制度情報等の検索結果の画面に Facebook や Twitter、Line のバナーを設けるとともに、当該サイトのURLを表示して、ワンクリックでスムーズに情報を伝えることができるようにした。



図 2-3-3 SNS拡散機能、URLコピー機能の追加

② 分類別人気 BEST10 コンテンツ表示の追加

ポータルサイトの利用者が、どんな新しい情報がポータルサイトに掲載され、検索、閲覧されているのか把握することができるよう、分野別に人気 BEST10 コンテンツの表示を追加した。

具体的には、図 2-3-4 のとおり、ポータルサイトの TOP ページ右側中段に、設計技術情報、動画情報、講習会情報等の分野別に、過去 7 日間のアクセス件数の多い BEST10 のコンテンツが表示され、ワンクリックで当該紹介ページに進むことができるようになりました。

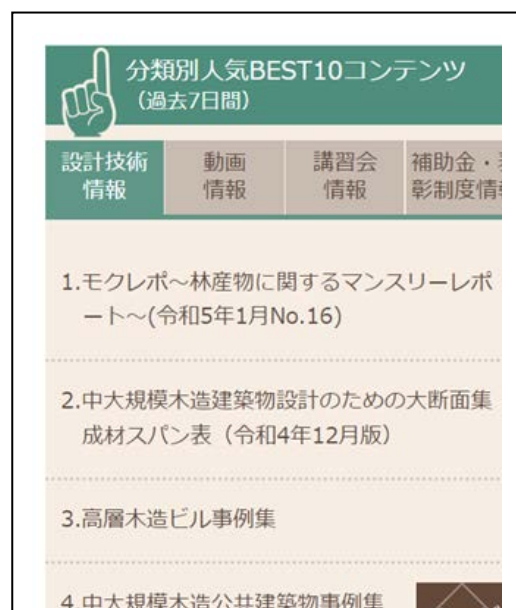


図 2-3-4 分野別人気 BEST10 コンテンツ表示例

③ 「よくある質問」にリンク機能等の追加

ポータルサイトのユーザー登録をして頂くと、ポータルサイトの「相談箱」に中大規模木造建築に関する様々な質問を掲載し、他のユーザー登録者等から回答を得ることができる。この「相談箱」に掲載された中大規模木造建築に関する質問のうち、一般的によく聞かれる質問と回答について、ポータルサイトの「よくある質問」のページに掲載している。

令和4年度において「よくある質問」の利便性の向上を図るため、ポータルサイトの利用者が、「よくある質問」の回答内容で説明されている引用文献や図表等について、スムーズにアクセスできるように、図2-3-5のとおり、URLリンクと図表等の画像データを掲載する機能を追加した。

Q 建築物に使用する木材の樹種により、炭素貯蔵量は変わりますか。

A 木材の炭素貯蔵量の計算方法は、林野庁「建築物に利用した木材の炭素貯蔵量の表示ガイドライン」に示されています。 <https://www.rinya.maff.go.jp/j/press/mokusan/211001.html>

製材の場合、炭素貯蔵量 (t-CO₂) は、材積 (m³)、密度 (t/m³)、炭素含有率 (定数0.5)、係数 (0.5) で算出することができます。これはすなわち、密度の約1.8倍の炭素を貯蔵するということで、同じ材積 (重い) 樹種ほど炭素貯蔵量は大きくなります。

下表は、主な樹種の材積10m³における炭素貯蔵量を例示したものです。

樹種	スギ	ヒノキ	カラマツ
密度 (t/m ³)	0.33	0.38	0.44
炭素貯蔵量 (t-CO ₂)	6.05	6.97	8.07
炭素貯蔵量の比率 (スギを1.0とした場合)	1.0	1.15	1.33

図 2-3-5 「よくある質問」の URL リンクと画像掲載例

④ 動画情報の検索結果の並び変え機能の追加

中大規模木造建築の設計、施工事例を分かりやすく紹介する動画情報の掲載件数が大きく増加したことから「動画情報が増えて見たい情報が探しにくい」といった声が寄せられた。このため、動画情報の検索結果について、新着情報順やアクセスの多い順等の利用者のニーズに合わせて、図 2-3-6 のとおり、検索結果の並び変えが行える機能を追加した。



図 2-3-6 動画情報の検索結果の並び変え画面例

⑤ リレーコラム「もく log」の新設

ポータルサイトの利用者にコラム形式で様々な分野の情報を気軽に読んで頂けるよう、図 2-3-7 のとおり、新たにリレーコラム「もく log」のページを設けた。この「もく log」のページでは、木造建築に関する出来事や気になる情報、各種の取組への感想等について、ポータルサイト検討委員会の委員を中心に執筆頂き、リレー形式で定期的に掲載している。

さらにユーザー登録をすると今までに掲載されたバックナンバーを閲覧することができるようにした。



図 2-3-7 「もく log」のアイコンと紹介ページ

【今までの掲載記事】

- どれくらい木造建築を建てるか
大橋好光 東京都市大学名誉教授
- 日本は木の国か、鉄の国か
山代 悟 ビルディングランドスケープ共同主宰／芝浦工業大学建築学部建築学科
教授
- 分かると面白い木材のこと
青木謙治 東京大学大学院農業生命科学研究科 准教授
- サステナブル建築物等先導地業にみる中大規模木造建築物の傾向
中島史郎 宇都宮大学地域デザイン科学部 教授
- 「木材はゆっくり燃える」を長所ととらえた防耐火技術いろいろ
安井 昇 桜設計集団一級建築士事務所代表
- 森林・林業白書を読んでもみませんか？
小林道和 株式会社竹中工務店木造・木質推進本部シニアチーフエンジニア
- 良質で“普通の”木造建築へ
青木哲也 株式会社青木工務店代表取締役
- タガタメ
功刀友輔 株式会社マルレーヴ代表取締役
- 広がる・繋がる木材利用の輪、いま思うこと
海老澤 渉 三菱地所設計 R&D 推進部 木質建築推進室 兼 構造設計部 チーフエ
ンジンニア 兼務 三菱地所 関連事業推進室 CLT WOOD PROMOTION ユニッ
ト 統括 兼務 MEC Industry 企画部 商品開発課 クリエイティブエン
ジンニア

⑥ 「お気に入り」のフォルダー作成機能の追加

ポータルサイトの利便性向上のため、ユーザー登録者を対象に、頻繁に使うサイトを「お気に入り」に登録し、気軽に呼び出せるマイページの機能を設けていますが、「登録情報が増えると見たい情報が探しにくくなる」という声がありました。

このため、「お気に入り」のページ内に図 2-3-8 のとおり、カテゴリー別にフォルダーを増設する等、ユーザー登録者のニーズ合わせてカスタマイズを行う機能を追加した。



図 2-3-8 「お気に入り」のカテゴリー設定の例

⑦ アクセス解析システムの改良

ポータルサイトのアクセス状況について把握するため、Google Analytics をベースに以下の項目についてポータルサイトの情報管理者が、随時把握できるようにした。

(Google Analytics の主な解析の追加項目)

- ・会員属性別×イベントカテゴリ別 (設計技術情報、講習会、動画、他) ×情報別×イベント数
- ・全ユーザー別×イベントカテゴリ別 (設計技術情報、講習会、動画、他) ×情報別×イベント数

⑧ 全ユーザーおよび会員の属性別分析システムの追加

上記⑬の情報をもとに全ユーザーおよび登録会員の属性 (意匠設計者、構造設計者等) 別にポータルサイトのアクセス状況について把握、分析するため、会員の属性別の分析システムについて追加改良を行った。

(主な分析項目)

- ・全ユーザー項目別関心度 (設計技術、講習会、動画)
- ・項目別会員属性別関心度 (設計技術、講習会、動画)
- ・会員属性別項目別関心度 (設計技術、講習会、動画)
- ・上記集計元データの表示

2. 4 ポータルサイトのコンテンツの拡充

① 設計技術情報

各種情報の掲載マニュアルを公開し、関係団体等から寄せられた各種設計技術情報について、ポータルサイトから検索できるようにコンテンツの拡充を行った。

令和5年3月現在、設計技術情報の登録した資料の件数は、総計で149件ある。その内訳をみると、多いものから、材料が80件、構造設計が76件、意匠設計が55件、防耐火設計が51件となっている。

それぞれ、テキスト、事例集、Webサイト・データベース、標準図で分類した登録した資料の件数は、以下の表2-4-1に掲げるとおりである。なお、件数の値は重複があり、合計値は総計の値と一致しない。

表 2-4-1 設計技術情報の登録した資料の件数一覧 (単位：件)

	テキスト	事例集	Web サイト等	標準図	総計
意匠設計	34	25	2	26	55
材 料	60	25	5	16	80
構造設計	55	32	3	36	76
防耐火設計	41	26	2	21	51
設備設計	12	7	0	6	13
耐久性・維持管理	26	14	1	9	29
環境・省エネ	18	11	0	4	20
遮音・振動	11	7	0	3	11
積 算	3	1	0	1	4
施 工	28	20	2	19	45
コスト	29	7	2	0	34
木造の良さ	19	25	3	5	37
合 計	116	54	7	38	149

令和4年4月から令和5年3月現在までに、設計技術情報のページに登録した具体の資料の名称については、次ページの表2-4-2に掲げるとおりである。

表 2-4-2 設計技術情報に登録した資料の名称一覧（順不同）

番号	提供先	資料名
1	林野庁林政部木材利用課建築物木材利用促進グループ	中大規模木造公共建築物事例集
2	林野庁木材利用課	公共建築物における木材利用優良事例集
3	林野庁	モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～(令和4年4月 No. 7)
4	林野庁	モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～(令和4年5月 No. 8)
5	林野庁	令和3年度 森林・林業白書
6	林野庁	モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～(令和4年6月 No. 9)
7	林野庁	モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～(令和4年7月 No. 10)
8	林野庁	モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～(令和4年8月 No. 11)
9	林野庁	モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～(令和4年9月 No. 12)
10	林野庁	モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～(令和4年10月 No. 13)
11	林野庁	モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～(令和4年11月 No. 14)
12	林野庁	モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～(令和4年12月 No. 15)
13	林野庁	モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～(令和5年1月 No. 16)
14	林野庁	モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～(令和5年2月 No. 17)
15	木造設計・建築普及検討委員会	くまもと県産木材による木造建築物普及の手引き
16	東京都産業労働局農林水産部森林課	オフィス木質化 GUIDE
17	鳥取県	鳥取県 中規模建築物木造化ガイドブック
18	中大規模木造建築加工施工技術検討委員会・スパン表 WG	中大規模木造建築物設計のための大断面集成材スパン表（令和4年12月版）
19	大成出版社	森林を活かす都市の木造化推進法
20	国立研究開発法人建築研究所	木でつくる中大規模建築の設計入門
21	国土交通省大臣官房官庁営繕部	公共建築木造工事標準仕様書
22	公益財団法人日本住宅・木材技術センター	CLT 建築事例集 2021 -CLT 活用建築物等実証事業から-
23	公益財団法人日本住宅・木材技術センター	中規模ビルの木造化のすすめ「木でつくる 中規模ビルのモデル設計」（令和3年度）
24	公益財団法人日本住宅・木材技術センター	建物の内装木質化のすすめ「内装木質化した建物事例とその効果」（令和3年度）
25	公益財団法人日本住宅・木材技術センター	木造低層小規模建築物の実践方策の手引き～非住宅建築物の木造化に向けて～
26	公益財団法人日本住宅・木材技術センター	木造低層小規模建築物事例集
27	公益財団法人日本住宅・木材技術センター	身近なまちの建物の木造化のすすめ「建ててみましょう！木造で」
28	公益財団法人日本住宅・木材技術センター	「建てるのなら、木造で」
29	公益財団法人日本住宅・木材技術センター	中大規模木造建築データベース
30	公益財団法人日本住宅・木材技術センター	中大規模木造低層建築物の耐久性向上のための設計・施工の手引き

番号	提供先	資料名
31	公益財団法人日本住宅・木材技術センター	CLT 建築事例集 2022 -CLT 活用建築物等実証事業から-
32	熊本県農林水産部森林局林業振興課	くまもと県産木材中大規模木造建築物計画・設計のご案内（施主、事業者向け）
33	岐阜県林政部県産材流通課	非住宅施設の木造化にかかる低コストマニュアル・事例集
34	株式会社日刊木材新聞社	国産材活用辞典
35	株式会社日刊木材新聞社	全国プレカット名鑑
36	株式会社日刊木材新聞社	木材・建材ハンドブック
37	株式会社創樹社	森とまちをつなぐ 木と建築 No.1
38	株式会社建築技術	建築技術 2019 年 02 月号 [雑誌]
39	株式会社建築技術	建築技術 2019 年 06 月号 [雑誌]
40	株式会社建築技術	建築技術 2019 年 10 月号 [雑誌]
41	株式会社建築技術	建築技術 2020 年 06 月号 [雑誌]
42	株式会社建築技術	建築技術 2021 年 02 月号 [雑誌]
43	株式会社建築技術	建築技術 2021 年 05 月号 [雑誌]
44	株式会社建築技術	建築技術 2021 年 06 月号 [雑誌]
45	株式会社建築技術	建築技術 2021 年 09 月号 [雑誌]
46	株式会社建築技術	建築技術 2022 年 03 月号 [雑誌]
47	株式会社建築技術	建築技術 2022 年 11 月号 [雑誌]
48	株式会社アルセッド建築研究所	住宅供給における安定的木材需給のための連携のすすめ
49	茨城県産材中大規模木造建築物促進協議会	茨城県産材 中大規模木造建築物促進マニュアル（茨城県）
50	一般社団法人日本建築学会	既存木造建築物健全性調査・診断の考え方(案)（木質部材・接合部等）
51	一般社団法人日本建築学会	木造建築物の振動障害に関する設計資料
52	一般社団法人日本ウッドデザイン協会	ウッドデザイン賞 受賞作品データベース
53	一般社団法人日本 CLT 協会	サステナビリティ経営のための CLT 活用ハンドブック
54	一般社団法人日本 CLT 協会	脱炭素社会づくりを推進する木造中高層建築のすすめ
55	一般社団法人中大規模木造プレカット技術協会	非住宅木造建築詳細設計テキスト～外部開口部：窓～
56	一般社団法人中大規模木造プレカット技術協会	木質工事特記仕様書および木造軸組接合部標準図
57	一般社団法人全国木材組合連合会	JAS 構造材が拓くニッポンの木造
58	一般社団法人京都府木材組合連合会	『京都の木で 木造建築物を建てるための…チリス』（経済波及効果編）
59	一般社団法人 木を活かす建築推進協議会	木造建築物の床衝撃音対策～考え方と測定データ
60	一般財団法人 建築コスト管理システム研究所	建築コスト研究 117 号（特集 建築物への木造利用の加速化～行政等の取組み～）

番号	提供先	資料名
61	一般財団法人 建築コスト管理システム研究所	建築コスト研究 118号(特集 建築物への木材利用の加速化～様々な木造建築物の挑戦～)
62	林野庁	木材利用促進本部事務局「建築物の木造化・木質化支援事業コンシェルジュ」
63	林野庁	モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～(令和5年3月 No.18)
64	ウッド・チェンジ協議会高層ビルグループ	高層木造ビル事例集
65	一般社団法人全国木材組合連合会	建築用木材の技術開発・普及事業成果ホームページ
66	TOSAZAI センター	高知の木で都市木造ハンドブック 2022

② 動画情報

令和4年4月から令和5年3月現在までに、動画情報のページに登録した具体の動画情報の名称については、表2-4-3に掲げるとおりである。

表2-4-3 動画情報に登録した情報の名称一覧（順不同）

番号	掲載先	動画タイトル
1	木材で街づくり	スゴいぞ！ニッポンの木のチカラ 2022 全編
2	木材で街づくり	スゴいぞ！ニッポンの木のチカラ 2022 (1) 横浜に誕生！木でつくられた高層ビル
3	木材で街づくり	スゴいぞ！ニッポンの木のチカラ 2022 (2) こだわりの国産素材！協和木材の集成材製造技術
4	木材で街づくり	スゴいぞ！ニッポンの木のチカラ 2022 (3) サステナブル社会実現のために！挑戦し続けるトーセン
5	木材で街づくり	スゴいぞ！ニッポンの木のチカラ 2022 (4) 地元の木材で造られた名所 OYAKI FARM
6	木材で街づくり	スゴいぞ！ニッポンの木のチカラ 2022 (5) 日常風景に木があふれる街に！小田原木塀プロジェクト
7	日本 CLT 協会公式	【アーカイブ配信】「CLT フォーラム 2021」 CLT 技術書籍解説
8	日本 CLT 協会公式	「CLT パネル工法建築物の建て方」編
9	日本 CLT 協会公式	森林・木造建築の北欧先進国「スウェーデン」～「Wood City Sweden (Trästad Sverige)の取り組み」
10	日本 CLT 協会公式	森林・木造建築の北欧先進国「スウェーデン」～「Wood City Sweden (Trästad Sverige)の取り組み」【インタビュー】
11	日本 CLT 協会公式	ディスカッション～日本の木造建築産業の発達と CLT 利用促進により地方創生をはかるためには
12	日本 CLT 協会公式	CLT で、未来に備える。～サステナビリティ経営のための CLT 活用
13	東急建設グループ技術展	東急建設における建築物 CO2 排出量算定の取り組み
14	大林組公式チャンネル	木造から考える循環型建築への取り組み「Circular Timber Construction」
15	施設部施設企画課	(文部科学省) 学校施設における木材利用について
16	施設部施設企画課	(林野庁) 進めよう！ウッドチェンジ～学校施設へのさらなる木材活用に向けて～
17	施設部施設企画課	(国土交通省) 建築基準法と木造建築に係る補助事業について
18	国土交通省住宅局建築指導課	改正建築物省エネ法及び改正建築基準法等に関する説明動画（第1弾）
19	国土交通省住宅局建築指導課	(国土交通省) 改正建築基準法について
20	国土交通省住宅局建築指導課	(国土交通省) 改正建築基準法等に関する説明動画（令和5年4月施行分）

番号	掲載先	動画タイトル
21	公益財団法人日本住宅・木材技術センター【公式】	中規模ビルの木造化のすすめ「木でつくる 中規模ビルのモデル設計」
22	公益財団法人日本住宅・木材技術センター【公式】	中大規模木造建築の基礎知識『建てるのなら、木造で』 1. はじめに
23	公益財団法人日本住宅・木材技術センター【公式】	中大規模木造建築の基礎知識『建てるのなら、木造で』 2. 現代の木質材料
24	公益財団法人日本住宅・木材技術センター【公式】	中大規模木造建築の基礎知識『建てるのなら、木造で』 3. 現代の防耐火技術
25	公益財団法人日本住宅・木材技術センター【公式】	中大規模木造建築の基礎知識『建てるのなら、木造で』 用途編 1.事務所
26	公益財団法人日本住宅・木材技術センター【公式】	中大規模木造建築の基礎知識『建てるのなら、木造で』 作品紹介映像 日本初の純木造7階建テナントビル 高窓木工ビル
27	公益財団法人日本住宅・木材技術センター【公式】	中大規模木造建築の基礎知識『建てるのなら、木造で』 材料編 1.CLTとその未来
28	公益財団法人日本住宅・木材技術センター【公式】	中大規模木造建築の基礎知識『建てるのなら、木造で』 作品紹介映像 高層純木造耐火建築のパイロットプロジェクト PortPlus
29	公益財団法人日本住宅・木材技術センター【公式】	中大規模木造建築の基礎知識『建てるのなら、木造で』 中大規模木造建築の構法 一般流通材を用いた汎用非住宅木造建築
30	公益財団法人日本住宅・木材技術センター【公式】	中大規模木造建築の基礎知識『建てるのなら、木造で』 中大規模木造建築の構法 小径材による非住宅木造建築の空間
31	公益財団法人日本住宅・木材技術センター【公式】	脱炭素社会に向けての基礎知識 『ESG投資がひらく中大規模木造建築の未来』前編
32	公益財団法人日本住宅・木材技術センター【公式】	脱炭素社会に向けての基礎知識 『ESG投資がひらく中大規模木造建築の未来』後編
33	株式会社鈴工	鈴工 CLT Research & Design ラボ主催 第一回シンポジウム 中大規模木造建築の最新動向と CLT を活用した地域振興
34	一般社団法人香川県木材協会	令和4年度 JAS 構造材実証支援事業 講演会「火事に負けない木造建築」
35	これからの住宅・建築 MAPs チャンネル	【建築知識】日建の木造、躍動。—Activation of Nikken Wood Lab—
36	これからの住宅・建築 MAPs チャンネル	【建築知識】森と一緒に考える、JAS 製材の木造建築
37	これからの住宅・建築 MAPs チャンネル	【建築知識】みんなの都市木造を考える。
38	カナダ林産業審議会- COFI	大型木造部門入賞作品 流山市立おおぐろの森小学校(株式会社日本設計)
39	カナダ林産業審議会- COFI	大型木造部門入賞作品 日立建機株式会社土浦工場事務管理棟(東急建設株式会社)
40	カナダ林産業審議会- COFI	大型木造部門入賞作品 星野リゾート BEB5 軽井沢(佐々木達郎建築設計事務所)

番号	掲載先	動画タイトル
41	カナダ林産業審議会- COFI	大型木造部門入賞作品 桐朋学園宗次ホール (前田建設工業株式会社)
42	カナダ林産業審議会- COFI	中層木造部門入賞作品 ファミリーホスピス京都北山 (株式会社リヴ)
43	カナダ林産業審議会- COFI	中層木造部門入賞作品 高惣木工ビル (株式会社シュルター)
44	カナダ林産業審議会- COFI	中層木造部門入賞作品 MOCXION INAGI (三井ホーム株式会社)
45	カナダ林産業審議会- COFI	中層木造部門入賞作品 中央区日本橋3丁目プロジェクト (スターツ CAM 株式会社)
46	カナダ林産業審議会- COFI	革新的な NLT プロジェクトのケーススタディビデオ
47	TBS NEWS DIG Powered by JNN	国内最高 44m の「純木造」高層ビルが完成～CO2 削減で注目 その最新技術とは～ 【Biz スクエア 6 月 25 日放送】
48	MOCTION	<安井昇>オフィスの木造化・木質化への挑戦 Case of team Timberize/MOCTION セ ミナー/2022.1.28
49	MOCTION	<内海彩>木のまちかどから始まる未来 / JAPAN ReWOOD セミナー / 2022.8.24
50	KNB 公式チャンネル	ツクル、ミライ。とやま SDGs スペシャル【黒部 未来のまちづくり～パッシブタウン 木造建築への挑戦～】特別編
51	KD 研	高層木造の可能性
52	KD 研	軽い木の特徴を活かした“モクビルプロジェクト”
53	AFPBB News	北欧の木造建築、環境意識向上で新たな高みに

③ 講習会情報

令和4年4月から令和5年3月現在までに、講習会情報のページに登録した具体の講習会の名称については、次ページの表2-4-4に掲げるとおりである。

表2-4-4 講習会情報に登録した情報の名称一覧（順不同）

番号	開催先	講習会名
1	A-WASS 木と建築で創造する共生社会実践研究会	木材利用優良施設等コンクール（内閣総理大臣賞）及び グッドデザイン賞（金賞）受賞 記念講演会
2	CLT 建築推進協議会、一般社団法人日本 CLT 協会	CLT フォーラム 2022
3	NPO 法人 team Timberize	ティンバライズ LABO2023【第1回】「木の建築をつくりつづけるために」
4	NPO 法人サウンドウッズ	京丹波町役場見学ツアー＋パネルディスカッション
5	SJS スイス-日本サステナビリティ交流会	SJS 交流ウェビナー「欧州木造技術のトップランナーに聞く～中大規模木造建築の現在と未来～」
6	studio KOIVU 一般建築士事務所	名古屋金山ウッド* シティービ* ル 構造見学会案内
7	WOOD コレクション（モクコレ）実行委員会	WOOD コレクション（モクコレ）2023
8	イントラスト株式会社	実物件から学ぶCLT建築講習会
9	カナダ林産業審議会	COFI 中・大規模木造建築設計セミナー
10	キノマチプロジェクト（竹中工務店、DEEP JAPAN LAB、グリーンズ、ココホレジャパン）	キノマチ大会議 2022
11	愛知県木材利用促進シンポジウム事務局	愛知県木材利用促進シンポジウム
12	一般財団法人日本建築センター	山田憲明先生による木構造セミナー第2弾「中大規模木造建築物（低層）の構造計画の初歩」
13	一般財団法人日本建築センター	山田憲明先生による木構造セミナー第1弾「木構造デザインの可能性」
14	一般社団法人 全日本木材市場連盟	令和4年度木材アドバイザー（もくアド）養成講習会
15	一般社団法人 HEAD 研究会 国際化 TF	木の国際化「ウッドショックの現在地」
16	一般社団法人 JBN・全国工務店協会	非住宅木造建築セミナー
17	一般社団法人 JBN・全国工務店協会	地域工務店が取るむ 中大規模木造建築物シンポジウム
18	一般社団法人リファイニング建築・都市再生協会	木造建築耐用年数シンポジウム
19	一般社団法人山口県木材協会	やまぐちの中大規模木造建築 構造設計者養成講座
20	一般社団法人中大規模木造プレカット技術協会	JIS トラスマニュアル講習会
21	一般社団法人中大規模木造プレカット技術協会	中大規模木造構造設計講習会 WEB 講習会
22	一般社団法人中大規模木造プレカット技術協会	張弦トラスマニュアル講習会
23	一般社団法人中大規模木造プレカット技術協会	木の架構と空間のつくりかたセミナー

番号	開催先	講習会名
24	一般社団法人鳥取建築士会	(一社)鳥取県建築士会創立70周年記念講演会 隈研吾氏「木づかいの国の未来」
25	一般社団法人日本 CLT 協会	CLT 最前線 2022 -日本 CLT 協会 技術報告会-
26	一般社団法人日本 CLT 協会	CLT 大臣認定管理技術者講習会
27	一般社団法人日本 CLT 協会	令和4年度 CLT 設計者向け実務講習会
28	一般社団法人日本 CLT 協会	CLT 関連告示解説セミナー
29	一般社団法人日本 CLT 協会	CLT 最前線 2022 -日本 CLT 協会 技術報告会-
30	一般社団法人日本 CLT 協会	CLT 関連 林野庁事業 成果報告会、CLT DESIGN AWARD 2022- 設計コンテスト -表彰式
31	一般社団法人日本 CLT 協会	令和4年度 CLT 建築物の木工技能者等の担い手育成講習(実務講習)
32	一般社団法人日本 CLT 協会	令和4年度 CLT 建築物の木工技能者等の担い手育成講習(WEB講習会)
33	一般社団法人日本ツーバイフォー建築協会	【WEB】枠組壁工法耐火建築物設計者講習会
34	一般社団法人日本ツーバイフォー建築協会	枠組壁工法耐火建築物設計者講習会
35	一般社団法人日本ツーバイフォー建築協会	【WEB】大規模ツーバイフォー建築物「耐火設計の実務講習会」(構造計画から施工検査までの工事事例)
36	一般社団法人日本ツーバイフォー建築協会	大規模ツーバイフォー建築物「耐火設計の実務講習会」(構造計画から施工検査までの工事事例)
37	一般社団法人日本ツーバイフォー建築協会	【WEB(中継方式)型】枠組壁工法耐火建築物設計者講習会
38	一般社団法人日本ツーバイフォー建築協会	【会場参加型】枠組壁工法耐火建築物設計者講習会
39	一般社団法人日本ツーバイフォー建築協会	【WEB(中継方式)型】大規模ツーバイフォー建築物「耐火設計の実務講習会」(構造計画から施工検査までの工事事例)
40	一般社団法人日本ツーバイフォー建築協会	【会場参加型】大規模ツーバイフォー建築物「耐火設計の実務講習会」(構造計画から施工検査までの工事事例)
41	一般社団法人日本建築学会	既刊本講習会「木造建築物の振動障害に関する設計資料」
42	一般社団法人日本木材学会	2022年度産学官連携シンポジウム「木材利用の観点から中高層木造を考える」
43	一般社団法人日本木材学会、NPO 法人の木	第73回日本木材学会大会(福岡大会) 一般公開シンポジウム 「森林と木材が拓くネガティブエミッションの新世界」
44	一般社団法人日本木造住宅産業協会	1時間耐火構造設計マニュアル講習会(2022年度・第10回)
45	一般社団法人日本木造住宅産業協会	2時間耐火構造設計マニュアル講習会(2022年度・第5回)
46	一般社団法人日本木造住宅産業協会	木造の可能性<木造による耐火・中大規模建築物>講演会(2022年度・第7回)
47	一般社団法人日本木造住宅産業協会	木造軸組工法による高耐力耐力壁(木住協仕様) マニュアル講習(2022年度・第5回)
48	一般社団法人日本木造住宅産業協会	1時間耐火構造設計マニュアル講習会(2022年度・第12回)

番号	開催先	講習会名
49	一般社団法人日本木造住宅産業協会	木造の可能性<木造による耐火・中大規模建築物>講演会(2022年度・第9回)
50	一般社団法人日本木造住宅産業協会	1時間耐火構造設計マニュアル講習会(2022年度・第13回)
51	一般社団法人日本木造住宅産業協会	木造の可能性<木造による耐火・中大規模建築物>講演会(2022年度・第10回)
52	一般社団法人日本木造住宅産業協会	2時間耐火構造設計マニュアル講習会(2022年度・第6回)
53	一般社団法人日本木造住宅産業協会	1時間耐火構造設計マニュアル講習会(2022年度・第11回)
54	一般社団法人日本木造住宅産業協会	木造の可能性<木造による耐火・中大規模建築物>講演会(2022年度・第8回)
55	一般社団法人日本木造住宅産業協会	木造軸組工法による高耐力耐力壁(木住協仕様)マニュアル講習(2022年度・第6回)
56	一般社団法人日本木造耐火建築協会	日本初のメガストラクチャーハイブリッド木造ビル「KITOKI」の完成見学セミナー
57	一般社団法人日本木造耐火建築協会	「木質耐火部材を用いた木造耐火建築物設計マニュアル2022」オンライン講習会(第5回、第6回)
58	一般社団法人日本木造耐火建築協会	「木質耐火部材を用いた木造耐火建築物設計マニュアル2022」オンライン講習会(第7回、第8回)
59	一般社団法人日本木造耐火建築協会	「木質耐火部材を用いた木造耐火建築物設計マニュアル2022」オンライン講習会(第4回)
60	一般社団法人木を活かす建築推進協議会	木造軸組工法 中大規模木造建築物の構造設計演習(許容応力度設計編)
61	一般社団法人木を活かす建築推進協議会	木造軸組工法 中大規模木造建築物の構造設計の手引き オンデマンド+ライブ質疑セミナー(許容応力度設計編)
62	一般社団法人木を活かす建築推進協議会	木でつくる中大規模建築の設計入門 オンデマンド+ライブ質疑セミナー
63	一般社団法人木を活かす建築推進協議会	令和4年度 中大規模木造建築物普及シンポジウム
64	一般社団法人木質構造の設計情報を共有する会	設立6周年記念公開・ハイブリッドセミナー 「中規模木造設計の心構え」
65	岡山大学グリーンイノベーションセンター	日台木造建築の交流に向けた講演会「台湾における木造建築の現状」
66	岡山大学グリーンイノベーションセンター	ヨーロッパにおける木造建築の変遷とこれから
67	岡山大学グリーンイノベーションセンター	CLTを学びたい人のためのリカレント講習
68	株式会社 NHK 文化センター	木造建築の伝統と革新～木の可能性を探る～(オンライン)
69	株式会社 NHK 文化センター	木造建築の伝統と革新～木の可能性を探る～
70	株式会社 Spero、株式会社 GiveFirst、一般社団法人 全国木材組合連合会	木づかいシンポジウム 2022
71	株式会社イノベント	第2回 非住宅 木造建築フェア
72	株式会社イノベント	〔関西〕 非住宅 木造建築フェア 2022

番号	開催先	講習会名
73	株式会社シェルター	【アーカイブ配信決定！】新建築 2022 年 2 月別冊 都市に森をつくるⅢ 刊行記念トークイベント「木造建築の新しいかたち」
74	株式会社シェルター	6/14&7/12 シェルターインクルーシブプレイス コバル（山形市南部児童遊戯施設）完成見学会
75	株式会社シェルター	10/11 シェルターインクルーシブプレイス コバル（山形市南部児童遊戯施設）完成見学会
76	株式会社ジューテック	ジューテック新本社ビル 竣工内覧会
77	株式会社マルオカ	中大規模木造建築 総合展示会（WOOD BUILDING SHOW IN エムウェーブ）
78	株式会社ミヨシ産業	中大規模木造をビジネスにする 5 つのステップ
79	株式会社ミヨシ産業	オンラインセミナー「中大規模施設木造にする理由しない理由」
80	株式会社ランバーテック	ケーススタディで学ぶ 大空間を木造で実現するためのポイント
81	株式会社森未来	第 8 回「eTREE TALK」- 木材ネットワークを駆使するアトリエ系設計者の秘話 -
82	株式会社日本設計	流山市立おおぐろの森小学校・中学校 2 校同時見学会(締め切りました)
83	群馬県環境森林部森林局林業振興課	令和 4 年度ぐま中大規模木造建築マイスター養成講座
84	建築資料研究社／アイシオール『CONFORT』 編集部	CONFORT オンラインイベント「都市木造のいま、未来」
85	公益財団法人東京都農林水産振興財団	多摩産材利用拡大フェア 2022
86	公益財団法人東京都農林水産振興財団・WOOD COLLECTION 2022	WOOD COLLECTION 2022 「JAPAN ReWOOD」
87	公益財団法人日本住宅・木材技術センター	2022 年度 演習で実践的に学ぶ「入門 木造の許容応力度計算」セミナー（2 日間コース）
88	公益財団法人日本住宅・木材技術センター	2022 年度 演習で実践的に学ぶ 木造軸組工法住宅の横架材及び基礎のスパン表セミナー
89	公益財団法人日本住宅・木材技術センター	2022 年度 演習で実践的に学ぶ「入門 木造の許容応力度計算」セミナー（2 日間コース）
90	公益財団法人日本住宅・木材技術センター	更新 2022 年度 演習で実践的に学ぶ「入門 木造の許容応力度計算」セミナー（速習 1 日コース）
91	公益財団法人日本住宅・木材技術センター	外構部の木質化対策支援事業 企画提案型実証事業 成果報告会
92	公益財団法人日本住宅・木材技術センター	令和 4 年度 中大規模木造建築技術実証事業 成果報告会
93	公益財団法人日本住宅・木材技術センター	令和 4 年度 CLT を活用した建築物等実証事業 成果報告会
94	公益財団法人日本住宅・木材技術センター	中規模ビル・非住宅低層小規模建築物の木造化セミナー
95	公益財団法人日本住宅・木材技術センター	簡易な構造物の木造化セミナー
96	公益財団法人日本住宅・木材技術センター	2022 年度 演習で実践的に学ぶ「入門 木造の許容応力度計算」セミナー（速習 1 日コース）

番号	開催先	講習会名
97	公益財団法人日本住宅・木材技術センター	中大規模木造建築ポータルサイトセミナー「脱炭素に貢献する木造建築の未来」
98	公益財団法人日本住宅・木材技術センター	中大規模木造低層建築物の耐久性向上のための設計・施工セミナー
99	公益財団法人日本住宅・木材技術センター	令和4年度 内外装木質化等の効果実証事業 成果報告会
100	公益社団法人 日本建築積算協会	「中大規模木造建築のコストマネジメン・ガイドブック」講習会
101	構造システム・グループ	建築とITのフォーラム2023
102	高知県立林業大学校	オンライン木造建築講座
103	高知県立林業大学校	オンライン木造建築講座3回目
104	高知県立林業大学校	建築学生向けオンライン公開講座2022「都市木造の時代に挑む」
105	高知県立林業大学校	建築学生向け集中講座(サマー・オータムスクール)のご案内 ～高知の森と木造建築～
106	国産木材の魅力発信拠点 MOCTION	MOCTION 補助金セミナー ～多摩産材・補助金活用のノウハウを学ぶ～
107	国土交通大臣登録耐震診断資格者講習実施機関 ／一般財団法人日本建築防災協	令和4年度 木造「国土交通大臣登録 耐震診断資格者講習」「耐震改修技術者講習」
108	国立研究開発法人建築研究所	令和4年度 国立研究開発法人建築研究所 講演会
109	国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合 研究所	2022年度 森林総合研究所公開講演会「ネットゼロエミッション達成のための森林の役割」
110	埼玉県木造公共施設推進協議会	中大規模木造建築 地域を育て培うプロ養成講座2022(埼玉県中大規模木造建築技術者講習・登録制度)
111	滋賀県	滋賀県木造建築セミナー(滋賀県)
112	森林技術総合研修所	令和4年度 公共建築物等木材利用促進研修
113	鳥取県	～木造プロジェクトの進め方・ポイントを学ぶ～中規模木造セミナー(鳥取県)
114	東京都	第一線で活躍する建築士たちに学ぶ「中・大規模木造建築物 木造木質化を担う建築士育成セミナー」
115	栃木県建築士会	JIS トラスマニュアル講習会
116	日経 BP 総合研究所、日経アーキテクチュア、 日経クロステック	木材活用フォーラム2022 冬
117	日経 BP 総合研究所社会インフララボ、日経アー キテクチュア、日経クロステック	木材活用フォーラム2022 夏
118	日本集成材工業協同組合	令和4年度中大規模木造建築のための加工・施工技術基礎講習(特別配信)
119	日本集成材工業協同組合	中大規模木造建築物設計のための大断面集成材スパン表説明会(オンデマンド配信)
120	日本集成材工業協同組合	令和4年度中大規模木造建築加工施工技術(専門講習)

番号	開催先	講習会名
121	日本福祉大学健康科学研究所	日本福祉大学健康科学研究所 2022 年度公開シンポジウム「SDGs の推進に貢献する持続可能な国内森林活用と中大規模木造建築の普及」
122	日本木材青壮年団体連合会	木材活用未来会議
123	般社団法人 全国木材組合連合会、木材利用推進中央協議会	第 14 回「新たな木材利用事例発表会」
124	文部科学省	令和 4 年度木材を活用した学校施設づくり講習会
125	兵庫県、兵庫県木材業協同組合連合会	兵庫県産 JAS 構造用製材による非住宅建築物現地見学会
126	銘建工業株式会社	CLT モジュラーユニット建築 完成見学会のご案内
127	木愛の会	あいち木造ミーティング 2022
128	木構造振興株式会社	C L T 等木質建築部材 技術開発・普及事業 成果報告会
129	木材利用推進中央協議会	令和 4 年度「木材利用推進全国会議」-木材利用優良施設等コンクール表彰式及び記念講演-
130	有限会社 睦設計コンサルタント	長崎県の離島 壱岐に構造躯体総製材あらかし 4 階建木造建築 完成見学会
131	鈴工 CLT Research & Design ラボ 鈴工 CLT Research & Design ラボ	中大規模木造建築の最新動向と CLT を活用した地域振興

④ 担い手・サプライチェーン情報

令和5年3月現在までに、担い手・サプライチェーン情報のページに登録した具体的な情報内容については、以下の表2-4-5に掲げるとおりである。

表2-4-5 担い手・サプライチェーン情報一覧

項目	名称	情報提供主体	主な内容
プレカット工場・コンポーネント工場	中大規模木造建築対応プレカット工場一覧	(一社) 中大規模木造プレカット技術協会	中大規模木造建築のプレカットを可能としている工場を紹介。
	CLT 取組企業	(一社) 日本 CLT 協会	CLT の製造企業、加工企業、設計事務所、施工企業を紹介。
	コンポーネント会社	(一社) 日本ツーバイフォー建築協会	コンポーネント会社情報、部資材ホットリンク
	施工企業	(一社) JBN・全国工務店協会	施工企業相談窓口
	中大規模木造建築相談窓口	(一社) 木を活かす建築推進協議会	中大規模木造建築相談窓口
木材・木質材料	中大規模木造建築担い手企業リスト	日本集成材工業共同組合	集成材の JAS 認定を取得している事業者を紹介。
	製材等 JAS 認定工場名簿	(一社) 全国木材検査・研究協会	製材又は枠組み壁工法構造用製材の JAS 認定を取得している事業者を紹介。
	木材価格情報等	日本木材総合情報センター	木材 SCM 支援システム、木材価格・需給統計資料、木材価格・需給動向
その他	CAD/CAM データ連携	シーデクセマ評議会	CEDXM 紹介サイト、意匠 CAD・構造計算ソフトプレカット CAD、連携 CAD 一覧、CEDXM データ入出力可能プレカット工場一覧
	指定性能評価機関	建築性能基準推進協会	建築基準法に基づく指定性能評価機関や大臣認定の検索システム

⑤ 補助金・表彰制度情報

令和4年4月から令和5年3月現在までに、補助金・表彰制度情報のページに登録した具体の補助金・表彰制度の名称については、以下の表2-4-6に掲げるとおりである。

表2-4-6 主な補助金・表彰制度に登録した情報の名称一覧（順不同）

番号	提供団体	情報名
1	NPO木の建築フォーラム、公益社団法人日本建築士会連合会	第17回 木の建築賞
2	ウッドシティ TOKYO モデル建築賞運営事務局	ウッドシティ TOKYO モデル建築賞（東京都）
3	ウッドシティ TOKYO モデル建築賞運営事務局	ウッドシティ TOKYO モデル建築賞（東京都）
4	カナダ林産業審議会/カナダウッド	第5回 COFI 木造建築デザインアワード
5	サステナブル建築物等先導事業（省CO2先導型）評価事務局	令和4年度 サステナブル建築物等先導事業（省CO2先導型）
6	ひょうご木のすまい協議会	第3回地域材活用建築デザインコンテスト in 兵庫
7	愛知県	第6回あいち木づかい表彰制度（愛知県）
8	一般社団法人 公共建築協会	第18回 公共建築賞
9	一般社団法人 日本ウッドデザイン協会	ウッドデザイン賞2022
10	一般社団法人 木を活かす建築推進協議会	令和4年度 地域における非住宅木造建築物整備推進事業
11	一般社団法人三重県建築士会	第1回みえの木建築コンクール（三重県）
12	一般社団法人全国木材組合連合会	令和4年度 JAS 構造材個別実証支援事業
13	一般社団法人全国木材組合連合会	令和4年度 JAS 構造材個別実証支援事業（2次募集）
14	一般社団法人全国木材組合連合会	令和4年度 建築用木材の転換促進支援事業
15	一般社団法人日本 CLT 協会	CLT DESIGN AWARD2022 - 設計コンテスト -
16	一般社団法人木を活かす建築推進協議会	令和4年度サステナブル建築物等先導事業(木造先導型)及び優良木造建築物等整備推進事業
17	一般社団法人木を活かす建築推進協議会	令和4年度 サステナブル建築物等先導事業(木造先導型)及び優良木造建築物等整備推進事業（II期募集）
18	一般社団法人木を活かす建築推進協議会	令和4年度優良木造建築物等整備推進事業（III期募集）
19	環境都市実現のための木造化・木質化推進あいち協議会	令和4年度 木造非住宅建築物設計・建築実証事業（愛知県）
20	公益財団法人東京都農林水産振興財団	にぎわい施設で目立つ多摩産材推進事業（東京都）
21	公益財団法人東京都農林水産振興財団	木の街並み創出事業（東京都）
22	公益財団法人東京都農林水産振興財団	中・大規模建築物の木造木質化支援事業（東京都）
23	公益財団法人東京都農林水産振興財団	中・大規模建築物の木造木質化支援事業（東京都）
24	公益財団法人東京都農林水産振興財団	木の街並み創出事業（東京都）
25	公益財団法人東京都農林水産振興財団	にぎわい施設で目立つ多摩産材推進事業（東京都）

番号	提供団体	情報名
26	公益財団法人東京都農林水産振興財団	中・大規模建築物の木造木質化支援事業（東京都）
27	公益財団法人日本住宅・木材技術センター	外構部の木質化対策支援事業（企画提案型実証事業）
28	川崎市	川崎市木材利用促進事業補助制度
29	鳥取県木材協同組合連合会（JAS構造材実証支援事業併用あり）、一般社団法人鳥取県木造住宅推進協議会（JAS構造材実証支援事業併用なし）	令和4年度 鳥取県非住宅木造建築拡大推進事業
30	日本木材青年団体連合会	新着第26回木材活用コンクール
31	北海道	HOKKAIDO WOOD BUILDING 登録（北海道）
32	北海道木材産業協同組合連合会	令和4年度 道産建築材利用支援事業（第2回）
33	木構造振興（株）、（公財）日本住宅・木材技術センター	令和3年度 CLT活用建築物等実証事業（4次募集）
34	木構造振興（株）、（公財）日本住宅・木材技術センター	令和4年度 CLT活用建築物等実証事業
35	木構造振興（株）、（公財）日本住宅・木材技術センター	令和4年度 中大規模木造建築技術実証事業
36	木構造振興（株）、（公財）日本住宅・木材技術センター	令和4年度 内外装木質化等の効果実証事業
37	木構造振興（株）、（公財）日本住宅・木材技術センター	令和4年度 内外装木質化等の効果実証事業
38	木構造振興（株）、（公財）日本住宅・木材技術センター	令和4年度 中大規模木造建築技術実証事業（2次募集）
39	木構造振興（株）、（公財）日本住宅・木材技術センター	令和4年度 CLT活用建築物等実証事業（2次募集）
40	木構造振興（株）、（公財）日本住宅・木材技術センター	令和4年度 CLT活用建築物等実証事業（3次募集）
41	木構造振興（株）、（公財）日本住宅・木材技術センター	令和4年度補正 CLT活用建築物等実証事業
42	木材利用推進中央協議会	令和4年度木材利用優良施設等コンクール

⑥ よくある質問

中大規模木造建築の設計において参考にしたい情報の入手、問合せに対応できるよう、⑦の相談箱に掲載された中大規模木造建築に関するよくある質問を掲載した。令和5年3月現在、よくある質問のページから閲覧可能な具体の質問項目については、以下に掲げるとおりである。

具体の質問項目

- ・含水率について、構造用集成材の場合は品質確保されているため、現場搬入時の測定は不要と考えて良いのでしょうか。
- ・中高層の木造建築物に用いるサッシはどのような仕様のもを選べばよいですか。
- ・ラグスクリューとラグスクリューボルトの違いを教えてください。
- ・46条2項ルートで設計する場合、構造部分に無等級材を使用して計算することは不可能でしょうか。
- ・木造建築物において設備配管ルートを設定する際に配慮すべきことを教えてください。
- ・建築物の外部に木材を現しで用いる場合、どのような点に注意が必要でしょうか。
- ・木材を現しで使う機会が多いが、建てた後の乾燥収縮の割れが生じ、瑕疵ではないかと相談がある。若干の割れに関しては問題ないことを、信頼性のある資料や研究成果などあれば教えていただきたいです。
- ・建築物に使用する木材の樹種により、炭素貯蔵量は変わりますか。
- ・木造建築物では床衝撃音や振動の問題が生じるおそれがあると聞きます。対応策はあるのでしょうか。
- ・建方精度の確認を行う際の考え方や参考となる資料について教えてください。
- ・木造戸建住宅の工事の受注を主に行っており、500 m²を超えるような木造建築物の工事实績はありません。そうした規模の木造建築物の工事の依頼に対して、施工体制面でどのような配慮が必要でしょうか。

⑦ 相談箱

ポータルサイトのユーザー登録しているポータルサイトの利用者相互の中大規模木造建築に関する意見交換ができるよう、中大規模木造建築に関する相談箱を掲載した。令和5年3月現在、相談箱のページから閲覧可能な具体の相談項目については、以下に掲げるとおりである。

自走式立体駐車場（通常は鉄骨造です。）を木構造で、設計・施工を実施したいと考えております。実施のためのご相談をさせていただきます団体をご紹介頂くことは可能でしょうか？宜しくお願い申し上げます。

木造軸組工法の小屋梁のたわみの基準として、グレー本には、スパンに対し、長期 1/200 短期 1/150 と示されています。例えば、特殊な梁を用いてスパンが 12m になった場合、長期で 60mm、短期で 80mm と大きなオーダーのたわみまで許容されます。

<p>CLT パネル外壁の2時間耐火認定仕様について、【木造耐火建築物設計マニュアル2022】に3つが書いていますが。(FP120BE-0192, FP120BE-0176, FP120BE-0189) この3つ認定仕様以外は、他の(新しい)認定仕様がありますか。情報があればお教えていただけますでしょうか。</p>
<p>準耐火建築物(イ準耐45分)の軒裏を準耐火構造とする場合の仕様について質問をさせていただきます。軒裏をメンブレン被覆により準耐火構造とする場合、当該部分の軒裏が2mを超えてしまうと告示仕様(※1)の選択肢しかないと考えてよいでしょうか。 ※1 準耐火60分 ケイカル板2枚張(合計厚さ$\geq 16\text{mm}$) R01 国交告195号-第5-2-ロ</p> <p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エントランスのポーチを大きく確保するため、2mを超える軒裏の仕様を検討しています。 ・大臣認定品について調査しましたが、調査した範囲では出寸法は2m以下のものしか見つかりませんでした。 ・告示仕様の軒裏を採用した場合、通気金物を使用できないと理解しており(※2)、これにより壁体内の通気の確保が難しくなってしまいます。 <p>※2 通気金物はあくまで軒裏の一部と解釈されているようで、通気金物単体の認定が存在しない</p>
<p>C L T 3層4フライ 厚み120mmに対応する金物が知りたいです</p>
<p>グレー本の面材張り勾配屋根水平構面の詳細計算法を用いて、水平構面を設定する場合、転び止めありとすると、転び止めの寸法が垂木と同断面と規定されているため、小屋通気層を設定することができなくなります。一部切り欠きを設けるなど、設計や納まり上の工夫で回避することは可能でしょうか？</p>
<p>中大規模木造建築において設計・施工する場合に必ず施工図というものがあると思います。現状、専門で施工図を描かれている企業はあるのでしょうか？調べてもRCやS造などはあっても中大規模木造を専門としている所が見つかりません。教えて頂けると助かります。</p>
<p>建設地が海岸線に近く、塩害についての基準を調べておりますが、今のところ見つけられておりません。塩害に対する木材の基準、接合金物の基準について指針等が存在するのでしょうか。</p>
<p>現在、弊社設計にて非耐火木造4階建て無垢製材現しビルを建設中です。本年度12月か1月に完成予定ですが、現時点で国内において、前例はありますか？情報のご提供宜しくお願い致します。</p>
<p>一般社団法人 木を活かす建築推進協議会 発行の『木造建築のすすめ』の記載に関する質問です。52P表の左上、「事務所・庁舎」x「その他建築物」の要件の記載が、2Pの要件記載内容と異なっているように思います。こちらの正誤についてご教示いただきたくよろしくお願ひします。</p>
<p>二段筋かいについて「木造軸組筋かい耐力壁マニュアル」に準拠すればマニュアルP4⑥、⑦の壁倍率(4.0又は5.0)と同等扱いになり、令第46条の耐力壁として適用可(試験成績書添付)ということでしょうか。</p>

<p>ルート1の許容応力度計算をするとき、耐力壁5倍を超えた場合は、46条2項になると解釈して問題ないでしょうか。</p>
<p>JISトラスの陸梁レベルに天井を張る場合、陸梁に何らかの曲げモーメントが発生すると思われませんが、マニュアルの例示ではこの曲げが考慮されていないようです。（引張）軸力検討のみで疑問に思います。</p>
<p>JISトラス マニュアルの準拠についての質問です。水平構面の仕様について、スパン10m、桁行18.2mの建物に一部桁行中間に直行して切妻屋根がつく場合、その切妻屋根（在来工法）がJISトラス屋根に一部の棟がかかる為、一部屋根面の構造用合板を張れずその為、トラス屋根の軒面に小屋ばりを配置し水平構面を確保したい。その場合、日本住宅・木材センター2017年版に準拠した計算（P79の2.4.5の項）によります。屋根水平構面はJISトラス屋根全面に張らなければいけないでしょうか。</p>
<p>昨今、輸入材のひっ迫により、全層スギで構成された構造用合板が流通するようになりました。許容応力度計算の中で、詳細計算法により、屋根や床、耐力壁の許容せん断耐力を設定する場合、全層スギとなる影響を考慮するべきでしょうか？せん断弾性係数GBは、JASに規定のため、40kN/cm²で良いと考えますが、面材釘1本あたりの一面せん断の数値の指針がございましたら、教えていただきたいです。</p>
<p>真壁仕様による構造用合板耐力壁として、柱芯間600mmの場合、2.5倍率を見ることは可能でしょうか。</p>
<p>含水率についてですが、よく「〇%以下程度の乾燥した材を用いる」とあります。「材」とあるので加工場搬入時点での含水率と理解して良いでしょうか？加工場時点での数値なのか？現場搬入時の数値なのか？上棟完了時点での数値なのか？</p>
<p>CLTの断熱性能はみれるのか、教えていただけますでしょうか。</p>
<p>CLTを使用するメリットは何でしょうか？</p>
<p>46条2項ルートでは、JAS材を用いることが条件ありますが、具体的には構造上荷重を受ける部材だけでよいのでしょうか。垂木・根太・大引・荷重を受けないつなぎ梁などはノンJAS材で可能でしょうか？</p>
<p>保存処理K3、K4の適用について、木の種類、辺材/心材に対して浸透しやすい/しにくい等の制限はありますか？</p>
<p>保存処理木材の保有性能K1~K5について、屋外に露出する木材で耐塩害性能をもたせたい場合はどれを選択するべきでしょうか。</p>
<p>地盤面から1.0mの部分に必要な防腐措置について、D1材使用や薬剤処理の他、どのような措置がありますか。</p>
<p>構造用製材以外にCLTやLVL材等もシロアリの被害をうけますか？</p>
<p>構造材にJAS材指定をした場合は、心材が用いられているという理解で良いのでしょうか。</p>

<p>強度とヤングが比例関係にあると一般的に言われますが、同じ等級なのに樹種が異なると強度に差が発生する理由をご教示ください。(例：E70・Fcの場合 米松；9.6（小） 桧；18（中）杉；23.4（大）※ヤング係数が低い時は杉が1番強い)</p>
<p>平屋建て 延べ床面積 500 m²を超える場合、EXP.Jで分割し各棟を 500 m²未満に分けた場合確認申請上の構造検討は、四号建築物相当でよいでしょうか？ それとも各棟許容応力度計算が必要になりますか？</p>
<p>建設コストを比較した場合、3階建て程度の公営住宅やマンションではRC造やS造と比べ、床遮音性能を鑑みて木造は安価になるのでしょうか？</p>
<p>メンブレン工法で耐火被覆した際も内部結露を防ぐため透湿防水シートは必要となりますか？</p>
<p>木造 ロ準耐火構造は壁が耐火構造（木造の柱、間柱に強化せつこうボード21mmを3重張り両面）にすることで、内部は燃えしろ設計や被覆がいらないと理解していいのでしょうか？</p>
<p>46条2項ルートで設計する場合、構造部分に無等級材を使用して計算することは不可能でしょうか。</p>
<p>延焼防止建築物や火災時倒壊防止建築物、避難時倒壊防止建築物の実例があれば教えていただけないでしょうか。</p>
<p>ラグスクリューとラグスクリューボルトの違いを教えてください</p>
<p>含水率について、構造用集成材の場合は品質確保されているため、現場搬入時の測定は不要と考えて良いのでしょうか。</p>
<p>地域木材のヒアリング窓口はどこが考えられるのでしょうか？</p>
<p>木材利用にあたって、プレカット事業者等からの情報提供が必要不可欠と考えますが、予め各工場の供給可能な樹種や強度等級、加工範囲などをまとめた資料はありますか。</p>
<p>木材を現しで使う機会が多いが、建てた後の乾燥収縮の割れが生じ、瑕疵ではないかと相談がある。若干の割れに関しては問題ないことを、信頼性のある資料や研究成果などあれば教えていただきたいです。</p>
<p>法37条+告1446号主要構造部に告示に記載されている指定建築材料を使う場合には、材料の品質基準への適合が必要と理解していますが、この指定建築材料に製材・集成材は含まれていないという解釈は正しいでしょうか？令41条ここでいう木材の中には、集集成材や単板積層材、CLTなどは含まれていないという解釈は正しいでしょうか？</p>
<p>面材耐力壁では釘・ビスのピッチが決まっているが、納まり上面材を貼って非耐力壁扱いとする場合、釘（ビス）ピッチはどの様に設定したら良いか教えて頂きたいとお願い申し上げます。</p>
<p>各県で取れる樹種及び機械等級区分、最大サイズ（せい、長さ）が知りたいです。まとまったサイトなどあったりしますでしょうか？地場産材を使って設計する際にとっても有用かと思います。</p>

木造建築のすすめ（一般社団法人 木を活かす建築推進協議会）の中で、下記が紹介されています。

■ 別棟解釈により面積制限を回避

住宅局建築防災課長通達「部分により構造を異にする建築物の棟の解釈について」（住防発第14号 昭和26年3月6日）

壁等の仕様にするのではなく、別棟扱いにすることで、3000㎡超えの建築物でもその他建築物での木造化が図れるという通達であると考えています。

しかしながら、簡単な図のみ記載されており、下記のような状況の時に適用できるかどうかで申請機関との協議がなかなか進みません。指針としてまとまっているものがあればご教示頂きたいです。

- ・平面的に耐火構造棟よりもその他建築物棟が出っ張って接している場合
- ・平面的に角度を持って相接する場合
- ・断面的に耐火構造棟の方が低い場合（RCコアの上に木造屋根をかけた方が構造的な合理性が高まる場合があるため）

2. 6 ポータルサイトセミナー開催

(1) セミナー開催の概要について

中大規模木造建築ポータルサイトの普及のため、下記の内容でセミナーを開催した。

- タイトル： 中大規模木造建築ポータルサイトセミナー
脱炭素に貢献する木造建築の未来
- 主催： 公益財団法人 日本住宅・木材技術センター
共催： 日経 BP 総合研究所
協力： 国土交通省
- 開催日時： 2022年12月15日（木）14：00～16：30
開催方法： オンライン
集客目標： 事前登録300名／当日視聴180名→ 事前登録者数：726名
当日視聴ユニークユーザー数：469名（事前登録者の64.6%）
- ※セミナー告知期間（10/26～12/15）のポータルサイト新規登録者数：246名

プログラム構成／タイムテーブル

- 14：00～14：05： 開催挨拶／日本住宅・木材技術センター 理事長 古久保英嗣氏
14：05～14：50： 基調講演
14：50～14：55： ポータルサイトのご紹介（動画+MCナレーション）
14：55～15：00： 休憩
15：00～16：30： パネルディスカッション

・基調講演 「脱炭素社会に向かう潮流と森林・木材の新たな価値」

- 高村ゆかり氏（東京大学 未来ビジョン研究センター 教授）～ 事前収録動画提供

・パネルディスカッション 「中大規模木造建築の可能性と普及へのシナリオ」

- 大橋好光氏（東京都市大学 名誉教授）
- 堀 雅木氏（第一生命保険 不動産部 ラインマネージャーファシリティマネジメント課長
エグゼクティブ不動産スペシャリスト）
- 功刀友輔氏（中大規模木造プレカット技術協会 理事）
- 高木邦子氏（日経 BP／日経 ESG シニアエディター）
- 石井秀明氏（国土交通省 住宅局 住宅生産課 木造住宅振興室長）

コーディネーター： 安達功（日経 BP 総合研究所 フェロー）

10月26日のセミナー開催の告知以降、新規登録者が大幅に増加したこともあり、11月以降のセッション数、ユーザー数ともに増加傾向。セミナーの登録者は726名と、当初の目標よりも大きく超えることができたが、ポータルサイトのユーザー登録をして頂いた方（して頂いている方）は216名だった。510名の方は登録されていないので、個別に登録を促すようなメールを送付するなどの対応を取りたい。

(2) セミナー開催の申込案内ページ

中大規模木造建築ポータルサイトセミナーの申し込みページは次頁のとおり。

オンライン開催

中大規模木造建築ポータルサイトセミナー 「脱炭素に貢献する木造建築 の未来」

| 主催 | 公益財団法人 日本住宅・木材技術センター
| 共催 | 日経BP 総合研究所
| 協力 | 国土交通省

受講料
無料
(事前登録制)

[日 時] 12月15日(木) 14:00-16:30

これまで木造によることが少なかった低層の非住宅や中高層の住宅・非住宅用途の中大規模建築について、本格的な利用期を迎えた森林資源の活用や、地球環境への配慮、木のもたらす健康効果、優れた施工性等のメリットを生かした木造化のニーズが高まっています。

一方、中大規模木造建築に関する各種の設計情報が散在しており、新たに取り組もうとする設計者にとってハードルとなっているほか、実績経験の豊かな設計者に対し有用かつ最新の情報提供が求められています。

公益財団法人日本住宅・木材技術センターでは令和4年度国土交通省補助事業「中大規模木造建築ポータルサイト」の運営を通して、木造建築に関わる最新の情報や設計・施工に役立つ情報を提供しています。

今回はこれまでの活動を背景にして、社会的な要請でもある脱炭素に貢献する中大規模木造建築のテーマで、オンラインセミナーを開催する運びとなりました。多様な立場の皆様から木造建築の可能性と重要性について活発な議論を行います。木造建築に携わっている方、またこれから中大規模木造建築への取り組みを考えたい方のご参加をお待ちしております。

開催概要

名 称	中大規模木造建築ポータルサイトセミナー 「脱炭素に貢献する木造建築の未来」
日 時	2022年12月15日(木) 14:00~16:30
会 場	オンライン開催
主 催	公益財団法人 日本住宅・木材技術センター
共 催	日経BP 総合研究所
協 力	国土交通省
受講料	無料(事前登録制)

ご視聴にあたって

事前登録いただくと、登壇者の資料をダウンロードいただけます。
※ダウンロードいただくのは、許諾をいただいた登壇者のダウンロードに適した資料となります。
配信で映る全ての資料がダウンロードできるわけではありません。予めご了承ください。

- ①日経BPではZoom上の個人情報を収集しません。
- ②動画配信用のURLは再配布禁止です。

- ③動画の録画、キャプチャーは禁止です。またSNSなどへのアップも禁止します。発見した場合は削除要求します。
- ④動画視聴に関わる技術サポートは提供しません。
- ⑤異常と思われる接続を見つけた場合は、予告なく切断することがあります。

また、視聴に必要なURLや登録・ログイン方法につきましては、配信日の前日までにご登録いただいたメールアドレスへご案内いたします。

プログラム（予定）

※講演者や講演時間など、プログラムは変更になる場合がございます。予めご了承ください。

14:00～14:05

開催挨拶

公益財団法人日本住宅・木材技術センター
理事長
古久保 英嗣 氏



14:05～14:50

【基調講演】

脱炭素社会に向かう潮流と森林・木材の新たな価値（仮）

東京大学
未来ビジョン研究センター 教授
高村 ゆかり 氏



14:50～14:55

中大規模木造建築ポータルのご紹介

14:55～15:00

【休憩】

15:00～16:30

【パネルディスカッション】

中大規模木造建築の可能性と普及へのシナリオ

脱炭素に貢献する中大規模木造建築の可能性について、5人のパネリストにそれぞれの視点から語っていただいたうえで、「中大規模木造建築ポータルサイト」の紹介も交えながら、技術、コスト、情報共有、投資、啓発といった観点から、普及に向けたシナリオを描き出します。

●パネリスト
東京都市大学
名誉教授
大橋 好光 氏



第一生命保険
不動産部 ラインマネジャー ファシリティマネジメント課長
エグゼクティブ不動産スペシャリスト
堀 雅木 氏

一般社団法人中大規模木造プレカット技術協会
理事
功刀 友輔 氏



日経ESG シニアエディター
高木 邦子 氏



国土交通省
住宅局 住宅生産課 木造住宅振興室長
石井 秀明 氏



●モデレーター
日経BP 総合研究所
フェロー
安達 功



セミナーに参加頂くにあたり、様々な木造建築の実現に役立てて頂ける各種の設計技術情報を一元的に提供する「**中大規模木造建築ポータルサイト**」を立ち上げておりますので、ユーザー登録も事前に行って頂けますと幸いです。

中大規模木造建築ポータルサイト
ユーザー登録はコチラ⇒https://mokuzouportal.jp/user_toroku/index.html

本イベントへのお申し込みには、「日経ID」への会員登録（無料）が事前に必要となります。
すでに会員の方は、ログイン後、ご登録内容をご確認のうえお申し込みください。
未登録の方は、画面の指示にしたがい、登録を完了させてください。

参加申し込みはこちら

お問い合わせ

日経BP 読者サービスセンター セミナー係
お問い合わせは[こちら](#)から

© 2022 Nikkei Business Publications, Inc. **日経BP**

「脱炭素に貢献する木造建築の未来」

新規お申込入力

進捗

本ページでは、下記の環境でご覧頂くことを推奨しております。

OS : Microsoft Windows 最新版 / Mac OS 最新版、ブラウザ : Microsoft Edge 最新版、Google Chrome 最新版 / Safari 最新版 (Macのみ)

ご登録に際して

- 全ての項目にご記入ください。必須項目にご記入がない場合、登録が完了しません。
(役職名など必須項目に記入する内容が無い場合は「なし」とご記入をお願いします)
- 英数文字は半角で入力してください。
- フリガナなどカタカナでの入力は全角を使用してください。
- E-Mailアドレスが正確であるかを確認してください(登録完了メールをお送りします)。

メールが受信フォルダに見当たらない場合、お客様のメール受信設定によっては迷惑メールフォルダへ格納されている可能性もございます。あらかじめ、@nikkeibp.co.jpのドメインが受信できるよう、設定のご確認をお願い申し上げます。

以下の個人情報取得に関する説明と申込みに際しての注意事項を必ず読み、同意したうえで申込情報を入力してください。

個人情報取得に関するご説明

日経BPは、個人情報保護に関する法令およびその他の規範を遵守し、下記の通り個人情報を取得いたします。

1. 事業者の名称

日経BP

2. 個人情報の管理者

日経BP 個人情報管理責任者

3. 利用目的

ご希望の内容を選択してください

- 脱炭素に貢献する木造建築の未来

2022/12/15 (木) 14:00~16:30

プロフィールを入力してください。

メールアドレス

氏名 (漢字) 必須

姓

名

全角文字

氏名 (カナ) 必須

セイ

メイ

全角カタカナ

勤務先**勤務先名** **必須**

全角文字

部署名 **必須**

全角文字

役職名 **必須**

全角文字

郵便番号 **必須** - **都道府県** **必須** ▼**市区郡～ビル名** **必須**

全角文字とハイフン

電話番号 **必須** - -

半角数字

FAX番号 - -

半角数字

Q1 **必須****勤務先業種** ▼**Q2** **必須****勤務先職種** ▼**Q3** **必須****役職** ▼

ご登録いただいた情報は、視聴有無にかかわらず、本セミナー・イベントの事務連絡のほか、日経BPおよび日経BPグループ会社からの各種お知らせ（刊行物、展示会、セミナー等）やアンケート、広告主等の製品やサービスのご案内に利用させていただく場合があります。

本セミナー・イベントはご登録情報の提供にご同意いただける方のみお申込をお受けし、視聴有無にかかわらず、下記の主催者に第三者提供いたします。主催者から、直接各種ご案内（製品・サービス、展示会・セミナー催事等）や、調査などに利用させていただく場合があります。

【個人情報保護方針および利用規約について】

日経BPは皆様のプライバシーを尊重し、個人情報を保護するために細心の注意を払っています。

詳細は [こちらへ](#)（別ウィンドウが開きます）。「[個人情報保護方針／ネットにおける情報収集／個人情報の共同利用について](#)」

「[個人情報取得に関するご説明](#)」「[日経 I D 対応サービスの利用規約](#)」に同意の上、申し込みます。

上記の内容と「個人情報保護方針および利用規約」に同意する

（ にチェックのうえ、下記のボタンよりお申し込みください。）

同意していただけないと、お申し込みが出来ません。

お問い合わせ

日経 B P 読者サービスセンター セミナー係

セミナーのお問合せは、[こちら](#)からお願いいたします。

2. 6 ポータルサイトのメンテナンス

(1) コンテンツ作成掲載マニュアル

ポータルサイトのコンテンツについて、関係団体等の協力により、今後の適切かつ円滑な情報の掲載を図るため、設計技術情報、講習会情報等の各種コンテンツについて、ポータルサイト掲載用のコンテンツの作成からポータルサイトの掲載、更新の方法についてまとめた以下のマニュアルを作成し、関係団体等との共有化を図った。

(4. 1 参考資料1に「中大規模木道建築ポータルサイトコンテンツ作成掲載マニュアル」を掲載)

(2) コンテンツの掲載・修正・更新のシステム

<管理者メンテナンスの対象>

「新着情報」「中大規模木造建築入門ガイド（一部）」「設計技術情報」「動画情報」「講習会情報」「担い手・サプライチェーン情報」「補助金・表彰制度情報」「よくある質問」「相談箱」「新着情報」「リレーコラムもく log」「協議会会員」「リンク集」「広告バナー」「登録ユーザー管理」「管理者・編集者管理」

<管理者権限の分別と登録>

管理者権限は「管理者」と「編集者（事務局）」と「編集者」の3種類で各々、メンテナンスの権限が異なる。

表 2-5-1 権限分別表

		管理者	編集者 (局員)	編集者
管理者・編集者の 管理	登録、初期 PW 発行	○	×	×
	管理者および編集者の情報 編集(組織名、氏名、eメール アドレス、PW含む)	○	△ 本人情報 のみ	△ 本人情報 のみ
	削除	○	×	×
ユーザー登録者の管理		○	○	×
新着情報、広告バナー、よくある質問、相談箱、リンク集、 会員(ユーザー登録者)へメール一斉送信の管理		○	○	×
入門ガイド、設計技術情報、動画情報、補助金・表彰制度情報、担い手・サプライチェーン情報、相談箱、リレーコラムもく log、協議会会員	登録、編集、非公開、削除	○	○	×
講習会情報	登録	○	○	○
	編集、非公開、削除	○	○	△ 登録者のみ
検索ワード集計、アンケート集計、お気に入り集計、ユーザー登録者の属性集計	参照	○	○	×
ユーザー属性別傾向分析、他	参照、編集、データインポート	○	×	×

(ア) 動作環境

パソコン

表 2-5-2 パソコンの動作環境一覧

	Windows®	Macintosh®
OS	Windows®10 以降	Mac OS® X 10.12 以上
モニタ*推奨	解像度 1024×768 以上、16 ビット以上を表示可能なカラーモニタ	
ブラウザ	Edge 以降※1 FireFox (最新版) Chrome (最新版)	Safari® 最新版
cookie (クッキー)	有効設定	
Javascript	有効設定	
ネットワーク環境	インターネット接続環境 (回線速度:ブロードバンド以上)	

*サポートが終了した OS、ブラウザは順次、非対応となります。

(イ) 入力メンテナンス マニュアルの概要

マニュアルは以下の内容で構成。

1. 動作環境
2. 管理者・変種者の登録
3. 管理者・編集者の権限分別
4. 管理・編集機能
5. Google Analytics について

(3) メンテナンスの方法

①主なメンテナンス機能

データベースの次の機能を利用し、データの登録、更新を行う。

「一覧表示」：登録情報の概要一覧

「新規登録」：情報の新規登録

「並び替え」：情報の並び順を変更

「削除」：情報の削除

「編集」：登録情報の修正

「表示開始年月日」：一般公開年月日の予約機能

「表示終了年月日」：一般公開の終了年月日の予約機能

「非公開」：非公開

②データの登録方法

本データベースサイトの TOP 画面に掲載する「新着情報」を例にして、データの登録方法を以下に記す。

- (i) ログイン後、メニュー「新着情報」をクリックすることにより、図 2-5-1 : 一覧表示が表示されます。

図 2-5-1 新着情報一覧表示画面

新着情報						
+						
+ 追加						
≡ 一覧表示						
🔄 並び替え						
<input type="text"/>						
🔍 検索						
削除	編集	非公開	年月日	タイトル	登録者	直近編集者
<input type="checkbox"/>	編集		2021/03/05	講習会情報に以下の情報を登録しました。		
<input type="checkbox"/>	編集		2021/03/03	設計技術情報に以下の情報を登録しました。		
<input type="checkbox"/>	編集		2021/03/03	講習会情報に以下の情報を登録しました。		
<input type="checkbox"/>	編集		2021/02/25	設計技術情報に以下の情報を登録しました。		
<input type="checkbox"/>	編集		2021/02/25	講習会情報に以下の情報を登録しました。		
<input type="checkbox"/>	編集		2021/02/25	講習会情報に以下の情報を登録しました。		
<input type="checkbox"/>	編集		2021/02/25	講習会情報に以下の情報を登録しました。		
<input type="checkbox"/>	編集		2021/02/25	講習会情報に以下の情報を登録しました。		
<input type="checkbox"/>	編集		2021/02/25	講習会情報に以下の情報を登録しました。		
<input type="checkbox"/>	編集		2021/02/19	補助金・表彰制度情報に以下の情報を登録しました。		
<input type="checkbox"/>	編集		2021/02/17	講習会情報に以下の情報を登録しました。		
<input type="checkbox"/>	編集		2021/02/17	中大規模木造建築ポータルサイト 開設のご案内		

🗑️ 削除

※登録済の情報を削除する場合は削除の項目にチェックをして削除ボタンをクリックしてください。

図 2-5-2 新規登録画面

新着情報

新着情報

年月日

タイトル

詳細

リンク

■ 指定URLにリンク

URL

リンクを

新しいウインドウまたはタブで

▼

開く

■ PDFファイルをアップ

ファイルを選択

選択されていません

※「指定URLにリンク」・「PDFファイルをアップ」を両方指定した場合は「指定URLにリンク」が優先されます。

表示開始年月日

※表示開始年月日を設定しない場合は即時公開となります。

表示終了年月日

※表示終了年月日を設定しない場合は削除又は非公開に設定しない限り公開し続けます。

非公開

この情報を非公開にする

登録者/直近編集者

登録者： / 直近編集者：

この登録情報を削除する場合は削除ボタンをクリックしてください

(ii) 新規登録

・ヘッダーメニュー「+追加」ボタンをクリックし、表示された図 2-5-2：新規登録画面に情報登録。

- ・年月日：表示年月日
- ・タイトル
- ・詳細：テキスト入力
- ・リンク（リンク先 URL 指定可能）
- ・PDF ファイルへのリンク
- ・表示開始年月日と表示終了年月日の予約
- ・非公開
- ・登録：画面下の「登録」ボタンをクリックし、図 2-5-3：登録完了画面が表示され、登録完了となります。

図 2-5-3 登録完了画面

新着情報の管理 新規登録

新着情報の管理 新規登録 - 以下の通り登録しました

一覧表示 編集

管理コード	
設定番号	
タイトル	
詳細	
年月日	
リンクターゲット	
初期登録ユーザー	
初期登録ユーザー (code)	
直近編集ユーザー	
直近編集ユーザー (code)	
利用停止	

一覧表示 編集

③データの削除の方法

- (i) 図 2-5-1：一覧表示中から削除該当データの最左列「削除」のチェックボックスをクリックし、表下の「削除」ボタンをクリックします。*削除を取り消したい場合は、チェックボックスを再度クリックし、チェックマークをはずします。
- (ii) 下記のような「削除確認画面」が表示されます。「OK」をクリックすると、「削除再確認画面」が表示されますので、「OK」をクリックして削除完了となります。

削除確認画面

mokuzouportal.jp の内容

データを削除しますか？ 削除したデータはもとはもどせません。

OK キャンセル

削除再確認画面

mokuzouportal.jp の内容

データを削除します

OK キャンセル

④データの編集の方法

- (i) 図 2-5-1：一覧表示中から編集該当データの列「編集」をクリックし、登録データを表示させます。

図 2-5-4：新規登録画面にデータ登録されたもの

新着情報	
+ 追加 一覧表示	
新着情報	
年月日	2021/03/05 ←クリア
タイトル	講習会情報に以下の情報を登録しました。
詳細	令和2年度林野庁補助事業 内装木質化等の効果実証事業 成果報告会
リンク	■指定URLにリンク https:// [] リンクを [現在のウインドウで] 開く ■PDFファイルをアップ [ファイルを選択] 選択されていません ←クリア ※「指定URLにリンク」・「PDFファイルをアップ」を両方指定した場合は「指定URLにリンク」が優先されます。
表示開始年月日	[] ←クリア ※表示開始年月日を設定しない場合は即時公開となります。
表示終了年月日	[] ←クリア ※表示終了年月日を設定しない場合は削除又は非公開に設定しない限り公開し続けます。
非公開	<input type="checkbox"/> この情報を非公開にする
登録者/直近編集者	[]
↓ 登録	
この登録情報を削除する場合は削除ボタンをクリックしてください	

- (ii) 文言等を変更・追加・削除のうえ画面下「登録」ボタンをクリックし、編集完了となります。

3. 本事業のアウトプット

3. 1 中大規模木造建築ポータルサイトの内容

令和5年3月17日時点の「中大規模木造建築ポータルサイト」の掲載情報は次のとおり。

ログイン

メールアドレス

パスワード

ログイン

お得意様の確認、変更はこちら

マイページ

新規登録

ポータルサイトへ
情報掲載したいのはこちら
(各情報の掲載マニュアル)
PDF:129KB

木造建築の
防水の
ノウハウ
がここに!

TAJIMA

ARCHITECTS
HANDBOOK

各種
防水工法
最新
防水工法
最新の
防水工法

Solutions for
timber constructions

echm

schrauben holzwerk

強度と美しさ
s1009

へベルパワーボード

ユカテック

木心地のよい都市を創る。

moc

モリサエ

東亜建設株式会社

木造都市をつくる Shelter

OUTSIDE THE BOX

前田建設特集 | 境界の融解

SIDE

2月27日発売!!

※来て建ててみよう

メールマガジン
始めました!

編集長は僕です!

構造金物相談所
https://top.kanzen.co.jp



会員登録していただくといろいろなメリットがあります。詳しくはこちら

新着情報

2023/03/16 京丹波町役場見学ツアー+パネルディスカッション
講習会情報の登録
※開催日時: 2023年4月28日(金) 10:00~16:30
※申込期日: 2023年4月24日(月) 17時まで
※各定員を満した時点で、期限前に募集を締め切ります

2023/03/15 モクレボ〜林産物に関するマンスリーレポート〜(令和5年3月No.18)
設計技術情報の登録

2023/03/15 拡がる・繋がる木材利用の輪、いま思うこと
リレーコラム「もくlog」の登録
※執筆: 海老澤 渉 (三豊地所設計 R&D推進部 木質建築推進室)
※過去の掲載については下記の「バックナンバーはこちら」からご覧ください
※バックナンバーの閲覧については登録者限定になります

2023/03/14 中大規模木造建築の基礎知識「建てるのなら、木造で」 中大規模木造建築の構法 小規模による非住宅木造建築の空間
動画情報の登録

2023/03/14 中大規模木造建築の基礎知識「建てるのなら、木造で」 中大規模木造建築の構法 一般流通材を用いた汎用非住宅木造建築
動画情報の登録

2023/03/10 鳥取県 中規模建築物木造化ガイドブック
設計技術情報の登録

2023/03/10 第73回日本木材学会大会(福岡大会) 一般公開シンポジウム「森林と木材が拓くネガティブエミッションの新世界」
講習会情報の登録
※開催日時: 2023年3月15日(木) 14:15~

2023/03/09 CLT建築事例集2022 -CLT活用建築物等実証事業から-
設計技術情報の登録

2023/03/08 建築用木材の技術開発・普及事業成果ホームページ
設計技術情報の登録

2023/03/03 相談箱へ投稿がありました(回答: 1件)
※自走式立体駐車場を木構造での設計・施工について

2023/03/03 木材利用促進本部事務局「建築物の木造化・木質化支援事業コンシェルジュ」(林野庁)
設計技術情報の登録
※国や国の関係機関が実施している建築物の木造化・木質化に活用可能な補助事業・制度を一元的に案内する窓口です

2023/03/01 簡易な構造物の木造化セミナー
講習会情報の登録
※開催日時: 2023年3月10日(金) 16:00~17:30

2023/03/01 ~木造プロジェクトの進め方・ポイントを学ぶ~中規模木造セミナー(鳥取県)
講習会情報の登録
※開催日時: 2023年3月14日(火) 16:00~17:00

2023/03/01 令和4年度 内外装木質化等の効果実証事業 成果報告会
講習会情報の登録
※開催日時: 2023年3月20日(月) 13:30~15:30

2023/03/01 タガタメ
リレーコラム「もくlog」の登録
※執筆: 功刀友晴 (株式会社マルレーヴ 代表取締役社長)
※過去の掲載については下記の「バックナンバーはこちら」からご覧ください
※バックナンバーの閲覧については登録者限定になります

→ 新着情報一覧

リレーコラム もくlog

分類別人気BEST10コンテンツ
(過去7日間)

- | 設計技術情報 | 動画情報 | 講習会情報 | 補助金・表彰制度情報 |
|---|------|-------|------------|
| 1. CLT建築事例集2022 -CLT活用建築物等実証事業から- | | | |
| 2. 鳥取県 中規模建築物木造化ガイドブック | | | |
| 3. 建築用木材の技術開発・普及事業成果ホームページ | | | |
| 4. モクレボ〜林産物に関するマンスリーレポート〜(令和5年3月No.18) | | | |
| 5. 木材利用促進本部事務局「建築物の木造化・木質化支援事業コンシェルジュ」 | | | |
| 6. 中大規模木造低層建築物の耐久性向上のための設計・施工の手引き | | | |
| 7. 木質工事特記仕様書および木造軸組接合部標準図 | | | |
| 8. 中大規模木造建築物設計のための大断面集成材スパン表 (令和4年12月版) | | | |
| 9. 木造軸組工法住宅の許容応力度設計 (2017年版) | | | |
| 10. 木材・建材ハンドブック | | | |

非住宅木造建築向け
あんしん建物検査・保証制度

丸喜齋藤組

日本木造耐火建築協会

広告掲載はコチラから

建築製造型地盤改良工法
スクルー・プレス工法協会

検査員・SDG+with
安心・安全・スピーディー
検査

DECOSIDRY

ポータルサイトについて

ポータルサイトの設立背景と目的

これまで木造によることが少なかった低層の非住宅や中高層の住宅・非住宅用途の中大規模建築について、本格的な利用期を迎えた森林資源の活用や、地球環境への配慮、木のもたらす健康効果、優れた施工性等のメリットを生かした木造化のニーズが高まっています。一方、中大規模木造建築に関する各種の設計情報が散在しており、新たに取り組もうとする設計者にとってハードルとなっているほか、実績経験の豊かな設計者に対し有用かつ最新の情報提供が求められています。

このようなことから、中大規模木造建築に取り組みややすい環境整備を目的として、このポータルサイトでは、中大規模木造建築に関する各種の設計技術情報を一元的に提供してまいります。

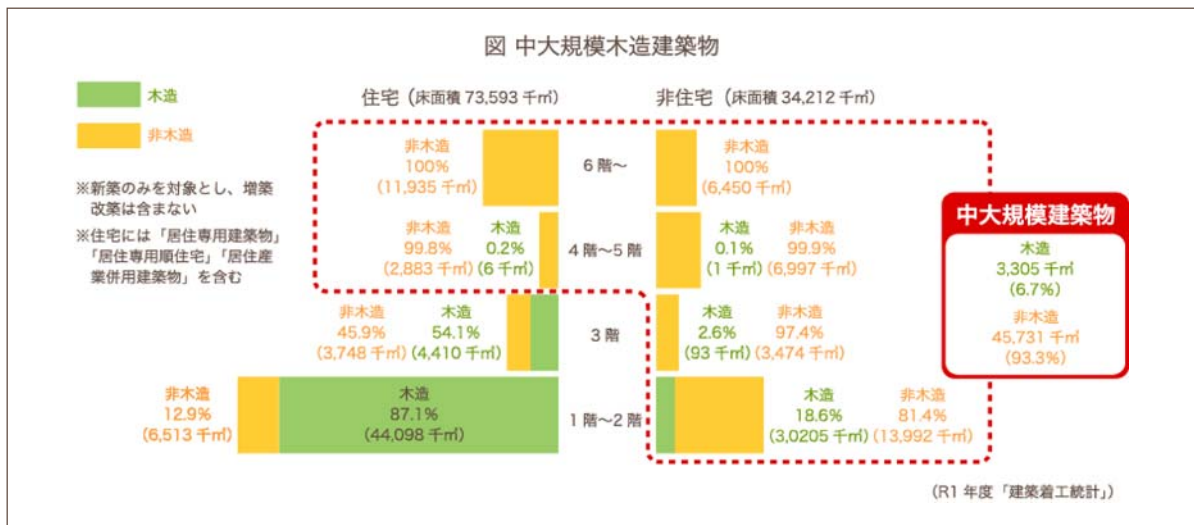
ポータルサイトの対象者

設計者向け（主に意匠、構造）

中大規模木造建築物とは

このポータルサイトで中大規模木造建築物とは、

① 3階以下の非住宅用途の木造建築物 ② 4階以上の木造建築物としています。（下図参照）



中大規模木造建築入門ガイド

木造で中大規模建築を建ててみたいと思った時に見るページです。
実現に必要な情報を下記にて紹介します。

項目	内容	更新日
1	中大規模木造建築の設計プロセス	2023.08.10
2	中大規模木造建築の設計プロセス	2023.08.10
3	中大規模木造建築の設計プロセス	2023.08.10
4	中大規模木造建築の設計プロセス	2023.08.10
5	中大規模木造建築の設計プロセス	2023.08.10
6	中大規模木造建築の設計プロセス	2023.08.10
7	中大規模木造建築の設計プロセス	2023.08.10
8	中大規模木造建築の設計プロセス	2023.08.10
9	中大規模木造建築の設計プロセス	2023.08.10
10	中大規模木造建築の設計プロセス	2023.08.10
11	中大規模木造建築の設計プロセス	2023.08.10
12	中大規模木造建築の設計プロセス	2023.08.10
13	中大規模木造建築の設計プロセス	2023.08.10
14	中大規模木造建築の設計プロセス	2023.08.10
15	中大規模木造建築の設計プロセス	2023.08.10
16	中大規模木造建築の設計プロセス	2023.08.10
17	中大規模木造建築の設計プロセス	2023.08.10
18	中大規模木造建築の設計プロセス	2023.08.10
19	中大規模木造建築の設計プロセス	2023.08.10
20	中大規模木造建築の設計プロセス	2023.08.10

中大規模木造建築の設計プロセス

中大規模木造建築物の設計及び設計監理に係る主な検討事項と関係する時期を、他構造と相違する特筆すべき内容を中心として、企画から計画・設計・工事の段階及び引渡し後に関連して検討すべき15項目とその主な内容を解説しています。

※「木でつくる中大規模建築の設計入門」(公財)日本住宅・木材技術センターより作成

[詳しくはこちら >](#)

お気に入りに追加

この情報をシェアする→



この情報のURL : <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=400&mode=one&code=10001634>

[URLをコピー](#)



中大規模建築物等の木造化、木質化の事例を探すにはまずこれ

中大規模木造建築データベース

このサイトでは、中大規模建築物等の木造化、木質化の促進による木材利用の一層の拡大を目的として、様々な中大規模木造建築物の事例やそれらに用いられた各種の木質部材及びそれらに関する技術者等の情報を一元的に提供するデータベースとして公表しております。

[詳しくはこちら >](#)

お気に入りに追加

この情報をシェアする→



この情報のURL : <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=400&mode=one&code=10001892>

[URLをコピー](#)



建築主に対して木材の良さを伝えるためにまずはこれ

建てるのなら、木造で

建築主向けの非住宅・中大規模木造建築の普及パンフレットです。木造建築・木材のメリットや特性、他工法と比較しての木造建築の優位性や、ヒアリング実施結果を踏まえた事例紹介と施主・利用者の声を紹介しています。

[詳しくはこちら >](#)

[詳しくはこちら >](#)

お気に入りに追加

この情報をシェアする→



この情報のURL : <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=400&mode=one&code=1000154>

URLをコピー



はじめてよう！中大規模木造

中大規模木造への関心を高め、具体的な取り組みへと踏み出すためにはまずこれ

はじめよう！中大規模木造

中大規模木造は、特別な知見や技術が無くても作ることができます。そこで、中大規模木造の最近の事例とともに、木造の経験が豊富な建築家や識者のアドバイスを取り上げています。

[詳しくはこちら >](#)

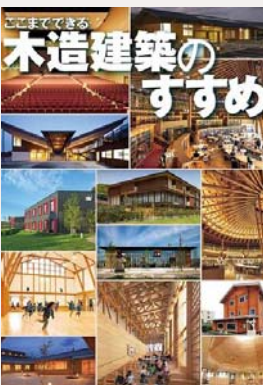
お気に入りに追加

この情報をシェアする→



この情報のURL : <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=400&mode=one&code=1000155>

URLをコピー



ここまでできる木造建築のすすめ

建物用途ごとに、建築基準法等の関係を大まかに理解するためにはまずこれ

ここまでできる木造建築のすすめ

建物の主な用途ごとに、建築基準法などの主な規定との関係が大まかに理解できるように、実際に建設された事例も参照しつつ解説しています。

PDF >

お気に入りに追加

この情報をシェアする→



この情報のURL : <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=400&mode=one&code=1000153>

URLをコピー



事業用建物の建築を検討されている方が、木造建築に取り組む意義やメリットを認識して頂くためにはまずこれ

時流をつかめ！企業価値を高める木造建築

これまで木造建築に取り組まれたことのない施主様、関係者の皆様向けに、実際に木造建築に取り組まれた事例の紹介や、木材利用のメリットを肌で感じておられる実務家のメッセージなど掲載しています。

[詳しくはこちら >](#)

お気に入りに追加

この情報をシェアする→



ホーム

ポータルサイト
について

中大規模木造建築
入門ガイド

設計技術情報

動画情報

講習会情報

担い手・サプライ
チェーン情報

補助金・表彰
制度情報

よくある質問

相談箱

 [初めての方へ](#) [リンク集](#) [サイトマップ](#) [委員会について](#) [個人情報の取り扱いについて](#) [サイトポリシー](#) [お問い合わせ](#) [アンケート](#)



林野庁

中大規模木造建築の設計プロセス

中大規模木造建築の設計プロセスの全体像

検討項目	主な内容	関係する時期 (stage)				
		企画 段階	計画 段階	設計 段階	工事 段階	引渡 し後
1 計画要件の確認	計画要件項目					
	相談者(建築主等)の要望確認					
	敷地条件・法令基準の確認					
2 事業体制づくりと情報収集	事業体制づくり					
	木造建築物に関する情報収集と提供・意向確認					
3 事業スケジュールの立案	事業プロセスの整理					
	事業スケジュールの設定					
4 事業規模・予算の設定	事業費の構成					
	事業予算設定上の配慮事項					
	木造化における積算の特性					
5 構造・工法の選択	構造・工法の分類					
	使用木材・木質材料の選定					
6 プランニング	モジュールと部材寸法					
	構造形式と建築計画					
	木材方針まとめ					
7 構造計画・設計	柱・横架材の検討					
	鉛直構面・水平構面の検討					
	部材と接合部の詳細検討					
8 防耐火計画・設計	木材耐火構造と他構造との違い					
	建築基準法の防耐火法令					
9 音環境性能の計画・設計	建築物の音環境性能に関する基本事項					
	木造建築物の床の遮音性能確保の検討					
10 省エネ・温熱環境性能の計画・設計	建築物の省エネ性能に関する基本事項					
	木造建築物の温熱環境性能向上の検討					
11 耐久性能の計画・設計	木造建築物の耐久性能に関する基本事項					
	耐久性能確保のための配慮事項					
12 木材・木質材料の調達	木材・木質材料の品質設定					
	木材・木質材料の調達					
13 木材加工の検討	加工方法の選定					
	加工図の作成・確認					
14 木造工事の監理	設計意図伝達・施工図書のチェック					
	検査の実施					
15 維持管理の支援	維持保全計画の作成					
	定期的な点検の実施					

< 戻る

建てるのなら、木造で

地球環境に配慮した、海外の木造プロジェクトの取り組みや、各種の木造建築物の紹介、木造建築をつくるプロセス、木造建築・木材のメリット等について紹介します。



◎木造建築の海外の取り組み

海外において注目される地球環境に配慮した木を用いた建物を紹介します。

詳しくはこちら >



◎こんな建築物も木造で造れます

まちの小規模な店舗、クリニックから、地域の学び・癒しの施設、中高層や大規模な木造建築物を紹介します。

詳しくはこちら >



◎木造建築をつくるプロセス

木を使ってどんな建物にしたいかのイメージづくりから、木造専門家の参画を経て設計・施工のプロセスを紹介します。

詳しくはこちら >



◎木造建築・木材のメリットと特性

非日常的で高級感のある木造プロジェクトの紹介のほか、木材利用による健康効果と環境貢献等のメリットや先進技術を用いた木造建築物の安全性について紹介します。

詳しくはこちら >

< 戻る

建てるのなら、木造で

木造建築の海外の取り組み

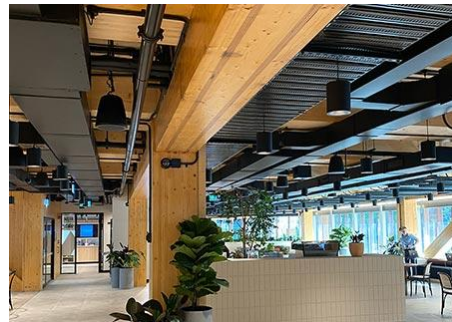
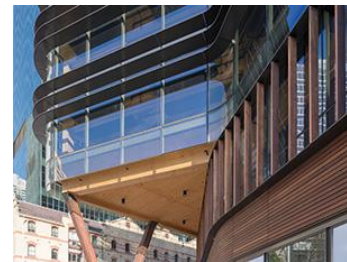
～海外では地球環境に配慮した、木を用いた建物が注目されています～

木造を選んだのは「再生可能資源」「快適性の実現」

7階建てオフィス「インターナショナルハウス・シドニー」では、地球環境に配慮した再生可能資源の積極的利用、執務空間の快適性の実現、安全かつ早い施工などが理由となり、木造が採用されました。印象的なV字型の柱は、オーストラリア産のハードウッドを再利用しています。また省エネルギー化や環境技術を評価され、環境性能認証制度グリーンスターで最高の六つ星を取得しました。施工期間の短期化や内装を施さずに木構造体を現すことによって、限られた予算内に収めています。



◎建物名称=インターナショナルハウス・シドニー◎用途=事務所、店舗◎所在=シドニー・オーストラリア◎構造規模=R C造(1階)+木造(2～7階;集成材・LVL・CLT)◎設計=TZANNES◎延床面積=7920㎡◎竣工年=2017年



<前へ

1

2

3

次へ>

< 目次へ戻る

建てるのなら、木造で

木造建築の海外の取り組み

～海外では地球環境に配慮した、木を用いた建物が注目されています～

木造と鉄筋コンクリート造の混構造による大規模なオフィスビル

湖畔に建てられた水力発電所のオフィスビル。Cree社が手掛けたオフィスビル「ライフサイクルタワー」と同工法（木とコンクリートのハイブリッドによるプレハブ床パネル構造）にて建設されました。構造・内装に地域産木材が使用されており、環境性能の高さはもとより、利用者のための空間をめざした技術者と作業員の交流拠点になっています。



◎建物名称 = Illwerke 電力会社 IZM 本社ビル
 ◎用途 = 事務所 ◎所在 = ヴァンダンス・オーストリア
 ◎構造規模 = 混構造（事務室：集成材+木・RC造ハイブリッド床パネル、階段室：RC造）5階・地下1階建 ◎設計 = Hermann Kaufmann + Partner ◎延床面積 = 11497㎡ ◎竣工年 = 2013年



<前へ

1

2

3

次へ>

< 目次へ戻る

建てるのなら、木造で

木造建築の海外の取り組み

～海外では地球環境に配慮した、木を用いた建物が注目されています～

未来を見据えた世界の潮流

海外では、地球環境への貢献の観点などから、さまざまな中大規模建築物の木造化や混構造における木材利用の取り組みが進められています。その背景には世界的な気候変動や生物多様性の損失、貧困や格差、紛争や人権侵害など、さまざまな課題の存在があります。それらを解決に導き、より良い未来をめざすために世界が合意した目標として、「パリ協定」と「SDGs:持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」があります。この二つは経済社会の抜本的転換を求めており、海外の建築の世界においても、将来の持続可能性に関わる大きな変化だと考える企業が多くなるとともに、目標達成に向けたビジネスへの期待もいっそうの高まりをみせています。

将来的に木が脚光を浴びる可能性

脱炭素社会・持続可能な社会の構築のため、木造化・木質化の取り組みを通して、企業としての社会貢献が求められています。さらに、近年では、SDGsを強化する動きとして、国連気候アクション・サミット(2019年9月開催)に合わせて、国連環境計画金融イニシアティブ(UNEP FI)による国連責任銀行原則(PRB)が発足し、経済活動において投資家がESG(環境・社会・ガバナンス)への取り組みを投資先の企業に求める動きが世界的に強まっています。建築事業者は、国連のSDGsの発表等を背景にグローバルに拡大を続ける「ESG投資」の波を捉え、木造建築を投資家に対し効果的にアピールするとよいでしょう。このような流れを受けて、建設や不動産業界においても、建築物のZEB化(Zero Energy Building¹)に向けた機運が世界的に強まることが予想されます。森林の成長時にCO2を固定しライフサイクルの観点から環境負荷低減に寄与する木造化・木質化の取り組みは、ESGへの取り組みと金融投資家をつなぐツールとして注目を集める「グリーンボンド」などのESGマネーを呼び込むうえで、世界的にも先駆的な取り組みになることが期待されます。

<前へ

1

2

3

次へ>

< 目次へ戻る

ホーム	ポータルサイトについて	中大規模木造建築入門ガイド	設計技術情報	動画情報	補助金・表彰制度情報	講習会情報	担い手・サプライチェーン情報	よくある質問	相談箱 (※登録者限定)
-----	-------------	---------------	--------	------	------------	-------	----------------	--------	-----------------

●ホーム > 中大規模木造建築入門ガイド > 建てるのなら、木造で > こんな建築物も木造で造れます1

建てるのなら、木造で

こんな建築物も木造で造れます

～木を使ってまちのさまざまな場所をほっとくつろげるスポットに～

歴史ある街並に溶け込む、木造ならではの佇まい

土地の歴史を記憶し、地域になじみ長く愛されることをめざした複合商業施設。事業主からは再生可能で環境にやさしい自然素材である木を使い、街並に似合う建物を、という要望が。敷地周辺には伝統的な酒蔵や社寺・民家が建ち並び、市外からも多くの人々が訪れます。

まちの歴史を感じさせるこの地にふさわしい建物として、伝統的な町家をベースとした木造真壁造りの平屋を計画。屋根は登り梁で支えられた連続する吹き抜けの大空間。木に包まれるやすらぎと力強い木組みの雄大さは、施設を訪れる人々に木造建築の発展と、さらなる可能性を示しています。



◎建物名称=タリーズコーヒー伊丹店・ソフトバンク伊丹中央ショッ
◎用途=店舗◎所在=兵庫県伊丹市◎構造規模=木造軸組構法平屋建
◎耐火性能=その他建築物◎事業主=伊丹産業
◎設計・施工=住友林業◎構造設計=ネオフォルム構造技研◎主な構造用木材=集成材◎延床面積=495㎡◎竣工年=2014年



事業主の声

町有林を活かした公共建築の木造化やペレット暖房普及など循環型まちづくりを推進。木造によりローコストも実現できました。

<前へ

1

2

3

4

5

6

次へ>

< 目次へ戻る

ホーム	ポータルサイトについて	中大規模木造建築入門ガイド	設計技術情報	動画情報	講習会情報	担い手・サプライチェーン情報	補助金・表彰制度情報	よくある質問	相談箱
-----	-------------	---------------	--------	------	-------	----------------	------------	--------	-----

リンク集

サイトマップ

委員会について

個人情報の取り扱いについて

サイトポリシー

お問い合わせ

アンケート



ホーム	ポータルサイトについて	中大規模木造建築入門ガイド	設計技術情報	動画情報	補助金・表彰制度情報	講習会情報	担い手・サプライチェーン情報	よくある質問	相談箱 (※登録者限定)
-----	-------------	---------------	--------	------	------------	-------	----------------	--------	-----------------

●ホーム > 中大規模木造建築入門ガイド > 建てるのなら、木造で > こんな建築物も木造で造れます2

建てるのなら、木造で

こんな建築物も木造で造れます

～木を使ってまちのさまざまな場所をほっとくつろげるスポットに～

LVLの厚板壁で街中でも木を現しに。街並にもやさしい動物病院

設計者も開発に携わった「LVL」の厚板壁「木層ウォール」を先駆的に採用した動物病院。このLVL厚板壁は高い強度と耐火性能を併せ持ち、街中で木を現して使うことを可能にしています。

移転前は診察を待つ人々とペットが病院のまわりに行列をつくっており、居心地よく診察を待ってもらえる空間をめざしました。待合室はスリットから美しい光が入る吹き抜けとし、木の積層した面が印象的なLVLを現しで用い、表情豊かな木に包まれた空間としています。さらに外壁のLVLには耐候性を持たせた仕上げを施し、街中で木の素材感を活かす景観を創出しています。



◎建物名称 = みやむら動物病院 ◎用途 = 畜舎
(入院施設付き動物病院) ◎所在 = 東京都江戸川区 ◎構造規模 = 木造軸組構法3階建 ◎耐火性能 = 準耐火建築物 ◎事業主 = みやむら動物病院
◎設計 = ATELIER OPA+ビルディングランドスケープ ◎構造設計・防耐火設計 = 桜設計集団一級建築士事務所 ◎施工 = 大和工務店 ◎246㎡ ◎竣工年 = 2015年



事業主の声

愛着を持って長く利用いただくため、「古の街並み」に溶け込む木造施設に。結果として高い収益につながる建物となりました。

<前へ

1

2

3

4

5

6

次へ>

<目次へ戻る

ホーム

ポータルサイト
について

中大規模木造建築
入門ガイド

設計技術情報

動画情報

講習会情報

担い手・サプライ
チェーン情報

補助金・表彰
制度情報

よくある質問

相談箱

リンク集

サイトマップ

委員会について

個人情報の取り扱いについて

サイトポリシー

お問い合わせ

アンケート

建てるのなら、木造で

こんな建築物も木造で造れます

～木を使ってまちのさまざまな場所をほっとくつろげるスポットに～

木に包まれ、子どもが健やかに成長していく学校を

かつて都内最大級の貯木場があり、現在は都市化とともに人口増加が著しい有明地区に新設された義務教育学校。木の学校として新たな街並みのシンボルとなるように、やわらかな曲面状の外壁部は伝統的な下見板張りを人工木で表現し、軒天井は天然木の自然な風合いを醸し出す杉を目透かして仕上げています。

学校生活の中心である普通教室と共用部を積極的に木構造化・木質化を行い、長大な校舎を木の列柱と吹き抜け空間からなる回廊でつないで、木がもつあたたかさや柔らかさに触れながら子どもたちが成長していく学び舎になりました。



◎建物名称=江東区立有明西学園◎用途=学校
◎所在=東京都江東区◎構造規模=混構造(木造+RC造+S造)5階建◎耐火性能=耐火建築物◎事業主=江東区◎設計・構造設計=久米・竹中設計共同体◎施工=竹中工務店◎主な構造用木材=耐火集成材◎延床面積=24494㎡◎竣工年=2018年



事業主の声

木で発展した地域のシンボルにふさわしい木の学校。普通教室および移動・交流の場を中心に、木のぬくもりを活かした学び舎に。

<前へ

1

2

3

4

5

6

次へ>

<目次へ戻る

建てるのなら、木造で

こんな建築物も木造で造れます

～木を使ってまちのさまざまな場所をほっとくつろげるスポットに～

2×4工法による日本最大級の耐火建築物。ぬくもりや肌触りなど、木ならではのやさしさも両立。

木造（2×4工法）と鉄筋コンクリート造の特性を最大限に活かした混構造による特別養護老人ホームで、2×4工法による耐火建築物としては日本最大級です。

震災による液状化への対策に加えて、1階は広い空間づくりが容易な鉄筋コンクリート造を採用して、デイサービスセンター、地域交流スペース、厨房などを設け、地域に親しまれる開かれた福祉拠点に。2～5階の居住部分は2×4工法とすることで、断熱性、床のやわらかさ、さらにはぬくもり感など、木造ならではのやさしい生活・居住環境を入居者に提供しています。



◎建物名称＝花畑あすか苑◎主な用途＝特別養護老人ホーム、老人短期入所生活保護施設◎所在＝東京都足立区◎構造規模＝RC造（1階）＋木造2×4工法（2～5階）◎耐火性能＝耐火建築物◎事業主＝（福）聖風会◎設計＝メドックス◎構造設計＝日本システム設計◎施工＝三井ホーム◎主な構造用木材＝2×4材◎延床面積＝9773㎡◎竣工年＝2016年



事業主の声

木の持つ風合いや温もりの居心地の良さやインフルエンザ発症率の抑制な事業主 ども、入居者のメリットを考えて木造に。

<前へ

1

2

3

4

5

6

次へ>

< 目次へ戻る

建てるのなら、木造で

こんな建築物も木造で造れます

～木を使ってまちのさまざまな場所をほっとくつろげるスポットに～

木を現しで構造に使った高層（7階建）オフィスビル



街中に大きな建物を建てる場合は厳しい耐火要件が課されますが、ここでは3階までを通常の鉄骨造、4階以上を「木質ハイブリッド集成材」を採用して耐火要件を満たし、木を現しで構造に使ったビルを実現しています。

事業主は木材利用を活性化させるために、大消費地である都市での高層建築や民間の事業者による木造を増やしたいという思いがあり、施工者との強力なタッグで叶えています。また新しく技術を開発するのではなく、木質ハイブリッド集成材の既存技術を改良することで適正なコストを実現、設計・施工面で標準化をした使いやすいスタンダードをめざしています。



◎建物名称＝国分寺フレーパーライフ本社ビル◎用途＝事務所◎所在＝東京都国分寺市◎構造規模＝S造7階建（4～7階は木材現し）◎耐火性能＝耐火建築物◎事業主＝フレーパーライフ社◎設計＝スタジオ・クハラ・ヤギ+team Timberize◎構造設計＝KAP◎耐火設計＝桜設計集団一級建築士事務所◎施工＝住友林業◎主な構造用木材＝木質ハイブリッド集成材◎延床面積＝606㎡◎竣工年＝2017年



事業主の声

アロマテラピーなど自然に寄り添う会社にふさわしく、木を活かした建物に。自然の恵みを社会に循環させ、街に森ができれば。

<前へ

1

2

3

4

5

6

次へ>

< 目次へ戻る

建てるのなら、木造で

こんな建築物も木造で造れます

～木を使ってまちのさまざまな場所をほっとくつろげるスポットに～

地元の材料と誰でも建てられる技術で、ローコストを実現した複合施設

公民連携（PPP）の手法で建てられた地域交流の場となる複合施設。木造の棟に鉄筋コンクリート造の棟を挟んで分割することで各木造部の面積を3000㎡未満とし、木を現して使える準耐火建築物としています。地域材を利用し、特殊な技術や材料を要せず地元業者で工事可能な木造を提案。

幅28mの大空間を屋根の形に組んだ大梁を連続させるシンプルな構造システムや、入手しやすいサイズの集成材、住宅用接合金物を採用し、通常予算の半額以下という究極のローコストを実現。震災直後の困難な状況にもかかわらず、町民に喜ばれる施設を予定工事期間内に完成できました。



◎建物名称＝オガールプラザ◎主な用途＝図書館、地域交流センター、子育て応援センター、産直、診療所、飲食店、物品販売店◎所在＝岩手県紫波郡◎構造規模＝混構造（木造＋RC造）2階建◎耐火性能＝準耐火建築物◎事業主＝オガールプラザ、紫波町◎設計＝近代建築研究所＋中居都市建築設計◎構造設計＝ホルツストラ◎施工＝佐々木建設、橋建設JV◎主な構造用木材＝集成材◎延床面積＝5826㎡◎竣工年＝2012年◎竣工年＝2017年



事業主の声

町有林を活かした公共建築の木造化やペレット暖房普及など循環型まちづくりを推進。木造によりローコストも実現できました。

<前へ

1

2

3

4

5

6

次へ>

< 目次へ戻る

建てるのなら、木造で

木造建築をつくるプロセス

～中大規模木造建築ができるまで 事業主と木造専門家によるコラボレーション～



イメージづくり

まず、どんな木造の建物にしたいかを考えてみましょう

木造で中大規模建築をつくりたい場合は、木を使ってどんな雰囲気の建物にしたいか、どの地域の木を使いたいか、どんな木をどんな風に使いたいか、まず考えてみてください。

予算や、いつ頃までに完成させたいか、規模や敷地などの、情報整理もしておきましょう。



どんな木造の建物にしたいのが、イメージづくりを行うことが大切！

おおよその規模をイメージ

- 低層 中層 高層
小規模 中規模 大規模

予算はどれくらい？

竣工はいつまで？

木を使ってどんな空間をつくりたい？

- 子どもやお年寄り、病気の方に優しい空間
木の癒し効果がある空間
住宅のような親しみのある空間
木の良さを生かした現代的な空間



専門家探し

次は、チームづくり木造にかかわる設計者や専門家を探します

建物の実現に向けて設計者を探します。設計者はイメージを具体的なカタチにし、完成までの工程を統括するパートナー。

木造の建物の整備においては経験豊富な設計者を見つけることがプロジェクトの行方を左右します。規模によっては構造設計者や木材調達に専門家も必要に。



事業の早期における、専門家のチームづくりを！木材は通常流通していない寸法や大量に使用する場合は調達に時間がかかることも。

専門家を探す

- 設計者 大工・工務店
製材所 木材調達

専門家の選び方

- 面談 提案比較 (プロポーサル)
実績比較



3
イメージの具体化

設計が始まりますどんな木をどう使うか設計者と共に考えます

イメージを具体的なかたちにする段階です。必要な機能・間取り・全体イメージなど要望を設計者に伝えて設計を進めます。

使う木の種類やどんな場所でどう使うかも設計者と考えましょう。そして図面や模型などで具現化された設計者の提案を検討します。



木材にはさまざまな材種や製品があります。サンプルや資料の入手、工場見学など専門家に依頼しましょう。

要望を設計者に伝える

- 考えている間取り 機能
- どんな風に使っていききたいか
- インテリアのイメージ

設計時に確認しておくことは？

- 補助金の有無 日々のメンテナンス方法
- 将来的な修繕方法



4
工事

いよいよ工事スタート木造建築の経験豊かな地域の施工者と協働

設計者の図面をもとに工事が始まります。木造工事の経験豊富な大工や工務店が参画できるよう施工業者を選定・発注することが望めます。

工事中はイメージ通りに工事が進んでいるか、設計者とともに現場を見にいきましょう。



地域の山の木を使う際には、伐採・製材・乾燥と時間がかかる場合があります。時間短縮のために主要な木材だけ、工事前に発注し、施工業者に支給する方法もあります。

設計者と調整すべきこと

- 工事の各段階でイメージ通りに進んでいるか
- イメージと異なる場合は、早めに設計者に伝える
- 竣工後のメンテナンス体制を明確に



[< 目次へ戻る](#)

[ホーム](#)
[ポータルサイトについて](#)
[中大規模木造建築入門ガイド](#)
[設計技術情報](#)
[動画情報](#)
[講習会情報](#)
[担い手・サプライチェーン情報](#)
[補助金・表彰制度情報](#)
[よくある質問](#)
[相談箱](#)

[リンク集](#)
[サイトマップ](#)
[委員会について](#)
[個人情報の取り扱いについて](#)
[サイトポリシー](#)
[お問い合わせ](#)
[アンケート](#)

建てるのなら、木造で

木造建築・木材のメリットと特性

～中大規模木造プロジェクトにはさまざまな可能性が秘められています～

木の特性利用

非日常的で高級感のあるナチュラル志向・テーマ性のある木の空間を創出し収益性を向上。軽さを活かして床面積を増やし、事業性の拡大を図ります。

木の良さを前面に出してブランディング

建築物の立地特性や用途から想定されるテナントの収益性を考慮して、木の良さを前面に出して木造建築物のブランディングを行い、他にはないシンボリックな木造建築物への建て替えを実現。

これにより、ナチュラル志向のテーマ性のある空間に合ったテナントリーシングを実現し、事業性を大幅に高めることができました。

◎建物名称 = Gビル自由が丘01B館◎用途 = 店舗◎所在 = 東京都目黒区◎構造規模 = 木造3階建◎耐火性能 = 耐火建築物（耐火集成木材）



建て替え前



建て替え後

軽さを活かして床面積を増やし既存を杭を活用して事業性を拡大

4階建ての非木造建築物を建て替えるに当たり、木造を選択することにより木の軽さを活かして建物重量を削減し、既存の杭基礎を活用して6階建ての建築物への建て替えを実現。

これにより、基礎の整備費や杭基礎の撤去費等を節約するとともに、床面積を1.42倍に増やすことができ、事業性を大幅に高めることができました。

◎建物名称 = THE WOOD◎用途 = 事務所、共同住宅◎所在 = 東京都大田区◎構造規模 = S造（1～2階）、木造（3～6階）◎耐火性能 = 耐火建築物



建て替え前



建て替え後

建てるのなら、木造で

木造建築・木材のメリットと特性

～中大規模木造プロジェクトにはさまざまな可能性が秘められています～

耐火・準耐火木造

今まで木造では難しかった高層建築、木の現し仕上げにすることができなかった中層建築。耐火建築物や性能の高い準耐火建築物にすることにより実現可能に。

耐火木質部材の開発により高層の耐火木造建築が実現

1時間から3時間耐火の各種木質部材の開発が進められ、高層の耐火木造建築の建設が可能となっています。

こうした耐火木質部材を用いて、SDGsに寄与する取り組みとして、地上10階建ての木造と鉄骨造の混構造による耐火建築が実現しています。

◎建物名称 = PARKWOOD高森◎用途 = 共同住宅◎所在 = 宮城県仙台市◎構造規模 = 混構造 = 耐火建築物（耐火集成木材）
写真：三菱地所、竹中工務店造（木造+S造）10階建◎耐火性



木の現し仕上げが中層の木造建築など、住宅以外の用途で実現

木の現し仕上げにより快適で心地よい室内空間を実現。透析治療の患者さんからは心理的な負担が軽減されるとの声が寄せられています。



撮影：(株)エスエス 島尾望

◎建物名称 = 中郷会新柏クリニック◎用途 = 診療所◎所在 = 千葉県柏市◎構造規模 = 混構造（木造+RC造+S造）3階建◎耐火性能 = 耐火建築物（耐火集成木材）
写真：竹中工務店



<前へ 1 2 3 4 5 6 7 次へ>

< 目次へ戻る

建てるのなら、木造で

木造建築・木材のメリットと特性

～中大規模木造プロジェクトにはさまざまな可能性が秘められています～

防水性・水密性

中大規模木造建築の実現に向けて、防水性・水密性に優れた各種部材の開発が進んでいます。

耐久性の高い屋根、外装、開口部の開発が進んでいます

中大規模木造建築物においては、耐久性の向上のための設計上の配慮や木質部材の使用環境に応じた様々な耐久性部材の活用が重要です。

さらに、防水性・水密性の高い外装部材の開発が進められ、木部への水分の作用を制御しつつ木を見せることも可能となっています。

◎建物名称 = 小林市庁舎(東館) ◎用途 = 事務所
◎所在 = 宮崎県小林市 ◎構造規模 = 木造3階建
◎耐火性能 = その他建築物



< 前へ

1

2

3

4

5

6

7

次へ >

< 目次へ戻る

建てるのなら、木造で

木造建築・木材のメリットと特性

～中大規模木造プロジェクトにはさまざまな可能性が秘められています～

健康効果と環境貢献

ストレスの抑制など、健康への効果が報告されています。
温室効果ガスの削減など地球環境負荷を軽減します。

木材には人の心身に働きかけるさまざまな効果があります

木材は、その香りや触りごちにより、血圧を低下させるなどストレスを小さくすることが報告されています。

また、多孔質なので室内の湿度をある程度一定に保った過ごしやすい環境づくりが可能になること、コンクリートやタイルなどに比べて熱が伝わりにくいで触れるとぬくもりを感じる、衝撃吸収性がありやさしい肌ざわりをもつことなどの特徴があります。

木造や木材を使用した建物は子どもからお年寄りまで健やかに過ごせる空間づくりに役立ちます。

木の香りを人体への作用・癒し効果

作用・癒し効果	樹種
快眠、ストレス軽減	ほとんどの樹種（αピネン効果）
発汗、脈拍生業	同上
冷えの軽減	同上
高血圧制御	ヒノキ、ヒバ
爽快感、疲労感の軽減	ヒノキ、トドマツ
鎮静（α、β波の増大）	ヒノキ、ヒバ、スギ、アカマツ、アラスカシーダー、ベイマツ、ベイスギ材
運動量の増加	ヒノキ、トドマツ
去痰	ユーカリ
胃粘膜の防御因子の増強	一般的針葉樹材
鎮咳	サクラ樹皮
亜硫酸ガス脱臭作用、アンモニア脱臭作用	ヒノキ、ヒバ
抗菌	ヒノキ、ヒバ、サワラ、ネズコ、タイヒ、ユーカリ
防蟻	ヒノキ、ヒバ、サワラ、コウヤマキ、イヌマキ、センダン
防ダニ	ヒノキ、ヒバ、サワラ、スギ、アカマツ、ベイヒバ、ベイスギ
防虫	クス、センダン、ユーカリ

原典 = (一財) 日本木材総合情報センター「木材住居環境ハンドブック」木材利用相談Q & A 100

出典 = (公財) 日本住宅・木材技術センター「木材と木造住宅Q & A 108」(2008年2月)

地域の材を使うと、地域経済の活性化に寄与します

木材の利用は、産地における林業の生産活動を活発にし、雇用の機会を創出します。また極力産地に近い場所で、木材の製材・加工・販売を行うと、同様に雇用の機会が創出されます。一方、木造建築の建設に携わる事業者の仕事の機会提供にもつながるものです。木材を地域で生産・利用することは、その地域内のさまざまな産業の事業チャンスを生み、地域経済の活性化につながります。

木を建物に使うことは炭素の固定、CO2の排出削減につながります

樹木は、光合成によって大気中のCO2(二酸化炭素)を取り込み、木材の形で炭素を貯蔵しています。このため、木材を建築物に用いることは、大気中のCO2を固定することにつながります。例えば、木造住宅は、鉄骨プレハブ住宅や鉄筋コンクリート住宅の約

4倍の炭素を貯蔵していることが知られています。

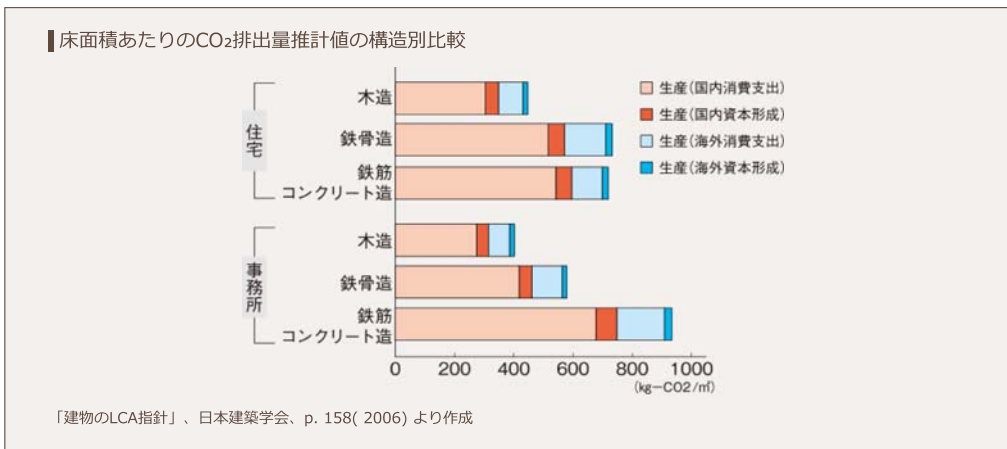
また、木材は、鉄やコンクリート等の資材に比べて製造や加工に要するエネルギーが少ないことから、木材の利用は、材料製造時のCO2の排出削減につながります。

住宅（約41坪）1戸あたりの炭素貯蔵量と材料製造時の炭素放出量

	木造住宅	鉄骨プレハブ住宅	鉄筋コンクリート住宅
炭素貯蔵量	6炭素トン	1.5炭素トン	1.6炭素トン
材料製造時の炭素放出量	5.1炭素トン	14.7炭素トン	21.8炭素トン

原典：大熊幹章（2003）地球環境保全と木材利用，全国林業改良普及協会：54、岡崎泰男，大熊幹章（1998）木材工業，Vol.53-No.4:161-163.
出典：林野庁「森林・林業白書」

さらに、材料製造時・輸送時及び建設時等におけるCO2の排出量をみると、住宅の場合、木造は鉄筋コンクリート造・鉄骨造の6割程度、事務所の場合、木造は鉄筋コンクリート造の4割程度、鉄骨造の7割程度と少なく抑えられることが報告されており、建設時にも環境負荷の軽減に寄与しています。



建てるのなら、木造で

木造建築・木材のメリットと特性

～中大規模木造プロジェクトにはさまざまな可能性が秘められています～

工期と建設コスト

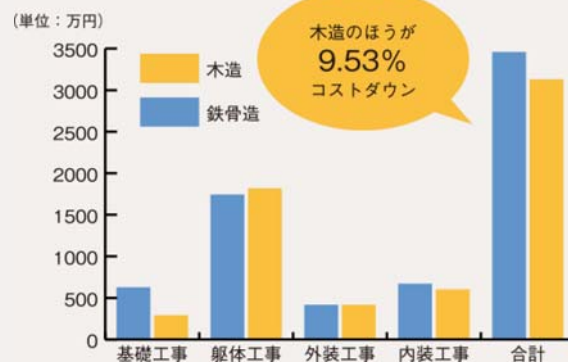
ストレスの抑制など、健康への効果が報告されています。
温室効果ガスの削減など地球環境負荷を軽減します。

木造以外でつくった場合と比べると工事費で優位性があることも

同じ建物を、木造と鉄骨造でそれぞれつくった場合、工事費がどの程度異なるのか検証したところ、木造に優位性が見られました。建物の構造において特に躯体の重さが影響を与える基礎工事費においては、顕著な優位性が認められました。同じ木造でも意匠の見せ方や工法で工事費は変わってきますが、木造だからといって他構造に比べて特別に高くなるわけではありません。

*金物を多用したり、大きな部材で大空間をつくるといった特殊な架構形式が必要とされるもの、また一般的に流通していない材料や、高い耐火性能を求めなど特殊なケースは、この限りではありません。

2階建事務所（約12×18m、延床面積430㎡）におけるシミュレーション



(一社) 中大規模木造プレカット協会資料による

低層小規模店舗を全国でチェーン展開している事業者では、従来鉄骨造で店舗を建設していましたが、敷地形状に応じて柔軟な平面計画が可能となる木造も採用する取り組みがあります。

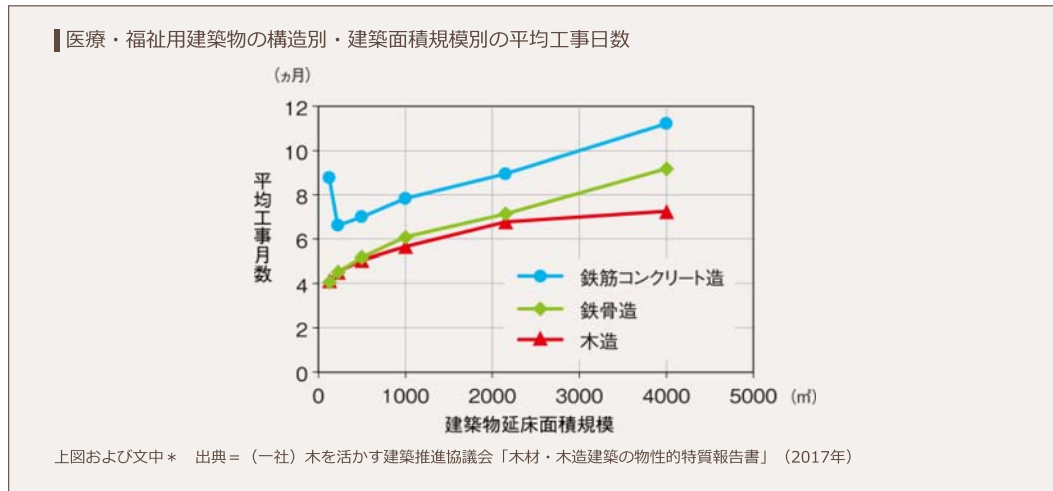
木造を採用することにより鉄骨造よりも躯体コストの低減を実現しています。また、製造時及び建設時のCO2排出量の削減にも寄与しています。



他の構造に比べて工事期間が短い特徴があります

木造建築は他の構造の建物に比べ「工事期間が短い」と言われます。工事期間が短いということは、工事全体の経費削減などのメリットが得られる可能性があり、建物を計画する際の構造方法を選択する一つの理由になります。統計調査資料によると、鉄筋コ

ンクリート造の工事期間がいちばん長く、木造と鉄骨造は同等か、やや木造のほうが工事期間が短い傾向があります*。



減価償却の期間が短く事業者にとって有利

我が国の税制上の建物の「耐用年数」と言えば、減価償却年数の根拠となる「法定耐用年数」を指し、これは実際の「建物の寿命」とは異なるものです。木造の法定耐用年数は、鉄筋コンクリート造・鉄骨造に比べて短く設定されていますが、木造の建物の寿命が必ずしも他の構造よりも短いわけではありません。実際に適切な方法で設計・工事・維持管理を講じた木造建築は長寿命であることが知られています。つまり、あくまで木造の「減価償却のための耐用年数」が他の構造と比べて短いということなのです。これは事業者にとって、税制上のメリットと言えます。

<前へ

1

2

3

4

5

6

7

次へ>

< 目次へ戻る

ホーム

ポータルサイト
について

中大規模木造建築
入門ガイド

設計技術情報

動画情報

講習会情報

担い手・サプライ
チェーン情報

補助金・表彰
制度情報

よくある質問

相談箱

リンク集

サイトマップ

委員会について

個人情報の取り扱いについて

サイトポリシー

お問い合わせ

アンケート

国土交通省

林野庁

©2020 中大規模木造建築ポータルサイト検討委員会

建てるのなら、木造で

木造建築・木材のメリットと特性

～中大規模木造プロジェクトにはさまざまな可能性が秘められています～

火災に対する安全性

火に対する木材の特性と現代の技術を活用して、
十分な火災安全性を確保できるようになっています。

木造の建物は人命を守るため、主要な構造が「燃え抜けない」「燃えて壊れない」などの性能を確保することが法律で定められています。

木は、着火すると表面は燃えるものの、表面に空洞を持った炭化層を形成します。これは断熱材にも似て、熱が木材内部に侵入するのを防ぎます。木材の断面が大きいと炭化層が均一につくられるので、なかなか燃え進みません。つまり、木は表面が燃えてもゆっくりと燃え、「燃え抜けない」性質をもっています。

この木の性質を活かして、木材を構造材や仕上材に使っても、火災に対して安全性を確保できるさまざまな方法が実用化されています。また、木造の構造体が「燃えて壊れない」ための耐火性の高い部材も実用化され、多様な用途や高層の建物が木造で建てられるようになっています。



木製パネル加熱実験の様子左：加熱面、右：非加熱面は手で触ることが可能（木製パネルの燃え残り厚さは40mm）

構造に対する安全性

効率のよい多様な手法を活用して、
十分な構造安全性を確保できるようになっています。

地震への耐え方には違いはありますが、法律で定めている目標性能が同じである限り、木造だから耐震性能が低いということはありません。木造の建物は軽いのが特徴で、鉄筋コンクリート造などより地震力が小さくなることから、適量の構造壁で耐震性とプランニングを両立させることが可能です。

また木造には、耐震性能をあげるさまざまな方法があり、コストを調整しやすい構造であること、耐震性能を高めるための工事を比較的容易に行えるという特徴があります。

耐久性とメンテナンス

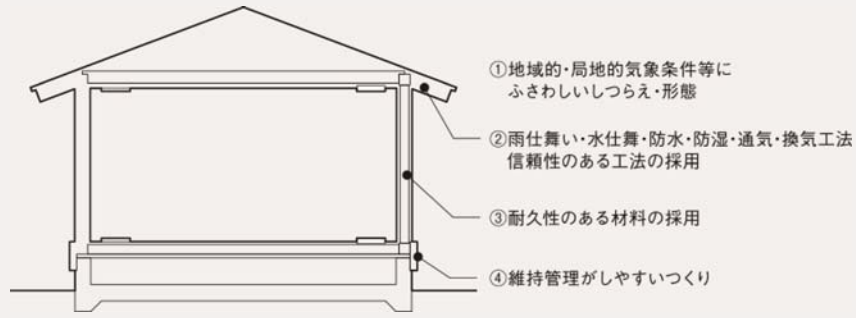
寿命化のために適切な設計と維持管理を。
時を経た木の美しさを味わえます。

木材は経年により美しく変化する素材で、木造建築は長寿命化につなげることができます。木造建築の耐久性は、設計と建築後のメンテナンスで確保します。

木材の耐久性を低下させる原因は水分・湿分です。工法や材料の選択により、この水分・湿分をコントロールすることができます。また、将来的な維持管理を見据えて、補修しやすいつくりにおきましょう。

建築後には木部の耐久性を損なわないために定期的にメンテナンスしていくことが大切です。

設計段階で考慮する、木造の耐久性維持のための手法



<前へ

1

2

3

4

5

6

7

次へ>

< 目次へ戻る

ホーム

ポータルサイト
について

中大規模木造建築
入門ガイド

設計技術情報

動画情報

講習会情報

担い手・サプライ
チェーン情報

補助金・表彰
制度情報

よくある質問

相談箱

リンク集

サイトマップ


委員会について

個人情報の取り扱いについて

サイトポリシー

お問い合わせ

アンケート

 国土交通省

林野庁

©2020 中大規模木造建築ポータルサイト検討委員会

建てるのなら、木造で

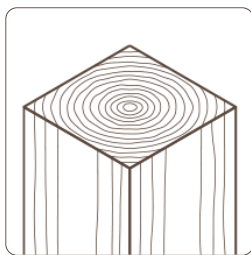
木造建築・木材のメリットと特性

～中大規模木造プロジェクトにはさまざまな可能性が秘められています～

どんな木を使えばよい？

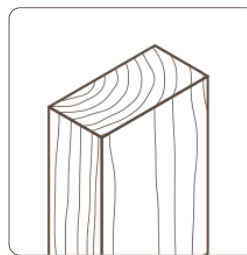
木は丸太から様々な状態に加工されます。
目的に応じて最適な材料を選ぶことができます。

主な木材・木質材料



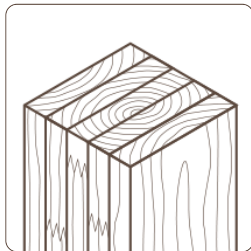
製材（無垢材）

丸太から加工した板や角材のこと。調達が容易で、加工や施工体制も整備されている、最も一般的な材料。流通している規格外の材の場合は、入手が困難になることも。



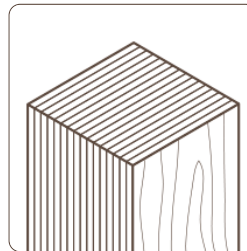
2×4材

製材時の断面が主に2×4インチに加工した材のこと。この他に、2×6、2×8、2×10インチなどの規格の材が北米を中心に北欧などからも供給されています。近年は国産の製品も。



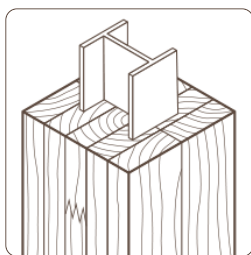
集成材

ひき板を幅・厚さ方向に平行に接着した材。無垢材特有の割れや狂い、反りがなく、品質が均一化されています。必要とされる強度に応じた部材を供給しやすいという特徴があります。



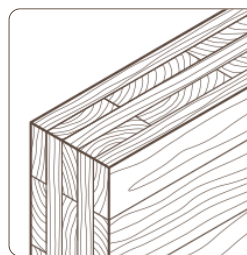
LVL（単板積層材）

薄い単板を繊維方向に平行に積層接着した材のこと。高い寸法安定性があり、部材ごとの強度のばらつきも小さいという特徴があります。防虫、防腐、防蟻などの薬剤処理なども容易。



木質ハイブリッド集成材

鉄骨などを木材（集成材）で覆った材のこと。鉄骨は木材に覆われて見えないため、木材のあたたかみのある意匠と、よりすぐれた強度や耐火性能を両立させることが可能。



CLT（直交集成板）

ひき板を並べた層を、板の方向が層ごとに直交するように重ねて接着した大判の厚板パネル。面で建物を支えられるので中高層建築にも。施工性も高まり工期短縮のメリットも。

構法・構造



木造軸組構法

現在最も一般的な木造建築のつくり方で「在来工法」とも呼ばれています。基礎に土台を乗せて柱を立て、梁などの水平の材を渡して骨組をつくります。近年は生産の合理化をめざし新しい構法も普及しつつあります。



2×4工法（枠組壁工法）

北米で発達した木造建築の構法で、材料の規格化と施工の単純化による工事期間の短縮に特色があります。2×4材を主として使用し、壁・床・天井などの面全体で構造を支持します。柱はなく壁で上階または屋根を支えます。



混構造

木造と非木造（鉄筋コンクリート造や鉄骨造）等、複数の構造を組み合わせた構造形式のこと。比較的軽量でさまざまな効果をもつ木造と、規模や階数によっては耐震性・防火性を確保しやすい他構造を適材適所に採用することができます。混構造には、全体が非木造の建物の一部を木造としたり、上下層で構造を分けるなど、さまざまな方法があります。

<前へ

1

2

3

4

5

6

7

次へ>

< 目次へ戻る

ホーム

ポータルサイト
について

中大規模木造建築
入門ガイド

設計技術情報

動画情報

講習会情報

担い手・サプライ
チェーン情報

補助金・表彰
制度情報

よくある質問

相談箱

リンク集

サイトマップ


委員会について

個人情報の取り扱いについて

サイトポリシー

お問い合わせ

アンケート

 国土交通省

林野庁

©2020 中大規模木造建築ポータルサイト検討委員会

ホーム	ポータルサイト について	中大規模木造建築 入門ガイド	設計技術情報	動画情報	補助金・表彰 制度情報	講習会情報	担い手・サプライ チェーン情報	よくある質問	相談箱 (※登録者限定)
-----	-----------------	-------------------	--------	------	----------------	-------	--------------------	--------	-----------------

ホーム > 設計技術情報

設計技術情報

お知りになりたい設計技術情報、工法等の選択項目をクリックして、「検索結果へ」のボタンをクリックして下さい。
検索条件に合う設計技術情報（解説書や手引き等の名称やサマリー、リンク先の情報等）のリストが表示されます。

アイコンの凡例（色別）

設計技術

資料の種類

工法

オススメ

設計技術情報の検索

▲ 検索条件を隠す

検索結果へ >

設計技術情報

- 意匠設計
- 材料
- 構造設計
- 防耐火設計
- 設備設計
- 耐久性・維持管理
- 環境・省エネ
- 遮音・振動
- 積算
- 施工
- コスト（建築主向け）
- 木造の良さ（建築主向け）

資料の種類

- テキスト
- 事例集
- webサイト・データベース
- 標準図・設計例

工法（任意）

- 木造軸組
- 木造ラーメン
- 2×4
- CLTパネル
- 混構造
- その他

建物用途（任意）

- 全般（建物用途不問）
- 事務所・庁舎
- 店舗
- 共同住宅
- 学校
- 幼稚園
- 保育所
- 図書館・博物館
- 体育館
- 集会場・ホール
- 病院・診療所
- 高齢者福祉施設
- ホテル・旅館
- 工場・倉庫
- その他

オススメの種類

- 中大規模木造建築をこれから始める方にオススメ

検索結果へ >

設計技術情報のリストアップ

並び順：新着情報順 ▼



新着 モクレポ〜林産物に関するマンスリーレポート〜(令和5年3月No.18)

お気に入りに追加

林野庁は、木材需給、木材価格、木材産業の動向等に関する情報等を各方面に広く提供することを目的として、「モクレポ〜林産物に関するマンスリーレポート〜」を毎月定期的に公表しています。

今月号では、2021年林業産出額や、「国産材の安定供給体制の構築に向けた需給情報連絡協議会」の開催、所有者不明森林等の特例措置活用のためのガイドライン、スマート林業の展開(実践対策5か年の取組成果)、「森林×脱炭素チャレンジ2023」募集開始について掲載しています。

木材に関係する事業者から、木材の現状を知りたい設計者まで広くご覧いただけます。

発行元：林野庁
 サイズ：A4・59頁
 入手方法：ホームページより入手可
 発売日：2023年3月

目次 プレビュー

外部ページへ

材料 コスト テキスト

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10002495>

URLをコピー



新着 鳥取県 中規模建築物木造化ガイドブック

お気に入りに追加

鳥取県内において、設計者やプレカット事業者などの官民による検討会を設置して、店舗、事務所、倉庫の3つのモデルプランの設計を通じた木造と鉄骨造とのコスト比較、コストダウンの工夫や、構造計画上のポイントをまとめるとともに、プロジェクトフローや生産体制、無料相談窓口等についても整理し、ガイドブックとして取りまとめられたものです。

発行元：鳥取県
 サイズ：A4・42頁
 入手方法：ホームページより入手可
 発売日：2023年3月

目次 プレビュー

外部ページへ

材料 構造設計 コスト 木造の良さ テキスト 事例集 木造軸組

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10002488>

URLをコピー



CLT建築事例集2022 -CLT活用建築物等実証事業から-

お気に入りに追加

CLTを用いた建築物を建築しようとしている建築主や意匠設計者、構造設計者むけのCLT建築物の事例集です。CLT建築の魅力をはじめ、CLTを用いてどのようなことができるか、「CLT建築物等実証事業」で2021年までに実現した各種用途規模のCLT建築物の事例を通じて分かりやすく紹介しています。CLTを建築物用いた良さ等の利用者の声についても紹介しています。

発行元：公益財団法人日本住宅・木材技術センター
 サイズ：A4・84頁
 入手方法：ホームページより入手可
 発売日：2023年3月

目次

外部ページへ

意匠設計 材料 構造設計 施工 木造の良さ 事例集 CLTパネル 混構造 これから始める方

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10002483>

URLをコピー



新着 木材利用促進本部事務局「建築物の木造化・木質化支援事業コンシェルジュ」

お気に入りに追加

建築物における木材利用について、より一層の促進を図るため、国や国の関係機関が実施している建築物の木造化・木質化に活用可能な補助事業・制度を一元的に案内する窓口です。

各省庁等にも照会の上、林野庁が取りまとめた「建築物の木造化・木質化に活用可能な補助事業・制度等一覧【別ウィンドウで開きます】」等に沿って、御案内させていただきますので、お気軽に御相談ください。

外部ページへ

コスト 木造の良さ webサイト・データベース

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10002478>

URLをコピー



中大規模木造低層建築物の耐久性向上のための設計・施工の手引き

お気に入りに追加

中大規模木造低層建築物を長く使うために留意しなければならないことを、小規模な木造建築物について得られている知見を基本としながら解説するとともに、中大規模木造低層建築物ゆえに特に留意しなければならないことを紹介、解説しています。適切な設計・施工・維持管理によって長く使い続けることができる中大規模木造低層建築物が今後益々増え、良質な木造建築ストックが増える事を期待しています。

監修：国立研究開発法人 建築研究所
編集：中大規模木造建築物の耐久性向上のための設計・施工マニュアル編集委員会
発行元：公益財団法人日本住宅・木材技術センター
サイズ：A4・158頁
入手方法：5,500円（税込）
発売日：2023年2月

目次

外部ページへ

材料

耐久性・維持管理

テキスト

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10002461>

URLをコピー



モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～(令和5年2月No.17)

お気に入りに追加

林野庁は、木材需給、木材価格、木材産業の動向等に関する情報等を各方面に広く提供することを目的として、「モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～」を毎月定期的に公表しています。今月号では、2022年木材輸出実績や、2022年木材輸入実績、消費税インボイス制度、林業従事者数は約4.4万人～2020年国勢調査～、第4期森林生態系多様性基礎調査データの公開、アフリカ・コンゴ盆地における持続可能な熱帯林経営への支援について掲載しています。

発行元：林野庁
サイズ：A4・62頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2023年2月

木材に関する事業者から、木材の現状を知りたい設計者まで広くご覧いただけます。

目次

プレビュー

外部ページへ

材料

コスト

テキスト

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10002459>

URLをコピー



新着 建築用木材の技術開発・普及事業成果ホームページ

お気に入りに追加

炭素の貯蔵を通じた脱炭素社会の実現、都市等における快適な生活空間の形成、地域の経済の活性化を目指し、建築物における木材利用の促進に不可欠な、建築用木材に係る技術開発事業の成果をご紹介します。

炭素の貯蔵を通じた脱炭素社会の実現、都市等における快適な生活空間の形成、地域の経済の活性化を目指し、建築物における木材利用の促進に不可欠な、建築用木材に係る技術開発事業の成果をご紹介します。

外部ページへ

材料

ウェブサイト・データベース

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10002417>

URLをコピー



木材・建材ハンドブック

お気に入りに追加

日刊木材新聞に掲載されている1500の専門用語を分かりやすく解説する用語集。難解な木材関連の専門用語はこれ一冊で学ぶことができ新入社員教育にも最適。掲載はあいうえお順ではなく、「森林・林業」「建築」「木材」「木質素材」「建材」「機械・プレカット」「貿易・輸送・流通」「バイオマス」「環境」「経営」の分野別として、用語を探しやすくしました。樹種解説、1945～2022年までの業界年表、主な出来事の解説も掲載しています。

監修：林知行（京大大学生存圏研究所特任教授、秋田県立大学名誉教授）
発行元：株式会社日刊木材新聞社
サイズ：四六判・466頁
入手方法：3,000円（税込）
発売日：2022年12月

目次

外部ページへ

材料

テキスト

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10002397>

URLをコピー



全国プレカット名鑑

お気に入りに追加

プレカット、2×4コンポーネントに加え、パネル、サイディング、大断面のプレカット工場も調査対象とし、工場単位でどんな木材加工を行っているか、加工能力、木材の樹種・使用量、生産品目、加工設備などの情報を記載しています。工場一覧表データを納めたC Dの付録あり。

発行元：株式会社日刊木材新聞社
サイズ：B5・819頁
入手方法：15,000円（税込）
発売日：2018年4月

外部ページへ

目次

材料

テキスト

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10002394>

URLをコピー



国産材活用辞典

お気に入りに追加

地域産材はどこで手に入れることができるのか、どこで加工できるのかを調べることができる、原木から製材、加工、流通に至るまで国産材のあらゆるデータを集積した書籍です。森林組合などの丸太の流通を担う事業者の情報（丸太取扱量、樹種、仕入れレートなど）、国産材製材企業（丸太投入量・樹種・仕入れレート、製材生産量・樹種・販売先、加工可能な丸太・製品サイズ、出荷地域など）、合板、集成材、LVL、MDF、パーティクルボード、不燃・防腐などの加工木材、建材、CLT、WOODALC、耐火木材、ペレット、耐火木材の国産材データ、国産材を取り扱う流通企業の情報を記載しています。

発行元：株式会社日刊木材新聞社
サイズ：B5・458頁
入手方法：15,000円（税込）
発売日：2021年10月

外部ページへ

目次

材料

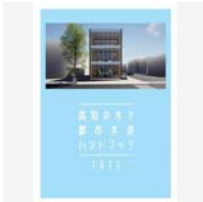
テキスト

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10002392>

URLをコピー



高知の木で都市木造ハンドブック2022

お気に入りに追加

まちなかに建つ中層・高層のビルを総称して「都市木造」と呼びます。日本では戦後、都市部の木造建築に厳しい制限が加えられてきましたが、2000年の建築基準法改正により、必要な性能を満たせば木造建築が実現可能となりました。その後、研究・開発・法整備が進み、地震にも火事にも強い都市木造が、日本各地で徐々に広がりつつあります。

発行元：TOSAZAIセンター
サイズ：A4・31頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2022年3月

戦後まもなく植林された高知のヒノキやスギは強く、大きく、美しく成長し今まさに使いごろを迎えています。そんな高知の木の特徴を最大限活かした都市木造『高知モデル』を開発しました。“誰もが建てやすい”中高層の都市木造モデルを目指して、試設計を行っています。事業者のみならず、意匠設計者、構造設計者、地元のビルダー、小規模のデベロッパーなどの建設に携わる方々が、『中層木造の経験がなく実現は難しい！』と考えることなく、中層木造の計画を推進できるモデルになっています。

意匠設計

材料

構造設計

テキスト

事例集

木造ラーメン

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10002390>

URLをコピー

プレビュー



モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～(令和5年1月No.16)

お気に入りに追加

林野庁は、木材需給、木材価格、木材産業の動向等に関する情報等を各方面に広く提供することを目的として、「モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～」を毎月定期的に公表しています。

今月号では、林野庁令和5年度予算概算決定及び令和4年度補正予算の概要や、林野庁令和5年度税制改正事項の概要、認定農林水産物・食品輸出促進団体の認定、ウッドデザイン賞2022上位賞受賞作品決定、広がりをもせる森林管理分野のJ-クレジットの取組、令和4年度国有林野事業業務研究発表会について掲載しています。

木材に係る事業者から、木材の現状を知りたい設計者まで広くご覧いただけます。

外部ページへ

発行元：林野庁
サイズ：A4・62頁
入手方法：ホームページより入手可

目次 プレビュー

材料 コスト テキスト

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10002346>

URLをコピー



中大規模木造建築物設計のための大断面集成材スパン表（令和4年12月版）

お気に入りに追加

長年、低層・中層の大規模木造建築物については、住宅・非住宅を問わず、大断面構造用集成材（大断面集成材）が必須の部材として利用されてきたが、近年は調達しやすい住宅向けの流通材、すなわち中小断面構造用集成材を多用する動きが活発化してきている。そこで日本集成材工業協同組合では、スギ、カラマツ等の国産樹種で製造した大断面集成材のスパン表を作成した。用途は事務所、共同住宅及び店舗の3種類であり、また、スパン表に対応した接合部の情報（接合金物）についても取りまとめている。本ブックレットが、既に木造建築に取り組んでいる設計者はもとより、これから取り組もうとお考えの方も広く活用いただけます。

外部ページへ

編集：中大規模木造建築加工施工技術検討委員会・スパン表WG
発行元：日本集成材工業協同組合
サイズ：A4・79頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2022年12月

目次

材料 構造設計 標準図・設計例

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10002312>

URLをコピー



『京都の木で木造建築物を建てるための…チリヌ』（経済波及効果編）

お気に入りに追加

木造・木質化を進めるうえで、更に大きな課題として挙げられるのが、「木造は施工経費が高い」と言われることです。そこで今回、実際に施工された木造建築事例についてRC造とS造を比較検証するとともに、地域産材を地域の製材所等で加工・供給した場合の地域に及ぼす経済波及効果を数値化する手法を試みました。

公共、民間非住宅物件において、地域経済への波及効果を見る化して説明する事で木造建築物の建設メリットが明確となり、地域住民の理解も得られやすくなり、一層の地域産材の利用推進が期待されます。

この冊子がこれから木造建築を検討される皆様に少しでも参考になり、非住宅分野での中大規模木造建築推進の一助になれば幸いです。

外部ページへ

発行元：一般社団法人京都府木材組合連合会
サイズ：A4・44頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2021年2月

目次

材料 環境・省エネ コスト テキスト 事例集

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10002310>

URLをコピー



目次

建築技術 2022年 11月号 [雑誌]

お気に入りに追加

特集：中大規模木造建築に求められるこれからの要素技術
監修：大橋好光（東京都市大学名誉教授）

発行元：株式会社建築技術
サイズ：B5
入手方法：1,935円（税込）
I S B N：4910033251125
発売日：2022年10月

本特集では、「中大規模木造建築に求められるこれからの要素技術」を取り上げます。月刊建築技術2022年3月号では、ケーススタディ（事例紹介）として、多層（積層型）木造建築の現状を整理しました。一方で、技術的には構造的な側面に加え、遮音や耐火火など、多くの課題を実務設計者が感じていることがわかりました。

本特集では、木造建築が大型化していくうえで必要な要素技術について、現状の研究成果などを紹介するとともに、中大規模木造建築の可能性を紹介します。

外部ページへ

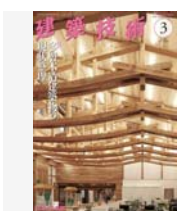
構造設計 耐火設計 耐久性・維持管理 施工 テキスト 事例集

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuizouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10002301>

URLをコピー



目次

建築技術 2022年 03月号 [雑誌]

お気に入りに追加

特集 多層木造建築物の現状整理
監修：大橋好光（東京都市大学名誉教授）

発行元：株式会社建築技術
サイズ：B5
入手方法：1,935円（税込）
I S B N：4910033250326
発売日：2022年2月

本特集では、「多層木造建築物の現状整理」を取り上げます。近年、公共建築物をはじめとした中大規模木造の実例が増えています。それに伴い、都市部などにおいては、木造建築の多層化・高層化した実例も見られるようになってきました。一方で、木造建築を多層化・高層化していくうえでは、構造性能や耐火性能などの観点から未だ課題も多い現実があります。

本特集では、木造建築物を多層化・高層化していくうえでの課題を整理するとともに、多層木造建築物の設計上のポイントを紹介します。

外部ページへ

構造設計 環境・省エネ 遮音・振動 施工 テキスト 事例集

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuizouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10002299>

URLをコピー



目次

建築技術 2021年 09月号 [雑誌]

お気に入りに追加

特集 実務に役立つ非住宅木造の構造設計のポイント
監修：山辺豊彦（山辺構造設計事務所）+大橋好光（東京都市大学名誉教授）

発行元：株式会社建築技術
サイズ：B5
入手方法：1,935円（税込）
I S B N：4910033250913
発売日：2021年8月

本誌2021年9月号の特集では、「実務に役立つ非住宅木造の構造設計のポイント」を取り上げます。

本特集では、今後需要の高まりが予想される4・5階建の非住宅木造建築物の構造設計に不慣れな構造設計者を対象に、構造設計において肝要なポイント解説するとともに、許容応力度設計の実務設計への活用の仕方などを取り上げます。

外部ページへ

構造設計 テキスト 事例集

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuizouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10002297>

URLをコピー



建築技術 2021年 06月号 [雑誌]

お気に入りに追加

特集 これだけは知りたい木造建築の建築設備設計のポイント
監修：野部達夫（工学院大学建築学部教授）

発行元：株式会社建築技術
サイズ：B5
入手方法：1,935円（税込）
I S B N：4910033250616
発売日：2021年5月

本誌2021年6月号の特集では、「これだけは知りたい木造建築の建築設備設計のポイント」を取り上げます。

本特集では、意匠設計者・構造設計者が小規模木造建築を設計する際に、建築設備設計との融合（協働）を図るために知っておかなければならないポイントと木造特有のポイント、ならびにディテールや事例を通して建築設備設計と協働するために必要なポイントを解説します。さらに、大規模木造建築における配慮事項とディテールも取り上げます。

外部ページへ

耐火設計 設備設計 テキスト 事例集

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10002295>

URLをコピー

目次



建築技術 2021年 05月号 [雑誌]

お気に入りに追加

特集 木造住宅の劣化リスク要因＋不具合事例と対策
監修：輿石直幸（早稲田大学理工学術院教授）

発行元：株式会社建築技術
サイズ：B5
入手方法：1,935円（税込）
I S B N：4910033250517
発売日：2021年4月

本誌2021年5月号の特集では、「木造住宅の劣化リスク要因＋不具合事例と対策 木造住宅の防水設計・施工指針および同要領」を取り上げます。

本特集では設計者を対象に、自然災害の中で特に戸建住宅の住宅外皮に焦点をあて、今年日本建築学会が「木造住宅外皮の防水設計・施工指針および防水設計・施工要領（案）」をまとめた戸建住宅の屋根防水ならびに外皮（外壁）の防水性能の高い外壁仕様などを整理して構成します。

外部ページへ

構造設計 設備設計 耐久性・維持管理 施工 テキスト 事例集

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10002293>

URLをコピー

目次



建築技術 2021年 02月号 [雑誌]

お気に入りに追加

特集 木質パネルによる非住宅建築物の設計・施工のポイント
監修：大橋好光（東京都市大学名誉教授）

発行元：株式会社建築技術
サイズ：B5
入手方法：1,935円（税込）
I S B N：4910033250210
発売日：2021年1月

本誌2021年2月号の特集では、「木質パネルによる非住宅建築物の設計・施工のポイント」を取り上げます。

本特集では、木造の壁工法に馴染みのない構造設計者や中規模の木造建築物を設計したい設計者を対象に、建設数の多い倉庫や低層建物を木造化・木質化する場合に有用性がある枠組壁式工法と木質パネル構法に着目し、各構法の特徴と活用法、ヨーロッパでの木造建築物の動向、および各構法の設計・施工の肝所を取り上げます

外部ページへ

意匠設計 耐火設計 施工 コスト 2×4 CLTパネル

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10002291>

URLをコピー

目次



建築技術 2020年 06月号 [雑誌]

お気に入りに追加

特集 中大規模木造の監・管理のポイント
監修：大橋好光（元東京都市大学工学部建築学科教授）

発行元：株式会社建築技術
サイズ：B5
入手方法：1,935円（税込）
I S B N : 4910033250609
発売日：2020年5月

目次

本誌2020年6月号の特集では、「中大規模木造の監・管理のポイント」を取り上げます。
本特集では、今後も増加が予想される中大規模木造建築物の監・管理に焦点を当て、部材製造過程や現場施工時の注意点を解説します。また、最新の中大規模木造建築物の事例を紹介し、中大規模木造建築物を施工する際の監・管理のポイントを具体的に解説します。

外部ページへ

材料

施工

テキスト

事例集

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10002289>

URLをコピー



建築技術 2019年 10月号 [雑誌]

お気に入りに追加

特集 変わる木造建築物の防耐火設計
監修：河野 守（東京理科大学教授）+ 萩原一郎（東京理科大学教授）+ 安井 昇（桜設計集団）

発行元：株式会社建築技術
サイズ：B5
入手方法：1,935円（税込）
I S B N : 4910033251095
発売日：2019年9月

目次

本誌2019年10月号の特集では、「変わる木造建築物の防耐火設計」を取り上げます。
本特集では、2019年建築基準法改定における木造建築物の防耐火に着眼して、改定の意図や技術的基準、実務設計のポイントを解説し、木造建築物の防耐火設計事例を紹介いたします。

外部ページへ

防耐火設計

設備設計

環境・省エネ

テキスト

事例集

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10002287>

URLをコピー



建築技術 2019年 06月号 [雑誌]

お気に入りに追加

特集 中大規模木質混構造の新たな可能性を拓く
監修：大橋好光（東京都市大学教授）

発行元：株式会社建築技術
サイズ：B5
入手方法：1,935円（税込）
I S B N : 4910033250692
発売日：2019年5月

目次

本誌2019年6月号におきまして、標記の「中大規模木質混構造の新たな可能性を拓く」を掲載いたします。
本特集では、計画中・施工中の建物で、木を使用した混構造の事例を多く取り上げ、中大規模木造の現状を整理し、今後の中大規模木造の可能性を考察します。

外部ページへ

構造設計

防耐火設計

テキスト

事例集

混構造

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10002285>

URLをコピー



オフィス木質化GUIDE

お気に入りに追加

木の温もりや肌触りの良さは、金属やプラスチックなどこれまで主流だった素材とは違って温かみがあります。無垢材を使った受付カウンター、木製のフローリングやタイルを使ったフロア。肌触りの良い木の机、ミーティングテーブル。何より出社して深呼吸する木の香りに包まれる木質化されたオフィスは、都市のオフィスワーカーにとってかけがえのない活動の場所となります。

本ガイドでは、このオフィスの木質化の手順や東京都内に導入した各企業の考え方を、様々な事例によってご紹介しています。

外部ページへ

防耐火設計

環境・省エネ

木造の良さ

テキスト

事例集

この情報をシェアする→

Facebook

Twitter

Line

この情報のURL : <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10002281>

URLをコピー



建築技術 2019年 02月号 [雑誌]

お気に入りに追加

特集 設計者が知るべき木造建築物の腐朽・蟻害対策の勘所
監修：中島正夫（関東学院大学建築・環境学部教授）

本誌2019年2月号におきまして、標記の「設計者が知るべき木造建築物の腐朽・蟻害対策の勘所」を掲載いたします。

本特集では、木造建築物の腐朽・蟻害対策に着目し、腐朽・蟻害の基本と設計を行ううえで配慮すべき事項を中心に解説し、具体的な設計事例を通して実際の納まりや設計上の注意点を解説します。

外部ページへ

耐久性・維持管理

テキスト

事例集

この情報をシェアする→

Facebook

Twitter

Line

この情報のURL : <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10002279>

URLをコピー



モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～(令和4年12月No.15)

お気に入りに追加

林野庁は、木材需給、木材価格、木材産業の動向等に関する情報等を各方面に広く提供することを目的として、「モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～」を毎月定期的に公表しています。

今月号では、令和3年度における森林環境譲与税の取組状況や、第45回全国育樹祭、林業人材と異分野人材からなるチームによるビジネスコンテスト、国連気候変動枠組条約第27回締約国会議、第58回国際熱帯木材理事会、農林業センサスデータによる林業経営体の動向について掲載しています。

木材に関係する事業者から、木材の現状を知りたい設計者まで広くご覧いただけます。

外部ページへ

材料

コスト

テキスト

この情報をシェアする→

Facebook

Twitter

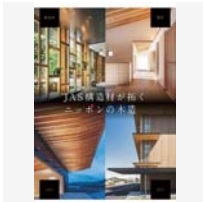
Line

この情報のURL : <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10002254>

URLをコピー

目次

プレビュー



JAS構造材が拓くニッポンの木造

お気に入りに追加

全国木材組合連合会では、都市での木材利用を促進するためには、性能・品質の明らかなJAS構造材等木質建築資材の消費拡大が重要であることから、建築関連の専門誌である「建築知識」とタイアップして、JAS構造材の活用事例を連載してきました。

これまで連載してきた記事を「JAS構造材が拓くニッポンの木造」として、「対談」、「インタビュー」、「技術解説」、「実例」、「工場・建物探訪」として再編集し、木造建築に取り組みの方々の参考となるよう冊子を作成しました。

この度、冊子をPDF化しましたので、木造建築に対するJAS構造材の活用に向け、広く活用していただければ幸いです。

外部ページへ

発行元：一般社団法人全国木材組合連合会
サイズ：B5・51頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2022年2月

目次

材料 構造設計 防耐火設計 木造の良さ テキスト 事例集

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10002238>

URLをコピー



建築コスト研究 118号 (特集 建築物への木材利用の加速化～様々な木造建築物の挑戦～)

お気に入りに追加

2020年10月の「2050年脱炭素社会の実現宣言」を機に、カーボンニュートラルの重要性の認識が大きく高まり、宣言の実現に向けて、再生可能エネルギーの活用や省エネ化など、多方面にわたる様々な研究開発や取組みが行われています。そうした中、改めてCO2を吸収・固定する木材の利用に大きな関心が集まり、関連する法律の改正が行われ、木材利用の促進のために構造や防火の関係の建築基準の合理化が行われました。その結果、木材利用に関する基本方針の対象が公共建築物から民間建築物を含む建築物一般に拡大し、木材利用を促進するための新しい構工法の開発や様々なモデル事業等も行われ、関係者の取組み意欲を高めています。

こうした状況を反映して、従来は低層木造住宅や建築物の仕上げ材が主体であった建築物への木材利用の範囲が、中大規模の建築物や大スパンの建築物にも大きく拡大し、構造体を木造にしたり、木造とRC造やS造との混構造にしたりするほか、木材そのものを現しの仕上げ材として多用するなど、これまでなかったような大規模な木材の利用に挑戦する建築物が数多く生まれてきています。

本号においては、最近完成した用途、構造、規模等が様々な木造建築物の事例を御紹介していただきます。今後の木造建築物の整備の御参考にできれば幸いです。

外部ページへ

発行元：一般財団法人 建築コスト管理システム研究所
サイズ：A4・35頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2022年10月

目次

材料 構造設計 環境・省エネ 施工 テキスト 事例集

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10002236>

URLをコピー



建築コスト研究 117号 (特集 建築物への木造利用の加速化～行政等の取組み～)

お気に入りに追加

目次

2020年10月の「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現」宣言を機に、その重要性の認識が大きく高まりました。こうした状況の中で、太陽光や風力等の再生可能エネルギーの利用の拡大、家庭や産業界での省エネルギー化、電気自動車等の開発普及など、従来に増して関係各方面で様々な研究開発や取組みが行われています。また、世界有数の森林国である日本では、CO2を吸収・固定する木材の利用の促進に大きな関心が集まっています。

発行元：一般財団法人 建築コスト管理システム研究所
サイズ：A4・36頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2022年7月

関係各省庁においては、木材の利用を一層促進するため、官民協議会を立ち上げて認識や情報の共有を図るほか、関係の法令や技術的基準等を見直したり、木材利用のためのガイドラインや利用に関する事例集をまとめたりしていますし、地方公共団体でも地域性を踏まえて木材利用を促進するための多様な事業に取り組んでいます。また、公益法人等においても、木造のコスト管理や積算手法を整備することで木材利用の促進を図ろうとしています。

本号では、建築物への木材利用の加速化に向けて行政等において現在行われている様々な取組みを御紹介いただきます。

外部ページへ

構造設計 耐火設計 環境・省エネ 積算 コスト テキスト

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL： <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10002234>

URLをコピー



モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～(令和4年11月No.14)

お気に入りに追加

目次 プレビュー

林野庁は、木材需給、木材価格、木材産業の動向等に関する情報等を各方面に広く提供することを目的として、「モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～」を毎月定期的に公表しています。

発行元：林野庁
サイズ：A4・59頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2022年11月

今月号では、「林業労働力の確保の促進に関する基本方針」の変更や、2022年木材利用促進月間（10月）取組実績、第1回森林づくり全国推進会議、国連食糧農業機関（FAO）第26回林業委員会について掲載しています。

木材に係る事業者から、木材の現状を知りたい設計者まで広くご覧いただけます。

外部ページへ

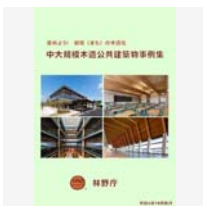
材料 コスト テキスト

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL： <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10002216>

URLをコピー



中大規模木造公共建築物事例集

お気に入りに追加

目次

令和3年10月、木材利用促進の対象を公共建築物から建築物一般に拡大した「脱炭素社会の実現に資する等ため建築物等における木材の利用促進に関する法律」（通称「都市（まち）の木造化推進法」）が施行されました。新しい国の基本方針では、公共建築物について、民間建築物を牽引すべく、規模に関係なく、コストや技術の面で木造化が困難であるものを除き、積極的に木造化を推進することとしています。

発行元：林野庁林政部木材利用課建築物木材利用促進グループ
サイズ：A4・88頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2022年10月

本書は、この新しい基本方針に基づいて公共建築物の木造化をより一層促進するとともに、民間建築物での木材利用の促進にもつなげることを目的として、地方公共団体等にご協力いただき、全国の中大規模木造公共建築物の事例を収集し、とりまとめたものです。本書をご活用いただき、全国各地域において、木材があまり利用されてこなかった中大規模建築物での木材利用が進展することを期待しています。

外部ページへ

材料 木造の良さ 事例集

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL： <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10002176>

URLをコピー



森とまちをつなぐ 木と建築 No.1

お気に入りに追加

特集① 試される地域力 地域工務店だからできる“普通の木造建築”

特集② 最前線レポート 国産材活用の輪 その綻びを誰が繕うのか

特集③ 木造建築を支えるテクノロジー

ウッドショックなどの影響もあり、国産材活用や木造建築に対する注目度がこれまで以上に高まっています。しかし、森から建築へとつながる強固なサプライチェーンが構築されているとは言えない状況があることも事実です。森とまちをつなげ、木と建築に関する全てのプレイヤーが同じ目線でこれからの林業や建築業界について考えていこう。こうした状況を創造するためのメディアが発刊になりました。

著者：ハウジング・トリビュン編集部

発行元：株式会社創樹社

サイズ：A4変形・144頁

入手方法：1,760円(税込)

ISBN：9784883511433

発売日：2022年6月

目次 プレビュー

外部ページへ

材料

施工

テキスト

この情報をシェアする→

Facebook

Twitter

Line

この情報のURL：<https://mokuizouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10002174>

URLをコピー



森林を活かす都市の木造化推進法

お気に入りに追加

木造建築の進展、我が国の林業及び木材産業、気候変動を巡る状況、森林を活かす都市の木造化推進法について解説しています。有識者による2つの座談会「森林を活かす都市の木造化を目指して」「森林を活かす都市の木造化の課題」も収録されています。

著者：盛山正仁・鈴木憲和

発行元：大成出版社

サイズ：A5・354頁

入手方法：4,180円(税込)

ISBN：978-4-8028-3466-7

発売日：2022年7月

目次

外部ページへ

環境・省エネ

テキスト

この情報をシェアする→

Facebook

Twitter

Line

この情報のURL：<https://mokuizouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10002134>

URLをコピー



モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～(令和4年10月No.13)

お気に入りに追加

昨年、林野庁は、木材需給、木材価格、木材産業の動向等に関する情報等を各方面に広く提供することを目的として、「モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～」を創刊しました。

発行元：林野庁

サイズ：A4・59頁

入手方法：ホームページより入手可

発売日：2022年10月

今月号では、2021年木材需要表の概要や、第3回ウッド・チェンジ協議会、建築物に利用した木材に係る炭素貯蔵量の表示ガイドラインの活用事例、森林経営管理制度の取組状況(令和3年度末速報値)、森林経営管理制度の取組状況(令和3年度末速報値)について掲載しています。

木材に関する事業者から、木材の現状を知りたい設計者まで広くご覧いただけます。

目次 プレビュー

外部ページへ

材料

コスト

テキスト

この情報をシェアする→

Facebook

Twitter

Line

この情報のURL：<https://mokuizouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10002130>

URLをコピー



モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～(令和4年9月No.12)

お気に入りに追加

昨年、林野庁は、木材需給、木材価格、木材産業の動向等に関する情報等を各方面に広く提供することを目的として、「モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～」を創刊しました。

今月号では、林野庁令和5年度予算概算要求の概要や、2022年木材利用促進月間の取組、令和3年特用林産物生産統計調査結果(確報)、「林業イノベーション現場実装推進プログラム」のアップデート、APEC林業担当大臣会合について掲載しています。

木材に関係する事業者から、木材の現状を知りたい設計者まで広くご覧いただけます。

発行元：林野庁
サイズ：A4・62頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2022年9月

目次 プレビュー

外部ページへ

材料 コスト テキスト

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10002070>

URLをコピー



モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～(令和4年8月No.11)

お気に入りに追加

昨年、林野庁は、木材需給、木材価格、木材産業の動向等に関する情報等を各方面に広く提供することを目的として、「モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～」を創刊しました。

今月号では、森林クレジット創出拡大に向けた森林管理プロジェクトの制度見直しや、「新しい林業」経営モデル実証事業、2022年上半期の木材輸出実績、2022年上半期の木材輸入実績、「森林経営管理リーダー育成研修」の開催について掲載しています。

木材に関係する事業者から、木材の現状を知りたい設計者まで広くご覧いただけます。

発行元：林野庁
サイズ：A4・59頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2022年8月

目次 プレビュー

外部ページへ

材料 コスト テキスト

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10002023>

URLをコピー



木でつくる中大規模建築の設計入門

お気に入りに追加

本書では主に意匠設計者の方々向けに、さまざまな用途や規模の中大規模建築物の設計をしようとする際に木造が選択肢として選ばれるよう、木を用いるときに知っておいていただきたい重要な点についてわかりやすく紹介しています。本書を参考にして、環境にも人にもやさしく、建築主や建物利用者にも訴求性の高い木造建築の実現に取り組まれることを期待しています。

監修：国立研究開発法人建築研究所
編集：木でつくる中大規模建築の設計入門編集WG
発行元：公益財団法人日本住宅・木材技術センター
サイズ：A4・284頁
入手方法：3,740円(税込)
ISBN：978-4-907094-54-6
発売日：2022年8月

目次 プレビュー

外部ページへ

意匠設計 材料 構造設計 防耐火設計 耐久性・維持管理 テキスト 木造軸組 2×4 CLTパネル これから始める方

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10002017>

URLをコピー



木造建築物の床衝撃音対策～考え方と測定データ

お気に入りに追加

本冊子は、サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）プロジェクト等の実測値の紹介を中心に、設計上の注意点や過去に行われた実験結果、などを参考資料としてまとめたものです。

中大規模木造の実績の少ない現状では、木造建築物の音環境についての知見が乏しいのが実状です。そこで、音環境の中でも特に「床衝撃音」に着目し、まず現状で分かっていることを整理することとしました。床衝撃音以外の、外部騒音や室内騒音、設備騒音に対する遮音対策も重要な課題ですが、これらは今後の検討課題とします。本書が、木造建築物設計の一助となることを期待しています。

発行元：一般社団法人 木を活かす建築推進協議会

サイズ：A4・96頁

入手方法：ホームページより入手可

発売日：2022年3月

目次

外部ページへ

遮音・振動 テキスト

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001996>

URLをコピー



茨城県産材 中大規模木造建築物促進マニュアル（茨城県）

お気に入りに追加

本書は、茨城県材の木材・木造に関わる方々が、中大規模木造建築物への県産材利用に必要な情報を提供することを目的としています。県産材の生産・流通・品目や規格、強度特性など、産材特有な特徴を知り、仕様に応じた無理のない設計に生かせる手引書となっています。公共建築物への県産材利用の拡大を促進するために、設計や発注、木材調達等設計者や発注者が難しさを感じる点などについて解説しています。

編集：茨城県産材中大規模木造建築物促進協議会

発行元：茨城県木材協同組合連合会、茨城県産材普及促進協議会

サイズ：茨城県木材協同組合連合会、茨城県産材普及促進協議会

入手方法：ホームページより入手可

発売日：2016年3月

目次

プレビュー

外部ページへ

材料 構造設計 耐火設計 耐久性・維持管理 環境・省エネ テキスト

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001982>

URLをコピー



モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～(令和4年7月No.10)

お気に入りに追加

昨年、林野庁は、木材需給、木材価格、木材産業の動向等に関する情報等を各方面に広く提供することを目的として、「モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～」を創刊しました。

今月号では、主要特用林産物の国内生産量や、第72回全国植樹祭、「森林×脱炭素チャレンジ2022」表彰式、カーボンニュートラルの実現等に資する森林等への投資に係るガイドラインについて掲載しています。

発行元：林野庁

サイズ：A4・59頁

入手方法：ホームページより入手可

発売日：2022年7月

木材に係る事業者から、木材の現状を知りたい設計者まで広くご覧いただけます。

外部ページへ

材料 コスト テキスト

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001969>

URLをコピー



非住宅施設の木造化にかかる低コストマニュアル・事例集

お気に入りに追加

脱炭素社会の実現など社会的な要請を踏まえ、近年の建築基準法の改正内容を盛り込み、建築物一般の木造化の一層の促進と木造化に必要な人材育成のツールとして、新たに『非住宅施設の木造化にかかる低コストマニュアル・事例集』を作成しました。

作成にあたっては、県内外の施主や設計者、木材流通業者等にヒアリングを実施し、実務者の意見を取り込みました。コスト比較や事例紹介については公共建築物に加え民間施設についても紹介し、この10年間で改正のあった建築物の防耐火などに関する法令について反映しています。本書の利用により、岐阜県産材を活用した非住宅建築物の増加や、品質・性能の向上、低コスト化が進展し、都市の木造化と脱炭素社会の実現につながれば幸いです。

発行元：岐阜県林政部県産材流通課
サイズ：A4・190頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2022年3月

目次 プレビュー

外部ページへ

構造設計 防耐火設計 設備設計 遮音・振動 コスト テキスト 事例集

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL： <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001967>

URLをコピー



モクレポ～林産物に関するマンズリーレポート～(令和4年6月No.9)

お気に入りに追加

昨年、林野庁は、木材需給、木材価格、木材産業の動向等に関する情報等を各方面に広く提供することを目的として、「モクレポ～林産物に関するマンズリーレポート～」を創刊しました。

今月号では、「国産材の安定供給体制の構築に向けた需給情報連絡協議会」の開催や、第2回ウッド・チェンジ協議会、令和3年度森林・林業白書、森林経営管理制度の取組事例集&ガイドライン、森林クレジット創出拡大に向けた取組等について掲載しています。

木材に関係する事業者から、木材の現状を知りたい設計者まで広くご覧いただけます。

発行元：林野庁
サイズ：A4・64頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2022年6月

目次 プレビュー

外部ページへ

材料 コスト テキスト

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL： <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001921>

URLをコピー



令和3年度 森林・林業白書

お気に入りに追加

森林・林業白書は、森林・林業基本法に基づき、政府が毎年作成して国会に提出するもので、森林・林業の動向と政府の施策について記述しています。また、今回から、情報を得やすくするため関連するホームページのQRコードを掲載しています。

特集1では、「令和3(2021)年の木材不足・価格高騰（いわゆるウッドショック）への対応」をテーマとし、製材輸入量の減少、輸入木材・国産材の価格上昇等の状況を整理し、輸入材から国産材への転換や国産材の安定供給に向けた取組について説明しています。特集2では、「グリーン成長のカギを握る木材需要拡大と木材産業の競争力強化」をテーマとし、建築分野における木材利用の動向、製材工場の大規模化等の木材産業の競争力強化等について紹介しています。

発行元：林野庁
サイズ：A4・248頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2022年5月

目次

外部ページへ

材料 テキスト

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL： <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001902>

URLをコピー

ウッドデザイン賞 受賞作品データベース

お気に入りに追加

本サイトは、ウッドデザイン賞の受賞作品データベースサイトです。木材活用による建築、空間、建材、部材、木製品、コミュニケーション、技術、研究分野での2015年からの受賞作品（WOOD DESIGN AWARD）を検索できます。

外部ページへ

材料

木造の良さ

webサイト・データベース

この情報をシェアする→



この情報のURL: <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001900>

URLをコピー

公共建築物における木材利用優良事例集

お気に入りに追加

林野庁では、公共建築物等の木造化・木質化の促進のため、地方公共団体等に木造化・木質化に係る事例やデータを幅広く情報提供しています。こちらの平成29（2017）年2月に作成した「公共建築物における木材利用優良事例集」では、近年建設された公共建築物における木材利用のモデル的な事例を収集・整理して紹介しています。

発行元：林野庁木材利用課
サイズ：A4・62頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2017年2月

目次

外部ページへ

木造の良さ

事例集

この情報をシェアする→



この情報のURL: <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001844>

URLをコピー

くまもと県産木材中大規模木造建築物計画・設計のご案内（施主、事業者向け）

お気に入りに追加

熊本県では、県が施工または補助する3階建て以下の公共施設等については原則木造という方針（熊本県公共施設・公共工事木材利用推進基本方針）の基、木材利用を推進しています。この度、中大規模木造建築物の現状や木材利用の意義等についてイラストを交えて解説したパンフレットを作成しました。このパンフレットをご覧いただければ、中大規模木造建築物の魅力や木造建築を検討するうえでのポイントをご理解いただけたと思います。施設を検討される施主等の皆さまの参考資料として、是非、本カタログを活用ください。

発行元：熊本県農林水産部森林局林業振興課
サイズ：A4・8頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2020年8月

外部ページへ

環境・省エネ

コスト

木造の良さ

テキスト

この情報をシェアする→



この情報のURL: <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001836>

URLをコピー

くまもと県産木材による木造建築物普及の手引き

お気に入りに追加

熊本県では、建築士や市町村等の担当者の方々が、公共建築物をはじめとする様々な建築物の木造化・木質化を積極的に進めていくことを目的として、木材の特性や調達、建築の際の法規制や維持管理等を掲載した「くまもと県産木材による木造建築物普及の手引き」を作成しました。この手引きをご覧いただければ、木造建築物は、耐震性能及び防火性能について、鉄筋コンクリート造や鉄骨造等の建物に劣るものでないこと、また、建設コストについても、他の構造と比較して一概に高いとはいえないことも理解していただけたと思います。木造建築物を計画・設計される際の参考資料として、本書を活用していただきますようお願いいたします。

編集：木造設計・建築普及検討委員会
発行元：熊本県
サイズ：A4・92頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2018年1月

目次

プレビュー

外部ページへ

材料

防耐火設計

耐久性・維持管理

コスト

木造の良さ

テキスト

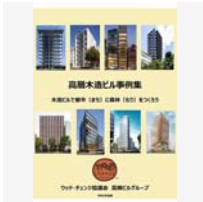
事例集

この情報をシェアする→



この情報のURL: <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001834>

URLをコピー



高層木造ビル事例集

お気に入りに追加

この事例集では、国内における高層の木造ビル（非木造との混構造を含む）の事例を取り上げ、木造化としたねらいや効果、技術的な工夫、その他関連する情報について紹介しています。これから高層建築物の建設を予定している建築主や設計者、施工者に、都市部の建築物における木材利用の魅力や可能性を理解していただき、木造化を検討する参考となることを期待しています。

編集：ウッド・チェンジ協議会高層ビルグループ
発行元：林野庁
サイズ：A4・28頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2022年5月

目次 プレビュー

外部ページへ

環境・省エネ 施工 木造の良さ 事例集

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001826>

URLをコピー



モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～(令和4年5月No.8)

お気に入りに追加

昨年、林野庁は、木材需給、木材価格、木材産業の動向等に関する情報等を各方面に広く提供することを目的として、「モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～」を創刊しました。

今月号では、建築物における木材の利用の促進に向けた取組や、「森林×脱炭素チャレンジ2022」受賞者決定、「合法伐採木材等の流通及び利用に係る検討会」による中間とりまとめと合法性確認の手法、2022年3月のロシアからの木材輸入実績、素材生産費と労働生産性の動向、「みどりの月間」の取組について掲載しています。

木材に関係する事業者から、木材の現状を知りたい設計者まで広くご覧いただけます。

発行元：林野庁
サイズ：A4・60頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2022年5月

目次 プレビュー

外部ページへ

材料 コスト テキスト

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001824>

URLをコピー



脱炭素社会づくりを推進する木造中高層建築のすすめ

お気に入りに追加

CLT建築物の一つのプランについて、製造過程から廃棄までのライフサイクルアセスメント（LCA）を実施し、温室効果ガス排出量・炭素貯蔵量を算出しました。その環境性能の良さから、CLTをはじめとする木材を使用した建築物を多く建設し、都市に森をつくることをすすめています。CLTを普及する資料としてご活用ください。

発行元：一般社団法人日本CLT協会
サイズ：A4・4頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2022年4月

外部ページへ

環境・省エネ テキスト CLTパネル

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001772>

URLをコピー



サステナビリティ経営のためのCLT活用ハンドブック

お気に入りに追加

CLT建築物の事業性検討に際し活用できる資料として、本事業で得た情報の概要をまとめたパンフレットを制作。こちらのパンフレットは、CLTがCO2削減に寄与することやこれまで不明確であるがためにリスクと捉えられていた、事業スケジュール、事業収支、性能等に関する内容を分かりやすく伝えられるものになっております。

発行元：一般社団法人日本CLT協会
サイズ：A4・10頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2022年4月

外部ページへ

材料 環境・省エネ 施工 木造の良さ テキスト CLTパネル

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001770>

URLをコピー



住宅供給における安定的木材需給のための連携のすすめ

お気に入りに追加

近年の木造住宅着工戸数の減少やウッドショックにより、住宅生産者には国産材を安定的・持続的に利用するための体制づくりが求められています。本書はそのような安定的な木材需給のために、各地の住宅生産者が木材関連事業者等と連携して取り組んでいる事例とその特徴を紹介しています。

発行元：株式会社アルセッド建築研究所
サイズ：A4・23頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2022年3月

外部ページへ

目次

材料

テキスト

事例集

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001764>

URLをコピー



非住宅木造建築詳細設計テキスト～外部開口部：窓～

お気に入りに追加

「中大規模木造建築プレカット技術協会ディテールワーキング」にて作成された本テキストは、木造建築の経験が少ない設計者の設計労力の低減を図ることを目的に、住宅用サッシとビル用サッシのディテールを取りまとめ、それぞれの違い・設計時の注意点等を解説しています。
※リンク先に情報を入力いただくことで、資料をダウンロードできます。

著者：一般社団法人中大規模木造プレカット技術協会
発行元：一般社団法人中大規模木造プレカット技術協会
サイズ：A4・20頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2021年8月

外部ページへ

目次

意匠設計

環境・省工ネ

遮音・振動

施工

テキスト

木造軸組

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001761>

URLをコピー



木造建築物の振動障害に関する設計資料

お気に入りに追加

本設計資料は、環境振動系および木質構造系の研究者が協力して発足し、13年と長きにわたって活発な活動や議論を行ってきた結果をまとめたもので、交通振動を振動源とする水平振動に関する設計資料、歩行振動を振動源とする鉛直振動に関する設計資料の2つで構成されています。振動に対してまとめている数少ない資料であり、実務者のみならず振動に対して興味・関心のある方に役立つ一冊となっています。

発行元：一般社団法人日本建築学会
サイズ：A4・151頁
入手方法：3,960円(税込)
ISBN：978-4-8189-0666-2
発売日：2022年3月

外部ページへ

目次

遮音・振動

テキスト

木造軸組

2×4

CLTパネル

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001753>

URLをコピー



モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～(令和4年4月No.7)

お気に入りに追加

昨年、林野庁は、木材需給、木材価格、木材産業の動向等に関する情報等を各方面に広く提供することを目的として、「モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～」を創刊しました。

発行元：林野庁
サイズ：A4・58頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2022年4月

今月号では、ロシアからの木材輸入についてや、令和2年度の公共建築物の木造率、生しいたけの原産地表示の見直し、「新たな森林づくりコンクール2021」受賞者決定、国有林野における効率的・効果的なシカ捕獲わなの普及・展開、EU森林戦略2030について掲載しています。

木材に関係する事業者から、木材の現状を知りたい設計者まで広くご覧いただけます。

外部ページへ

目次

プレビュー

材料

コスト

テキスト

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001749>

URLをコピー



身近なまちの建物の木造化のすすめ「建ててみましょう！木造で」

お気に入りに追加

本パンフレットは、「木材利用に取り組む民間企業ネットワークの構築事業」における低層小規模ワーキンググループの活動の一環として、ワーキングメンバーや地域工務店等から提供された、身近な建物を木造で建築するメリットを整理したものです。メリットを具体的に7つ示し、簡潔に説明しています。設計者の方が施主等に木造建築を勧めるのにご活用いただければ幸いです。

発行元：公益財団法人日本住宅・木材技術センター
サイズ：A4・8頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2022年3月

外部ページへ

木造の良さ テキスト

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL： <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001746>

URLをコピー



木造低層小規模建築物事例集

お気に入りに追加

本事例集は、「木材利用に取り組む民間企業ネットワークの構築事業」における低層小規模ワーキンググループの活動の一環として、ワーキングメンバーや地域工務店等から提供された、木造低層小規模建築物の実例情報を整理したものです。事例集では、様々な用途の建物を取り扱っており、各事例について、用途、名称、所在地、竣工年、建設地の地域区分、耐火性能、階数、延床面積、構法、主な構造材、設計者、施工者に関する情報を掲載しています。

発行元：公益財団法人日本住宅・木材技術センター
サイズ：A4・30頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2022年3月

目次 プレビュー

外部ページへ

木造の良さ 事例集 木造軸組 2×4

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL： <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001746>

URLをコピー



既存木造建築物健全性調査・診断の考え方(案) (木質部材・接合部等)

お気に入りに追加

本書は、既存木造建築物中の木質部材・接合部を対象としたISO13822への対応と定量的な「調査・診断法」の整備を目指して、既存木造建築物の診断に関する最新の情報を集約し取りまとめたものです。今般の定量的な調査・診断法が、歴史的建築物・戸建および共同住宅・非住宅を含めた中高層・大規模・公共施設などの既存木造建築物等の健全性診断にすみやかに定着することを期待しています。木造建築の調査・診断を行う方向けの一冊になっています。

発行元：一般社団法人日本建築学会
サイズ：B5・324頁
入手方法：5,500円(税込)
ISBN：978-4-8189-1095-9
発売日：2022年3月

目次

外部ページへ

耐久性・維持管理 テキスト

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL： <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001740>

URLをコピー



木造低層小規模建築物の実践方策の手引き～非住宅建築物の木造化に向けて～

お気に入りに追加

本書は、非住宅用途の建築に携わる方向けの一冊となっており、非住宅用途の木造建築の企画から施工までの進め方、それらの建物を効率的に実現していくための手順や留意点を示しています。また、それらに精通した担い手として、「木造パートナー」という職能・職域が生まれる可能性が高いことを提示しています。今後、非住宅用途の木造建築が増えていく中で、それぞれがどのような役割を担うのか、現在の業態との関係、今後の方向性を考えるための資料にもなっています。

発行元：公益財団法人日本住宅・木材技術センター
サイズ：A4・39頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2022年3月

目次 プレビュー

外部ページへ

意匠設計 構造設計 施工 コスト テキスト 木造軸組 2×4

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL： <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001738>

URLをコピー



CLT建築事例集2021 -CLT活用建築物等実証事業から-

お気に入りに追加

CLTを用いた建築物を建築しようとしている建築主や意匠設計者、構造設計者むけのCLT建築物の事例集です。CLT建築の魅力をはじめ、CLTを用いてどのようなことができるか、「CLT建築物等実証事業」で2021年までに実現した各種用途規模のCLT建築物の事例を通じて分かりやすく紹介しています。CLTを建築物用いた良さ等の利用者の声についても紹介しています。

発行元：公益財団法人日本住宅・木材技術センター
サイズ：A4・74頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2022年3月

目次 プレビュー

外部ページへ

意匠設計 材料 構造設計 施工 木造の良さ 事例集 CLTパネル 混構造 これから始める方

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL： <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001701>

URLをコピー



横架材の国産材活用マニュアル

お気に入りに追加

(一社)中大規模木造プレカット技術協会では国産材を活用した中大規模木造建築普及には、国産構造材の安定供給体制の構築が必要と考え、国産材率が低い軸組構法住宅の横架材の国産材率向上のために「国産材活用マニュアル」を作成いたしました。意匠、構造の設計者及び林業関係者施工者のすべての方に手に取っていただきたい内容となっております。

著者：稲山正弘
発行元：一般社団法人中大規模木造プレカット技術協会
サイズ：A4・35頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2022年1月

(※入力フォームに情報を入力いただくことで、資料をダウンロードできます。)

目次 プレビュー

外部ページへ

意匠設計 材料 構造設計 施工 テキスト 木造軸組

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL： <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001691>

URLをコピー



中大規模木造建築物の耐久設計と維持保全

お気に入りに追加

長持ちする木造建築を実現するためのポイントをまとめた1冊です。本書では、さまざまな劣化原因から建物の安全性と美観を守る耐久設計と維持保全の要点を、部位や部材、劣化の種類ごとにくわしく解説しています。近年増えている中大規模の木造建築物に特化した内容であり、市庁舎や学校施設、屋内プールなどの豊富な事例が、写真とともに紹介されています。さらに、新しい建築材料の特徴や、各種劣化現象のメカニズムなど、より深く知るための技術情報や調査・実験結果が多数掲載されています。木造施設の設計、施工ご担当の方だけでなく、管理ご担当の方も必携のガイドになっています。

著者：中島正夫
発行元：森北出版
サイズ：B5・176頁
入手方法：3,740円(税込)
ISBN：978-4-627-55431-3
発売日：2022年3月

プレビュー

外部ページへ

材料 耐久性・維持管理 テキスト

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL： <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001672>

URLをコピー



CLT活用建築物等実証事業ホームページ

お気に入りに追加

CLT活用建築物等実証事業ホームページを公開しました。こちらは平成26年度から林野庁補助事業で実施した事業を、実証内容や建物用途、CLT使用部位、都道府県別に検索をすることができ、成果の報告内容の確認が出来ます。またCLT建築事例集や接合部データ集等の普及資料も掲載しています。

外部ページへ

材料 構造設計 防火設計 施工 コスト webサイト・データベース CLTパネル 混構造

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL： <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001660>

URLをコピー



モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～(令和4年3月No.6)

お気に入りに追加

昨年、林野庁は、木材需給、木材価格、木材産業の動向等に関する情報等を各方面に広く提供することを目的として、「モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～」を創刊しました。

今月号では、建築物木材利用促進協定の締結についてや、令和2年林業産出額、2021年木材輸出実績、2021年木材輸入実績、世界の木材貿易の流れ、スマート林業の展開について掲載しています。

木材に関係する事業者から、木材の現状を知りたい設計者まで広くご覧いただけます。

発行元：林野庁

サイズ：A4・58頁

入手方法：ホームページより入手可

発売日：2022年3月

目次 プレビュー

外部ページへ

材料

コスト

テキスト

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzeportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001655>

URLをコピー



モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～(令和4年2月No.5)

お気に入りに追加

昨年、林野庁は、木材需給、木材価格、木材産業の動向等に関する情報等を各方面に広く提供することを目的として、「モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～」を創刊しました。

今月号では、地方公共団体における木材利用促進の取組や、ウッド・チェンジ協議会小グループ開催について、合板の価格動向、How to 製材輸出、ベトナムにおける「持続可能な木材消費の促進」プロジェクトについて掲載しています。

木材に関係する事業者から、木材の現状を知りたい設計者まで広くご覧いただけます。

発行元：林野庁

サイズ：A4・55頁

入手方法：ホームページより入手可

発売日：2022年2月

目次 プレビュー

外部ページへ

材料

コスト

テキスト

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzeportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001630>

URLをコピー



中大規模木造建築物設計のための大断面集成材スパン表（金物データ付き）

お気に入りに追加

長年、低層・中層の大規模木造建築物については、住宅・非住宅を問わず、大断面構造用集成材（大断面集成材）が必須の部材として利用されてきたが、近年は調達しやすい住宅向けの流通材、すなわち中小断面構造用集成材を多用する動きが活発化してきている。そこで日本集成材工業協同組合では、スギ、カラマツ等の国産樹種で製造した大断面集成材のスパン表を作成した。用途は事務所、共同住宅及び店舗の3種類であり、また、スパン表に対応した接合部の情報（接合金物）についても取りまとめている。本ブックレットが、既に木造建築に取り組んでいる設計者や、これから取り組もうとお考えの方も広く活用いただけます。

編集：中大規模木造建築加工施工技术検討委員会・スパン表WG

発行元：日本集成材工業協同組合

サイズ：A4・29頁

入手方法：ホームページより入手可

発売日：2021年3月

目次 プレビュー

外部ページへ

材料

構造設計

標準図・設計例

木造軸組

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzeportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001628>

URLをコピー



CLTを用いた建築物の設計施工マニュアル 2021年構造・材料増補版

お気に入りに追加

新しい木質材料であるCLTを用いた建築物の設計、施工に取り組む方むけのCLTパネル工法を中心とした設計施工マニュアルです。CLTを用いた建築物の特徴と留意点をはじめ、CLTパネル工法の構造計算手法のほか、木質材料としてのCLTの特性、木を「現し」で用いる燃えしる設計等のポイントについて各種の計算例や図解等を用いて解説するとともに、施工上の留意点等について写真等を交えて解説しています。

監修：国土交通省国土技術政策総合研究所、国立研究開発法人建築研究所
編集：CLT設計施工マニュアル編集委員会
発行元：公益財団法人日本住宅・木材技術センター
サイズ：354頁
入手方法：6,600円(税込)
ISBN：9784907094522
発売日：2021年12月

目次 プレビュー

2021年構造・材料増補版では、構造計算の適用範囲について、垂壁を省略した水平構面勝ち架構形式等に加え、鉛直構面の斜め配置、床面・屋根面の斜辺支持や2方向床・屋根パネルのモデル化方法の追加、構造モデルの簡略化を追加し、これらの構造設計手法について解説しています。

外部ページへ

材料 構造設計 防耐火設計 耐久性・維持管理 施工 テキスト 標準図・設計例 CLTパネル [これから始める方](#)

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001606>

URLをコピー



モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～(令和4年1月No.4)

お気に入りに追加

昨年、林野庁は、木材需給、木材価格、木材産業の動向等に関する情報等を各方面に広く提供することを目的として、「モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～」を創刊しました。

発行元：林野庁
サイズ：A4・56頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2022年1月

今月号では、ウッドデザイン賞上位賞受賞作品についてや、森林によるCO₂吸収量の算定方法について、令和2年度における森林環境譲与税の取組状況、若年者の林業従事者の動向について掲載しています。

木材に関係する事業者から、木材の現状を知りたい設計者まで広くご覧いただけます。

外部ページへ

材料 コスト テキスト

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001600>

URLをコピー



木構造テラス流 中規模木造構造設計の実務マニュアル

お気に入りに追加

木造建築物の構造設計に不慣れな構造設計者を対象とした実務書になります。用途の異なる中規模木造建築物の構造設計例を解説し、つくるための商材も紹介しています。また、各種規基準、市場流通材の部材寸法や強度、およびプレカット工場の連携、各種ディテールと補強金物、構造計算ソフトの活用法を紹介し、さらに確認検査機関が確認申請時にチェックする項目も解説しています。

監修：一般社団法人 木質構造の設計情報を共有する会
発行元：株式会社建築技術
サイズ：A4・267頁
入手方法：3,960円(税込)
ISBN：978-4-7677-0170-7
発売日：2021年10月

目次 プレビュー

外部ページへ

構造設計 防耐火設計 テキスト

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001574>

URLをコピー



こうすればできる「純木造3階建て事務所建築」中大規模木造の検討

お気に入りに追加

中大規模木造建築を計画するにあたっての建築物の木材利用に関する情報提供の一環として、住宅生産にて培われた既存の技術を活用しながら実現可能な汎用性のある建物を想定し、具体的なモデル建物を「3階建て・延べ面積約1,000㎡・準耐火構造の事務所ビル」として設定し、意匠・構造・設備の計画、設計時の留意事項、施工時の協業体制や対応の考え方等についてより具体的に整理し、鉄骨造モデルとの建設コスト比較した資料を含め、『こうすればできる「純木造3階建て事務所建築」中大規模木造の検討』として書籍にしました。これから中大規模木造や非住宅建築への取組みを始めようとしている方々にとっての参考書として活用いただけます。

編集：技術開発委員会
発行元：一般社団法人日本木造住宅産業協会
サイズ：A4・139頁
入手方法：6,600円(税込)【会員:3,300円(税込)】
発売日：2021年12月

目次 プレビュー

外部ページへ

意匠設計

構造設計

防耐火設計

設備設計

施工

コスト

テキスト

木造軸組

この情報をシェアする→

Facebook

Twitter

Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001558>

URLをコピー



モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～(令和3年12月No.3)

お気に入りに追加

このたび、林野庁は、木材需給、木材価格、木材産業の動向等に関する情報等を各方面に広く提供することを目的として、「モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～」を創刊しました。今月号では、きになる木の建築紹介サイト、JAS認証工場位置図の「もりんく」への掲載、所有者不明森林への対応、令和3年度国有林野事業業務研究発表会などについて掲載しています。木材に関係する事業者から、木材の現状を知りたい設計者まで広くご覧いただけます。

発行元：林野庁
サイズ：A4・54頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2021年12月

目次 プレビュー

外部ページへ

材料

コスト

テキスト

この情報をシェアする→

Facebook

Twitter

Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001556>

URLをコピー



公共建築物における木材の利用の取組に関する事例集（令和2年版）

お気に入りに追加

全国営繕主管課長会議では、国、地方公共団体等の事業計画等の参考とするため、平成24、25年度に「公共建築物における木材の利用の取組に関する事例集」等の取りまとめを行っています。上記事例集の取りまとめ後、木材利用に係る技術開発の進展と地方公共団体により多様な木造建築物が整備されていることを踏まえ、今般、新たに「公共建築物における木材の利用の取組に関する事例集（令和2年版）」が取りまとめられました。本事例集では、CLTの活用などの木材利用に係る新たなテーマが設定され、これに即した国（2件）、都道府県（43件）及び市区町村（32件）が整備した77件の木造公共建築物及び1件の施策が木材活用の取組とともに紹介されています。

著者：全国営繕主幹課長会議
編集：公共建築物における木材の利用の取組に関する事例集等の拡充検討会
発行元：国土交通省 大臣官房官庁営繕部 整備課 木材利用推進室
サイズ：A4・260頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2020年7月

目次

外部ページへ

意匠設計

材料

構造設計

防耐火設計

コスト

事例集

木造軸組

CLTパネル

混構造

これから始める方

この情報をシェアする→

Facebook

Twitter

Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001549>

URLをコピー



モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～(令和3年11月No.2)

お気に入りに追加

このたび、林野庁は、木材需給、木材価格、木材産業の動向等に関する情報等を各方面に広く提供することを目的として、「モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～」を10月に創刊しました。今月号では、木材利用優良施設コンクールの結果や、10月22日に閣議決定された「地球温暖化対策計画」の概要について掲載しています。

発行元：林野庁
サイズ：A4・51頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2021年11月

木材に関係する事業者から、木材の現状を知りたい設計者まで広くご覧いただけます。

目次 プレビュー

外部ページへ

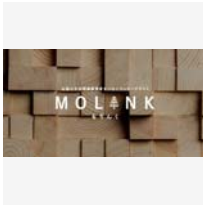
材料 コスト テキスト

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001502>

URLをコピー



木材SCM支援システム MOLINK もりんく

お気に入りに追加

もりんくは、全国の木材関連事業者をつなぐマッチングサイトです。事業PRページの作成や、新しい取引先を地域や製品などから検索できるほか、需給情報共有や取引に関するコミュニケーションをサポートしています。

外部ページへ

材料 webサイト・データベース

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001495>

URLをコピー



中大規模木造建築のコストマネジメント・ガイドブック

お気に入りに追加

木造の基礎知識から積算事例まで幅広く網羅し、初心者でも中大規模木造建築とコストマネジメントの基本を体系的に理解できる内容となっています。

発行元：公益社団法人日本建築積算協会
サイズ：A4・210頁
入手方法：4,800円(税込)
発売日：2021年8月

積算・コストマネジメントに携わる方はもちろん、木造建築プロジェクトに関わる全ての技術者向けの1冊です。

目次 プレビュー

外部ページへ

積算 コスト テキスト

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001479>

URLをコピー



モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～(令和3年10月創刊号)

お気に入りに追加

このたび、林野庁は、木材需給、木材価格、木材産業の動向等に関する情報等を各方面に広く提供することを目的として、「モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～」を創刊しました。

発行元：林野庁
サイズ：A4・47頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2021年10月

今月号では、「令和2年度木材需給表の概要」や「建築物に利用した木材に係る炭素貯蔵量の表示に関するガイドライン」の特集に加え、木材価格情報や木材需給情報を掲載しています。

木材に関係する事業者から、木材の現状を知りたい設計者まで広くご覧いただけます。

目次 プレビュー

外部ページへ

材料 コスト テキスト

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001477>

URLをコピー

バリアフリー法逐条解説（建築物）2021年版

お気に入りに追加

本書は、近年のバリアフリー法の改正や所管行政庁から寄せられた意見等を踏まえて内容を更新し、さらに使いやすいものになるよう編集を行ったものです。

建築行政関係者や指定確認検査機関のみならず、設計者、施工者、部品製造会社などの建築関係者の各方面において、「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準（令和3年3月国土交通省）」と併せて活用されることにより、建築物のバリアフリーの推進が図られることを期待しています。

編集：日本建築行政会議(防災部会バリアフリー分科会)
発行元：日本建築行政会議
サイズ：A4・203頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2021年9月

目次 プレビュー

外部ページへ

意匠設計 テキスト

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001468>

URLをコピー

科学的データによる木材・木造建築物のQ&A

お気に入りに追加

本書は、「木の良さ」に関する既往の知見および新たな研究で得られた知見などについて文献などの情報を入手し、科学的な視点で検証し整理しまとめてあります。意匠や構造の設計者、大工工務店の方々はもちろん、一般の消費者の方々にも広く活用できるようにQ&A形式として作成しています。

編集：木材の健康効果・環境貢献等に係るデータ整理委員会
発行元：木構造振興株式会社
サイズ：A4・43頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2017年3月

外部ページへ

目次

材料 耐久性・維持管理 環境・省エネ 木造の良さ テキスト

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001441>

URLをコピー

事例調査を踏まえた木造官庁施設の施工管理・工事監理に関する留意事項集

お気に入りに追加

国土交通省大臣官房官庁営繕部では、木造公共建築物の整備促進と品質確保に資することを目的に、令和元年度・2年度において、木造建築物の施工管理・工事監理等に関する調査を実施し、留意事項集として取りまとめを行いました。本留意事項集の内容は、発注者側の監督職員、工事監理者のみならず工事施工者にも役立つものとなっています。また、企画・設計段階において検討しておくべきポイントについても解説しています。

発行元：国土交通省大臣官房官庁営繕部
サイズ：A4・113頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2021年6月

外部ページへ

目次 プレビュー

材料 耐久性・維持管理 施工 テキスト 事例集

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001429>

URLをコピー

CLT建築物ディテール集

お気に入りに追加

CLT建築推進協議会にて、高知県におけるCLT建築物のディテール集を作成しました。このディテール集には、高知県内29のCLT建築施設の設計データに加え、CLT利用に関するQ&Aや建築士によるCLT座談会なども掲載しております。CLT建築物を設計、建設される方むけのテキストとなっています。

発行元：CLT建築推進協議会
サイズ：A4・84頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2021年3月

外部ページへ

目次 プレビュー

意匠設計 材料 構造設計 防耐火設計 耐久性・維持管理 遮音・振動 テキスト 事例集 CLTパネル

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001416>

URLをコピー

JSCA版木造建築構造の設計

お気に入りに追加

2011年4月に出版された「JSCA版木造建築構造の設計」の改訂版です。初版より10年が経過し、その間に木造を取り巻く環境が大きく変化したことにより、住宅に加え中大規模木造の設計を意識した改定となっています。中大規模木造建築や木造住宅を取り組む構造設計者向けに、木造の構造設計を行うための情報が多岐にわたり説明されており、特記仕様書の全面的な見直し、防耐火、及び構造特性係数Dsに関する情報などが含まれています。

著者：一般社団法人 日本建築構造技術者協会 (JSCA)
編集：JSCA木質系部会
発行元：株式会社オーム社
サイズ：B5・413頁
入手方法：7150円(税込)
ISBN：978-4-274-22718-9
発売日：2021年5月

目次 プレビュー

外部ページへ

材料

構造設計

防耐火設計

耐久性・維持管理

テキスト

事例集

標準図・設計例

木造軸組

木造ラーメン

2×4

CLTパネル

混構造

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001271>

URLをコピー

「建てるのなら、木造で」

お気に入りに追加

建築主向けの非住宅・中大規模木造建築の普及パンフレットです。木造建築・木材のメリットや特性、他工法と比較しての木造建築の優位性や、ヒアリング実施結果を踏まえた事例紹介と施主・利用者の声を紹介しています。

発行元：公益財団法人日本住宅・木材技術センター
サイズ：A4・23頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2020年2月

※更新内容：脱炭素社会に向けた取り組みのページを追加しています

外部ページへ

コスト

木造の良さ

テキスト

事例集

これから始める方

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001266>

URLをコピー

建物の内装木質化のすすめ 内装木質化した建物事例とその効果

お気に入りに追加

建物の新築や改修を計画している設計者やお施主さん向けの内装木質化を紹介する小冊子です。内装を木質化したさまざまな用途の建物の実例とともに、内装木質化の効果とそれについて検証されたデータが紹介されています。内装木質化した建物の利用者、就労者、設置者の方からの声や感想も紹介されています。

発行元：公益財団法人日本住宅・木材技術センター
サイズ：A4・47頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2021年3月

目次

外部ページへ

木造の良さ

テキスト

事例集

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001235>

URLをコピー

中規模ビルの木造化のすすめ “木でつくる”中規模ビルのモデル設計

お気に入りに追加

中規模ビルを木造で建築しようとする設計者やお施主さん向けのパンフレットです。オフィスを木造で計画することは、木がもつ環境配慮の側面が企業イメージの向上につながるほか、木を現しで用いた場合は視覚的効果による執務環境の向上が見込まれます。3階から7階建ての木造のオフィスのモデル試案として、郊外型のオフィスやサテライトオフィスの6つの提案が紹介されています。

発行元：公益財団法人日本住宅・木材技術センター
サイズ：A4・10頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2021年3月

外部ページへ

意匠設計

構造設計

防耐火設計

木造の良さ

テキスト

標準図・設計例

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001233>

URLをコピー



低層小規模建築物 木造化のすすめ 木造で建てられます2階建て小規模店舗

お気に入りに追加

低層小規模店舗の建築を計画している設計者やお施主さん向けのパンフレットです。近年、郊外を中心に飲食店や物販、各種サービス店舗において小規模建物のニーズが高まっており、国産材を利用した低層小規模店舗の木造化モデルとして、2階建て小規模店舗の木造の構法提案や内外装の木質化の提案が紹介されています。

発行元：公益財団法人日本住宅・木材技術センター
サイズ：A4・8頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2021年3月

外部ページへ

材料 コスト 木造の良さ テキスト

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001231>

URLをコピー



『ここまでできる木造建築のすすめ』（令和2年度版）

お気に入りに追加

中大規模木造建築を手掛けようとしている設計者向けに、建築基準法の防耐火規制の概要を用途別に解説したパンフレットです。平成21年の初版以来、法改正に合わせて改訂を重ね、平成30年の建築基準法の改正に伴う建築物の規模、用途、地域要件に関する令和2年6月までの改正内容を反映するとともに、消防法等の関連する基準を確認し、文章、図表を改訂しています。

編集：技術普及書作成委員会
発行元：一般社団法人木を活かす建築推進協議会
サイズ：A4・56頁
入手方法：990円(税込)
発売日：2021年6月

目次 プレビュー

外部ページへ

意匠設計 構造設計 防耐火設計 木造の良さ テキスト 木造軸組 木造ラーメン 2x4 CLTパネル 混構造 これから始める方

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001216>

URLをコピー



木を活かした医療施設・木を活かした福祉施設

お気に入りに追加

医療施設や福祉施設の木造化・木質化のポイントを事例を通して紹介する設計者やお施主さん向けのパンフレットです。左開きから医療施設、右開きから福祉施設として読み進めることができます。設計者には、設計におけるヒント集として、さらにお施主さんには、木造化・木質化のメリットや魅力を紹介するツールになっています。

監修：医療施設・福祉施設木材利用普及検討委員会
発行元：一般社団法人木を活かす建築推進協議会
サイズ：A4・16頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2021年2月

目次 プレビュー

外部ページへ

意匠設計 耐久性・維持管理 木造の良さ テキスト 事例集 これから始める方

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001214>

URLをコピー



木造の中層建築物を木材がそのまま見えるあらかわしで建築できるようになりました

お気に入りに追加

中層・大規模木造建築物の設計にかかわるすべての方に向けたパンフレットです。平成30年の建築基準法改正では、防耐火規制の性能規定化の推進が図られ、性能の高い準耐火構造と安全措置により、木造の中層建築物を木材がそのまま見える燃えしる設計で建築できるようになりました。本パンフレットでは、改正により追加された性能の高い準耐火構造と安全措置による木造の中層建築物の設計手法が紹介されています。

監修：国土交通省住宅局建築指導課
発行元：一般財団法人日本建築防災協会
サイズ：A4・8頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2021年3月

プレビュー

外部ページへ

防耐火設計 テキスト

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001212>

URLをコピー



木造建築物の防・耐火設計マニュアル - 大規模木造を中心として -

お気に入りに追加

大規模な木造建築物の防・耐火設計について詳しく知りたい方向けの防耐火設計の解説書です。平成26年の建築基準法改正では、延べ床面積3,000㎡を超える木造建築物や3階建ての学校等について木造で建築しやすくなりました。これを踏まえ、主に大規模な木造建築物を対象とした防・耐火設計マニュアルとしてまとめられています。

監修：国立研究開発法人建築研究所
編集：木造建築物の防・耐火設計マニュアル編集委員会
発行元：一般財団法人日本建築センター
サイズ：A4・296頁
入手方法：7,150円(税込)
ISBN：978-4-88910-170-6
発売日：2017年3月

目次 プレビュー

外部ページへ

防耐火設計 テキスト

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001200>

URLをコピー



CLT建築物の設計ガイドブック

お気に入りに追加

CLTを利用して建築したい設計者むけの設計ガイドブックです。CLT工場の紹介に加え、CLTらしい使い方を全国の建築事例を参考に解説することで、建築物の計画、設計、施工等に携わる様々な方々に理解しやすい内容になっています。

著者：桜設計集団一級建築士事務所
発行元：愛媛県CLT普及協議会
サイズ：A4・83頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2019年10月

目次 プレビュー

外部ページへ

材料 構造設計 防耐火設計 施工 テキスト 事例集 CLTパネル

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001196>

URLをコピー



『京都の木で木造建築物を建てるための・・・二ホヘト』(防耐火・維持管理編)

お気に入りに追加

木材を見せながら火に負けない木造建築物を造りたい設計者やお施主さん向けの冊子です。タイトルに「京都」とありますが、全国各地で活用できる内容になっており、防耐火についての知識や建築事例から学ぶ防耐火設計の解説のほか、耐久性・維持管理の工夫等を掲載しています。また木を「現し」で使う等、工夫次第でどこまでできるという事例を紹介しています。

著者：桜設計集団一級建築士事務所
発行元：一般社団法人京都府木材組合連合会
サイズ：A4・38頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2020年2月

外部ページへ

防耐火設計 木造の良さ テキスト 事例集

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001194>

URLをコピー



ディテールの教科書 中大規模木造編

お気に入りに追加

中大規模木造建築にこれから取り掛かる設計の方むけのテキストです。中大規模木造建築でも特に動きが大きいCLT(直交集成板)、地元の流通製材、集成材の活用事例を中心に、この約5年間に完成した代表事例を一冊に集約しています。カラー写真とともに各事例の矩計図や接合部の詳細図を紹介しています。また、事例ごとにデザインや構造、防耐火、材料調達などまで解説しています。

著者：日経アーキテクチャ
発行元：日経BP
サイズ：A4変・192頁
入手方法：4,620円(税込)
ISBN：978-4-296-10731-5
発売日：2020年9月

外部ページへ

意匠設計 材料 構造設計 防耐火設計 テキスト 事例集 標準図・設計例

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001191>

URLをコピー



CLT建築事例集2020 -CLT活用建築物等実証事業から-

お気に入りに追加

CLTを用いた建築物を建築しようとしている建築主や意匠設計者、構造設計者むけのCLT建築物の事例集です。CLT建築の魅力をはじめ、CLTを用いてどのようなことができるか、「CLT建築物等実証事業」で2020年までに実現した各種用途規模のCLT建築物の事例を通じて紹介しています。CLTを建築物用いた良さ等の利用者の声についても紹介しています。

発行元：公益財団法人日本住宅・木材技術センター
サイズ：A4・60頁
入手方法：ホームページより入手可
発売日：2021年2月

目次 プレビュー

外部ページへ

意匠設計 材料 構造設計 施工 木造の良さ 事例集 CLTパネル 混構造 これから始める方

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL： <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001178>

URLをコピー



木材と木造住宅Q&A108

お気に入りに追加

木材、木造建築に関する方々はもとより一般の方向けに木材と木造住宅に関する様々なテーマについてQ&A形式でまとめた解説書です。木造軸組構法の変遷や日本の風土と木造住宅の関係について紹介がなされ、建築用材としての木材の材料特性をはじめ木造建築物の地震や火災に対する安全性のほか、耐久性等に関する108のテーマについて、それぞれ2ページずつ簡潔に解説されています。

著者：財団法人日本住宅・木材技術センター
発行元：丸善株式会社
サイズ：B5・218頁
入手方法：3,520円（税込）
ISBN：978-4-621-07960-7
発売日：2008年2月

目次 プレビュー

外部ページへ

耐久性・維持管理 遮音・振動 木造の良さ テキスト 木造軸組 木造ラーメン 2×4

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL： <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001164>

URLをコピー



Ki 中層大規模木造研究会 設計支援情報データベース

お気に入りに追加

大断面集成材を用いたスパン6~7mの1方向ラーメン構造にて4階建て程度のビルを建てるための各耐力要素および入手しやすい材料に関するデータを提供しているデータベースになります。また、接合具のデータ（くぎ、ドリフトピン、GIR、LSB等）も取得・公開しており、それらを用いての耐力要素の設計も可能となります。

外部ページへ

意匠設計 構造設計 webサイト・データベース 木造軸組 木造ラーメン

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL： <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001131>

URLをコピー



ヤマダの木構造

お気に入りに追加

多種多様な木構造の構造計画に関する設計者、施工者向けの手引書です。前半の事例編では、著者が構造設計した27件の建築作品を事例として、木構造の構造計画で頻りに起こる様々な課題を解決・実現する方法を豊富な図版を用いて解説されています。後半の基礎知識編では、意匠設計者から著者に寄せられた木構造に関する相談や疑問点について、木構造の背景にある力学的な仕組みを反映して、イラスト等を用いて解説されています。

著者：山田 憲明
発行元：(株)エクснаレッジ
サイズ：A4：400頁
入手方法：3,080円（税込）
ISBN：9784767823195
発売日：2017年5月

目次 プレビュー

外部ページへ

意匠設計 構造設計 テキスト 事例集 木造軸組 木造ラーメン 混構造 これから始める方

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL： <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001075>

URLをコピー

木質耐火部材を用いた木造耐火建築物設計マニュアル

お気に入りに追加

建築基準法の性能規定化により規模、用途、地域の要件に応じて必要とされる耐火構造が木造でも可能になりました。このような木造耐火建築物の設計者、施工者向けに、日本木造耐火建築協会の「せつこうボード被覆燃え止まり型木質耐火部材」の仕様の詳細やRC造と木造、鉄骨造と木造などの異種構造との組み合わせ、設計上必要な関連法規や技術基準を事例ごとに解説しています。日本木造耐火建築協会会員を対象とした講習会を受講することで入手することができます。

著者：一般社団法人日本木造耐火建築協会
監修：国立研究開発法人建築研究所
編集：木質耐火部材を用いた木造耐火建築物設計マニュアル編集委員会
発行元：一般社団法人日本木造耐火建築協会
サイズ：135頁【付録除く】
入手方法：講習会参加で入手可
発売日：2018年

目次 プレビュー

外部ページへ

構造設計 防耐火設計 施工 テキスト 事例集 標準図・設計例 木造軸組 木造ラーメン 混構造

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001058>

URLをコピー

<前へ 1 2 次へ>

ホーム ポータルサイトについて 中大規模木造建築入門ガイド 設計技術情報 動画情報 講習会情報 担い手・サプライチェーン情報 補助金・表彰制度情報 よくある質問 相談箱

リンク集 サイトマップ 委員会について 個人情報の取り扱いについて サイトポリシー お問い合わせ アンケート

国土交通省

林野庁

©2020 中大規模木造建築ポータルサイト検討委員会

ホーム	ポータルサイト について	中大規模木造建築 入門ガイド	設計技術情報	動画情報	補助金・表彰 制度情報	講習会情報	担い手・サプライ チェーン情報	よくある質問	相談箱 (※登録者限定)
-----	-----------------	-------------------	--------	------	----------------	-------	--------------------	--------	-----------------

ホーム > 動画情報

動画情報

お知りになりたい設計技術情報、工法等の選択項目をクリックして、「検索結果へ」のボタンをクリックして下さい。
検索条件に合う動画情報のリストが表示されます。

アイコンの凡例（色別）

設計技術

動画の種類

工法

オススメ

動画情報の検索

▲ 検索条件を隠す

検索結果へ >

設計技術情報

- 意匠設計
- 材料
- 構造設計
- 防耐火設計
- 設備設計
- 耐久性・維持管理
- 環境・省エネ
- 遮音・振動
- 積算
- 施工
- 林業
- コスト（建築主向け）
- 木造の良さ（建築主向け）

動画の種類

- 講習会・シンポジウム
- 事例紹介
- インタビュー・説明
- 建設・製造・加工
- 実験
- ニュース・特集

工法（任意）

- 木造軸組
- 木造ラーメン
- 2×4
- CLTパネル
- 混構造
- その他

オススメの種類

- 中大規模木造建築をこれから始める方にオススメ

検索結果へ >

動画情報のリストアップ

検索数：98

並び順：新着情報順 ▼



外部ページへ

新着 中大規模木造建築の基礎知識『建てるのなら、木造で』 中大規模木造建築の構法 小径材による非住宅木造建築の空間

お気に入りに追加

中大規模木造建築の実現を後押しするための動画として「中大規模木造建築の基礎知識『建てるのなら、木造で』」を制作しました。

今回は中大規模木造建築の構法紹介映像として「マルオカ埼玉営業所」「飯能商工会議所」について、東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授 稲山正弘氏、株式会社マルオカプレカット事業部取締役部長 南部智隆氏、飯能商工会議所 事務局長 浅見国昭氏にご紹介・ご説明頂きました。

提供元：公益財団法人日本住宅・木材技術センター【公式】

動画時間：0:06:58

登録日：2023年3月14日

材料 構造設計 施工 木造の良さ（建築主向け） 事例紹介 インタビュー・説明 木造軸組

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL： <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10002492>

URLをコピー



外部ページへ

新着 中大規模木造建築の基礎知識『建てるのなら、木造で』 中大規模木造建築の構法 一般流通材を用いた汎用非住宅木造建築

お気に入りに追加

中大規模木造建築の実現を後押しするための動画として「中大規模木造建築の基礎知識『建てるのなら、木造で』」を制作しました。

今回は中大規模木造建築の構法紹介映像として「齋藤食品工業第2工場」「マルオカ埼玉営業所」について、東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授 稲山正弘氏、一般社団法人中大規模木造プレカット技術協会 理事 功刀友輔氏、株式会社建築工房わたなべ 代表取締役渡邊泰敏氏、株式会社マルオカプレカット事業部取締役部長 南部智隆氏にご紹介・ご説明頂きました。

提供元：公益財団法人日本住宅・木材技術センター【公式】

動画時間：0:06:36

登録日：2023年3月14日

構造設計 施工 木造の良さ（建築主向け） 事例紹介 インタビュー・説明 木造軸組

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL： <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10002490>

URLをコピー



外部ページへ

鈴工CLT Research & Design ラボ主催 第一回シンポジウム 中大規模木造建築の最新動向とCLTを活用した地域振興

お気に入りに追加

2023年1月26日(木)15:00-17:00に開催されたシンポジウム動画になります。

日本の中大規模木造建築を牽引する企業からゲストをお招きし、最新の木造建築に関する取り組みをご紹介します。また、実際にCLTを活用して建設されたリゾートホテル「季さら Oneness」を運営する上村様にもご参加頂き、CLT、木造建築、木材利用による地域振興について施主側の視点も含めて議論を深めます。

提供元：株式会社鈴工

動画時間：1:45:45

登録日：2023年2月18日

第一部：講演
第二部：パネルディスカッション

構造設計 耐火設計 環境・省エネ 講習会・シンポジウム CLTパネル

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL： <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10002444>

URLをコピー



外部ページへ

CLTで、未来に備える。～サステナビリティ経営のためのCLT活用

お気に入りに追加

CLT (Cross Laminated Timber) は、ひき板 (ラミナ) を並べた後、繊維方向が直交するように重ねて接着した木質系材料です。

提供元：日本CLT協会公式

動画時間：0:04:04

登録日：2023年2月8日

温室効果ガス削減に向けた取り組みが全世界で進められている中、CO2を吸収蓄積するCLTをはじめとする木質系材料には、持続可能な建築資材としてあらためて大きな注目が集まっています。

軽くて丈夫なCLTは施工性に優れ、さらに従来工法と組み合わせることによって様々な効果や付加価値を生み出すことから、最近では中大規模施設の建築にも多く用いられるようになってきています。

- 材料
- 環境・省エネ
- コスト (建築主向け)
- 木造の良さ (建築主向け)
- インタビュー・説明
- CLTパネル

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL: <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10002405> URLをコピー



外部ページへ

ディスカッション～日本の木造建築産業の発達とCLT利用促進により地方創生をはかるためには

お気に入りに追加

スウェーデンの木造建築振興団体の代表者と日本の林業関係者を結んで行われたディスカッションの様相を紹介する動画です。お互いの木材振興や地域活性化に向けた取り組みが紹介された中、熱心な議論や質疑が交わされました。

提供元：日本CLT協会公式

登録日：2023年2月8日

- 00:00 ディスカッション～
- 日本の木造建築産業の発達とCLT利用促進により地方創生をはかるためには
- 00:05 はじめに 青島啓太 (追手門学院大学 文学部人文学科 准教授)
 - 00:39 木造建築の担い手、建物の耐用年数、森林資源の活用について
 - 03:14 振興団体としての組織・運営体制について
 - 08:29 木材・木造建築のワーキンググループに対する運営アドバイス
 - 12:31 Timber on Topプロジェクトについて
 - 15:48 最後に Jessica Becker (Wood City Sweden <Trästad Sverige>)
 - 17:18 同 上 後藤豊 (チャルマーズ工科大学 建築土木工学部 研究員)
 - 18:29 全体の総括 青島啓太 (追手門学院大学 文学部人文学科 准教授) (敬称略)

- 材料
- 耐久性・維持管理
- 木造の良さ (建築主向け)
- 講習会・シンポジウム
- CLTパネル

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL: <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10002403> URLをコピー

森林・木造建築の北欧先進国「スウェーデン」～「Wood City Sweden (Trästad Sverige)」の取り組み【インタビュー】

お気に入りに追加

スウェーデンで木造建築を推進する団体「Wood City Sweden (Trästad Sverige)」の代表者によるプレゼンテーションを受けて行われたインタビューの様相を紹介する動画です。スウェーデンにおける木造建築の普及振興の取り組みに対して、日本の林業関係者から様々な質問が寄せられました。

提供元：日本CLT協会公式
登録日：2023年2月8日

外部ページへ

00:00 もり・まち・ひとの交差点～森林・木造建築の北欧先進国「スウェーデン」
「Wood City Sweden (Trästad Sverige)」の取り組み【インタビュー】

00:05 「背景・目的」について
01:08 「組織・運営」について
03:10 「取り組み内容」について
07:52 「ハウツー」について
09:06 「効果」について
10:55 「スウェーデン全般」について
12:03 「公共建築・施設の課題」について
14:48 「公共住宅の状況」について
(敬称略)

材料

環境・省エネ

施工

コスト（建築主向け）

講習会・シンポジウム

CLTパネル

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10002401>

URLをコピー

森林・木造建築の北欧先進国「スウェーデン」～「Wood City Sweden (Trästad Sverige)」の取り組み

お気に入りに追加

日本と同様に森林国であるスウェーデンでは、林業振興や脱炭素化に向けた取り組みとして、国内での木造建築の普及、推進に官民一体となって取り組んでいます。2022年11月、スウェーデンで木造建築を推進する団体「Wood City Sweden (Trästad Sverige)」と日本の林業関係者とを結んだワークショップが開催されました。

提供元：日本CLT協会公式
登録日：2023年2月8日

外部ページへ

00:00 もり・まち・ひとの交差点～森林・木造建築の北欧先進国「スウェーデン」
「Wood City Sweden (Trästad Sverige)」の取り組み

00:08 はじめに 青島啓太（追手門学院大学 文学部人文学科 准教授）
00:55 スウェーデンの木造建築への取り組みについて 後藤豊（チャルマーズ工科大学 建築土木工学部 研究員）
01:38 WOOD BUILDING IN SWEDEN Jessica Becker（Wood City Sweden <Trästad Sverige>）
(敬称略)

材料

環境・省エネ

施工

講習会・シンポジウム

CLTパネル

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10002399>

URLをコピー

【建築知識】 みんなの都市木造を考える。

お気に入りに追加



非住宅の木造化が建築の大きなトレンドになっていますが、中高層建築、いわゆる“都市木造”を実現するには、「大断面JAS集成材の調達と計画敷地（都市部）にスムーズに搬入する計画」「S造やRC造との混構造という選択肢を踏まえた、木造の中高層化に建築に見合う合理的な構造計画」などのノウハウが求められ、将来的には技術を標準化し、多くの人が“都市木造”に関われるようにする必要があります。本セミナーでは、“都市木造”の普及に向けて長年活動を行ってきた腰原幹雄氏（東京大学 生産技術研究所 教授）に、“都市木造”を設計・施工するためのノウハウと、“都市木造”のあるべき未来について解説しています。

提供元：これからの住宅・建築MAPsちゃんねる

動画時間：1:03:03

登録日：2023年1月30日

材料

構造設計

防火設計

施工

講習会・シンポジウム

インタビュー・説明

この情報をシェアする→

Facebook

Twitter

Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10002366>

URLをコピー



スゴいぞ！ニッポンの木のチカラ2022 (5) 日常風景に木があふれる街に！ 小田原木塀プロジェクト

お気に入りに追加

神奈川県小田原市では、地元で育てられた木を加工し、木塀として日常の風景に取り入れる小田原木塀プロジェクトが推進されています。プロジェクトで設置された木塀は1年で14カ所にのぼり、総延長400メートルもの木塀が街並みに加えられました。木塀は景観に温もりを与えるとともに、防腐処理した木材を使う等の工夫をすることで長年にわたって使用できます。

提供元：木材で街づくり

動画時間：0:13:22

登録日：2023年1月19日

木塀の強度を高める実験や、経年変化を抑える実験を行っている高木さんは「木塀は素材が木なので加工がしやすく、オリジナリティを出しやすい」と語りました。高木さんと連携し、積極的に小田原の木を使った家造りをしている篤海（おしうみ）さんは「木の塀を作ると家が豪華に見えて施主に喜んでもらえる」とうれしい反響を語りました。

今後も小田原市には木の街並みが広がっていくと期待されます。

林業

木造の良さ（建築主向け）

インタビュー・説明

この情報をシェアする→

Facebook

Twitter

Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10002344>

URLをコピー



外部ページへ

スゴいぞ！ニッポンの木のチカラ2022 (4) 地元の木材で造られた名所OYA KI FARM

お気に入りに追加

北アルプスを望む、長野県長野市。今年7月にオープンした新たな観光名所、OYAKI FARMを取材しました。OYAKI FARMは落ち着いたカフェのような雰囲気を持つ木造建築で、休日になると行列が絶えない人気ぶりです。この施設は長野県の郷土料理「おやき」の魅力を発信するための拠点として建てられ、年間500万個のおやきを製造する工場が併設されています。

建物に使用されている木材はすべて長野県産であり、地域の魅力が凝縮されています。外壁として使われている高さ10メートルの杉の木材は、木が林立する様子をイメージし、大地と建物の一体感を表現しています。また、内部の大空間を支えている筋交いは伝統技法によって生まれ、木の枝が連なる様子をイメージしています。

オープン後はスタッフも驚くほどの反響があり、僅か2ヵ月で8万人が来店し、瞬間に長野の新たな観光名所になりました。

長野県根羽村（ねばむら）は古くから林業が盛んであり、ほとんどの世帯が山林を所有しています。根羽村の森林組合に勤める今村さんは、木で作った独楽などの知育玩具を通して、子どもたちに木を身近に感じてもらうための活動をしています。番組では、今村さん自慢のおもちゃで遊ぶ子どもたちの姿を紹介しました。

木造の良さ（建築主向け）

事例紹介

インタビュー・説明

この情報をシェアする→



この情報のURL : <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10002342>

URLをコピー



外部ページへ

スゴいぞ！ニッポンの木のチカラ2022 (3) サステナブル社会実現のために！挑戦し続けるトーセン

お気に入りに追加

製材業のイメージを大きく変える存在がトーセンです。トーセンには製材工場では数少ない大きな木質バイオマス発電所があり、1時間あたり2,000キロワットもの電力を生み出しています。燃料として使われるのは、製材として利用できない木を加工したチップです。循環型社会への意識が急速に高まるなか、廃材とクリーン電力を結びつけるこの試みは、SDGs達成に向けた最先端事業として注目されています。

トーセンはほかにも、キャンプ場利用者に向けた薪の自動販売機設置、木のチップを熱源としたウナギの養殖など、さまざまな挑戦を通して木をエネルギーとして活用するための研究を行っています。東泉社長は「木のすべてを使い切り、木のすべてを出し切れるような、そんな仕事をやっていきたい」と語りました。今も東泉社長の頭には、続々と新しいアイデアが浮かんでいるといいます。

材料

環境・省エネ

林業

インタビュー・説明

この情報をシェアする→



この情報のURL : <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10002340>

URLをコピー



スゴいぞ！ニッポンの木のチカラ2022 (2) こだわりの国産素材！協和木材の集成材製造技術

お気に入りに追加

外部ページへ

豊富にある日本の森林資源を生かし、国産材で製材品を作り続けている協和木材。国内の木材需要は国内の木だけでまかなえるという思いを創業当初から貫いてきたといいます。協和木材が力を入れているのは集成材（JAS製品）の製造です。集成材とは複数の木材を張り合わせて作る素材であり、通常の木材と比べて曲がりや反り、割れがほとんど発生しない特長があります。強度や品質が安定しているため、今や一般的な木造住宅の建築にはなくてはならない存在です。

提供元：木材で街づくり
動画時間：0:06:53
登録日：2023年1月19日

協和木材では使用する木材の含水率や、強度などJAS規格（日本農林規格）に基づく品質管理を徹底しており、これをクリアしたものだけが国産の集成材として世に送り出されます。佐川社長は「建材として優れた部分のみを張り合わせて造った国産の集成材を、ぜひ住宅に使っていただきたい」と語りました。

材料

林業

インタビュー・説明

建設・製造・加工

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10002338>

URLをコピー



スゴいぞ！ニッポンの木のチカラ2022 (1) 横浜に誕生！木でつくられた高層ビル

お気に入りに追加

外部ページへ

横浜みなとみらいのビル群の一角にある、一際目を引く美しい木目の建物。これは、木で作られた11階建ての高層ビルです。日本の建築業界をリードする大手ゼネコンの大林組が、研修用の施設として竣工しました。コンクリートから木材へ。脱炭素化のために避けられない、ウッドチェンジという建築業界の新たな流れを加速させる存在として期待されています。

提供元：木材で街づくり
動画時間：0:06:20
登録日：2023年1月19日

木造の高層ビルを実現させるために大林組は、3時間火に耐えられる木材「オメガウッド」や、大地震が起きても強度を保てる柱と梁の十字形ユニットなど、独自の先端技術を開発しました。建設時に排出するCO2の量は、鉄骨造と比べ1700t削減。さらに、気を使うことで現場の作業も大幅に簡素化し、粉塵や騒音も削減しています。

構造設計

防耐火設計

環境・省エネ

施工

木造の良さ（建築主向け）

事例紹介

インタビュー・説明

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10002336>

URLをコピー



中大規模木造建築の基礎知識『建てるのなら、木造で』 作品紹介映像 高層純木造耐火建築のパイロットプロジェクト PortPlus

お気に入りに追加

外部ページへ

中大規模木造建築の実現を後押しするための動画として「中大規模木造建築の基礎知識『建てるのなら、木造で』」を制作しました。

提供元：公益財団法人日本住宅・木材技術センター【公式】

動画時間：0:10:25

登録日：2023年1月2日

今回は作品紹介映像として高層純木造耐火建築のパイロットプロジェクトである「Port Plus」について、株式会社大林組 青山嘉宏氏、高山峻氏、百野泰樹氏にご紹介・ご説明頂きました。

- ・中大規模の木造建築に興味はあるが実際可能なのかわろ不安がある施主の方
- ・施主の方に中大規模木造建築の魅力や可能性を伝えたい設計者
- ・中大規模木造建築の施工を今後請け負いたいの基礎的な知識が欲しい施工者

にご覧になっていただければと思います。

材料

構造設計

防耐火設計

施工

木造の良さ（建築主向け）

インタビュー・説明

建設・製造・加工

木造ラーメン

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10002317>

URLをコピー



革新的なNLTプロジェクトのケーススタディビデオ

お気に入りに追加

東京藝術大学国際交流棟のケーススタディビデオをご紹介します。最近完成したこの革新的なプロジェクトでは、木造と鉄骨のハイブリッド5階建ての建築物に2x6のSPF材で製作したNLTが3~5階の床に採用されています。

提供元：カナダ林産業審議会- COFI
動画時間：0:03:29
登録日：2022年12月27日

外部ページへ

材料

遮音・振動

施工

事例紹介

インタビュー・説明

その他

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10002308>

URLをコピー



【建築知識】森と一緒に考える、JAS製材の木造建築

お気に入りに追加

非住宅建築の木造化が進み、近年では公共・民間問わず、積極的に木造が採用されるようになってきました。特に、地域産材を使った木造建築の設計に関するノウハウは今後、よりクローズアップされると予想されます。“木の建築”に精通する古川泰司氏（アトリエフルカワ一級建築士事務所）は、「森林の恵みを最大限に生かすには、“製材（JAS製材）”で設計を行うのが理想的」と語ります。それを実現するために設計者は、林業や製材業についての知見を高め、木材の調達や木造の設計を行う必要があります。本セミナーでは、“製材（JAS製材）”による木造建築について解説しています。

提供元：これからの住宅・建築MAPsちゃんねる
登録日：2022年12月27日

外部ページへ

意匠設計

材料

林業

講習会・シンポジウム

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10002306>

URLをコピー



スゴいぞ！ニッポンの木のチカラ2022 全編

お気に入りに追加

知られざる木の可能性に迫る「スゴいぞ！ニッポンの木のチカラ2022」が12月17日、BSテレ東で放送されました。日本では今、木のチカラで私たちの暮らしが大きく変わろうとしています。地域の木を使ったぬくもりあふれる暮らしの実現や、循環型資源としてのSDGsへの貢献。今や高層ビルも木で造られる時代となりました。番組では木の常識を覆す取り組みをしている企業を徹底取材しました。

提供元：木材で街づくり
動画時間：0:46:54
登録日：2022年12月23日

外部ページへ

材料

林業

木造の良さ（建築主向け）

インタビュー・説明

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10002283>

URLをコピー



（国土交通省）改正建築基準法について

お気に入りに追加

〈改正建築基準法について〉

提供元：国土交通省住宅局建築指導課
登録日：2022年12月1日

①改正法の概要

②建築基準法の改正内容

(1)建築確認・検査の対象となる建築物の規模等の見直し

(2)階高の高い木造建築物等の増加を踏まえた構造安全性の検証法の合理化

(3)中大規模建築物の木造化を促進する防火規定の合理化

(4)部分的な木造化を促進する防火規定の合理化

(5)既存建築ストックの省エネ化と併せて推進する集団規定の合理化

(6)既存建築ストックの長寿命化に向けた規定の合理化

③「木造建築物における省エネ化等による建築物の重量化に対応するための必要な壁量等の基準（案）の概要の公表について」

④施行時期について

構造設計

防耐火設計

環境・省エネ

インタビュー・説明

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10002232>

URLをコピー

外部ページへ

(国土交通省) 建築基準法と木造建築に係る補助事業について

お気に入りに追加

建築基準法と木造建築に係る補助事業について

提供元：施設部施設企画課

動画時間：0:20:56

登録日：2022年11月21日

〈内容〉

1. 脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律 概要
2. 森林によるCO₂の九州佐生の保全と強化
3. 新築建築物に占める木造建築物の割合
4. 住宅・建築物における木材利用促進への取り組み
5. 建築基準法における木造関係規定の変遷
6. 改正建築物省エネ法等の背景・必要性、目標・効果
7. 木材利用の促進のための建築基準の合理化等
8. サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）
9. 優良木材建築物等整備推進事業
10. 中大規模木造建築ポータルサイト

木造の良さ（建築主向け）

インタビュー・説明

この情報をシェアする→

Facebook

Twitter

Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10002228>

URLをコピー

(林野庁) 進めよう！ウッドチェンジ～学校施設へのさらなる木材活用に向けて

お気に入りに追加

進めよう！ウッドチェンジ～学校施設へのさらなる木材活用に向けて～

提供元：施設部施設企画課

動画時間：0:18:57

登録日：2022年11月21日

〈内容〉

1. 木材利用の意義
2. 都市（まち）の木造化推進法
3. 学校施設でのさらなる木材活用に向けて

林業

木造の良さ（建築主向け）

インタビュー・説明

この情報をシェアする→

Facebook

Twitter

Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10002226>

URLをコピー

(文部科学省) 学校施設における木材利用について

お気に入りに追加

学校施設における木材利用

提供元：施設部施設企画課

動画時間：0:25:47

登録日：2022年11月21日

〈1. 導入〉

- ・学校施設における木材利用の促進について
- ・学校施設における木材利用の意義と効果
- ・公立小中学校建物の経年別 木造施設保有面積
- ・学校施設の木材利用の状況について

〈2. 事例集等の紹介〉

- ・木の学校づくり その構想からメンテナンスまで〈改訂版〉
- ・木の学校づくり-木造3階建て校舎の手引-
- ・木の学校づくり 学校施設当のCLT活用事例
- ・JIS A 3301を用いた木造校舎に関する技術資料

〈3. 支援制度など〉

- ・支援制度、協定制度

耐久性・維持管理

木造の良さ（建築主向け）

インタビュー・説明

この情報をシェアする→

Facebook

Twitter

Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10002224>

URLをコピー



外部ページへ

木造から考える循環型建築への取り組み「Circular Timber Construction」

お気に入りに追加

サーキュラー・エコノミー（循環型経済）がEU主導で進められ、海外ではさまざまな業界で循環型経済を実現させる取り組みが加速しています。

「建設業」および「建築」に関わる業界は社会・生活を形づくる基盤であり、一方で多くのCO2や廃棄物を発生させる産業として、サーキュラー・エコノミーの実現に取り組む責任があります。

「木」を利用することにより、CO2を削減し、また、新しい建物へリサイクルするとう、大林グループの取り組みを紹介します。

提供元：大林組公式チャンネル

動画時間：0:25:39

登録日：2022年10月20日

材料 環境・省エネ 林業 講習会・シンポジウム 木造軸組 木造ラーメン CLTパネル

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL： <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10002145>

URLをコピー



外部ページへ

【建築知識】日建の木造、躍動。—Activation of Nikken Wood Lab—

お気に入りに追加

2018年に誕生した新規ビジネス・パイロット・プロジェクトNikken Wood Labは、日建設計が行う建築の木造化・木質化を推進する組織として、建築の設計に限らず、森林資源の有効活用という観点から、建築の枠を超えた活動を展開しています。その代表を務めるのが、大庭拓也氏。今回は、自身が設計した木造CLT（Cross Laminated Timber）建築の小学校「昭和学院小学校ウエスト館」（千葉県市川市にて、日建設計が考える木造建築の在り方とNikken Wood Labの役割、今後の目標についてお話を伺いました。

提供元：これからの住宅・建築MAPsちゃんねる

動画時間：0:23:47

登録日：2022年10月20日

意匠設計 材料 事例紹介 インタビュー・説明

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL： <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10002143>

URLをコピー



外部ページへ

令和4年度JAS構造材実証支援事業 講演会「火事に負けない木造建築」

お気に入りに追加

令和4年度JAS構造材実証支援事業

講演会 「火事に負けない木造建築」

講師：桜設計集団一級建築士事務所 代表 安井昇氏

提供元：一般社団法人香川県木材協会

登録日：2022年10月26日

10月9日（日）13：30～

サンメッセ香川2階特別会議室

※現在は非公開となっております視聴出来ません

防火設計 講習会・シンポジウム

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL： <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10002124>

URLをコピー

<内海彩>木のまちかどから始まる未来 / JAPAN ReWOODセミナー / 2022.

お気に入りに追加

8.24

技術革新によって都市木造の基礎技術が出揃い、ハイブリッド工法も含めて木造の高層化は一段と進んでいます。一方で内海彩氏は2022年に氏が手掛けたアープル自由が丘など、比較的ローコストな既存技術でつくる木造建築もまた都市の木質化を牽引していると言及。都市木造から木造都市へ。近年の内海氏や氏の所属するNPO法人 team Timberize などの事例を紹介していただきながら、セミナーでは今後の都市の木質化の可能性や課題について語っていただきました。

提供元：MOCTION
動画時間：0:39:11
登録日：2022年9月26日

登壇者：内海彩 氏（建築家）

意匠設計

材料

防耐火設計

林業

木造の良さ（建築主向け）

講習会・シンポジウム

この情報をシェアする→

Facebook

Twitter

Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10002085>

URLをコピー

東急建設における建築物CO2排出量算定の取組み

お気に入りに追加

不動産事業者など建築物のCO2排出量が必要な人向けの動画で、東急建設による建築物のCO2排出量算定の取組みが紹介されています。建築物のCO2排出を「建築資材」「建築施工」「建物運用」の3つに分けて算定することが示されており、特に建築資材については、抽出項目を厳選するという独自の考え方をういた「積み上げ式」CO2算定手法とその根拠が解説されています。今後、積み上げ式によるCO2算定を検討されている人に参考となります。

提供元：東急建設グループ技術展
動画時間：0:28:18
登録日：2022年9月28日

材料

環境・省エネ

インタビュー・説明

この情報をシェアする→

Facebook

Twitter

Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10002082>

URLをコピー

<安井昇> オフィスの木造化・木質化への挑戦 Case of team Timberize/MOCTIONセミナー/2022.1.28

お気に入りに追加

国産木材活用の取組で先行している建築士グループteam TIMBERISE理事長の安井昇さん(やすい・のぼる)をお迎えして、「オフィスの木造化、木質化」という目的で挑戦に取り組まれている活動内容をご紹介します。国産木材の最後の未開地と言われる都市のオフィス建築を、木造化・木質化していく示唆に満ちた機会に、ぜひご視聴ください。

提供元：MOCTION
動画時間：0:59:35
登録日：2022年9月9日

材料

防耐火設計

木造の良さ（建築主向け）

インタビュー・説明

この情報をシェアする→

Facebook

Twitter

Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10002055>

URLをコピー

中大規模木造建築の基礎知識『建てるのなら、木造で』 材料編 1.CLTとその未来

お気に入りに追加

中大規模木造建築の実現を後押しするための動画として「中大規模木造建築の基礎知識『建てるのなら、木造で』」を制作しました。今回は材料編として「CLTとその未来」をテーマに、東京大学生産技術研究所 教授 腰原幹雄氏、桜設計集団一級建築士事務所 代表 安井昇氏にご説明頂きました。

提供元：公益財団法人日本住宅・木材技術センター【公式】
動画時間：0:10:14
登録日：2022年10月7日

材料

インタビュー・説明

CLTパネル

中大規模木造建築をこれから始める方にオススメ

この情報をシェアする→

Facebook

Twitter

Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10002043>

URLをコピー



外部ページへ

中大規模木造建築の基礎知識『建てるのなら、木造で』 作品紹介映像 日本初の純木造7階建テナントビル 高惣木工ビル

お気に入りに追加

中大規模木造建築の実現を後押しするための動画として「中大規模木造建築の基礎知識『建てるのなら、木造で』」を制作しました。

今回は作品紹介映像として日本初の純木造7階建テナントビルである「高惣木工ビル」について、株式会社シェルター 安達広幸氏、相澤源氏、亀井英朗氏にご紹介・ご説明頂きました。

提供元：公益財団法人日本住宅・木材技術センター【公式】

動画時間：0:07:55

登録日：2022年10月7日

材料

構造設計

防耐火設計

木造の良さ（建築主向け）

インタビュー・説明

中大規模木造建築をこれから始める方にオススメ

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10002041>

URLをコピー



外部ページへ

中大規模木造建築の基礎知識『建てるのなら、木造で』 用途編 1.事務所

お気に入りに追加

中大規模木造建築の実現を後押しするための動画として「中大規模木造建築の基礎知識『建てるのなら、木造で』」を制作しました。

今回は用途編として「事務所」をテーマに、東京大学生産技術研究所 教授 腰原幹雄氏、桜設計集団一級建築士事務所 代表 安井昇氏にご説明頂きました。

提供元：公益財団法人日本住宅・木材技術センター【公式】

動画時間：0:05:17

登録日：2022年10月7日

構造設計

防耐火設計

木造の良さ（建築主向け）

インタビュー・説明

中大規模木造建築をこれから始める方にオススメ

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10002038>

URLをコピー



外部ページへ

北欧の木造建築、環境意識向上で新たな高みに

お気に入りに追加

スウェーデンの町シェレフテオで青空を背に、日差しを受けて輝く薄茶色の木造高層ビル。北欧諸国は地元の森林資源を活用し、環境に優しい高層建築を造る世界的動向の先頭に立っている。

木造の建築物として世界有数の高さを誇るサラ文化センターは2021年末、スウェーデン北部にある人口3万5000人の町にオープンした。木造20階建て、高さ75メートルのビルには、ホテル、図書館、展示ホール、劇場が入っている。主に使われている建築材はトウヒ材だ。

提供元：AFPBB News

動画時間：0:02:03

登録日：2022年9月6日

環境・省エネ

事例紹介

インタビュー・説明

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10002006>

URLをコピー



外部ページへ

中大規模木造建築の基礎知識『建てるのなら、木造で』 3. 現代の防耐火技術

お気に入りに追加

中大規模木造建築の実現を後押しするための動画として「中大規模木造建築の基礎知識『建てるのなら、木造で』」を制作しました。

今回は「現代の防耐火技術」をテーマに、桜設計集団一級建築士事務所 代表 安井昇氏にご説明頂きました。

提供元：公益財団法人日本住宅・木材技術センター【公式】

動画時間：0:04:57

登録日：2022年10月7日

防耐火設計

インタビュー・説明

中大規模木造建築をこれから始める方にオススメ

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10002004>

URLをコピー



改正建築物省エネ法及び改正建築基準法等に関する説明動画（第1弾）

お気に入りに追加

脱炭素社会の実現に資するための建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律等の一部を改正する法律（令和4年法律第69号）について、国土交通省住宅局建築指導課より、各項目について詳細に説明した動画になります。

提供元：国土交通省住宅局建築指導課
動画時間：1:16:16
登録日：2022年7月27日

外部ページへ

インタビュー・説明

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001979>

URLをコピー



中大規模木造建築の基礎知識『建てるのなら、木造で』 2. 現代の木質材料

お気に入りに追加

中大規模木造建築の実現を後押しするための動画として「中大規模木造建築の基礎知識『建てるのなら、木造で』」を制作しました。

提供元：公益財団法人日本住宅・木材技術センター【公式】

動画時間：0:03:48

登録日：2022年10月7日

今回は「現代の木質材料」をテーマに、東京大学生産技術研究所 教授 腰原幹雄氏、桜設計集団一級建築士事務所 代表 安井昇氏にご説明頂きました。

外部ページへ

材料

木造の良さ（建築主向け）

インタビュー・説明

中大規模木造建築をこれから始める方にオススメ

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001976>

URLをコピー



中大規模木造建築の基礎知識『建てるのなら、木造で』 1. はじめに

お気に入りに追加

中大規模木造建築の実現を後押しするための動画として「中大規模木造建築の基礎知識『建てるのなら、木造で』」を制作しました。

提供元：公益財団法人日本住宅・木材技術センター【公式】

動画時間：0:06:16

登録日：2022年10月7日

「はじめに」ということで、これまでの木造建築の歴史について、東京大学生産技術研究所 教授 腰原幹雄氏、桜設計集団一級建築士事務所 代表 安井昇氏にご説明頂きました。

外部ページへ

木造の良さ（建築主向け）

インタビュー・説明

中大規模木造建築をこれから始める方にオススメ

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001975>

URLをコピー



国内最高44mの「純木造」高層ビルが完成～CO2削減で注目 その最新技術とは～【Bizスクエア6月25日放送】

お気に入りに追加

5月、横浜に高さ44mの木造の高層ビルが完成しました。木造のビルは、通常のビルに比べて二酸化炭素の排出量を大幅に削減できることから今、注目されています。その最新技術を取材しました。

提供元：TBS NEWS DIG Powered by JNN

動画時間：0:10:36

登録日：2022年6月27日

外部ページへ

材料

防耐火設計

環境・省エネ

施工

林業

事例紹介

ニュース・特集

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001943>

URLをコピー



外部ページへ

軽い木の特徴を活かした“モクビルプロジェクト”

お気に入りに追加

木質系の建築技術が、大スパンから高層化へ向かう現在、江戸川区に竣工した「モクビル」を題材に「高層木造の現在」を考える機会とします。2010年に施行された公共建築物等木材利用促進法や温室効果ガス発生抑制などの社会的ニーズにより、木質構造による中高層建築物の規制緩和を背景にした建設会社と設計事務所の「民間企業」による取り組みがその特徴です。カーボンニュートラル、免震による都市部の質向上（強靱化）などの課題解決と新しい価値の創出をテーマとしています。

提供元：KD研
動画時間：2:44:44
登録日：2022年6月27日

材料

構造設計

防火設計

施工

講習会・シンポジウム

事例紹介

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001941>

URLをコピー



外部ページへ

ツクル、ミライ。とやまSDGsスペシャル【黒部 未来のまちづくり～パッシブタウン 木造建築への挑戦～】特別編

お気に入りに追加

富山県黒部市で進む持続可能なまちづくり・パッシブタウン。今春、保育施設が移転新築された。自然エネルギーを生かし、エネルギー収支をゼロにする木造建築。その挑戦を追った。

提供元：KNB公式チャンネル
動画時間：0:25:14
登録日：2022年5月26日

※この動画は、2022年5月22日（日）放送のKNBテレビ『ツクル、ミライ。とやまSDGsスペシャル 黒部 未来のまちづくり～パッシブタウン 木造建築への挑戦～』に一部内容を追加した特別編です。

※動画内で紹介した情報・肩書等は、放送当時のものです。

耐久性・維持管理

環境・省エネ

木造の良さ（建築主向け）

ニュース・特集

木造軸組

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001848>

URLをコピー



外部ページへ

中層木造部門入賞作品 ファミリーホスピス京都北山（株式会社リヴ）

お気に入りに追加

第4回COFI木造建築デザインアワード表彰式（2022年3月10日 於カナダ大使館）での入賞作品紹介の様子です。

提供元：カナダ林産業審議会- COFI
動画時間：0:05:47
登録日：2022年4月28日

中層木造部門入賞作品 ファミリーホスピス京都北山（株式会社リヴ）

木造の良さ（建築主向け）

事例紹介

2×4

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001792>

URLをコピー



外部ページへ

中層木造部門入賞作品 高惣木工ビル（株式会社シェルター）

お気に入りに追加

第4回COFI木造建築デザインアワード表彰式（2022年3月10日 於カナダ大使館）での入賞作品紹介の様子です。

提供元：カナダ林産業審議会- COFI
動画時間：0:04:47
登録日：2022年4月28日

中層木造部門入賞作品 高惣木工ビル（株式会社シェルター）

材料

林業

木造の良さ（建築主向け）

事例紹介

木造ラメン

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001790>

URLをコピー



大型木造部門入賞作品 桐朋学園宗次ホール（前田建設工業株式会社）

お気に入りに追加

第4回COFI木造建築デザインアワード表彰式（2022年3月10日 於カナダ大使館）での入賞作品紹介の様子です。

提供元：カナダ林産業審議会- COFI
動画時間：0:05:43
登録日：2022年4月28日

大型木造部門入賞作品 桐朋学園宗次ホール（前田建設工業株式会社）

外部ページへ

構造設計

防火設計

遮音・振動

木造の良さ（建築主向け）

事例紹介

木造軸組

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001788>

URLをコピー



大型木造部門入賞作品 星野リゾート BEB5軽井沢（佐々木達郎建築設計事務所）

お気に入りに追加

第4回COFI木造建築デザインアワード表彰式（2022年3月10日 於カナダ大使館）での入賞作品紹介の様子です。

提供元：カナダ林産業審議会- COFI
動画時間：0:04:39
登録日：2022年4月28日

大型木造部門入賞作品 星野リゾート BEB5軽井沢（佐々木達郎建築設計事務所）

外部ページへ

木造の良さ（建築主向け）

事例紹介

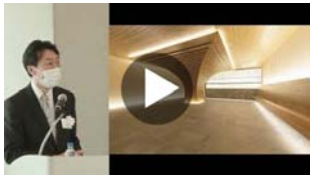
木造軸組

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001786>

URLをコピー



中層木造部門入賞作品 MOCXION INAGI（三井ホーム株式会社）

お気に入りに追加

第4回COFI木造建築デザインアワード表彰式（2022年3月10日 於カナダ大使館）での入賞作品紹介の様子です。

提供元：カナダ林産業審議会- COFI
動画時間：0:05:54
登録日：2022年4月28日

中層木造部門入賞作品 MOCXION INAGI（三井ホーム株式会社）

外部ページへ

遮音・振動

コスト（建築主向け）

木造の良さ（建築主向け）

事例紹介

2×4

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001784>

URLをコピー



中層木造部門入賞作品 中央区日本橋3丁目プロジェクト（スターツCAM株式会社）

お気に入りに追加

第4回COFI木造建築デザインアワード表彰式（2022年3月10日 於カナダ大使館）での入賞作品紹介の様子です。

提供元：カナダ林産業審議会- COFI
動画時間：0:02:54
登録日：2022年4月28日

中層木造部門入賞作品 中央区日本橋3丁目プロジェクト（スターツCAM株式会社）

外部ページへ

施工

木造の良さ（建築主向け）

事例紹介

2×4

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001782>

URLをコピー



大型木造部門入賞作品 日立建機株式会社土浦工場事務管理棟（東急建設株式会社）

お気に入りに追加

第4回COFI木造建築デザインアワード表彰式（2022年3月10日 於カナダ大使館）での入賞作品介绍の様子です。

提供元：カナダ林産業審議会・COFI
動画時間：0:06:19
登録日：2022年4月28日

外部ページへ

大型木造部門入賞作品 日立建機株式会社土浦工場事務管理棟（東急建設株式会社）

材料 コスト（建築主向け） 木造の良さ（建築主向け） 事例紹介 木造軸組

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL： <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001780>

URLをコピー



大型木造部門入賞作品 流山市立おおぐろの森小学校（株式会社日本設計）

お気に入りに追加

第4回COFI木造建築デザインアワード表彰式（2022年3月10日 於カナダ大使館）での入賞作品介绍の様子です。

提供元：カナダ林産業審議会・COFI
動画時間：0:05:13
登録日：2022年4月28日

外部ページへ

大型木造部門入賞作品 流山市立おおぐろの森小学校（株式会社日本設計）

木造の良さ（建築主向け） 事例紹介 2×4

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL： <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001778>

URLをコピー



高層木造の可能性

お気に入りに追加

2022年2月16日（水）空間構造デザイン研究会

第3回 高層木造の可能性（アーカイブ配信）

「三菱地所グループの木造木質化事業の取組」海老澤 渉（MEC Industry、三菱地所設計、三菱地所）

「高層純木造耐火建築『OY Project』」百野 泰樹（株式会社大林組）

「木造の最前線と今後の展望」安達 広幸（株式会社シェルター）

提供元：KD研
動画時間：2:13:13
登録日：2022年4月20日

外部ページへ

構造設計 耐火設計 施工 コスト（建築主向け） 講習会・シンポジウム 事例紹介

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL： <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001757>

URLをコピー



「CLTパネル工法建築物の建て方」編

お気に入りに追加

CLTパネル工法（小幅パネル架構）の4階建て共同住宅の試設計の施工イメージ動画として作成。

CLTパネル工法ルート1で一般的に使用されている「Xマーク金物」を接合部に使用し、代表的な接合ディテールを紹介。

提供元：日本CLT協会公式
動画時間：0:04:21
登録日：2022年4月18日

外部ページへ

施工 建設・製造・加工 CLTパネル

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL： <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001751>

URLをコピー



中規模ビルの木造化のすすめ「木でつくる 中規模ビルのモデル設計」

お気に入りに追加

林野庁補助事業である令和3年度木材利用に取り組む民間企業ネットワークの構築事業(通称:ウッド・チェンジ・ネットワーク)の中規模ビルワーキンググループでは先進的な取り組みを続ける中大規模木造の設計の担い手となっているワーキングメンバーから、延べ床面積3000平方メートル程度のオフィス設計をテーマに汎用性の高い設計案を募りました。これらの提案をみなさんの事業における建築計画の下敷きしてもらい、より多くの中規模木造建築を企画、実現していただけたらと思います。

提供元:公益財団法人日本住宅・木材技術センター【公式】
動画時間:0:05:09
登録日:2022年4月5日

意匠設計

構造設計

防耐火設計

木造の良さ(建築主向け)

インタビュー・説明

木造軸組

木造ラーメン

CLTパネル

混構造

この情報をシェアする→



この情報のURL: <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001725>

URLをコピー



【アーカイブ配信】第8回オンラインセミナー「相談窓口でのCLT事例」

お気に入りに追加

2022年3月22日に事前登録制オンラインセミナー第8回「CLTへの取り組み方 構造・施工・耐久性編」を開催いたしました。

提供元:日本CLT協会公式
動画時間:0:32:53
登録日:2022年3月29日

- 第8回テーマ:「相談窓口でのCLT事例」
- 講師:一般社団法人日本CLT協会 上田 摩耶子
- みどころ

CLT建築にチャレンジしてみたい!けれど、どう進めていいかわからない・・・とお困りの方!
企画・設計支援にて、ご相談を承っております。
企画・設計支援のご利用方法やどんな形で支援が行われているのか、実際に支援を行った実物件を交えてご説明しております。

当日ご参加いただくことができなかった方、再視聴されたい方などにアーカイブ配信にて、当日の録画映像をお届けいたします。

意匠設計

構造設計

講習会・シンポジウム

CLTパネル

この情報をシェアする→



この情報のURL: <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001689>

URLをコピー



【アーカイブ配信】第7回オンラインセミナー「気になるCLTの耐久性」

お気に入りに追加

2022年2月22日に事前登録制オンラインセミナー第7回「CLTへの取り組み方 構造・施工・耐久性編」を開催いたしました。

提供元:日本CLT協会公式
動画時間:0:29:52
登録日:2022年3月29日

- 第7回テーマ:「気になるCLTの耐久性」
- 講師:越井木材工業株式会社 山口 秋生氏
- みどころ:トラブルを避けるには!?CLTの特性と建築事例から見た傾向と対策。

当日ご参加いただくことができなかった方、再視聴されたい方などにアーカイブ配信にて、当日の録画映像をお届けいたします。

材料

耐久性・維持管理

講習会・シンポジウム

事例紹介

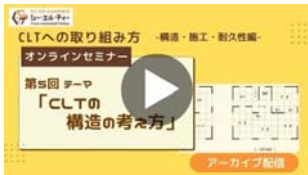
CLTパネル

この情報をシェアする→



この情報のURL: <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001687>

URLをコピー



【アーカイブ配信】第5回オンラインセミナー「CLTの構造の考え方」

お気に入りに追加

2021年12月23日に事前登録制オンラインセミナー第5回「CLTへの取り組み方 構造・施工・耐久性編」を開催いたしました。

提供元：日本CLT協会公式

動画時間：0:37:21

登録日：2022年3月29日

- 第5回テーマ：「CLTの構造の考え方」
- 講師：株式会社木構堂 代表取締役 渡邊 須美樹氏
- 内容：CLTパネル工法構造設計（ルート1）のポイントについてお話をいただきました。

外部ページへ

当日ご参加いただくことができなかった方、再視聴されたい方などにアーカイブ配信にて、当日の録画映像をお届けいたします。

材料

構造設計

施工

講習会・シンポジウム

CLTパネル

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001685>

URLをコピー



【アーカイブ配信】第4回オンラインセミナー「CLTを使ったワケ・設計の考え方」

お気に入りに追加

2021年11月22日に事前登録制オンラインセミナー「CLTへの取り組み方 製造・加工・設計編」第4回を開催いたしました。

提供元：日本CLT協会公式

動画時間：0:40:28

登録日：2022年3月29日

- 第4回テーマ：「CLTを使ったワケ・設計の考え方」
- 講師：有限会社和建築設計事務所 代表取締役 原田 和彦氏
- 内容：CLTになぜ注目し、利用に至ったきっかけから、設計事例紹介を設計を手掛けられた「CLT KAZAGURUMAキャンパス」からの中継でお話をいただきました。

外部ページへ

当日ご参加いただくことができなかった方、再視聴されたい方などにアーカイブ配信にて、当日の録画映像をお届けいたします。

意匠設計

材料

防火設計

講習会・シンポジウム

CLTパネル

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001683>

URLをコピー



【アーカイブ配信】第3回オンラインセミナー「CLTでツクレルモノ・ツクレナイモノ」

お気に入りに追加

2021年10月26日に事前登録制オンラインセミナー「CLTへの取り組み方 製造・加工・設計編」第3回を開催いたしました。

提供元：日本CLT協会公式

動画時間：0:34:49

登録日：2022年3月29日

- 第3回テーマ：「CLTでツクレルモノ・ツクレナイモノ」
- 講師：銘建工業株式会社 谷口 翼氏
- 内容：「Xマーク金物」の接合動画を交えて、ツクレナイモノはどうしたらツクレルモノになるか対策例などをご説明をいただいております。

外部ページへ

当日ご参加いただくことができなかった方、再視聴されたい方などにアーカイブ配信にて、当日の録画映像をお届けいたします。

材料

施工

講習会・シンポジウム

事例紹介

CLTパネル

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001681>

URLをコピー



【アーカイブ配信】第2回オンラインセミナー「CLTの製造工程」

お気に入りに追加

2021年9月21日に事前登録制オンラインセミナー

「CLTへの取り組み方 製造・加工・設計編」第2回を開催いたしました。

■第2回テーマ：「CLTの製造工程」

■講師：株式会社サイプレス・スナダヤ 専務取締役 砂田 雄太郎氏

■内容：製造工程の風景映像を交えて、砂田様から製造工程について分かりやすくご説明をいただいております。

提供元：日本CLT協会公式

動画時間：0:38:17

登録日：2022年3月29日

外部ページへ

当日ご参加いただくことができなかった方、再視聴されたい方などにアーカイブ配信にて、当日の録画映像をお届けいたします。

材料

建設・製造・加工

CLTパネル

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001679>

URLをコピー



【アーカイブ配信】第1回オンラインセミナー「CLTとは？その利用実例と実態に迫る」

お気に入りに追加

2021年8月24日に事前登録制オンラインセミナー

「CLTへの取り組み方 製造・加工・設計編」第1回を開催いたしました。

■第1回テーマ：「CLTとは？その利用実例と実態に迫る」

■講師：一般社団法人 日本CLT協会 森田 聖

提供元：日本CLT協会公式

動画時間：0:41:07

登録日：2022年3月29日

外部ページへ

当日ご参加いただくことができなかった方、再視聴されたい方などにアーカイブ配信にて、当日の録画映像をお届けいたします。

材料

講習会・シンポジウム

事例紹介

CLTパネル

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001677>

URLをコピー



【アーカイブ配信】「CLTフォーラム2021」CLT技術書籍解説

お気に入りに追加

2021年12月20日に「CLTフォーラム2021」を開催いたしました。

フォーラムでは、近年、多数発行されているCLTの技術書籍について各ジャンルの専門家による解説会を行いました。設計・施工・屋外使用でのポイントや推奨方法、留意点などを詳しく説明し、皆様のご質問にお答えした収録内容をアーカイブ配信にてお届けします。

提供元：日本CLT協会公式

動画時間：3:28:28

登録日：2022年4月1日

外部ページへ

配信期間：2023年3月末まで

材料

構造設計

耐久性・維持管理

施工

講習会・シンポジウム

CLTパネル

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001670>

URLをコピー



【CHANNEL JAPAN】THE PROJECT JAPAN～注目度高まる日本の木造高層建築

お気に入りに追加

外部ページへ

CNBC Asia「CHANNEL JAPAN」内、THE PROJECT JAPANのコーナーで、「日本の中高層木造建築の今」について特集されました。専門家の木造建築に対するご意見とともに、当社の「森林グランドサイクル®」を実践した12階建て木造ハイブリッド建築「フラッツウッズ 木場」が詳しく紹介されています。その他「ヒューリック（仮称）銀座8丁目開発計画」「タクマビル」「大阪木材仲買会館」「新柏クリニック」も紹介されています。

提供元：Takenaka Corporation
動画時間：0:12:43
登録日：2022年3月31日

防火設計 環境・省エネ 事例紹介 インタビュー・説明 CLTパネル 混構造

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001669>

URLをコピー



【建築知識】木造の多様な空間における梁の構造設計

お気に入りに追加

外部ページへ

2021年11月に実施されたジャパンホームショー2021・建築知識実務セミナーでは、第一線で活躍する構造設計者・大野博史氏（オーノJAPAN）が「木造の多様な空間における梁の構造設計」と題して、住宅・非住宅問わず、木造で大空間をつくる場合、国産材などを利用する場合に悩ましい”梁”の設計についてのポイントを解説しました。

提供元：これからの住宅・建築MAPsちゃんねる
動画時間：0:48:56
登録日：2022年3月28日

材料 構造設計 講習会・シンポジウム 木造軸組

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001668>

URLをコピー



＜長編＞日本初高層木造ハイブリッド木造建築～三菱地所グループの国産木材活用～

お気に入りに追加

外部ページへ

◆木造・木質の実現

本物件は、日本で初めてRC造と木造をハイブリットさせた高層ハイブリッド木造建築です。地上1階から8階までをRC造、9階から11階を木造で建築しております。RC造フロアにおいては、「気軽に木を感じる空間を実現する」というコンセプトで開発された「MIデッキ」を採用し、木の温もりを感じる空間を実現しています。木造フロアにおいては、床にCLT、壁にSSW14を採用し、約1,050㎡の国産木材を構造材として活用しております。

提供元：三菱地所公式チャンネル
動画時間：0:11:13
登録日：2022年3月31日

材料 環境・省エネ 施工 林業 事例紹介 インタビュー・説明 2×4 CLTパネル 混構造

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001667>

URLをコピー



＜短編＞日本初高層木造ハイブリッド木造建築～三菱地所グループの国産木材活用～

お気に入りに追加

外部ページへ

◆木造・木質の実現

本物件は、日本で初めてRC造と木造をハイブリットさせた高層ハイブリッド木造建築です。地上1階から8階までをRC造、9階から11階を木造で建築しております。RC造フロアにおいては、「気軽に木を感じる空間を実現する」というコンセプトで開発された「MIデッキ」を採用し、木の温もりを感じる空間を実現しています。木造フロアにおいては、床にCLT、壁にSSW14を採用し、約1,050㎡の国産木材を構造材として活用しております。

提供元：三菱地所公式チャンネル
動画時間：0:07:23
登録日：2022年3月31日

材料 環境・省エネ 施工 林業 事例紹介 2×4 CLTパネル 混構造

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001666>

URLをコピー



【建築知識】木造防耐火の法改正と最新技術

お気に入りに追加

2021年11月に実施されたジャパンホームショー2021・建築知識実務セミナーでは、木造防耐火の第一人者・安井昇氏（桜設計集団）が「木造防耐火の法改正と最新技術」と題して、木造化・木質化が進んでいる建築業界の現状や、建築基準法の改正やそのポイントについて、実例や実験データを交えながら解説しました。

提供元：これからの住宅・建築MAPsちゃんねる

動画時間：1:00:10

登録日：2022年3月28日

外部ページへ

防耐火設計 講習会・シンポジウム

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001663>

URLをコピー



木造タワマン着工 環境に優しいけど・・・耐火性は大丈夫？

お気に入りに追加

鉄筋コンクリートが当たり前のタワーマンションに新たな動きです。千葉県で国内で最高層とみられる木造マンションの建設が始まりました。

提供元：ANNnewsCH

登録日：2022年3月22日

外部ページへ

材料 防耐火設計 環境・省エネ ニュース・特集 CLTパネル 混構造

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001658>

URLをコピー



WOODRISE 2021 KYOTO VR ~素晴らしい木造の世界へようこそ~

お気に入りに追加

「中大規模木造建築物の実例で、木住協が取得した耐火構造大臣認定を使った物件のうち、純木造3階建てのホテルと都内に建つカフェの2例を紹介しています。建物の雰囲気や皆様に実感していただけるよう、VR（バーチャル・リアリティ）による動画になっています。360度を見渡すことができますので、ぜひ「素晴らしい木造の世界」をご堪能ください。」

提供元：木住協公式

動画時間：0:11:31

登録日：2022年2月8日

外部ページへ

防耐火設計 環境・省エネ 木造の良さ（建築主向け） 事例紹介 木造軸組

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001622>

URLをコピー



スゴいぞ！ニッポンの木のチカラ2021 (7) 木材の欠点を克服する技術開発

お気に入りに追加

従来の木材には、腐りやすい、寸法が狂いやすい、燃えやすいという3つの欠点があります。コシイブレザービングは、それらを克服する20年以上雨ざらしでもシロアリがつかず木材を長持ちさせる薬剤を開発しました。また、水蒸気を使った熱処理も実施しています。木材が水蒸気を含んだ状態で圧力をかけ、200℃以上の熱を加えて中まで乾燥させることで、耐久性が高い防腐木材を実現。国内第一号の木製ジェットコースターや、山の斜面の崩壊を防ぐ公共事業での活用など、木材の新たな需要を生み出すことにも成功しています。

提供元：木材で街づくり

動画時間：0:08:06

登録日：2021年12月13日

外部ページへ

材料 耐久性・維持管理 木造の良さ（建築主向け） ニュース・特集

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001545>

URLをコピー



スゴいぞ！ニッポンの木のチカラ2021 (4) 薄く削った木を重ね合わせて大型建築を支える木材に

お気に入りに追加

LVLを作っているのが同じ千葉県内にあるキーテック。工場では、まず丸太の原木を機械にセットし、まるで大根の桂剥きのように木を約3.5ミリもの薄さに削り出します。次は乾燥の工程、薄くすることでしっかりと水分を飛ばすことができ、縮んだり反り返ることを防ぎます。続いて機械で強度を測り、節の数などを調べて状態が良い木を選別します。それを繊維方向が平行になるように、かつ節などの弱い部分が重ならないようにはり合わせることで、強度のバラつきが小さく、構造材として利用できる強いLVLになるのです。

提供元：木材で街づくり
動画時間：0:04:11
登録日：2021年12月13日

外部ページへ

材料 木造の良さ（建築主向け） ニュース・特集

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001543>

URLをコピー



スゴいぞ！ニッポンの木のチカラ2021 (3) 薄く削った木を重ね合わせて大型建築を支える木材に

お気に入りに追加

2021年、新設された千葉県流山市のおおぐろの森小学校は、木造の小学校としては3階建てで日本最大級。昇降口から木で覆われた造りになっており、教室もこれまでの学校とは全く違う雰囲気です。体育館では10メートルを超える梁などをつなぎ合わせ、巨大な空間を柱なしで支えています。この学校に使われているのは、薄い木を貼り合わせたLVLという特殊な木材です。

提供元：木材で街づくり
動画時間：0:03:04
登録日：2021年12月13日

外部ページへ

材料 構造設計 木造の良さ（建築主向け） ニュース・特集

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001541>

URLをコピー



スゴいぞ！ニッポンの木のチカラ2021 (2) 美しい音響を追究して生まれた唯一無二の音楽ホール

お気に入りに追加

音楽教育の名門、桐朋学園の音楽ホールは今話題の大型木造建築です。コンセプトは「木が奏でる音の学び舎」。楽器の多くが木でできていることもあり、音楽と木はとても相性がいいそうです。同校の長瀬浩平理事は「建物全体が音を奏でるという感覚で、壁も音を共振して空間全体で音を作るために木を選んだ」と語りました。壁や天井は一面平坦ではなく、ところどころに起伏がある造りになっています。これは音響を計算して設計されたもので、美しい音色を響かせることを追求して生まれた唯一無二の音楽ホールなのです。この複雑な形と強度の両立を可能にしているのが、CLTという新しい木材です。木の板を繊維の方向が交わるように重ねて貼り合わせたもので、強度はコンクリート並み。質の高い木材で造った建物は、しっかりメンテナンスをすれば数百年に渡って使い続けることができます。

提供元：木材で街づくり
動画時間：0:03:15
登録日：2021年12月13日

外部ページへ

遮音・振動 木造の良さ（建築主向け） 事例紹介 ニュース・特集

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001539>

URLをコピー



スゴいぞ！ニッポンの木のチカラ2021 (1) 最新技術の導入で安全かつ快適な木造マンションの建築を可能に

お気に入りに追加

外部ページへ

三井ホームが手がける東京の稲城市に建設中の5階建てマンションは、1階以外の構造がすべて木で造られています。断熱性に優れ、夏は涼しく冬は暖かいという木造住宅の魅力を、大型建築で実現しようという狙いです。防火性能は高く、建物を支えている木材はすべて石膏ボードで覆われているため、火災が起きても1時間は火に耐えられます。さらに今回新たに開発した耐力壁「モクスウォール」は、耐震性能の要であり、強度は戸建住宅の耐力壁の約10倍。木のフレームに構造用パーティクルボードを両側から貼り付け、独自開発の特殊な釘を使うことで高い強度の耐力壁を実現しました。床下には制振パッドを埋め込み、振動や音を抑え込みます。建築コストは今回のマンションの場合、鉄筋コンクリート造と比べて1割ほど削減できるといいます。数々の最新技術を導入することで、火事や地震に強く安全で快適な木造マンションを可能にしました。

提供元：木材で街づくり
動画時間：0:04:40
登録日：2021年12月13日

構造設計 遮音・振動 木造の良さ（建築主向け） 事例紹介 ニュース・特集

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001537>

URLをコピー



スゴいぞ！ニッポンの木のチカラ2021 全編

お気に入りに追加

外部ページへ

高級寿司店で人気の日本酒は、木が生み出す味がおいしさの秘密となり、都心では巨大な木造建築物が次々と誕生…。今、木材に関わるあらゆるイメージが変わりつつあります。そんな知られざる木の可能性に迫る「スゴいぞ！ニッポンの木のチカラ2021」が10月10日、BSテレ東で放送されました。今年も全国で、これまでの概念を覆す木材革命が展開されています。

提供元：木材で街づくり
動画時間：0:46:46
登録日：2021年12月13日

材料 環境・省エネ 遮音・振動 木造の良さ（建築主向け）

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001535>

URLをコピー



日本初の木造高層ビルで構造部の技術の核心に迫る：スゴいぞ！ニッポンの木のチカラ2020

お気に入りに追加

外部ページへ

仙台駅の目の前にある建設中のビルで構造をお披露目する見学会が行われました。この高層木造ビルでは1階から7階まですべて木で作られた日本初の木造高層ビルで、全国から1200の建築関係者が集まりました。

提供元：木材で街づくり
動画時間：0:07:01
登録日：2021年9月3日

防耐火設計 施工 木造の良さ（建築主向け） ニュース・特集

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001325>

URLをコピー



スゴいぞ！ニッポンの木のチカラ 2020 全編

お気に入りに追加

外部ページへ

木で造った高層ビルや、林業で働く多くの若者たち。いま、ニッポンの木材を巡って、さまざまな変化が起きています。そんな進化した木材のチカラの魅力を紐解く「スゴいぞ！ニッポンの木のチカラ 2020」が10月10日、BSテレ東で放送されました。番組では、木材に関する最新技術や知られざる木の可能性に迫りました。

提供元：木材で街づくり
動画時間：0:46:56
登録日：2021年9月3日

意匠設計 材料 防耐火設計 施工 木造の良さ（建築主向け） ニュース・特集

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001326>

URLをコピー



外部ページへ

ミライイズ ～CLTを用いた業務用施設の断熱性能効果検証事業～

お気に入りに追加

観光列車や駅舎など、積極的に地場産の木材を使用してきた九州旅客鉄道（JR九州）。県のおよそ6割が森林という熊本県に建てられた支社の新社屋には、地場産の木材で製造された“CLT（直交集成板）”と呼ばれる新しい建材が使われています。自然木ならではの風合いと、コンクリート並みの強度や燃えにくさという機能性を併せ持ち、加えて高い断熱性能でエアコン使用量を抑えられるという、新しい木材“CLT”が造るミライとは――

提供元：環境省
動画時間：0:06:58
登録日：2021年9月3日

環境・省エネ 木造の良さ（建築主向け） 事例紹介 インタビュー・説明 CLTパネル

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001343>

URLをコピー



外部ページへ

木のぬくもりを求めて～新技術の積層材CLT～紹介編

お気に入りに追加

CLTという新しい技術の積層材は、建物の未来を変え始めています。“あたたかい木のぬくもり”を持ちながらも、高層建築の構造材として使用できる品質を持ち、里山の健全化、ひいては地球環境を守る可能性を秘めており、政府は公共物の木造化を法制化し、CLT等普及促進を加速させています。

提供元：宮城県CLT等普及推進協議会
動画時間：0:12:04
登録日：2021年9月3日

材料 木造の良さ（建築主向け） インタビュー・説明 CLTパネル

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001342>

URLをコピー



外部ページへ

スゴいぞ！ニッポンの木のチカラ2019 ▽夢の木造タワー計画&“最新”木造駅舎 全編

お気に入りに追加

今、木を使った巨大建築が増える！？その数々をご紹介します。知られざる「木」の可能性に迫る！高度経済成長期、日本の特に都市部では木の建物が年々淘汰され、コンクリートの建造物が林立するようになりました。しかし近年、木材の研究開発が進み、耐震性、耐火性などが飛躍的に向上、なんと！木造の高層ビルやマンションまで建設することができるようになっています。各地で展開されている“木の街づくり”に密着しました。

提供元：木材で街づくり
動画時間：0:46:56
登録日：2021年9月3日

防火設計 木造の良さ（建築主向け） 事例紹介 インタビュー・説明 建設・製造・加工 ニュース・特集

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001327>

URLをコピー



外部ページへ

CLTのけんちく - 性能編 -

お気に入りに追加

CLTをつかった建築の性能についてご説明します。「木造は地震や火事に弱そう…」そんな不安のある方に見ていただきたい動画です。

提供元：CLT協会
動画時間：0:07:07
登録日：2021年9月3日

材料 防火設計 環境・省エネ 遮音・振動 木造の良さ（建築主向け） 事例紹介 インタビュー・説明 実験 CLTパネル

中大規模木造建築をこれから始める方にオススメ

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001315>

URLをコピー



建築家が語るCLTの魅力

お気に入りに追加

CLTのメリットや実際の建物について、CLTの実績豊かな建築家の方へのインタビューを交えて紹介するCLTプロモーション動画です。

提供元：CLT協会
動画時間：0:02:46
登録日：2021年9月3日

外部ページへ

意匠設計 木造の良さ（建築主向け） インタビュー・説明 CLTパネル

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001316>

URLをコピー



CLTのけんちく

お気に入りに追加

日本各地のCLTけんちくをしょうかいします。

提供元：CLT協会
動画時間：0:08:07
登録日：2021年9月3日

外部ページへ

意匠設計 木造の良さ（建築主向け） 事例紹介 インタビュー・説明 CLTパネル

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001317>

URLをコピー



CLTができるまで

お気に入りに追加

CLT製造の流れをご紹介します。
※銘建工業(株)のCLT工場（岡山県真庭市）の例です。
※CROSSING FOREST（CLT PARK HARUMI内に設置した、国産CLTを用いたブース。営業期間：2019年12月～2020年9月）にて上映していた動画です。

提供元：CLT協会
動画時間：0:03:30
登録日：2021年9月3日

外部ページへ

材料 インタビュー・説明

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001318>

URLをコピー



第35回AF-Forum「中大規模木造の推進力」大橋好光（東京都市大学名誉教授、（一社）木を活かす建築推進協議会代表理事）」

お気に入りに追加

2021年2月18日（木）開催第35回AF-Forum「日本の木造建築と林業」
<http://a-forum.info/forum/af35.html>
コーディネーター：金田勝徳
パネリスト：大橋好光、稲山正弘、榎本長治

提供元：A-Forum
動画時間：0:24:36
登録日：2021年9月3日

外部ページへ

防耐火設計 耐久性・維持管理 環境・省エネ 講習会・シンポジウム 事例紹介 木造軸組 CLTパネル

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001322>

URLをコピー



外部ページへ

第35回AF-Forum「一般流通材による中大規模木造」稲山正弘（東京大学大学院教授、中大規模木材プレカット技術協会代表利器、ホルツストラ主催）

お気に入りに追加

2021年2月18日（木）開催第35回AF-Forum「日本の木造建築と林業」
http://a-forum.info/forum/af35.html
コーディネーター：金田勝徳
パネリスト：大橋好光、稲山正弘、榎本長治

提供元：A-Forum
動画時間：0:25:08
登録日：2021年9月3日

- 構造設計
- 施工
- コスト（建築主向け）
- 講習会・シンポジウム
- 事例紹介
- 木造軸組
- CLTパネル

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001323>

URLをコピー



外部ページへ

第35回AF-Forum「日本の木造建築と林業」榎本長治（（一社）日本林業経営者協会顧問、（株）山長商店代表取締役会長）

お気に入りに追加

2021年2月18日（木）開催第35回AF-Forum「日本の木造建築と林業」
http://a-forum.info/forum/af35.html
コーディネーター：金田勝徳
パネリスト：大橋好光、稲山正弘、榎本長治

提供元：A-Forum
動画時間：0:28:56
登録日：2021年9月3日

- 材料
- コスト（建築主向け）
- 講習会・シンポジウム
- 事例紹介

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001324>

URLをコピー



外部ページへ

高層木造建築「ブロック commons」 - 工事 早送り動画(タイムラプス)

お気に入りに追加

ブロック commons はプリティッシュコロンビア大学構内にマスティンバーを使って建設されたハイブリッド高層学生寮です。18階建てで、2017年現在、世界で一番高い木造の近代建築です。

提供元：カナダ林産業審議会 - COFI
動画時間：0:02:02
登録日：2021年9月3日

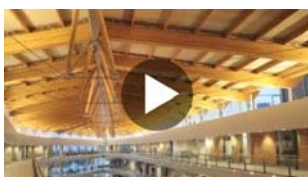
- 施工
- 建設・製造・加工
- 2×4

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001328>

URLをコピー



外部ページへ

中層木造建築のススメ ①木造建築と森林管理

お気に入りに追加

カナダ プリティッシュコロンビア州政府の林業投資団体（Forestry Innovation Investment）およびカナダ木材協議会（Canadian Wood Council）による共同制作ビデオです（全5部）。

提供元：カナダ林産業審議会 - COFI
動画時間：0:10:50
登録日：2021年9月3日

- 構造設計
- 木造の良さ（建築主向け）
- 事例紹介
- 建設・製造・加工
- 2×4

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001329>

URLをコピー



中層木造建築のススメ ②BC州の中層木造建築

お気に入りに追加

カナダ ブリティッシュコロンビア州政府の林業投資団体（Forestry Innovation Investm ent）およびカナダ木材協議会（Canadian Wood Council）による共同制作ビデオです（全5部）。

提供元：カナダ林産業審議会- COFI
動画時間：0:19:20
登録日：2021年9月3日

外部ページへ

構造設計

施工

インタビュー・説明

2×4

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001330>

URLをコピー



中層木造建築のススメ ③中層木造建築の設計と施工

お気に入りに追加

カナダ ブリティッシュコロンビア州政府の林業投資団体（Forestry Innovation Investm ent）およびカナダ木材協議会（Canadian Wood Council）による共同制作ビデオです（全5部）。

提供元：カナダ林産業審議会- COFI
動画時間：0:09:55
登録日：2021年9月3日

外部ページへ

構造設計

インタビュー・説明

2×4

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001331>

URLをコピー



中層木造建築のススメ ④マスティンバー建築事例 - UBC地球科学ビル

お気に入りに追加

カナダ ブリティッシュコロンビア州政府の林業投資団体（Forestry Innovation Investm ent）およびカナダ木材協議会（Canadian Wood Council）による共同制作ビデオです（全5部）。

提供元：カナダ林産業審議会- COFI
動画時間：0:11:18
登録日：2021年9月3日

外部ページへ

構造設計

防耐火設計

環境・省エネ

インタビュー・説明

2×4

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001332>

URLをコピー



中層木造建築のススメ ⑤中層木造建築とマスティンバー建築 - BC州の今後

お気に入りに追加

カナダ ブリティッシュコロンビア州政府の林業投資団体（Forestry Innovation Investm ent）およびカナダ木材協議会（Canadian Wood Council）による共同制作ビデオです（全5部）。

提供元：カナダ林産業審議会- COFI
動画時間：0:06:16
登録日：2021年9月3日

外部ページへ

構造設計

施工

コスト（建築主向け）

インタビュー・説明

2×4

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001333>

URLをコピー



木造建築の可能性を広げる「ツーバイフォー耐火構造」

お気に入りに追加

「木造耐火構造」は様々なタイプのものが開発され全国に広がりを見せています。そのすべての始まりは「ツーバイフォー工法」でした。去る2015年3月11日、ツーバイフォー耐火10周年を記念して東京・木材会館にてセミナーが開催されました。研究者、実務者が登壇し、「耐火」によって広がる今後の木造建築の可能性、特に大規模化、高層化について講演とパネルディスカッションが行われました。（主催：一般社団法人日本ツーバイフォー建築協会）

提供元：カナダ林産業審議会- COFI
動画時間：0:04:09
登録日：2021年9月3日

外部ページへ

防耐火設計

事例紹介

インタビュー・説明

2×4

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001334>

URLをコピー



トラスで大空間を実現！木造の高齢者施設

お気に入りに追加

ネイルプレートトラスを使えば大スパンをとばすことができます。木造の施設を建てる場合、集会所や食堂などの大きな空間を確保する手段として有効です。ネイルプレートトラスは一体ごとに構造検討されて製造されており、より少ない材料で信頼性の高い構造躯体を提供する究極のエンジニアードウッドです。

提供元：カナダ林産業審議会- COFI
動画時間：0:04:50
登録日：2021年9月3日

外部ページへ

構造設計

施工

コスト（建築主向け）

事例紹介

2×4

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001335>

URLをコピー



#0：LVL Scape LVLでつくる都市木造 -はじめに-

お気に入りに追加

都市木造が推進されている中で、LVL(単板積層材)は耐火被覆材や構造材として役割が期待されています。

提供元：Association LVL
動画時間：0:03:31
登録日：2021年9月3日

不燃処理したLVLを被覆材に用いた耐火柱・耐火梁等を開発することで、木質材料だけで耐火建築物を建てることが可能になりました。

国内外の中大規模木造建築の先進的な取り組みを通じて、木質耐火建築の魅力と可能性を感じていただければと思います。

全国LVL協会

外部ページへ

材料

耐火設計

木造の良さ（建築主向け）

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001337>

URLをコピー



#1：LVL Scape LVLでつくる都市木造 -LVLはどんな素材か-

お気に入りに追加

都市木造が推進されている中で、LVL(単板積層材)は耐火被覆材や構造材として役割が期待されています。

提供元：Association LVL
動画時間：0:03:14
登録日：2021年9月3日

不燃処理したLVLを被覆材に用いた耐火柱・耐火梁等を開発することで、木質材料だけで耐火建築物を建てることが可能になりました。

国内外の中大規模木造建築の先進的な取り組みを通じて、木質耐火建築の魅力と可能性を感じていただければと思います。

全国LVL協会

外部ページへ

材料

木造の良さ（建築主向け）

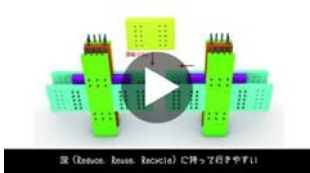
事例紹介

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001338>

URLをコピー



#2：LVL Scape LVLでつくる都市木造 -中大規模建築を木でつくる-

お気に入りに追加

都市木造が推進されている中で、LVL(単板積層材)は耐火被覆材や構造材として役割が期待されています。

提供元：Association LVL
動画時間：0:05:53
登録日：2021年9月3日

不燃処理したLVLを被覆材に用いた耐火柱・耐火梁等を開発することで、木質材料だけで耐火建築物を建てることが可能になりました。

国内外の中大規模木造建築の先進的な取り組みを通じて、木質耐火建築の魅力と可能性を感じていただければと思います。

全国LVL協会

外部ページへ

構造設計

施工

木造の良さ（建築主向け）

事例紹介

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001339>

URLをコピー



外部ページへ

#3 : LVL Scape LVLでつくる都市木造 -LVLを構造につかう-

お気に入りに追加

都市木造が推進されている中で、LVL(単板積層材)は耐火被覆材や構造材として役割が期待されています。

不燃処理したLVLを被覆材に用いた耐火柱・耐火梁等を開発することで、木質材料だけで耐火建築物を建てることが可能になりました。

国内外の中大規模木造建築の先進的な取り組みを通じて、木質耐火建築の魅力と可能性を感じていただければと思います。

全国LVL協会

提供元 : Association LVL

動画時間 : 0:05:39

登録日 : 2021年9月3日

材料

構造設計

事例紹介

この情報をシェアする→



この情報のURL : <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001340>

URLをコピー



外部ページへ

#4 : LVL Scape LVLでつくる都市木造 -防耐火性能をもつLVL空間の魅力-

お気に入りに追加

都市木造が推進されている中で、LVL(単板積層材)は耐火被覆材や構造材として役割が期待されています。

不燃処理したLVLを被覆材に用いた耐火柱・耐火梁等を開発することで、木質材料だけで耐火建築物を建てることが可能になりました。

国内外の中大規模木造建築の先進的な取り組みを通じて、木質耐火建築の魅力と可能性を感じていただければと思います。

全国LVL協会

提供元 : Association LVL

動画時間 : 0:07:29

登録日 : 2021年9月3日

防耐火設計

木造の良さ (建築主向け)

事例紹介

この情報をシェアする→



この情報のURL : <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001341>

URLをコピー



外部ページへ

15分でわかるCLTのABC (のうちA)

お気に入りに追加

CLT(Cross Laminated Timber : 直交集成板)について説明します。この動画では、CLTのABC、具体的には、CLTとは何か、その優れている点、CLTの建物への使い方、政府の支援策などについて、これらを順番にご紹介します。

提供元 : CLT政府一元窓口

動画時間 : 0:06:57

登録日 : 2021年9月3日

材料

事例紹介

インタビュー・説明

CLTパネル

この情報をシェアする→



この情報のURL : <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001319>

URLをコピー



外部ページへ

15分でわかるCLTのABC (のうちB)

お気に入りに追加

CLT(Cross Laminated Timber : 直交集成板)について説明します。この動画では、CLTのABC、具体的には、CLTとは何か、その優れている点、CLTの建物への使い方、政府の支援策などについて、これらを順番にご紹介します。

提供元 : CLT政府一元窓口

動画時間 : 0:02:26

登録日 : 2021年9月3日

木造の良さ (建築主向け)

事例紹介

CLTパネル

この情報をシェアする→



この情報のURL : <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001320>

URLをコピー

15分でわかるCLTのABC (のうちC)

お気に入りに追加

CLT(Cross Laminated Timber : 直交集成板)について説明します。この動画では、CLTのABC、具体的には、CLTとは何か、その優れている点、CLTの建物への使い方、政府の支援策などについて、これらを順番にご紹介します。

提供元 : CLT政府一元窓口

動画時間 : 0:08:12

登録日 : 2021年9月3日

外部ページへ

コスト (建築主向け)

インタビュー・説明

CLTパネル

この情報をシェアする→



この情報のURL : <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=405&mode=one&code=10001321>

URLをコピー

ホーム

ポータルサイト
について

中大規模木造建築
入門ガイド

設計技術情報

動画情報

講習会情報

担い手・サプライ
チェーン情報

補助金・表彰
制度情報

よくある質問

相談箱

リンク集

サイトマップ

委員会について

個人情報の取り扱いについて

サイトポリシー

お問い合わせ

アンケート



林野庁

©2020 中大規模木造建築ポータルサイト検討委員会

ホーム	ポータルサイト について	中大規模木造建築 入門ガイド	設計技術情報	動画情報	補助金・表彰 制度情報	講習会情報	担い手・サプライ チェーン情報	よくある質問	相談箱 (※登録者限定)
-----	-----------------	-------------------	--------	------	----------------	-------	--------------------	--------	-----------------

ホーム > 講習会情報

講習会情報（開催前情報）

木造建築物の設計や建築等に関する各種の講習会の開催予定のほか、過去に開催された講習会の受講情報について提供しています。

アイコンの凡例（色別）

講習会種別

講習形式

講習内容

工法

対象者

講習会情報の検索

▲ 検索条件を隠す

木造建築物の設計や建築等に関する各種の講習会の開催予定のほか、過去に開催された講習会の受講情報について提供しています。

検索結果へ >

講習会種別の選択

講習会・セミナー

シンポジウム

見学会

その他

講習形式

対面

web・オンライン

DVD配布

講習内容の選択

意匠設計

材料

構造設計

防耐火設計

設備設計

耐久性・維持管理

環境・省エネ

遮音・振動

積算

施工

コスト（建築主向け）

木造の良さ（建築主向け）

工法（任意）

木造軸組

木造ラーメン

2×4

CLTパネル

混構造

その他

対象者の選択

意匠設計者

構造設計者

その他

検索結果へ >

開催前 情報

開催済 情報

講習会情報の検索結果のリストアップ（講習会名称表記） 開催前情報

新着 京丹波町役場見学ツアー＋パネルディスカッション

お気に入り追加

NPO法人サウンドウッズが町内産木材の調達コーディネートを担当した、京丹波町役場新庁舎（京都府）を会場に、「木のまちをつくりつづけるために」と題したフォーラムを開催いたします。今日の都市木造のムーブメントを牽引する、NPO法人チームティンバライズと共催で実施します。

当日は、プロジェクトの設計担当者による、

①解説付見学ツアー

②組立柱の設計施工要領解説を含む施設詳細徹底解説

③地元木材供給者および施設運営者を加えてのパネルディスカッション

と盛沢山の内容です。京都駅から会場までのバス送迎（往復3,000円）も準備しています。東京・博多からも日帰りいただけます。是非ともご参加いただきますようご案内申し上げます。

詳しくはこちら >

実施主体：NPO法人サウンドウッズ

開催日：2023年4月28日（金）10:00～16:30

開催場所：京都府京丹波町（京丹波町新庁舎）、オンライン開催

シンポジウム 見学会 対面 web・オンライン 構造設計 耐火設計 施工 木造軸組 意匠設計者 構造設計者 その他

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=403&mode=one&code=10002497>

URLをコピー

令和4年度 内外装木質化等の効果実証事業 成果報告会

お気に入りに追加

本格的な利用期を迎えた森林資源を活かし、カーボンニュートラルを見据えた森林・林業・木材産業によるグリーン成長を実現するには、地域材の安定供給体制の構築に加え、新たな木材需要の創出を図ることが重要です。本事業では、木材利用を促進するため、オフィスや店舗等の施設において、民間の創意工夫による内外装木質化等に対するニーズや木質化等に伴う効果をデータ化し、その普及を図ることにより、民間非住宅建築物の内外装木質化等の需要につなげることを目的としています。

この報告会では、令和4年度における内外装木質化等の効果実証事業の成果を広く報告することにより、内外装木質化等の一層の普及促進を図ります。また、この報告会は会場での報告会に加えて、報告会の映像をライブ配信します。

詳しくはこちら >

実施主体：公益財団法人日本住宅・木材技術センター

開催日：2023年3月20日（月）13:30～15:30

開催場所：東京都江東区（木材会館）、オンライン開催

講習会・セミナー 対面 web・オンライン 木造の長さ（建築主向け） 意匠設計者 構造設計者 その他

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=403&mode=one&code=10002472>

URLをコピー

ヨーロッパにおける木造建築の変遷とこれから

お気に入りに追加

ヨーロッパでは、2019年ノルウェーに18階建て、高さ85.4mの高層木造建築が、また、2022年にはウィーンでも84mの木造とコンクリートの混構造建築が建てられている。CLTもヨーロッパで開発されており、ヨーロッパは、木造建築の先進地域です。

この度の講演会では、半世紀にわたりヨーロッパにおける木造建築に係わってきた木構造の第一人者であるヴィンター ウィーン工科大学名誉教授をお招きして、材料、工法、接合、耐火など多方面からヨーロッパにおける木造建築の変遷と関連する技術等を紹介していただくとともに、これからの木造についても意見を述べていただき、今後の木質材料や木造に関する研究の進展に繋げていきます。

詳しくはこちら >

実施主体：岡山大学グリーンイノベーションセンター

開催日：2023年3月23日（木）13:30～15:30

開催場所：岡山県岡山市（岡山大学 共育共創 commons）

講習会・セミナー 対面 材料 構造設計 耐火設計 CLTパネル 混構造 意匠設計者 構造設計者

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=403&mode=one&code=10002469>

URLをコピー

中大規模木造低層建築物の耐久性向上のための設計・施工セミナー

お気に入りに追加

現在の木造住宅は設計と施工を適切に行い、維持管理を怠らなければ100年、あるいは、それ以上長持ちすると言われていています。中大規模木造低層建築物の耐久性向上のための設計・施工などは、戸建て住宅などの小規模な木造建築物に対する考え方と基本は同じになりますが、中大規模木造低層建築物ゆえに特別に配慮し、注意しなければならないことがあります。

本セミナーでは中大規模木造低層建築物の耐久性調査より得られた情報及び長く使うために留意しなければならないこれまでの知見を基にしながら、中大規模木造低層建築物の適切な耐久計画・設計・施工・維持保全によって長く使い続けることができるノウハウを解説します。

テキストは、2023年2月に発売した新版「中大規模木造低層建築物の耐久性向上のための設計・施工の手引き」を用いて行います。また質疑応答の時間も用意しています。

詳しくはこちら >

実施主体：公益財団法人日本住宅・木材技術センター

開催日：2023年6月5日（月） 13:00～16:50

開催場所：東京都江東区（木材会館）

講習会・セミナー 対面 耐久性・維持管理 施工 意匠設計者 構造設計者 その他

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuizouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=403&mode=one&code=10002463>

URLをコピー

CLT等木質建築部材 技術開発・普及事業 成果報告会

お気に入りに追加

木構造振興(株)では、林野庁の補助事業により、CLT等木質建築部材技術開発・普及事業の提案を募集し、優れた提案を採択、事業の助成を行って参りました。

この度、各採択事業の成果報告会を実施します。

この成果報告会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、報告の映像をWEB配信します。皆様のご参加をお待ちしております。

詳しくはこちら >

実施主体：木構造振興株式会社

開催日：2023年3月13日（月）～3月31日（金）

開催場所：オンデマンド開催

講習会・セミナー web・オンライン 材料 構造設計 防耐火設計 耐久性・維持管理 遮音・振動 意匠設計者 構造設計者 その他

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuizouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=403&mode=one&code=10002413>

URLをコピー

建築とITのフォーラム2023

お気に入りに追加

「建築とITのフォーラム2023」では、中大規模木造建築物の設計に関連する講演を会場、およびオンデマンド配信で視聴することができます。この中で、下記3つの講演は中大規模木造建築物の設計に関連する内容です。

「三菱地所グループの国産材活用に向けた新たな取組」

～ 木造木質化事業で、まちとよりの架け橋に ～

講師：海老澤 渉 氏（株式会社三菱地所設計）

「木質構造の設計実務におけるFAP-3、MED-3の活用」

既製品接合金物を活用したフレーム解析と検討書作成のポイント解説

講師：寛成 康治 氏（ウッド・ハブ合同会社 代表）

詳しくはこちら >

「中層木造の構造設計と実例紹介」

講師：宮田 雄二郎 氏（法政大学 / 株式会社宮田構造設計事務所）

ご関心のお有りの方は是非お申し込みください。

実施主体：構造システム・グループ

開催日：【会場参加】2023年2月2日（木）、【オンデマンド配信】2023年2月6日（月）～15日（水）

開催場所：東京都千代田区（丸ビルホール）、オンデマンド配信

シンポジウム 対面 web・オンライン 意匠設計 構造設計 施工 木造の良さ（建築主向け） 意匠設計者 構造設計者

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuizouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=403&mode=one&code=10002324>

URLをコピー

中大規模木造建築物設計のための大断面集成材スパン表説明会（オンデマンド配信）

お気に入りに追加

長年、低層・中層の大規模木造建築物については、住宅・非住宅を問わず、大断面構造用集成材（大断面集成材）が必須の部材として利用されてきたが、近年は調達しやすい住宅向けの流通材、すなわち中小断面構造用集成材を多用する動きが活発化してきている。そこで日本集成材工業協同組合では、スギ、カラマツ等の国産樹種で製造した大断面集成材のスパン表を作成した。用途は事務所、共同住宅及び店舗の3種類であり、また、スパン表に対応した接合部の情報（接合金物）についても取りまとめている。本説明会ではスパン表の利用をお考えの方向けに活用方法を説明いたします。

詳しくはこちら >

実施主体：日本集成材工業協同組合

開催日：2022年12月23日（金）よりオンデマンド配信開始

開催場所：オンデマンド開催

講習会・セミナー web・オンライン 構造設計 構造設計者

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL： <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=403&mode=one&code=10002314>

URLをコピー

中大規模木造建築ポータルサイトセミナー「脱炭素に貢献する木造建築の未来」

お気に入りに追加

これまで木造によることが少なかった低層の非住宅や中高層の住宅・非住宅用途の中大規模建築について、本格的な利用期を迎えた森林資源の活用や、地球環境への配慮、木のもたらす健康効果、優れた施工性等のメリットを生かした木造化のニーズが高まっています。一方、中大規模木造建築に関する各種の設計情報が散在しており、新たに取り組もうとする設計者にとってハードルとなっているほか、実績経験の豊かな設計者に対し有用かつ最新の情報提供が求められています。公益財団法人日本住宅・木材技術センターでは令和4年度国土交通省補助事業「中大規模木造建築ポータルサイト」の運営を通して、木造建築に関わる最新の情報や設計・施工に役立つ情報を提供しています。今回はこれまでの活動を背景にして、社会的な要請でもある脱炭素に貢献する中大規模木造建築のテーマで、オンラインセミナーを開催する運びとなりました。多様な立場の皆様から木造建築の可能性と重要性について活発な議論を行います。木造建築に携わっている方、またこれから中大規模木造建築への取り組みを考えたい方のご参加をお待ちしております。

詳しくはこちら>

実施主体：公益財団法人日本住宅・木材技術センター

開催日：2022年12月15日（木）14：00～16：30

開催場所：オンライン開催

講習会・セミナー web・オンライン 材料 環境・省エネ 木造の良さ（建築主向け） 意匠設計者 構造設計者 その他

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL： <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=403&mode=one&code=10002157>

URLをコピー

木材活用フォーラム2022冬

お気に入りに追加

本フォーラムは、木材活用に関する様々な情報を設計者や施工者、また発注者に対して提供するとともに、木材活用を促すための課題を共有し、解決への糸口を探る場となる事を目指しています。特別講演では「SDGs、ESG投資の潮流と木造建築がもたらすインパクト」をタイトルに、脱炭素や人の健康とウェルビーイングなどを実現して持続可能な社会をつかっていくために、建築物・不動産にできることは何か。発注者であるデベロッパー・不動産オーナーやその裏側にいる株主・投資家、さらにはテナント・入居者の目線から、木造建築が多様なESG課題にどのようなインパクトをもたらさうか講演して頂きます。また、「建築物への木材の利用に関する調査」報告やパネルディスカッションでは「木造建築とカーボンニュートラルを考える」をタイトルに、SDGsやESG投資の潮流に基づいて木造建築の需要を拡大するためにはプレイヤーとして何をすべきか、議論して頂きます。

詳しくはこちら>

実施主体：日経BP 総合研究所、日経アーキテクチュア、日経クロステック

開催日：2022年12月15日（木）10：00～12：30

開催場所：オンライン開催

シンポジウム web・オンライン 材料 環境・省エネ 木造の良さ（建築主向け） 意匠設計者 構造設計者 その他

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL： <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=403&mode=one&code=10002155>

URLをコピー

木の架構と空間のつくりかたセミナー

お気に入りに追加

低層非住宅建築は、住宅用流通材・機械プレカットを活用することでコスト競争力のある木造建築が可能。そこで、設計者・施工者・架構技術者などを対象に、「木の架構と空間のつくりかたセミナー」を開催致します。耐力壁を用いた一般的な軸組構法で非住宅を建築する際の、基本計画・基本設計を演習・グループワークを通して学ぶ講習です。架構を踏まえた設計により、横架材に国産材を用いることも可能になります。

詳しくはこちら>

実施主体：一般社団法人中大規模木造プレカット技術協会

開催日：2022年11月21日(月)【基礎編】・11月28日(月)【中級編】

開催場所：東京都千代田区（サニー貸会議室 神田）

講習会・セミナー 対面 材料 構造設計 木造軸組 意匠設計者 構造設計者 その他

この情報をシェアする→

Facebook Twitter Line

この情報のURL： <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=403&mode=one&code=10002147>

URLをコピー

実物件から学ぶCLT建築講習会

お気に入り追加

イントラスト株式会社はCLTを中心とした木造建築物についての講習会、セミナー等を運営してまいりました。このたび、令和4年度林野庁補助事業 CLT 建築物等の設計者育成を承り、その具体的事業として「実物件に学ぶCLT建築講習会」を実施することになりました。

今話題となっているCLT建築物について、建物の映像だけでなく、建築に携わった事業者・設計者・利用者等からCLTを採用した狙い等のインタビューを交えた映像をWEBで紹介するものです。この機会にぜひご覧ください。

詳しくはこちら >

実施主体：イントラスト株式会社

開催日：2022年10月初旬から順次配信

開催場所：オンライン開催

講習会・セミナー web・オンライン 施工 CLTパネル 意匠設計者 構造設計者 その他

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=403&mode=one&code=10002053>

URLをコピー

CLT最前線2022 - 日本CLT協会 技術報告会 -

お気に入り追加

日本CLT協会では、CLTに関する技術開発や工法の普及のため、13からなるワーキンググループにより、様々な角度からの技術開発を進めております。この度その成果をCLT最前線2022として、報告会を開催いたします。設計事務所、工務店等の皆様、また中・高層建築物をご検討の皆様がCLTの最新情報を理解するうえで絶好の機会となるものと思います。また、この報告会はWEB報告会としていつでもどこでもご覧いただけます。学生の方、CLTに興味をお持ちの方も含めてお気軽にご参加ください。

詳しくはこちら >

実施主体：一般社団法人日本CLT協会

開催日：2022年7月20日(水)~3月31日(金)

開催場所：オンライン開催

講習会・セミナー web・オンライン 耐火設計 耐久性・維持管理 環境・省エネ 遮音・振動 施工 CLTパネル 意匠設計者 構造設計者

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=403&mode=one&code=10001953>

URLをコピー

MOCTION補助金セミナー ~多摩産材・補助金活用のノウハウを学ぶ~

お気に入り追加

実際に多摩産材を使い、補助金を活用して物件を手掛けた設計者によるセミナーや、補助金の活用を検討する設計者・施工者に向けた「補助金ミニ講座」や「個別相談会」、またMOCTIONをご案内するツアーなど、国産木材の活用方法が具体的にわかる、実務に即したコンテンツをご用意しています。

詳しくはこちら >

実施主体：国産木材の魅力発信拠点MOCTION

開催日：2022年7月14日(木) 13:30~

開催場所：東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワーリビングデザインセンターOZONE 5F

講習会・セミナー 対面

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=403&mode=one&code=10001945>

URLをコピー

10/11シェルターインクルーシブプレイス コパル（山形市南部児童遊戯施設）完成見学会

お気に入り追加

山形市内にオープンしたシェルターインクルーシブプレイスコパル（山形市南部児童遊戯施設）の完成見学会を開催致します。美しい山並みに呼応する雲のような屋根が特徴的な本施設は、「障がいの有無や、人種、言語、家庭環境に関わらず、多様な個性や背景を持った全ての子どもたちの遊びと学びの場」という基本方針を持つ、全国的にも事例の少ないインクルーシブ施設です。この機会に是非ご覧ください。

■設計・運営関係者の特別座談会をYoutubeにて限定公開！

o+h 大西麻貴氏、百田有希氏

コパル 館長 色部正俊氏

ヴォーチェ 代表社員 佐藤奈々子氏

Amame Associate Japan 代表取締役社長 天米一志氏

※特別座談会ご視聴のみのお申込みも可能です。

詳しくはこちら >

実施主体：株式会社シェルター

開催日：2022年10月11日

講習会・セミナー

見学会

対面

web・オンライン

意匠設計

材料

木造の良さ（建築主向け）

その他

意匠設計者

この情報をシェアする→

Facebook

Twitter

Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=403&mode=one&code=10001766>

URLをコピー

令和3年度座談会、特別ディスカッション、サステナブル木造建築のいま

お気に入りに追加

脱炭素社会の実現に向け、国土交通省が実施する「サステナブル建築物等先導事業」では、炭素貯蔵効果の高い木材を使用し、設計・施工について先導的な技術が導入されるプロジェクトを支援してきております。

今回は、本事業を活用したプロジェクトのうち、地方部において宿泊施設を建築した3つのプロジェクトを取り上げ、それぞれのプロジェクトリーダーと設計者の方々からプロジェクト実施にあたって工夫した点、苦労した点、また施主や地元住民、工務店など地域とのつながり、連携等についてお話を伺いました。将来を見据えた事業戦略や木造建築のメリット、強度など、なかなか聞けない「ホンネ」を話していただいた座談会の内容をPDFデータにてご紹介いたします。是非ご覧ください。

詳しくはこちら>

実施主体：一般社団法人 木を活かす建築推進協議会

その他

材料

施工

木造の良さ（建築主向け）

意匠設計者

構造設計者

その他

この情報をシェアする→

Facebook

Twitter

Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=403&mode=one&code=10001648>

URLをコピー

建築物省エネ法の説明義務に使える手法が簡易に学べるWEB講習会

お気に入りに追加

改正建築物省エネ法の全面施行により、令和3年4月より300㎡未満の住宅・小規模建築物の新築等に際して、建築士による説明義務制度が開始されました。国土交通省では、制度の円滑な実施に向け、「オンライン講座」を御用意しています。

特に今年度は、主に省エネ住宅の設計・施工は未経験という方向けに、「木造戸建て住宅の使用基準」、及び「小規模版モデル建物法(300㎡未満の小規模非住宅建築物で使用できる計算プログラム)」について詳しく説明するWEB講習会を新設しました。建築の供給に携わるどの事業者でも受講できる、法改正について学べる講座を公開しています。

詳しくはこちら>

実施主体：国土交通省

開催場所：オンライン開催

講習会・セミナー

web・オンライン

環境・省エネ

意匠設計者

構造設計者

その他

この情報をシェアする→

Facebook

Twitter

Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=403&mode=one&code=10001565>

URLをコピー

中大規模木造設計セミナー【オンライン講習会】

お気に入りに追加

低層非住宅をコストを抑えながら魅力的な建築として実現させるために必要な知識を、中大規模木造設計セミナーテキストを用いながら説明していきます。

内容は、構造・防耐火・流通材の知識・プレカット・コストについて、基本的な情報を中心に、低層非住宅の中大規模木造を初めて手掛ける意匠設計者・構造設計者の皆様を想定したものになっています。

詳しくはこちら>

実施主体：一般社団法人中大規模木造プレカット技術協会

開催場所：オンライン講習

講習会・セミナー

web・オンライン

意匠設計

材料

構造設計

防耐火設計

設備設計

施工

木造軸組

意匠設計者

構造設計者

その他

この情報をシェアする→

Facebook

Twitter

Line

この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=403&mode=one&code=10001304>

URLをコピー

GIR及びLSB接合部セミナー

お気に入りに追加

KI 中層大規模木造研究会 設計支援情報データベースHPで公開しているGIR、LSB接合具・接合部についての設計方法および実験データ等の解説があります。実験の様子も紹介し、実際の破壊性状なども確認ができます。

詳しくはこちら>

実施主体：中層大規模木造設計情報整備委員会

開催場所：WEB

講習会・セミナー web・オンライン 構造設計 木造ラーメン 構造設計者

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=403&mode=one&code=10001133>

URLをコピー

耐力要素別 解説

お気に入りに追加

KI 中層大規模木造研究会 設計支援情報データベースHPで公開している以下の各耐力要素について解説を行っています。

- ・接合具のデータシート(ラグスクリューボルト(LSB)、釘、グルードインロッド(GIR))
- ・接合部のデータシート(鋼板添え板ボルト、引きボルト、ドリフトピン)
- ・耐力壁のデータシート(面材、ブレース)
- ・柱脚システムのデータシート
- ・木質材料「集成材・LVL・合板・OSB・製材（針葉樹）に関する情報」

詳しくはこちら >

実施主体：中層大規模木造設計情報整備委員会

開催場所：WEB

講習会・セミナー web・オンライン 材料 構造設計 木造ラーメン 構造設計者

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=403&mode=one&code=10001134>

URLをコピー

ホーム

ポータルサイト
について

中大規模木造建築
入門ガイド

設計技術情報

動画情報

講習会情報

担い手・サプライ
チェーン情報

補助金・表彰
制度情報

よくある質問

相談箱

リンク集

サイトマップ

委員会について

個人情報の取り扱いについて

サイトポリシー

お問い合わせ

アンケート



林野庁

©2020 中大規模木造建築ポータルサイト検討委員会

ホーム	ポータルサイトについて	中大規模木造建築入門ガイド	設計技術情報	動画情報	講習会情報	担い手・サプライチェーン情報	補助金・表彰制度情報	よくある質問	相談箱 (※登録者限定)
-----	-------------	---------------	--------	------	-------	----------------	------------	--------	-----------------

●ホーム > 担い手・サプライチェーン情報

担い手・サプライチェーン情報

中大規模木造建築の「担い手」「サプライチェーン」に係る情報を提供する事業者団体等のWEBサイトを紹介します。
設計事務所、工務店や木材の製造者の一覧、部材データ等を閲覧することができます。

リンクアイコンの凡例（色別）

●一覧表示

●設計

●施工

●木材加工・流通等

●その他の部材等

設計事務所・施工企業等

中大規模木造プレカット技術協会

- 全国の工務店・設計事務所・プレカット工場・材木店などと連携して、木造標準工法による低層の中大規模木造建築の普及活動を行っている団体です。
- 団体会員である設計事務所等の一覧が閲覧できます。

● 団体会員一覧ページ ● 意匠設計事務所 ● 構造設計事務所 ● 工務店 ● プレカット工場 ● 流通事業者 ● ソフトメーカー ● 金物メーカー

日本CLT協会

- CLTやCLT建築物の普及活動を行っている団体です。
- 検索ページではCLT建築物の設計や工事を行う企業を地域で絞り込みます。製造・加工企業一覧には各工場のCLTサイズや使用CAD等の情報が掲載されています。

● CLT企画・設計相談室 ● CLT設計会社検索 ● CLT施工会社検索 ● CLT製造・加工企業一覧 ● サステナビリティ経営のためのCLT活用

日本ツーバイフォー建築協会

- ツーバイフォー（枠組壁工法）住宅の普及や、調査研究、技術開発および試験などを目的に設立された団体です。
- コンポーネントを提供する会社の概要や、枠組壁工法に関連する取扱商品を紹介しています。

● コンポーネント会社情報 ● 国産材等の枠組壁工法構造用製材・たて継ぎ材等JAS認証工場リスト ● 国産材等の枠組壁工法構造用製材・たて継ぎ材 JAS認証工場マップ ● 部資材ホットリンク

JBN・全国工務店協会

- 全国の地域工務店に対して、技術、人材、品質、事務、情報等の面からサポートし、低層非住宅・中大規模建築物の分野における在来木造工法を中心とした木造建築の普及活動を行っている団体です。
- 各都道府県において中大規模木造建築の対応が可能な会員企業を紹介する問い合わせ先が掲載されています。

● 施工企業相談窓口

木を活かす建築推進協議会

- 木材利用に取り組む関係者に向けた、講習会やセミナー、シンポジウムなどの情報発信を行っている団体です。
- 地域での中大規模木造建築を普及するためのグループ活動の進め方等に関する相談、具体的な設計事例における相談に関する窓口を御用意しています。

● 中大規模木造建築相談窓口

日本木材総合情報センター

- 木材・住宅関係業界の方に、国内・海外の木材需給、価格動向、木材利用などの情報を発信している団体です。
- 木材SCM支援システム(もりんく)は、全国の木材関連事業者をつなぐマッチングサイトです。事業PRページの作成や、新しい取引先を地域や製品などから検索できるほか、需給情報共有や取引に関するコミュニケーションをサポートしています。

木材SCM支援システム

JAS認証工場検索

木材価格・需給統計資料

木材価格・需給動向

日本集成材工業協同組合

- 集成材の品質向上、規格の作成、集成材製品の需要の拡大等を行っており、北海道から沖縄までの全国を区域とし集成材の製造業者等が加入している団体です。
- 中大規模木造建築対応企業のリスト、構造用集成材の商品一覧等が閲覧できます。

中大規模木造建築対応企業リスト

構造用集成材商品一覧

大断面集成材の規格化

造作用集成材メーカーリスト

全国木材検査・研究協会

- 製材工場のJAS認証や工場監査、木材の品質、規格、性能の試験や技術研修、木材産業に関する調査研究など行っている団体です。
- 製材等JAS認証工場の名簿やJAS全数検査認証工場の名簿が閲覧できます。

製材等JAS認証工場名簿

JAS全数検査認証工場名簿

その他

建築性能基準推進協会

- 建築基準法等において性能規定化された技術基準及びその評価に係る諸規定（以下「建築性能基準」という。）に基づく評価等業務的確な実施及び建築性能基準の的確かつ円滑な運用の推進を図ること等を目的に活動している団体です。
- 建築基準法に基づく指定性能評価機関や大臣認定の検索システムを掲載しています。

指定性能評価機関（指定区分別一覧）

指定性能評価機関（機関別一覧）

大臣認定の検索システム

シーデクセマ評議会

- 木造建築並びにその資材の生産・流通から管理に関わるCAD/CAMデータの連携を図ることにより、良質な木造建築の生産と維持を推進している団体です。
- CEDXM紹介サイトや、意匠CAD・構造計算ソフト、プレカットCADの紹介、連携しているCADの一覧等の情報が掲載されています。

CEDXM紹介サイト

意匠CAD・構造計算ソフトプレカットCAD

連携CAD一覧

CEDXMデータ入出力可能プレカット工場一覧

ホーム

ポータルサイトについて

中大規模木造建築入門ガイド

設計技術情報

動画情報

講習会情報

担い手・サプライチェーン情報

補助金・表彰制度情報

よくある質問

相談箱

初めての方へ

リンク集

サイトマップ

委員会について

個人情報の取り扱いについて

サイトポリシー

お問い合わせ

アンケート

 国土交通省

林野庁

ホーム	ポータルサイトについて	中大規模木造建築入門ガイド	設計技術情報	動画情報	講習会情報	担い手・サプライチェーン情報	補助金・表彰制度情報	よくある質問	相談箱 (※登録者限定)
-----	-------------	---------------	--------	------	-------	----------------	------------	--------	-----------------

ホーム > 補助金・表彰制度情報

補助金・表彰制度情報

国や地方自治体等が行う、木造建築物の設計、建築等に関する補助事業や表彰制度等の各種支援制度の概要等の情報について提供しています。

アイコンの凡例（色別）

支援制度

利用可能地域

応募者

対象建築

対象事業

補助金・表彰制度情報の検索

▲ 検索条件を隠す

検索結果へ >

支援制度の選択

補助制度

表彰制度

利用可能地域の選択

全国

北海道・東北

関東

中部

近畿

中国・四国

九州・沖縄

その他

地域を選択後に都道府県を選択（任意）

都道府県を選択

応募者

建築主

設計者

施工者

その他

対象建築

公共建築

民間建築

対象事業（任意：補助制度のみ選択）

設計

建設

その他

検索結果へ >

補助金・表彰制度情報のリストアップ

令和4年度補正 CLT活用建築物等実証事業

お気に入り追加

CLTを活用した建築物の設計、建築等の実証を行う建築主等を対象とした林野庁の補助事業です。新たな建築材料であるCLTについて、コストや耐震、居住性能、施工性等の観点から、普及性や先駆性が高いCLT建築物の設計・建築等の実証について提案を募り、実証事業をととして事業化の課題や解決方法を明らかにすることを目的としています。建築費等の事業経費（補助率3/10、1/2）、地域協議会の運営費（定額）に対する補助金を受けることができます。

詳しくはこちら >

事業主体：木構造振興（株）、（公財）日本住宅・木材技術センター

募集期間：2023年2月10日(金)～3月9日(木)13：00まで

補助制度

全国

建築主

公共建築

民間建築

設計

建設

その他

この情報をシェアする→

Facebook

Twitter

Line

第26回木材活用コンクール

お気に入りに追加

当コンクールは木材の新たな利用、普及の可能性をさぐり、木材業界の活性化に寄与することを目的として平成9年に創設され、本年で第26回目を迎えます。木の伝統と文化を次世代へ繋ぐため「木の良さ」を活かした作品や、従来にはない新しい木材の利用や見せ方、工法などを用いた「木材の新たな可能性」を追求する作品を、4つの部門を設けて募集し、木材の良さの普及と木材の利用用途の拡大に貢献する優秀な作品を表彰いたします。全国各地からたくさんのご応募をお待ちしております。

PDF >

実施主体 : 日本木材青壮年団体連合会

募集期間 : 2022年12月1日(木) ~ 2023年1月15日(日)

表彰制度 全国 建築主 設計者 施工者 公共建築 民間建築

この情報をシェアする→

この情報のURL : <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10002184>

URLをコピー

令和4年度優良木造建築物等整備推進事業（Ⅲ期募集）

お気に入りに追加

令和4年度住宅・建築物等カーボンニュートラル総合推進事業のうち「優良木造建築物等整備推進事業」について、募集が開始されました。本募集は、炭素貯蔵効果が期待できる木造建築物の整備を行う優良木造建築物等整備推進事業を活用しようとするプロジェクトの提案を募集し、応募のあった提案について、優良木造事業の要件等を踏まえた審査を行い、事業の目的に合う提案に対し、予算の範囲内において、当該提案に基づくプロジェクトの実施に要する費用の一部を補助することを目的として実施するものです。

詳しくはこちら >

実施主体 : 国土交通省

事業主体 : 一般社団法人木を活かす建築推進協議会

募集期間 : 2022年11月4日(金)~12月9日(金)17時必着

補助制度 全国 建築主 公共建築 民間建築 建設

この情報をシェアする→

この情報のURL : <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10002180>

URLをコピー

第5回 COFI木造建築デザインアワード

お気に入りに追加

「COFI木造建築デザインアワード～ Big & Tall Wood Challenge～」は、森林の保護と循環型社会の実現に向けた取り組みの一環として、健全な木材の利用促進に資する木造建築の発展と普及促進を目的として開催します。これからの木造建築に更なる可能性を見いだせるような意欲ある素晴らしい中層・大型木造建築物の実例作品の応募を広く求めます。応募者は、当該木造建築物を設計または施工した個人・組織としています。

詳しくはこちら >

実施主体 : カナダ林産業審議会/カナダウッド

募集期間 : 2022年11月14日(月) ~ 2023年1月16日(月)

表彰制度 全国 設計者 施工者 公共建築 民間建築

この情報をシェアする→

この情報のURL : <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10002171>

URLをコピー

第6回あいち木づかい表彰制度（愛知県）

お気に入りに追加

愛知県では、愛知県産木材の魅力や優れた使い方を普及させるため、木の良さを実感できPR効果の高い建築物や家具、建築資材などの製品等を2017年度から表彰しています。今年度も対象となる建築物や製品等を募集しますので、是非御応募ください。

詳しくはこちら >

実施主体 : 愛知県

募集期間 : 2022年9月1日(木)~10月31日(月)

表彰制度 中部 建築主 設計者 施工者 その他 公共建築 民間建築

この情報をシェアする→



令和4年度 CLT活用建築物等実証事業（3次募集）

お気に入りに追加

CLTを活用した建築物の設計・建築又は部材の性能の実証、街づくり（隣接・近接箇所に複数のCLT建築物等を設計・建築）の実証、CLT製造企業との連携構築のためのモデル的な取組（CLTの低コストな安定供給に向けた実証）等を対象とした林野庁の補助事業です。新たな建築材料であるCLTについて、コストや耐震、居住性能、施工性等の観点から、普及性や先駆性が高いCLT建築物の設計・建築等の実証について提案を募り、実証事業をとおして事業化の課題や解決方法を明らかにすることを目的としています。建築費等の事業経費（補助率3/10、1/2）、地域協議会の運営費（定額）に対する補助金を受けることができます。

詳しくはこちら >

実施主体：林野庁

事業主体：木構造振興（株）、（公財）日本住宅・木材技術センター

募集期間：2022年9月13日（火）～10月11日（火）13時まで

[補助制度](#) [全国](#) [建築主](#) [設計者](#) [公共建築](#) [民間建築](#) [設計](#) [建設](#) [その他](#)

この情報をシェアする→



第3回地域材活用建築デザインコンテストin兵庫

お気に入りに追加

兵庫県の木を使うことを知ってほしい、この思いが兵庫県以外の都道府県にも広がってほしいと考え、兵庫県産木材ではなく、『地域材』という言葉を銘打ち、2020年に『地域材活用建築デザインコンテストin兵庫』を開催いたしました。2022年度のコンテストの募集は締め切っていますが、9月24日に公開審査を予定しています。過去のコンテストでは、審査過程（審査員による賞の決め方）がかなりオープンで面白いと好評ですので、ご関心のある方は是非ご参加いただきたいと思っております。

詳しくはこちら >

事業主体：ひょうご木のすまい協議会

[表彰制度](#) [全国](#) [設計者](#) [施工者](#) [民間建築](#)

この情報をシェアする→



令和4年度 鳥取県非住宅木造建築拡大推進事業

お気に入りに追加

木材の地産地消は、その地域の森林保全や、林業・木材産業、建築関連産業等の地域産業の活性化などに大きく貢献します。本事業では、鳥取県産材の利用促進を図ることを目的として、鳥取県産材を使った民間における非住宅建築物の木造化、内外装木質化等を支援しています。なお、本事業の申請先は、国庫補助事業であるJAS構造材実証支援事業の併用の有無により、申請窓口が変わります。

詳しくはこちら >

実施主体：鳥取県

事業主体：鳥取県木材協同組合連合会（JAS構造材実証支援事業併用あり）、一般社団法人鳥取県木造住宅推進協議会（JAS構造材実証支援事業併用なし）

募集期間：2023年2月14日まで

[補助制度](#) [中国・四国](#) [建築主](#) [設計者](#) [施工者](#) [民間建築](#) [建設](#)

この情報をシェアする→



令和4年度 道産建築材利用支援事業（第2回）

お気に入りに追加

北海道内の森林から産出され、道内で加工された木材（以下「道産木材」という。）の非住宅建築物での利用促進を図るため、道産木材を利用して建築物の新築・改築を行う建築事業者に対し、木材の種類・利用量に応じて助成します。

なお、前年度とは

- ①助成対象となる建築物が道内の非住宅に限ること
 - ②助成金の単価（m3あたり、m2あたり）が変更となっていること
- など複数の点で異なりますのでご注意ください。

詳しくはこちら >

事業主体：北海道木材産業協同組合連合会

募集期間：2022年8月1日(月)～9月2日(金)

補助制度 北海道・東北 施工者 民間建築 建設

この情報をシェアする→



この情報のURL : <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10002025>

URLをコピー

CLT DESIGN AWARD2022 -設計コンテスト-

お気に入りに追加

一般社団法人日本CLT協会は、「CLT DESIGN AWARD2022 -設計コンテスト-」を開催いたします。昨年度まで実施しておりましたCLTアイデアコンテストは、より具体的なCLTの活用を目指し、今年度より「設計部門」を主としたコンテスト『CLT DESIGN AWARD -設計コンテスト-』と名前を一新し、更に身近で実現性のあるCLT建築物の設計提案を募集いたします。『駅』をテーマにCLTを活用した建築物の設計提案を2022年9月1日より募集いたします。

詳しくはこちら >

実施主体：一般社団法人日本CLT協会

募集期間：2022年9月1日（木）～12月2日（金）

表彰制度 全国 設計者 公共建築 民間建築

この情報をシェアする→



この情報のURL : <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10002021>

URLをコピー

第1回みえの木建築コンクール（三重県）

お気に入りに追加

本コンクールは、県産材を目に見える形で活用した魅力的な建築物を募集し、その建築物に関わった方々を表彰するとともに、その事例を広くPRすることで、木づくりの気運の醸成と、県産材の需要拡大を推進することを目的に実施します。木の良さが感じられる魅力的な建築物の応募をお待ちしております。

詳しくはこちら >

実施主体：三重県

事業主体：一般社団法人三重県建築士会

募集期間：2022年8月8日（月）～9月9日（金）（必着）

表彰制度 近畿 建築主 設計者 施工者 公共建築 民間建築

この情報をシェアする→



この情報のURL : <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10002010>

URLをコピー

令和4年度 CLT活用建築物等実証事業（2次募集）

お気に入りに追加

CLTを活用した建築物の設計・建築又は部材の性能の実証、街づくり（隣接・近接箇所に複数のCLT建築物等を設計・建築）の実証、CLT製造企業との連携構築のためのモデル的な取組（CLTの低コストな安定供給に向けた実証）等を対象とした林野庁の補助事業です。新たな建築材料であるCLTについて、コストや耐震、居住性能、施工性等の観点から、普及性や先駆性が高いCLT建築物の設計・建築等の実証について提案を募り、実証事業をとおして事業化の課題や解決方法を明らかにすることを目的としています。建築費等の事業経費（補助率3/10、1/2）、地域協議会の運営費（定額）に対する補助金を受けることができます。

詳しくはこちら >

実施主体：林野庁

事業主体：木構造振興（株）、（公財）日本住宅・木材技術センター

募集期間：2022年7月29日（金）～9月2日（金）13時まで

補助制度 全国 建築主 設計者 その他 公共建築 民間建築 設計 建設 その他

この情報をシェアする→



この情報のURL : <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001998>

URLをコピー

HOKKAIDO WOOD BUILDING登録（北海道）

お気に入りに追加

北海道において道産木材を使用した建築物を登録し、施設内に木製の登録証を掲示することなどを通じ、道民に道産木材製品の魅力を広く発信し、認知度の向上を図るとともに、建築物の木造化、木質化を推進することで道産木材の利用拡大に資することを目的としています。対象となる建築物は、北海道内で完成した非住宅建築物であり、原則として構造材や内装材、外装材に道産木材を使用した建築物で、2019年4月以降に竣工したものとされています。

詳しくはこちら >

実施主体：北海道

募集期間：随時受付

表彰制度 北海道・東北 建築主 設計者 施工者 公共建築 民間建築

この情報をシェアする→



この情報のURL: <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001971>

URLをコピー

ウッドシティTOKYOモデル建築賞（東京都）

お気に入りに追加

東京都では、木材の大消費地・東京において、新たな木材需要を喚起することで、多摩地域をはじめ全国の森林循環を促進し、林業・木材産業の成長を図ることを目的とし、木材利用の新たな可能性を開拓する革新的・モデル的な建築物又は木質空間を表彰しております。

本年度は、都市部におけるオフィスの木質化のモデルとなる作品を表彰する「オフィス木質化賞」を新設し、作品の募集を開始しますので、お知らせいたします。

※応募受付期間を、2022年10月14日（金）まで延長になりました

詳しくはこちら >

実施主体：東京都

事業主体：ウッドシティTOKYOモデル建築賞運営事務局

募集期間：2022年7月7日（木）から10月14日（金）

表彰制度 関東 建築主 設計者 施工者 公共建築 民間建築

この情報をシェアする→



この情報のURL: <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001963>

URLをコピー

令和4年度木材利用優良施設等コンクール

お気に入りに追加

本コンクールでは、木材を活用した施設について、木質資源の持続的かつ有効な活用のあり方、建築物の木造化・木質化のための工夫、木材利用による地球温暖化対策等への貢献等を総合的に審査し、優れた施設を顕彰することにより、年間を通じて国産材を大量に使用した事業者等を顕彰することにより、木材利用の一層の推進を図ることを目的にコンクールを実施します。優良施設部門では、内閣総理大臣賞、農林水産大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞などの特賞と、入賞作品50点が選定されます。また、今年度から新たに、国産材利用の拡大に向けた取組を積極的に行っている建築事業者等を表彰する「国産材利用推進部門」を設けました。この部門の最優秀者には農林水産大臣賞を授与されます。

詳しくはこちら >

実施主体：木材利用推進中央協議会

募集期間：2022年7月8日（金）～8月29日（月）

表彰制度 全国 公共建築 民間建築

この情報をシェアする→



この情報のURL: <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001957>

URLをコピー

令和4年度 中大規模木造建築技術実証事業(2次募集)

お気に入りに追加

本事業は、非住宅・中高層分野の建築物における木造化・木質化に向けて、建築物における実証を通じて、高い普及性が見込まれる新たな技術等の開発や再検証・改善を行う事業についての提案を募り、その過程により、新たな発想等を引き出すとともに、普及のための課題点やその解決方法を明らかにし、具体的な需要につなげることを目的としています。提案する実証事業に係る助成率は建築実証の場合は3/10、技術開発実証又は再検証・改善実証の場合は定額を上限に助成します。

詳しくはこちら >

事業主体：木構造振興（株）、（公財）日本住宅・木材技術センター

募集期間：2022年7月4日（月）～8月8日（月）13時まで

補助制度 全国 建築主 設計者 施工者 その他 公共建築 民間建築 建設 その他

この情報をシェアする→



この情報のURL: <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001947>

URLをコピー

第17回 木の建築賞

お気に入りに追加

「木の建築賞」は、木に関心のある人たちに応募を呼びかけ、優秀な建築・活動を顕彰することにより、木造文化の向上に寄与することを目的としています。今回は東海・北陸地区（静岡県、愛知県、岐阜県、三重県、石川県、福井県、富山県）を対象とし、木材を主体とした建築作品または木材利用に関わる活動を顕彰します。

詳しくはこちら >

事業主体：NPO木の建築フォーラム、公益社団法人日本建築士会連合会

募集期間：2022年5月16日（月）～7月31日（日） ※7月31日までにエントリーが必要

表彰制度 中部 近畿 建築主 設計者 施工者 公共建築 民間建築

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001932>

URLをコピー

令和4年度 内外装木質化等の効果実証事業

お気に入り追加

本事業では、民間非住宅建築物における木材利用の促進を図るため、民間の創意工夫によるオフィスやホテル等の施設における内外装木質化等の効果の実証についての提案を募り、審査により選定された提案に対し助成等を行うことにより、内外装木質化等におけるニーズや効果のデータ化とその効果的な普及を行い、内外装木質化等の具体的な需要につなげることを目的としています。今年度からは内装の木質化のほか、外装の木質化も対象としております。助成率は定額とし、原則として、1件あたりの助成金の上限額は6,000,000円、採択予定件数は6件です。

※(更新内容)説明会を令和4年6月30日（木）10時30分より、オンライン開催します

事業主体：木構造振興（株）、（公財）日本住宅・木材技術センター

募集期間：2022年6月21日（火）～7月20日（水）13時まで

補助制度 全国 建築主 設計者 施工者 その他 民間建築 建設 その他

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001930>

URLをコピー

詳しくはこちら>

令和4年度 建築用木材の転換促進支援事業

お気に入り追加

我が国への輸入木材の供給不足等に起因して、国内において木材需給の逼迫が続いていることに加え、一般のロシアへの経済制裁に伴う送金の困難化や、船舶の確保の困難化等もあり、今後ロシア材が不足し、更なる輸入木材の供給の減少に直面する事態となっています。本事業は、木造建築物等の設計・施工において、ウクライナ情勢により影響を受けるロシア材から国産材などの品質・性能の確かな木材へ転換し、その転換に関する情報を整理する取組を支援するものです。施工者を対象とした部材転換と設計者を対象とした設計転換の2種類があります。

事業主体：一般社団法人全国木材組合連合会

募集期間：2022年6月17日（金）～7月20日（水）17時（必着）

補助制度 全国 設計者 施工者 公共建築 民間建築 設計 建設

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001925>

URLをコピー

詳しくはこちら>

令和4年度 木造非住宅建築物設計・建築実証事業（愛知県）

お気に入り追加

本事業では、現状では鉄骨造等の非木造が一般的なオフィスや店舗、倉庫などの非住宅建築物（共同住宅を含む）を対象に、木造による設計や建築の実証を行うことにより、建築コスト、工期や県産木材をはじめとした木材調達における課題の明確化、木造化によるメリット等のデータ収集・検証を行うこととし、これら実証に要する経費を助成します。事業の対象物件は、愛知県内で新築する非住宅建築物になります。

事業主体：環境都市実現のための木造化・木質化推進あいち協議会

募集期間：※応募は順次受け、予算額に達し次第終了します。

補助制度 中部 建築主 設計者 施工者 民間建築 設計 建設

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001923>

URLをコピー

詳しくはこちら>

令和4年度 サステナブル建築物等先導事業(木造先導型)及び優良木造建築物等整備推進事業（Ⅱ期募集）

お気に入り追加

令和4年度住宅・建築物環境対策事業のうち「サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）」並びに、令和4年度住宅・建築物等カーボンニュートラル総合推進事業のうち「優良木造建築物等整備推進事業」について、募集が開始されました。本募集は、住宅・建築物の木造化に係る先導的な技術の普及啓発に寄与する木造建築物の整備を行うサステナブル建築物等先導事業（木造先導型）、又は、炭素貯蔵効果が期待できる木造建築物の整備を行う優良木造建築物等整備推進事業を活用

詳しくはこちら>

しようとするプロジェクトの提案を募集し、応募のあった提案について、木造先導事業又は優良木造事業の要件等を踏まえた審査を行い、事業の目的に合う提案に対し、予算の範囲内において、当該提案に基づくプロジェクトの実施に要する費用の一部を補助することを目的として実施するものです。

実施主体：国土交通省

事業主体：一般社団法人木を活かす建築推進協議会

募集期間：2022年7月1日(金)～8月26日(金)17時必着

補助制度 全国 建築主 公共建築 民間建築 建設 その他

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001915>

URLをコピー

令和4年度 地域における非住宅木造建築物整備推進事業

お気に入りに追加

建築物に木材を利用することは、健康的で快適な空間を提供するとともに、二酸化炭素の排出の抑制、炭素蓄積による地球温暖化防止 並びに 資源循環型社会の形成に大きく貢献します。戦後造林した人工林が本格的な利用期を迎えている中、豊富な森林資源を循環利用し、建築物における木材利用を拡大することが急務となっております。

本事業では、地域における非住宅木造建築物等の整備推進に向けて、地域の企業や行政が参画する地域協議会等を対象に、専門家の派遣による木造化・木質化のノウハウの提供や設計支援等を行います。なお、直接・間接共に具体的案件を一切持たない地域団体等に対しても、その地域に応じた多様な形態の支援を行いますので、安心して応募してください。

※建築物そのものへの補助金等の支援ではありません。

事業主体：一般社団法人 木を活かす建築推進協議会

募集期間：2022年7月1日（金）～7月31日（日）

補助制度 全国 設計者 施工者 その他 その他

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001908>

URLをコピー

詳しくはこちら >

第18回 公共建築賞

お気に入りに追加

対象となる建築物は、国の機関、地方公共団体又は政府関係若しくはこれに準ずる機関が施行した建築物及びその他公共性の高い建築物で、竣工後、3年以上を経過したものとし、3つの項目により評価を行っています。こうして極めて優れた建築物の関係者（事業者又は建築主若しくは施設管理者・設計者・施工者）の方々に対し表彰を行っています。

こちらの表彰制度は、木造に限ったものではありませんが、「木材活用、環境への配慮、保存・活用、地域振興等」の特に優れた特徴をもつ建築物 2点内外を、国土交通省大臣官房官庁営繕部長表彰となります。

実施主体：一般社団法人 公共建築協会

募集期間：2022年6月1日（水）～8月31日（水）

表彰制度 全国 建築主 設計者 施工者 公共建築

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001906>

URLをコピー

詳しくはこちら >

ウッドデザイン賞2022

お気に入りに追加

木を使うことによって、社会課題の解決を目指す活動を、「ウッドデザイン」と定義しています。SDGsやカーボンニュートラルへの取組が必須となっている今、森林や木材の利活用がクローズアップされています。木を活かして、新たな時代の価値をデザインする。「ウッドデザイン賞」は、木の良さや価値を、デザインの力で再構築することを目的として、優れた建築・空間や製品、活動や仕組み、研究等を募集・評価し、表彰する顕彰制度です。

ウッドデザイン賞を通じて、多様な知見やアイデア、ネットワークを持つ皆さんが集い、新たな時代の価値づくりに参画していただくことが本賞の最大の目的です。「ウッドデザイン」の普及・定着を通じて、持続可能な社会を共に実現していきたいと考えています。

実施主体：一般社団法人 日本ウッドデザイン協会

募集期間：2022年6月20日（月）10：00～7月31日（日）18：00

表彰制度 全国 建築主 設計者 施工者 公共建築 民間建築

この情報をシェアする→



詳しくはこちら >

令和4年度 中大規模木造建築技術実証事業

お気に入りに追加

本事業は、非住宅・中高層分野の建築物における木造化・木質化に向けて、建築物における実証を通じて、高い普及性が見込まれる新たな技術等の開発や再検証・改善を行う事業についての提案を募り、その過程により、新たな発想等を引き出すとともに、普及のための課題点やその解決方法を明らかにし、具体的な需要につなげることを目的としています。提案する実証事業に係る助成率は建築実証の場合は3/10、技術開発実証又は再検証・改善実証の場合は定額を上限に助成します。

詳しくはこちら >

事業主体：木構造振興（株）、（公財）日本住宅・木材技術センター

募集期間：2022年6月3日（金）～6月29日（水）13時まで

補助制度 全国 建築主 設計者 施工者 その他 公共建築 民間建築 建設 その他

この情報をシェアする→



令和4年度 JAS構造材個別実証支援事業（2次募集）

お気に入りに追加

JAS構造材活用宣言事業における登録事業者（施工者）が施工する3階建て以下の戸建専用住宅・事業用併用住宅を除く建築物（施主が国以外）にJAS構造材（機械等級区分構造用製材、枠組壁工法用構造用製材等、構造用集成材、構造用単板積層材、構造用合板、構造用パネル）が活用された実証的取組みに対し、JAS構造材の調達費用の一部を助成します。

詳しくはこちら >

実施主体：林野庁

事業主体：一般社団法人全国木材組合連合会

募集期間：2022年6月1日（水）～6月30日（木）17時まで

補助制度 全国 施工者 公共建築 民間建築 建設

この情報をシェアする→



令和4年度 サステナブル建築物等先導事業（省CO2先導型）

お気に入りに追加

本事業では、省エネ・省CO2に係る先導的な技術の普及啓発に寄与する住宅・建築物のリーディングプロジェクトに対して、国が予算の範囲内で支援します。これにより、関係主体が事業の成果等を広く公表し、取り組みの広がりや意識啓発に寄与することを目的とします。募集部門は①一般部門（建築物（非住宅）、共同住宅、戸建住宅）、②中小規模建築物部門（非住宅）に分かれております。木造、S造、RC造等の構造別等幅広い分野でのプロジェクトを対象とするとともに、幅広い分野のバランスに配慮して評価します。今般、建築物における省CO2対策をさらに徹底して追求することが必要不可欠であり、こうした問題意識にたった実効性の高い提案をお待ちしております。

詳しくはこちら >

実施主体：国土交通省

事業主体：サステナブル建築物等先導事業（省CO2先導型）評価事務局

募集期間：2022年6月1日（水）～7月5日（火）（消印有効）

補助制度 全国 建築主 その他 設計 建設 その他

この情報をシェアする→



令和4年度 CLT活用建築物等実証事業

お気に入りに追加

CLTを活用した建築物の設計・建築又は部材の性能の実証、街づくり（隣接・近接箇所に複数のCLT建築物等を設計・建築）の実証、CLT製造企業との連携構築のためのモデル的な取組（CLTの低コストな安定供給に向けた実証）等を対象とした林野庁の補助事業です。新たな建築材料であるCLTについて、コストや耐震、居住性能、施工性等の観点から、普及性や先駆性が高いCLT建築物の設計・建築等の実証について提案を募り、実証事業をととして事業化の課題や解決方法を明らかにすることを目的としています。建築費等の事業経費（補助率3/10、1/2）、地域協議会の運営費（定額）に対する補助金を受けることができます。

詳しくはこちら >

事業主体：木構造振興（株）、（公財）日本住宅・木材技術センター

募集期間：2022年5月30日（月）～6月27日（月）13時まで

補助制度 全国 建築主 設計者 その他 公共建築 民間建築 設計 建設 その他

この情報をシェアする→



この情報のURL: <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001855>

URLをコピー

外構部の木質化対策支援事業（企画提案型実証事業）

お気に入りに追加

木製外構施設（戸建住宅の外構施設を除く。）を整備することにより、外構部における木材の新たな利用方法の企画および性能の確認、利用者や社会に及ぼす効果等の把握など、先進的な取組の効果を実証する事業を支援します。補助の対象者は、対象施設を施工し、あらかじめ設定した課題の解決に取り組む工務店、建築・建設業者等で、経費の一部を定額補助します。

実施主体：林野庁

事業主体：公益財団法人日本住宅・木材技術センター

募集期間：2022年5月11日（水）～6月24日（金）

補助制度 全国 施工者 公共建築 民間建築 建設

この情報をシェアする→



この情報のURL: <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001820>

URLをコピー

川崎市木材利用促進事業補助制度

お気に入りに追加

川崎市内の多くの市民が利用する民間建築物等において、内外装の木質化や木製什器の設置等により木材を積極的かつ効果的に活用する取組に対し、木質化に係る費用の一部を支援するものです。

※従来の店舗等の木質化に加え、令和4年度からはオフィスのエントランスや待ち合いスペース、応接室なども補助対象とすることができるようになりました。これを機会にぜひ活用に向けて御検討ください。

実施主体：川崎市

募集期間：2022年5月6日（金）～5月31日（火）

補助制度 関東 建築主 民間建築 建設

この情報をシェアする→



この情報のURL: <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001818>

URLをコピー

令和3年度 CLT活用建築物等実証事業(4次募集)

お気に入りに追加

CLTを活用した建築物の設計、建築等の実証を行う建築主等を対象とした林野庁の補助事業です。新たな建築材料であるCLTについて、コストや耐震、居住性能、施工性等の観点から、普及性や先駆性が高いCLT建築物の設計・建築等の実証について提案を募り、実証事業をおとして事業化の課題や解決方法を明らかにすることを目的としています。建築費等の事業経費（補助率3/10、1/2）、地域協議会の運営費（定額）に対する補助金を受けることができます。

事業主体：木構造振興（株）、（公財）日本住宅・木材技術センター

募集期間：2022年4月27日（水）～5月27日（金）13時まで

補助制度 全国 建築主 設計者 施工者 公共建築 民間建築 設計 建設 その他

この情報をシェアする→



この情報のURL: <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001768>

URLをコピー

令和4年度サステナブル建築物等先導事業(木造先導型)及び優良木造建築物等整備推進事業

お気に入りに追加

令和4年度住宅・建築物環境対策事業のうち「サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）」並びに、令和4年度住宅・建築物等カーボンニュートラル総合推進事業のうち「優良木造建築物等整備推進事業」について、募集が開始されました。本募集は、住宅・建築物の木造化に係る先導的な技術の普及啓発に寄与する木造建築物の整備を行うサステナブル建築物等先導事業（木造先導型）、又は、炭素貯蔵効果が期待できる木造建築物の整備を行う優良木造建築物等整備推進事業を活用しようとするプロジェクトの提案を募集し、応募のあった提案について、木造先導事業又は優良木造事業の要件等を踏まえた審査を行い、事業の目的に合う提案に対し、予算の範囲内において、当該提案に基づくプロジェクトの実施に要する費用の一部を補助することを目的として実施するものです。

実施主体：国土交通省

事業主体：一般社団法人木を活かす建築推進協議会

募集期間：2022年4月22日(金)～6月10日(金)

補助制度 全国 建築主 公共建築 民間建築 建設 その他

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001762>

URLをコピー

令和4年度 JAS構造材個別実証支援事業

お気に入りに追加

JAS構造材活用宣言事業における登録事業者（施工者）が施工する3階建て以下の戸建専用住宅・事業用併用住宅を除く建築物（施主が国以外）にJAS構造材（機械等級区分構造用製材、枠組壁工法用構造用製材等、構造用集成材、構造用単板積層材、構造用合板、構造用パネル）が活用された実証的取組に対し、JAS構造材の調達費用の一部を助成します。

詳しくはこちら >

実施主体：林野庁

事業主体：一般社団法人全国木材組合連合会

募集期間：2022年4月11日～5月25日

補助制度 全国 施工者 公共建築 民間建築 建設

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001732>

URLをコピー

令和3年度 CLT等木質建築部材技術開発・普及事業

お気に入りに追加

今般の木材不足・価格高騰（いわゆるウッドショック）へ緊急に対応するため、住宅等の建築に当たって調達が困難になった資材を設計・施工上の工夫等を通じて代替となる木材製品へ転換していく取組を進める上では、品質や性能が明らかな製材やCLT等の製品の利用を推進していくことが重要となっています。そこで本事業は、CLT等木質建築部材技術開発・普及及び品質・性能の確かな製品の性能検証等の取組の事業についての提案を募り、具体的な需要につなげることを目的としています。

詳しくはこちら >

事業主体：木構造振興株式会社

募集期間：2022年2月21日（月）～3月14日（月）13時（書類必着）

補助制度 全国 設計者 施工者 その他

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001640>

URLをコピー

令和3年度補正 CLT建築実証事業

お気に入りに追加

CLTを活用した建築物の設計、建築等の実証を行う建築主等を対象とした林野庁の補助事業です。新たな建築材料であるCLTについて、コストや耐震、居住性能、施工性等の観点から、普及性や先駆性が高いCLT建築物の設計・建築等の実証について提案を募り、実証事業をとおして事業化の課題や解決方法を明らかにすることを目的としています。建築費等の事業経費（補助率3/10、1/2）、地域協議会の運営費（定額）に対する補助金を受けることができます。

詳しくはこちら >

事業主体：木構造振興（株）、（公財）日本住宅・木材技術センター

募集期間：2022年2月28日(月)～3月29日(火)13:00まで

補助制度 全国 建築主 公共建築 民間建築 設計 建設 その他

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001636>

URLをコピー

みやざき材活用施設設置支援事業（宮崎県以外）

お気に入りに追加

宮崎県外に所在する、不特定多数の者の利用が見込まれるPR効果が高い施設（店舗、飲食店、空港、港、駅、銀行、観光施設、式場、展示場、貸会議室、その他知事が認めるもののうち、不特定多数の者が利用する空間に限る。）において、宮崎県産材を活用した施設整備等に対して支援を行います。

※事業自体は令和5年度まで実施

※対象地域は宮崎県を除く全国

詳しくはこちら >

実施主体：宮崎県

募集期間：2022年2月15日(火)まで

補助制度 北海道・東北 関東 中部 近畿 中国・四国 九州・沖縄 建築主 設計者 施工者 その他
民間建築 建設 その他

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001569>

URLをコピー

木の香る都市（まち）づくり事業

お気に入りに追加

愛知県では、山から街まで緑豊かな愛知の実現を目指して「あいち森と緑づくり税」を活用した「あいち森と緑づくり事業」を実施しており、その一つとして森林整備や木材利用の普及啓発に取り組んでいます。「木の香る都市づくり事業」では県産材を利用したPR効果の高い民間施設へ支援を行っています。

詳しくはこちら>

実施主体：愛知県

募集期間：2021年4月1日～5月10日

補助制度 中部 建築主 設計者 施工者 民間建築 建設

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001490>

URLをコピー

第5回あいち木づかい表彰制度

お気に入りに追加

愛知県では、愛知県産木材の魅力や優れた使い方を普及するため、あいち認証材*を積極的に利用した木の良さを実感できPR効果の高い建築物や家具、建設資材などの製品等を表彰しています。（※愛知県内で産出されたことを愛知県産材認証機構の認定事業者が証明した素材、製材品、木製品を指します。）

詳しくはこちら>

実施主体：愛知県

募集期間：2021年9月1日～10月29日

表彰制度 中部 建築主 設計者 施工者 その他 公共建築 民間建築

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001488>

URLをコピー

第4回 COFI木造建築デザインアワード

お気に入りに追加

日本における中層木造の発展と普及促進を目的として、木造工法（2×4工法、木造軸組工法、その他の木造工法）による制限および使用木材の生産・加工地での応募制限を設けないという完全にオープンな形で開催します。前回までは中層（4層階以上）に限定されていましたが、今回は3層階以上で1,000平米以上の木造建築物も対象に加わり、「中層」と「大型」の2つの部門で表彰することになりました。応募者は、当該木造建築物を設計または施工した個人・組織としています。

詳しくはこちら>

実施主体：カナダ林産業審議会/カナダウッド

募集期間：2021年11月15日～2022年1月17日

表彰制度 全国 設計者 施工者 公共建築 民間建築

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001483>

URLをコピー

中・大規模建築物の木造木質化支援事業（東京都）

お気に入りに追加

中・大規模の民間建築物の設計において、木造木質化を実現するための支援を行うことにより、木造木質化の事例を増加させ、中・大規模の木造木質化建築物の建築促進と、全国各地の木材利用促進、さらに森林整備の好循環へつなげていくことを目的としています。対象は東京都所在施設になります。

※<令和4年4月主な改正内容> 多摩産材の使用割合は一律3割以上となりました。

※<令和4年6月主な改正内容> 実施設計に加え、工事についても補助対象となりました。

詳しくはこちら>

実施主体：東京都

事業主体：公益財団法人東京都農林水産振興財団

募集期間：随時受付

補助制度 関東 建築主 民間建築 設計

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuзouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001461>

URLをコピー

木の街並み創出事業（東京都）

お気に入りに追加

民間施設（オフィスビルや商業施設等）において、都民の目に触れ、接することができる建築物の外壁や外構に広く木材の利用を進めることで、多摩産材等の普及と需要拡大を図ります。対象は東京都所在施設になります。

※竣工及び事業費支払い完了が令和8年度末までの工事が対象です。

実施主体：東京都

事業主体：公益財団法人東京都農林水産振興財団

募集期間：随時受付（竣工及び施工業者への事業費支払いが令和8年度末までに完了すること）

補助制度 関東 建築主 民間建築 建設

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuзouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001459>

URLをコピー

にぎわい施設で目立つ多摩産材推進事業（東京都）

お気に入りに追加

終日多くの人が集まり、誰でも利用できる民間事業者が運営する施設（にぎわい施設）での、多摩産材の利用を支援します。目立つ形で多摩産材を利用し、より多くの目に触れることで、多摩産材のPR及び利用拡大に繋げていきます。対象は東京都所在施設になります。

※（事業延長決定）採択は令和7年度まで、竣工及び事業費支払い完了が令和8年度末までの工事が対象です。

実施主体：東京都

事業主体：公益財団法人東京都農林水産振興財団

募集期間：事前相談：2022年9月7日（水）～10月3日（月）、事業申請：2022年9月7日（水）～11月1日（火）

補助制度 関東 建築主 民間建築 建設

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuзouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001457>

URLをコピー

公共施設への多摩産材利用促進プロジェクト事業（東京都）

お気に入りに追加

区市町村が整備する施設において、多摩産材等を利用した木造化や内装木質化、木製什器、木製外構施設等の整備を支援することにより、木の良さや木の価値を広く発信し、多摩産材等の利用拡大を図ります。対象は都内に所在する区市町村立施設となります。

実施主体：東京都

事業主体：東京都

募集期間：随時受付（年度内予算に達し次第、受付終了）

補助制度 関東 建築主 公共建築 建設

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuзouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001455>

URLをコピー

令和3年度 外構部の木質化対策支援事業（外構実証型事業）【3次募集】

お気に入りに追加

この事業は、これまで木材利用が低位であった施設等の外構部の木質化により、木製外構の認知度の向上や木製外構に関する知識の普及並びに情報の収集等の取組を支援することにより、木材の新たな需要を創出することを目的としています。幅広い外構施設に助成を行うため、地域・住宅／非住宅で募集件数を設定し募集します。この3次募集では1事業者あたりの申込件数の上限はありません。

実施主体：林野庁

詳しくはこちら >

事業主体：全国木材協同組合連合会

募集期間：事前申込：2021年8月18日～9月30日17時、事業申込：2021年8月23日～10月8日17時

補助制度 全国 施工者 公共建築 民間建築 建設

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001444>

URLをコピー

令和3年度 CLT活用建築物等実証事業(3次募集)

お気に入りに追加

CLTを活用した建築物の設計、建築、街づくり等の実証を行う建築主等を対象とした林野庁の補助事業です。新たな建築材料であるCLTについて、コストや耐震、居住性能、施工性等の観点から、普及性や先駆性が高いCLT建築物の設計・建築等の実証について提案を募り、実証事業をとおして事業化の課題や解決方法を明らかにすることを目的としています。建築費等の事業経費（補助率3/10、1/2）、地域協議会の運営費（定額）に対する補助金を受けることができます。

詳しくはこちら>

事業主体：木構造振興（株）、（公財）日本住宅・木材技術センター

募集期間：2021年9月15日～10月13日

補助制度 全国 建築主 設計者 施工者 公共建築 民間建築 設計 建設 その他

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001774>

URLをコピー

CLTアイデアコンテスト2021

お気に入りに追加

CLTアイデアコンテストは、2015年に第1回を開催し、初回は「アイデア部門」のみを実施して、テーマや応募条件を設けず自由な発想による作品を募集しました。第3回（2017年）からは、実際の設計に携わる方を対象とする「設計部門」を設け、実現性のあるCLT建築物の提案の募集を始めました。

設計部門としては第5回（コンテスト自体は第7回）となる今回は、CLTのさらなる可能性や新たな利用方法の提案を募集します。本コンテストを通じて、CLTの普及やCLTを利用した工法等の新たな技術開発を推進し、都市の更なる木造・木質化を目指します。

詳しくはこちら>

実施主体：一般社団法人 日本CLT協会

募集期間：2021年12月6日（月）締切

表彰制度 設計者 その他

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001136>

URLをコピー

令和3年度 CLT活用建築物等実証事業(追加募集)

お気に入りに追加

CLTを活用した建築物の設計、建築、街づくり等の実証を行う建築主等を対象とした林野庁の補助事業です。新たな建築材料であるCLTについて、コストや耐震、居住性能、施工性等の観点から、普及性や先駆性が高いCLT建築物の設計・建築等の実証について提案を募り、実証事業をとおして事業化の課題や解決方法を明らかにすることを目的としています。建築費等の事業経費（補助率3/10、1/2）、地域協議会の運営費（定額）に対する補助金を受けることができます。これに伴い、公募説明会を8/5にオンラインにて開催します(要事前応募：先着100名程度)。

詳しくはこちら>

実施主体：林野庁

事業主体：木構造振興（株）、（公財）日本住宅・木材技術センター

募集期間：2021年7月28日～8月25日

補助制度 全国 建築主 その他 公共建築 民間建築 設計 建設 その他

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001418>

URLをコピー

令和3年度 民間部門主導の木造公共建築物等整備推進事業

お気に入りに追加

本事業では、民間部門主導の木造公共建築物等整備推進に向けて、地域の企業や行政が参画する地域協議会等を対象に、専門家の派遣による木造化・木質化のノウハウの提供や設計支援等を行います。支援実施に当たり、木造建築物の具体的な案件があれば、それを題材とした具体的・実践的な支援が可能です。地域団体等が直接案件を持たない場合であっても、間接的な係わりのプロジェクト等を含め、積極的に取り上げていただくことを推奨します。

詳しくはこちら>

実施主体：林野庁

事業主体：一般社団法人木を活かす建築推進協議会

募集期間：2021年7月1日（木）～7月31日（土）

補助制度 全国 設計者 施工者 その他 公共建築 民間建築 設計 その他

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001309>

URLをコピー

令和3年度木材利用優良施設コンクール

お気に入りに追加

本コンクールでは、木材利用の一層の推進を図るため、木材利用分野の拡大や特色ある木材利用に資する施設等を対象として、施主、設計者、施工者の三者を表彰しています。特に優れた施設には内閣総理大臣賞、農林水産大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞などの特賞が13点と、今年度から新たに入賞作品50点が選定されます。

詳しくはこちら>

実施主体：木材利用推進中央協議会

募集期間：2021年6月28日（月）～8月23日（月）

表彰制度 全国 建築主 設計者 施工者

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001306>

URLをコピー

令和3年度 外構部の木質化対策支援事業（外構実証型事業）

お気に入りに追加

この事業は、これまで木材利用が低位であった施設等の外構部の木質化により、木製外構の認知度の向上や木製外構に関連する知識の普及並びに情報の収集等の取組を支援することにより、木材の新たな需要を創出することを目的としています。幅広い外構施設に助成を行うため、地域・住宅／非住宅で募集件数を設定し募集します。

詳しくはこちら>

実施主体：林野庁

事業主体：全国木材協同組合連合会

募集期間：①2021年6月21日（月）13時から ②2021年7月26日（月）（予定）

補助制度 全国 施工者 公共建築 民間建築 建設

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001291>

URLをコピー

ウッドデザイン賞2021

お気に入りに追加

ウッドデザイン賞は、木の良さや価値を再発見させる製品や取組みについて、特に優れたものを消費者目線で表彰し、木材利用を促進する顕彰制度です。建築、木製品、取組、技術・研究など木材利用促進につながるすべてのモノ・コトを応募対象としています。

詳しくはこちら>

実施主体：ウッドデザイン賞運営事務局（林野庁補助事業）

募集期間：2021年6月21日（月）10:00～7月30日（金）18:00

表彰制度 全国 建築主 設計者 施工者 公共建築 民間建築

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001288>

URLをコピー

第16回 木の建築賞

お気に入りに追加

「木の建築賞」は、木に関心のある人たちに応募を呼びかけ、優秀な建築・活動を顕彰することにより、木造文化の向上に寄与することを目的としています。今回は東北地区（青森県・岩手県・宮城県・山形県・秋田県・福島県）を対象とし、木材を主体とした建築作品または木材利用に関わる活動を顕彰します。

詳しくはこちら>

実施主体：NPO木の建築フォーラム、公益社団法人日本建築士会連合会

募集期間：2021年7月1日～8月15日 ※7月31日までにエントリーが必要

表彰制度 北海道・東北 建築主 設計者 施工者 公共建築 民間建築

この情報をシェアする→



この情報のURL : <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001283>

URLをコピー

令和3年度 外構部の木質化対策支援事業（企画提案型実証事業）

お気に入りに追加

木製外構施設（住宅の外構施設を除く。）を整備することにより、外構部における木材の新たな利用方法の企画および性能の確認、利用者や社会に及ぼす効果等の把握など、先進的な取組の効果を実証する事業を支援します。補助の対象者は、対象施設を施工し、あらかじめ設定した課題の解決に取り組む工務店、建築・建設業者等で、経費の一部を定額補助します。

詳しくはこちら >

実施主体：林野庁

事業主体：（公財）日本住宅・木材技術センター

募集期間：2021年6月1日～7月12日

補助制度 全国 施工者 公共建築 民間建築 建設

この情報をシェアする→



この情報のURL : <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001281>

URLをコピー

令和3年度 内装木質化等の効果実証事業

お気に入りに追加

民間の創意工夫によるオフィスやホテル等の施設について内装木質化等の効果の実証についての提案を募り、審査により選定された提案に対し助成等を行うことにより、内装木質化等におけるニーズや効果のデータ化とその効果的な普及を行い、内装木質化等の具体的な需要につなげることを目的としています。内装木質化による効果を検証する方むけの実証事業になります。

詳しくはこちら >

実施主体：林野庁

事業主体：木構造振興（株）、（公財）日本住宅・木材技術センター

募集期間：2021年6月1日～7月8日

補助制度 全国 建築主 設計者 施工者 その他 民間建築 建設 その他

この情報をシェアする→



この情報のURL : <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001279>

URLをコピー

令和3年度 CLT活用建築物等実証事業

お気に入りに追加

CLTを活用した建築物の設計、建築、街づくり等の実証を行う建築主等を対象とした林野庁の補助事業です。新たな建築材料であるCLTについて、コストや耐震、居住性能、施工性等の観点から、普及性や先駆性が高いCLT建築物の設計・建築等の実証について提案を募り、実証事業をととして事業化の課題や解決方法を明らかにすることを目的としています。建築費等の事業経費（補助率3/10、1/2）、地域協議会の運営費（定額）に対する補助金を受けることができます。これに伴い、公募説明会を6/1にオンラインにて開催します(要事前応募：先着100名程度)。

詳しくはこちら >

実施主体：林野庁

事業主体：木構造振興（株）、（公財）日本住宅・木材技術センター

募集期間：2021年5月21日～6月18日

補助制度 全国 建築主 その他 公共建築 民間建築 設計 建設 その他

この情報をシェアする→



この情報のURL : <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001269>

URLをコピー

第3回 COFI中層木造建築デザインアワード

お気に入りに追加

日本における中層木造の発展と普及促進を目的として、木造工法（2×4工法、木造軸組工法、その他の木造工法）による制限および使用木材の生産・加工地での応募制限を設けないという完全にオープンな形で開催された4層階以上の木造建築物を対象に行われたものです。応募者は、当該木造建築物を設計または施工した個人・組織としています。

詳しくはこちら >

事業主体：カナダ林産業審議会/カナダウッド

募集期間：2020年11月16日～2021年1月15日

表彰制度 全国 設計者 施工者 公共建築 民間建築

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001264>

URLをコピー

「T-1グランプリ2020 および T-1ホームコネクター賞2020、LVL賞2020」

お気に入りに追加

T-1グランプリは、「都市木造の未来・可能性を見せてくれる建築」という観点から、際だって優れた作品の設計者に贈られます。このグランプリは先進的な木造建築を紹介し、その可能性を広く知っていただくことを目標としています。ホームコネクター賞は、接合部にホームコネクターを使用した作品を対象として、LVL賞は、建材にLVLを使用した作品を対象として、先進的な木造建築を紹介し、その可能性を広く知っていただくことを目標としています。

詳しくはこちら >

実施主体：NPO法人 team Timberize

事業主体：NPO法人 team Timberize

募集期間：2021年5月1日～2021年6月30日

表彰制度 全国 設計者 公共建築 民間建築

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001262>

URLをコピー

令和3年度 サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）

お気に入りに追加

民間事業者・地方公共団体等による、構造・防火面での先導的な設計・施工技術が導入される木造建築物のプロジェクトを公募し、有識者委員会により選定します。選定されたプロジェクトについては、調査設計費は「先導的な木造化に関する費用の1/2以下」、建設工事費は「木造化による掛増し費用の1/2以下(算出が困難な場合は建設工事費の15%)」で、原則合計5億円以内で補助します。

詳しくはこちら >

実施主体：国土交通省

事業主体：一般社団法人木を活かす建築推進協議会

募集期間：①2021年4月1日～4月23日、②2021年4月26日～7月30日、③2021年8月2日～10月29日

補助制度 全国 建築主 公共建築 民間建築 設計 建設 その他

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001239>

URLをコピー

令和3年度 JAS構造材個別実証支援事業

お気に入りに追加

JAS構造材活用宣言事業における登録事業者が、構造材にJAS構造材を活用する低層の戸建て住宅を除く建築物（施主が国以外）の実証的取組みに対し、構造材の調達費用の一部を助成します。

詳しくはこちら >

実施主体：林野庁

事業主体：一般社団法人全国木材組合連合会

募集期間：2021年3月31日～5月14日

補助制度 全国 施工者 公共建築 民間建築 建設

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001237>

URLをコピー

令和2年度補正 CLT建築実証事業(追加募集)

お気に入りに追加

CLTを活用した建築物の設計、建築等の実証を行う建築主等を対象とした林野庁の補助事業です。新たな建築材料であるCLTについて、コストや耐震、居住性能、施工性等の観点から、普及性や先駆性が高いCLT建築物の設計・建築等の実証について提案を募り、実証事業をととして事業化の課題や解決方法を明らかにすることを目的としています。建築費等の事業経費（補助率3/10、1/2）、地域協議会の運営費（定額）に対する補助金を受けることができます。

詳しくはこちら >

実施主体：林野庁

事業主体：木構造振興（株）、（公財）日本住宅・木材技術センター

募集期間：2021年3月30日～4月30日

[補助制度](#) [全国](#) [建築主](#) [設計者](#) [施工者](#) [公共建築](#) [民間建築](#) [設計](#) [建設](#) [その他](#)

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001219>

URLをコピー

令和2年度補正 CLT建築実証事業

お気に入りに追加

CLTを活用した建築物の設計、建築等の実証を行う建築主等を対象とした林野庁の補助事業です。新たな建築材料であるCLTについて、コストや耐震、居住性能、施工性等の観点から、普及性や先駆性が高いCLT建築物の設計・建築等の実証について提案を募り、実証事業をとおして事業化の課題や解決方法を明らかにすることを目的としています。建築費等の事業経費（補助率3/10、1/2）、地域協議会の運営費（定額）に対する補助金を受けることができます。

詳しくはこちら>

実施主体：林野庁

事業主体：木構造振興（株）、（公財）日本住宅・木材技術センター

募集期間：2021年2月19日～3月19日

[補助制度](#) [全国](#) [建築主](#) [公共建築](#) [民間建築](#) [設計](#) [建設](#) [その他](#)

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001140>

URLをコピー

令和元年度補正 CLT建築実証事業

お気に入りに追加

CLTを活用した建築物の設計、建築等の実証を行う建築主等を対象とした林野庁の補助事業です。新たな建築材料であるCLTについて、コストや耐震、居住性能、施工性等の観点から、普及性や先駆性が高いCLT建築物の設計・建築等の実証について提案を募り、実証事業をとおして事業化の課題や解決方法を明らかにすることを目的としています。建築費等の事業経費（補助率3/10、1/2）、地域協議会の運営費（定額）に対する補助金を受けることができます。

詳しくはこちら>

実施主体：林野庁

事業主体：木構造振興（株）、（公財）日本住宅・木材技術センター

募集期間：2020年2月20日～3月12日

[補助制度](#) [全国](#) [建築主](#) [その他](#) [公共建築](#) [民間建築](#) [設計](#) [建設](#) [その他](#)

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001084>

URLをコピー

令和2年度 CLT活用建築物等実証事業

お気に入りに追加

CLTを活用した建築物の設計、建築等の実証を行う建築主等を対象とした林野庁の補助事業です。新たな建築材料であるCLTについて、コストや耐震、居住性能、施工性等の観点から、普及性や先駆性が高いCLT建築物の設計・建築等の実証について提案を募り、実証事業をとおして事業化の課題や解決方法を明らかにすることを目的としています。建築費等の事業経費（補助率3/10、1/2）、地域協議会の運営費（定額）に対する補助金を受けることができます。

詳しくはこちら>

実施主体：林野庁

事業主体：木構造振興（株）、（公財）日本住宅・木材技術センター

募集期間：2020年4月30日～6月4日

[補助制度](#) [全国](#) [建築主](#) [その他](#) [公共建築](#) [民間建築](#) [設計](#) [建設](#) [その他](#)

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001083>

URLをコピー

令和2年度木材利用優良施設コンクール

お気に入りに追加

木材利用推進中央協議会は、昭和59年発足以来、各都道府県に設立された地方協議会と一体となり、木材の利用推進・需要拡大のための諸運動を実施しています。この一環として、平成5年度から農林水産省の後援の下に、木材の利用推進等に寄与すると認められた優良な施設に対して、毎年度、内閣総理大臣賞、農林水

詳しくはこちら>

産大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞、林野庁長官賞及び木材利用推進中央協議会会長賞等の表彰を実施しています。

実施主体：木材利用推進中央協議会

[表彰制度](#)

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=402&mode=one&code=10001135>

[URLをコピー](#)

[ホーム](#)

[ポータルサイト
について](#)

[中大規模木造建築
入門ガイド](#)

[設計技術情報](#)

[動画情報](#)

[講習会情報](#)

[担い手・サプライ
チェーン情報](#)

[補助金・表彰
制度情報](#)

[よくある質問](#)

[相談箱](#)

[初めての方へ](#)

[リンク集](#)

[サイトマップ](#)

[委員会について](#)

[個人情報の取り扱いについて](#)

[サイトポリシー](#)

[お問い合わせ](#)

[アンケート](#)



林野庁

©2020 中大規模木造建築ポータルサイト検討委員会

よくある質問

相談箱に掲載された中大規模木造建築に関するよくある質問をコチラに掲載しています。
今後、相談箱に掲載した内容や一般的に寄せられる中大規模木造建築に関する質問を追加掲載して参ります。
また、相談箱に質問される前に、一度コチラをご確認下さい。

項目一覧

お問い合わせ内容について、次の項目から選択して下さい。

▶ 材料

▶ 構造設計

▶ 設備設計

▶ 耐久性・維持管理

▶ 環境・省エネ

▶ 遮音・振動

▶ 施工

▼材料

Q 含水率について、構造用集成材の場合は品質確保されているため、現場搬入時の測定は不要と考えて良いのでしょうか。 回答を隠す

A JAS集成材は含水率が15%以下に管理されて製造されているため、現場搬入時に測定する必要は無いと考えますが、運搬時等に雨濡れなどがあった場合には、きちんと乾燥させて含水率が低下した後で施工することをお勧めします。

Q 中高層の木造建築物に用いるサッシはどのような仕様のものを選べばよいですか。 回答を隠す

A 中高層建築の外壁開口部には、低層建築よりも高い耐風圧性、水密性が要求されます。立地や建物形状にもよりますが、ビル用の高性能サッシ相当の性能が必要になり、現在、木造用のサッシで性能を満たす製品は開発途上です。このためビル用サッシを使用することが考えられますが、標準的なビル用サッシは鉄骨またはRC造の鉄筋への溶接接合が基本で、そのまま木造の軸組に取り付けることはできません。アングル金物を用いることや、防水紙納まり、耐火構造の場合の耐火部材の納まりなどを工夫することが必要になります。具体的には、サッシメーカーと対応策を協議してください。
台風常襲地である屋久島町の木造庁舎では、高性能のビル用サッシを用い、それを取り付けるための専用のアングル金物をサッシメーカーが開発しました。

▼構造設計

Q ラグスクリューとラグスクリューボルトの違いを教えてください。 回答を隠す

A ラグスクリューは、コーチスクリュー、コーチボルトとも呼ばれますが、一方が六角ボルトの頭と同じ形状で、もう一方はネジ切りがしてある接合具です。木材と木材、あるいは木材と鋼板を留め付ける際に用い、主にせん断応力に抵抗する接合具です。一方ラグスクリューボルト（LSB）は全長にわたりネジ切りがしてあり、木材に開けた先孔にねじ込んで、頭部分に鋼板等を留め付け、主に引張応力に対して抵抗する接合具です。LSBは主に中大規模木造建築物の柱脚接合や柱梁接合など、高い接合性能が必要な時に用いられます。

Q 46条2項ルートで設計する場合、構造部分に無等級材を使用して計算することは不可能でしょうか。 回答を隠す

A 令第46条第2項の第一号を使うルートであれば告示第1898号を満足しなければならないので無等級材を使うことはできません。第二号を使うルート（方づえ等の使用）であれば上記告示の制限がないので無等級材を使うことも可能です。

▼設備設計

Q 木造建築物において設備配管ルートを設定する際に配慮すべきことを教えてください。

回答を隠す

A 設備配管は、梁や耐力壁の貫通を避けるようルートを設定することを原則とし、はり下と天井の間に配管用のスペースを確保する、外壁回りは天井を下げてはり下で配管の出し入れを行う等の工夫をすることが考えられます。しかし、やむなく貫通しなければならない箇所が出てくる場合には、構造設計者と協議を行い、基準に準拠した貫通、補強を行うようにします。例えば、木質構造設計規準・同解説*1では、梁の切欠きについて、また、JIS A 3301*2では、高倍率の面材耐力壁の貫通処理について解説があります。

また、木造建築物の防火区画の貫通部は、耐火構造の被覆材、隙間の不燃材料充てんの措置を行う必要があり、関係団体等のマニュアル*3に技術情報が掲載されています。

*1 『木質構造設計規準・同解説』日本建築学会

<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001042>

*2 『JIS A 3301を用いた木造校舎に関する技術資料』文部科学省（p.58面材耐力壁の小開口の設け方）

https://www.nier.go.jp/shisetsu/pdf/gjyutsu_all.pdf

*3 『木造建築物の防・耐火設計マニュアル』日本建築センター

<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001200>

『枠組壁工法耐火建築物設計・施工の手引』日本ツーバイフォー建築協会

<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001049>

『木造軸組工法による耐火建築物設計マニュアル』日本木造住宅産業協会

<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001015>

▼耐久性・維持管理

Q 建築物の外部に木材を現して用いる場合、どのような点に注意が必要でしょうか。

回答を隠す

A 木材を屋外に現して使うと、雨、風、紫外線、菌、虫などの自然界の作用を受けます。特に水分が滞留し続けることで、何も対策を講じなければ、腐朽して、いつかは朽ちてしまいます。自然界の作用から木材を守るためには、例えば、軒の出を大きくして雨水の作用を軽減させる、保護塗装を行い紫外線の作用を軽減する、防腐処理を行い菌などによる腐朽が発生しないようにするといった対策を講じることが重要です。なお、不具合が生じたときに取り替えが困難な構造材は、原則、現しとしないようにしてください。

詳細については、次に掲げる資料をご覧ください。

『木でつくる中大規模建築の設計入門』日本住宅・木材技術センター（6章 中大規模木造建築物の耐久設計・維持管理）

<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10002017>

『建築物における木材の現わし使用の手引き』木のいえ一番協会

<https://kinoie-1ban.or.jp/moku/>

『CLT現わし使用のQ&A』日本CLT協会

<https://clta.jp/document/detail/cltarawashishiyounoqa/>

『設計者のためのCLT屋外使用ガイドライン』日本CLT協会

<https://clta.jp/document/detail/設計者のためのclt屋外使用ガイドライン/>

Q 木材を現して使う機会が多いが、建てた後の乾燥収縮の割れが生じ、瑕疵ではないかと相談がある。若干の割れに関しては問題ないことを、信頼性のある資料や研究成果があれば教えていただきたいです。

回答を隠す

A 丸善株式会社より出版されている「木材と木造住宅Q&A108」に、

「Q3-6 製材の柱や梁に割れが発生したり背割りを入れたりした場合、強度は低下するのですか。」とあります。引用文献などの記載もあり、データの裏付けを持って解説しています。

信頼性のある資料や研究成果と言えるかわかりませんが、参考になさってみてはいかがでしょうか。

<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001164>

▼環境・省エネ

Q 建築物に使用する木材の樹種により、炭素貯蔵量は変わりますか。

回答を隠す

A 木材の炭素貯蔵量の計算方法は、林野庁「建築物に利用した木材の炭素貯蔵量の表示ガイドライン」（令和3年10月1日）に示されています。<https://www.rinya.maff.go.jp/j/press/mokusan/211001.html>

製材の場合、炭素貯蔵量（t-CO₂）は、材積（m³）、密度（t/m³）、炭素含有率（定数0.5）、係数（44/12）を掛け合わせて算出することができます。これはすなわち、密度の約1.8倍の炭素を貯蔵するということで、同じ材積であれば密度が大きい（重い）樹種ほど炭素貯蔵量は大きくなります。

下表は、主な樹種の材積10m³における炭素貯蔵量を例示したものです。

樹種	スギ	ヒノキ	カラマツ	バイマツ
密度（t/m ³ ）	0.33	0.38	0.44	0.48
炭素貯蔵量（t-CO ₂ ）	6.05	6.97	8.07	8.80
炭素貯蔵量の比率 （スギを1.0とした場合）	1.0	1.15	1.33	1.45

▼遮音・振動

Q 木造建築物では床衝撃音や振動の問題が生じるおそれがあると聞きます。対応策はあるのでしょうか。

回答を隠す

A 木構造の床は質量が小さい、剛性が低い、固有振動数が低く減衰が小さいことから、床衝撃音や振動の問題が生じるおそれがあり、注意が必要です。しかし、まだそれらの測定実績は少なく、評価手法や設計手法は整備されていません。

床衝撃音や振動に対する一般的な対策については、『木造計画・設計基準』に述べられています。床や天井の仕様を工夫する、室配置に配慮する、設備機器の防振対策を講じるなど、総合的な対応が必要であると言えます。

また、床、天井の具体的な工法に関しては、『木造建築物の床衝撃音対策 考え方と測定データ』に資料がある他、木質系部材のみの構成でもかなり性能の高いものが開発されており、日本建築学会等に報告されています。また、建材メーカーの商品化されているシステムの情報を調べてみるのもよいでしょう。

『木造計画・設計基準』国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、公共建築協会

<https://www.mlit.go.jp/common/001178742.pdf>

『木造建築物の床衝撃音対策 考え方と測定データ』木を活かす建築推進協議

<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001996>

▼施工

Q 建方精度の確認を行う際の考え方や参考となる資料について教えてください。

回答を隠す

A 建方精度の確認は、建入れ直しをした後に、建物の倒れ、建物の湾曲、階高、柱据付面の高さ、柱の倒れ、梁の水平度などについて行います。建方精度の許容値は、通常、特記仕様書によるほか、構造設計者からの指示によります。また、建方精度に関連してRC造の精度と木造の精度の違いにも注意が必要です。RC造の基礎に埋設するアンカーボルトの施工精度が建方精度に影響します。木造の精度に対応したアンカーボルトの施工精度の確保が肝要であると言えます。

なお、建方精度については『公共建築木造工事標準仕様書』や業界団体の資料＊1に許容値が示されていますので、参考になさってはいかがでしょうか。

『公共建築木造工事標準仕様書』公共建築協会（5章 軸組構法（壁構造系）工事 5節 搬入及び建方）

<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001709>

Q 木造戸建住宅の工事の受注を主に行っており、500㎡を超えるような木造建築物の工事実績はありません。そうした規模の木造建築物の工事の依頼に対して、施工体制面でどのような配慮が必要でしょうか。 回答を隠す

A 一定規模を超える木造建築物の木構造工事では、材料調達、施工図・加工図の製作、建て方、品質・精度管理などの業務が必要とされます。いずれも専門的な知識を有するもので、経験の浅い工事施工者がこれらの業務をすべて自社で行うのは難しいため、業務遂行能力のある事業者と協働して行うことが品質確保や効率の面からも、現状では不可欠と言えます。いわゆる鉄骨造における鉄骨ファブリケータの木造版の役割を担う者で、プレカット事業者や集成材工場がこの協働事業者に相当します。協働の相談窓口としては、（一社）中大規模木造プレカット技術協会（PWA）、各地の集成材工場があります。『木造低層小規模建築物の実践方策の手引き』では、この協働事業者を「木造パートナー」と称して紹介していますので、参考になさってください。

『木造低層小規模建築物の実践方策の手引き』日本住宅・木材技術センター

<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001738>

[相談箱へ >](#)

ホーム

ポータルサイト
について

中大規模木造建築
入門ガイド

設計技術情報

動画情報

講習会情報

担い手・サプライ
チェーン情報

補助金・表彰
制度情報

よくある質問

相談箱

 初めの方へ

リンク集

サイトマップ

委員会について

個人情報の取り扱いについて

サイトポリシー

お問い合わせ

アンケート

 国土交通省

林野庁

ホーム	ポータルサイト について	中大規模木造建築 入門ガイド	設計技術情報	動画情報	補助金・表彰 制度情報	講習会情報	担い手・サプライ チェーン情報	よくある質問	相談箱 (※登録者限定)
-----	-----------------	-------------------	--------	------	----------------	-------	--------------------	--------	-----------------

●ホーム > 相談箱

相談箱

ユーザー登録して頂いている「ユーザー属性」をもとに、質疑することができます。

回答者は、ユーザー登録して頂いている「ユーザー属性」又は「会社名・お名前」の選択した情報が表示されます。

登録している方がお互いに意見交換できるページになります。

相談箱への回答は、回答者個人の知識に基づくものであり、回答者が所属する組織の見解を示すものではありません。

相談箱に質問される前に、「よくある質問」をご確認下さい。

検索する

検索したいワードを入れてください

検索

質問 自走式立体駐車場（通常は鉄骨造です。）を木構造で、設計・施工を実施したいと考えております。実施のためのご相談をさせていただきます団体をご紹介頂くことは可能でしょうか？宜しく願い申し上げます。
[質問日：2023/03/03 回答数：1件]
[質問者属性：その他]

回答を表示

質問 木造軸組工法の小屋梁のたわみの基準として、グレー本には、スパンに対し、長期1/200 短期1/150と示されています。例えば、特殊な梁を用いてスパンが12mになった場合、長期で60mm、短期で80mmと大きなオーダーのたわみまで許容されます。小屋束・母屋・垂木..
[質問日：2023/02/14 回答数：0件]
[質問者属性：建材メーカー・構造設計事務所]

回答を表示

質問 CLTパネル外壁の2時間耐火認定仕様について、【木造耐火建築物設計マニュアル2022】に3つが書いていますが。（FP120BE-0192, FP120BE-0176, FP120BE-0189）この3つ認定仕様以外は、他の（新しい）認定仕様がありますか。情報..
[質問日：2023/01/23 回答数：2件]
[質問者属性：ゼネコン（設計）]

回答を表示

質問 準耐火建築物(イ準耐45分)の軒裏を準耐火構造とする場合の仕様について質問をさせていただきます。軒裏をメンブレン被覆により準耐火構造とする場合、当該部分の軒裏が2mを超えてしまうと告示仕様(※1)の選択肢しかないと考えてよいでしょうか。 ※1 準耐火60分 ケイカ..
[質問日：2022/10/28 回答数：2件]
[質問者属性：意匠設計事務所]

回答を表示

質問 C L T 3層4°ライア120mmに対応する金物が知りたいです
[質問日：2022/10/03 回答数：1件]
[質問者属性：意匠設計事務所]

回答を表示

質問 グレー本の面材張り勾配屋根水平構面の詳細計算法を用いて、水平構面を設定する場合、転び止めありとすると、転び止めの寸法が垂木と同断面と規定されているため、小屋通気層を設定することができなくなります。一部切り欠きを設けるなど、設計や納まり上の工夫で回避することは可..
[質問日：2022/09/21 回答数：0件]
[質問者属性：建材メーカー・構造設計事務所]

回答を表示

質問 中大規模木造建築において設計・施工する場合に必ず施工図というものがあると思います。現状、専門で施工図を描かれている企業はあるのでしょうか？調べてもRCやS造などはあっても中大規模木造を専門としている所が見つかりません。教えて頂けると助かります。宜しくお願いしま..
[質問日：2022/07/11 回答数：0件]
[質問者属性：プレカット加工業]

回答を表示

質問 建設地が海岸線に近く、塩害についての基準を調べておりますが、今のところ見つけられておりません。塩害に対する木材の基準、接合金物の基準について指針等が存在するのでしょうか。
[質問日：2022/07/05 回答数：1件]
[質問者属性：構造設計事務所・意匠設計事務所]

[回答を表示](#)

質問 現在、弊社設計にて非耐火木造4階建て無垢製材現しビルを建設中です。本年度12月か1月に完成予定ですが、現時点で国内において、前例はありますか？情報のご提供宜しくお願い致します。
[質問日：2022/07/04 回答数：0件]
[質問者属性：意匠設計事務所]

[回答を表示](#)

質問 一般社団法人 木を活かす建築推進協議会 発行の『木造建築のすすめ』の記載に関する質問です。52P表の左上、「事務所・庁舎」×「その他建築物」の要件の記載が、2Pの要件記載内容と異なっているように思います。こちらの正誤についてご教示いただきたくよろしくお願ひしま..
[質問日：2022/04/28 回答数：1件]
[質問者属性：ゼネコン（その他）・ハウスメーカー（その他）]

[回答を表示](#)

[<前へ](#) [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [次へ>](#)

質問する

※ご投稿いただいた質問は、管理者が確認したのち掲載させていただきます。
※ご質問にはユーザー登録で選択した「ユーザー属性」が表示されます。

[質問確認](#)

[< よくある質問へ](#)

[ホーム](#) [ポータルサイトについて](#) [中大規模木造建築入門ガイド](#) [設計技術情報](#) [動画情報](#) [講習会情報](#) [担い手・サプライチェーン情報](#) [補助金・表彰制度情報](#) [よくある質問](#) [相談箱](#)

[リンク集](#) [サイトマップ](#) [委員会について](#) [個人情報の取り扱いについて](#) [サイトポリシー](#) [お問い合わせ](#) [アンケート](#)

 **国土交通省**  **林野庁**

ホーム	ポータルサイト について	中大規模木造建築 入門ガイド	設計技術情報	動画情報	補助金・表彰 制度情報	講習会情報	担い手・サプライ チェーン情報	よくある質問	相談箱 (※登録者限定)
-----	-----------------	-------------------	--------	------	----------------	-------	--------------------	--------	-----------------

●ホーム > マイページ

マイページ : 高橋秀樹 様

☑マイページ

- ◎マイページ トップ
- ◎お気に入り [一覧]
- ◎お気に入り [カテゴリー]
- ◎登録内容の確認・変更

ログアウト

マイページ

お気に入り [一覧] は
こちら

お気に入り [カテゴリー] は
こちら

登録内容の確認・変更は
こちら

ホーム

ポータルサイト
について

中大規模木造建築
入門ガイド

設計技術情報

動画情報

講習会情報

担い手・サプライ
チェーン情報

補助金・表彰
制度情報

よくある質問

相談箱

リンク集

サイトマップ

委員会について

個人情報の取り扱いについて

サイトポリシー

お問い合わせ

アンケート



林野庁

リレーコラム もくlog バックナンバー



どれくらい木造建築を建てるか

お気に入りに追加

執筆・制作者：大橋好光（東京都市大学 名誉教授）

掲載年月日：2022年11月1日

木造建築を普及させる理由は2つある。地球温暖化防止に果たす役割と、日本の林業の維持保全である。日本の森林での蓄積量は増え続けており、持続的に維持していくためにも木造建築を増やすことが必要だと説明されている。

木造建築が増える一方で、「木造建築がどれくらい増えればいいんですか。」という声も聞かれる。そこで、簡単なシミュレーションをしてみた。

表1は、日本住宅・木材技術センターの機関誌「住宅と木材」2021年10月号に掲載された林野庁の木材利用の目標を示している。表の「利用量」とは国産材のごとである。「建築用材等」を、2019年実績の1,800万㎡から2030年に2,600万㎡に引き上げることを目標としている。その差は800万㎡である。

表1 用途別利用量の目標

(単位：百万㎡)

用途区分	総需要量			利用量		
	2019年 (実績)	2025年 (見通し)	2030年 (見通し)	2019年 (実績)	2025年 (目標)	2030年 (目標)
建築用材等 計	38	40	41	18	25	26
製材用材	28	29	30	13	17	19
合板用材	10	11	11	5	7	7
非建築用材等 計	44	47	47	13	15	16
パルプ・チップ用材	32	30	29	5	5	5
燃料材	10	15	16	7	8	9
その他	2	2	2	2	2	2
合計	82	87	87	31	40	42

一方、図1は、同様に林野庁がまとめた2019年の「階層別・構造別の着工建築物の床面積」である。同じ年のデータである。日本では、毎年1億㎡強の建築が建てられていることが分かるが、そのうち木造は約半分の5,200万㎡である。そして、それに使用した建築用材は、表1より3,800万㎡なので、床面積1㎡あたり0.72㎡の木材（素材）を使っていることになる。

そして、前述の800万㎡を0.72㎡/㎡で除すと、約1,100万㎡と求まる。つまり、木造建築を1,100万㎡増やすことが目標と言い換えることができる。



図1 着工建築物の木造率

これを図1に当てはめてみると、「4～5階建ての住宅」の半分、および「1階から4～5階建てまでの非住宅」の半分、が木造に相当している。つまり、現在、多層木造が次々と建てられているが、6階以上の建物の木造化は時間がかかるとしても、上記の「4～5階建ての住宅」および「1階から4～5階建てまでの非住宅」の半分、が木造になれば、目標を達成することができる。

この数字は、人によって捉え方が異なると思われる。「1,100万㎡は大変な量だ、無理だ」という人も多いかもしれない。とにかく、

1,100万㎡といえば、1,000㎡の建物なら1万1千棟分、つまり毎日30棟建つという量だからだ。かなりの量であることは間違いない。

一方で、「木材は余っているのに木材をどんどん使おうと欲していたけれど、日本の木材の供給量はこれだけなのか」と思う人もいるだろう。現在、建築業界の枠を超えて、あらゆる産業で木造建築への関心が高まっている。若干、過熱気味でもあるが、「大きな建物も含めて、日本中の過半の建物が木造になるか」という勢いだ。上記の数字は、「さすがに、そんなことはないですよ」ということでもある。

ちなみに、私は「簡単ではないが、不可能な目標ではない」と読んだ。2030年は難しいかもしれないが、長期的にはそうなる可能性がある。4～5階建てまでの建物であれば、今や技術的に難しくないので加えて、コスト的にも十分に競争できる領域だからだ。

私が毎日利用する駅前に、木造3階建てのビルが建ち、1階にコンビニエンスストアが開店した。工事中を見ていないと、何造かは分からない。こうした光景は、あたり前の風景になりつつある。

(今回の執筆者は芝浦工業大学建築学部 教授 山代悟氏を予定しています)

この情報をシェアする→ [Facebook](#) [Twitter](#) [Line](#)

この情報のURL: <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=407&mode=one&code=10002154> [URLをコピー](#)

<前へ 1 2 3 4 5 ..11 次へ>

[バックナンバー一覧はこちら](#)

ホーム	ポータルサイトについて	中大規模木造建築入門ガイド	設計技術情報	動画情報	講習会情報	担い手・サプライチェーン情報	補助金・表彰制度情報	よくある質問	相談箱
リンク集	サイトマップ	委員会について	個人情報の取り扱いについて	サイトポリシー	お問い合わせ	アンケート			

国土交通省 林野庁

©2020 中大規模木造建築ポータルサイト検討委員会

リレーコラム もくlog バックナンバー



日本は木の国か、鉄の国か

お気に入りに追加

執筆・制作者：山代悟（ビルディングランドスケープ 共同主宰/芝浦工業大学 建築学部建築学科 教授）
掲載年月日：2022年11月15日

私は現在は大規模木造建築の設計や普及に関わる仕事をしていますが、大学や大学院で、そして実務の仕事を始めてから全く木造建築について特別な経験は持っていませんでした。それが33歳の時に独立して事務所を開業し、大学で教鞭に就くようになってから、様々な出会いや導きがあり、徐々に大規模木造建築の世界に入っていました。

大規模木造建築の世界に次第に深入りしていったのは、建築の設計を考える上で、いわゆるデザインだけでなく、どのように建築そのものを成り立たせるか、構造設計、あるいは耐火設計、そして建材としての木材がどこからどのように調達され、加工され、建築現場までやってくるのかといった林業や生産の課題にまで意識せざるを得ないという難しさがあるのと同時に、それを考えることを通じて日本の歴史や社会そのものの成り立ちを考える面白さに気づいたからではないかと思っています。

私は島根県出雲市の出身です。実家が製陶業をしていて、祖母や母が手づくりで出雲大社のお神酒を飲む土器（かわらけ）をつくって納めていたこともあり、出雲大社には小さな頃から土器を納めに行く両親に付き添って定期的に行っていました。そこで見る大きな本殿や拝殿の姿は強い印象として残っています。実家には小さな窯があり、祖母が元気だった頃は家に時々トラックで大量の薪が運ばれてきて、それを窯のそばまで運ぶのは子どもの仕事でした。一旦窯焚きが始まると、丸一日夜にわたって薪をくべ、その炎と格闘する様子は祖母の姿とともに記憶に残っています。

また、母方の実家は、代々男衆は大工を仕事としていて、祖父も叔父も、いとも大工でした。家に遊びに行くと、家の中に趣味でつくったのか、大きなお社の模型が飾られていたり、大きな神楽面が飾ってあったりして、それが非常に恐ろしかった記憶があります。自分が小さな頃は風呂もまだ五右衛門風呂で、大工仕事で出た木っ端や鉋屑が風呂焚きに使われていました。

今から振り返れば、建築資材としての木材とエネルギー源としての木材の利用の姿に小さな頃から触れていたわけですが、東京に出て大学や大学院で建築学を学ぶ間は、そういったこともあまり意識せずに、鉄骨やコンクリートによる現代建築の設計、そしてそれがつくりあげる現代都市の研究に没頭していました。



写真1 高さ24メートルの出雲大社本殿を見上げる。上古には48メートルの高さがあったという説も

中大規模木造建築の設計に触れるようになってから、改めて日本は木で大きな建築を作ってきた歴史があり、それに裏付けられた技術に感銘を受けてきました。そうすると、やはり「日本は木の国だ」、という意を強くします。

一方で、出雲に生まれた人間として、日本と言う国の歴史的な成り立ちについて学んでいく時、古代において出雲が大きな力を持ったのは、豊富な森林資源とともに砂鉄と言う資源があり、そこに渡来の製鉄技術が加わったことで、たたら製鉄による鉄の生産が可能となり、鉄の国としての勢力を得たことによるとわかります。古代においては鉄を支配できたものが大きな力をもつことができました。その後も社会が発展していくに従い、大きな木造建築がたくさん作られます。伝統的な木造建築そのものに使われる鉄の量はそこまで多くないと思いますが、木材を切り出し、加工し、精巧な木造建築を仕上げることを可能にしたのは、鉄の道具をふんだんに使うことができた文明文化をもつことができたことであつたと言う側面は忘れることができないと思います。つまり、木材が豊富にあるだけでなく、「鉄の国」でもあつたことと組み合わせさせて初めて今の日本の木造文化も可能となったと言えるのではないのでしょうか。



写真2 菅谷の高殿のたたら場。たたら製鉄によって豊富に鉄が道具として使えたことが日本の木造建築を支えることになった

これからの未来に向かって中大規模木造建築を考える際には、様々な可能性が開かれているし、試されねばならないと考えています。木材をふんだんに使い、極力金属やコンクリートの利用を避けると言うのも1つのアプローチだと思います。またこれまで100年かけて成熟させてきた鉄やコンクリートによる近代建築の技術をうまく利用しながら、そこに木を組み合わせるという考え方もあるでしょう。社会は単純に過去に戻ることはできません。今、どのようなバランスが最も効果的で、将来どのようなバランスを目指すべきなのか。どのような場面ではどのような組み合わせが最もふさわしいのか。

19世紀後半に始まった近代建築の技術発展が100年かかって成熟し、鉄やコンクリートで建築をつくる生産体制や社会構造そのものを作り上げ、強固なものとなっています。現在の中大規模木造建築の歩みが20世紀後半に本格的にスタートしたとして、これからどのような生産体制、社会構造を作っていくことができるでしょうか。

どのような建築に暮らすことが豊かな生活だと言えるか、あるいはどのような環境で働くのが憧れとなり得るのか。新しい社会を考える際に、日本は木の国なのか、あるいは鉄の国なのか、その答えを考えながら、新しい社会を構想していきたいと考えています。

(次回の執筆者は東京大学大学院 農学生命科学研究科 准教授 青木謙治氏を予定しています)

この情報をシェアする→ [Facebook](#) [Twitter](#) [Line](#)

この情報のURL : <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=407&mode=one&code=10002203> [URLをコピー](#)

ホーム	ポータルサイト について	中大規模木造建築 入門ガイド	設計技術情報	動画情報	補助金・表彰 制度情報	講習会情報	担い手・サプライ チェーン情報	よくある質問	相談箱 (※登録者限定)
-----	-----------------	-------------------	--------	------	----------------	-------	--------------------	--------	-----------------

ホーム > リレーコラムもくlog > リレーコラムもくlog/バックナンバー一覧 > 分かつ面白い木材のこと

リレーコラム もくlog バックナンバー



分かつ面白い木材のこと

お気に入りに追加

執筆・制作者：青木謙治（東京大学大学院 農学生命科学研究科 准教授）

掲載年月日：2022年12月1日

職業柄、木材や木質材料に関する基礎知識の講演を頼まれることが多い。最初に依頼されたのは前職の森林総合研究所に勤めていたころで、公共建築物等木材利用促進法（木促法）が施行されたことにより、これまで木造になじみのなかった建築士や建築主事の方々に木造建築や木材の知識を身に付けて頂くための講習会を開く必要が生じ、その中の1コマで材料の事を取り上げる必要があり、筆者に依頼が来たのである。こういった講習会は国土交通省やその外郭団体、あるいは林野庁が主催のものから、都道府県の行政側や建築士会などが主催するものまで多岐にわたるが、もう10年くらいはこういった講習会が続いている。延べ何回くらい話をしただろうか。今年度に限っても既に4ヶ所で木材・木質材料の基礎知識的な講習をしている。

これらの講習会ではだいたい2時間から3時間程度で木材・木質材料の概略をざっと話すことが多いのだが、同じような内容を大学では半年15コマかけて、あるいは複数の講義に分けてより詳細な内容を講義しているので、当然であるが講習会で話している内容は本当に表面的な入口部分のお話だけになってしまう。それでも、これまで木材や木質材料に関する教育をほとんど受けてこられなかった受講生の皆さんからは、木材の特徴がザックリと把握できて大変勉強になったという感想をいただけたりして、それなりに役に立つ情報提供ができていないかと自負している。ちなみに、木材の基礎知識的な内容を中心としたものと、木質材料の種類やJAS規格、基準法との関係などを話すものと大きく分けて2つのバージョンがあり、依頼の内容に合わせて使い分けている。

最近でこそ、大学の建築学科で木造建築に関する内容を扱うところが増えてきたようであるが、やはりまだまだ少ないのが現状だろう。「建築構法」の中で2,3コマが木造の構法に関する話だったり、「建築材料」の中で1コマが木材・木質材料の話だったりすることが多いのではと想像するが、「木質構造」という講義を開講しているところは稀だし、専門の先生が講義をするわけではなかったりもするので、やはりそこで教える内容は十分とは言えないところも多いと思われる。なので、やはり木材や木質構造に関する知識は、実務に入ってから必要に迫られて学びなおすという形にならざるを得ないだろう。

私が学生のころと比べると木材利用や木造建築を取り巻く状況は大きく変化し、この10年ほどは強い追い風が吹いていると言える状態がずっと続いている。これまで木材や木造建築に関心を持たなかった方が参入してくるのは大変ありがたい事であるが、木質構造の独特の考え方や設計法を学ぶのと同時に、やはり木材・木質材料の基礎知識にも目を向けて頂きたいと思っている。各種マニュアルや規準書を基に、告示の基準強度で計算すればいいという考え方では、どこかで痛い目にあうのではないかと心配してしまう。鋼材やコンクリートとは全く異なる性質を持つ木材、そしてその特徴を受け継ぎつつも新たな性能を付与した各種木質材料について、一通りの知識を持ったうえで設計業務にあたって頂けると、魅力的で、尚且つ安心・安全な木造建築物を実現できるのではないだろうか。そういう未来のために、このポータルサイトがあると思うし、ここを通じて様々な情報交換が進むことを期待したい。ついでに、木材や木造建築の事もっと深く知りたいという方は、筆者の大学で社会人特別選抜修士課程：木造建築コースを開講しているので、興味があれば是非そちらへの入学をご検討頂きたい。木材のことを深く知れば知るほど、木造建築が面白くなっていくはず！です。

◀社会人特別選抜修士課程：木造建築コース▶

<http://www.fp.a.u-tokyo.ac.jp/graduate/admissions/>

(次回の執筆者は宇都宮大学 地域デザイン科学部 教授 中島史郎氏を予定しています)

この情報をシェアする→



この情報のURL：<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=407&mode=one&code=10002230>

URLをコピー

ホーム	ポータルサイトについて	中大規模木造建築入門ガイド	設計技術情報	動画情報	補助金・表彰制度情報	講習会情報	担い手・サプライチェーン情報	よくある質問	相談箱 (※登録者限定)
-----	-------------	---------------	--------	------	------------	-------	----------------	--------	-----------------

ホーム > リレーコラムもくlog > リレーコラムもくlog/バックナンバー一覧 > サステナブル建築物等先導事業にみる中大規模木造建築物の傾向

リレーコラム もくlog バックナンバー

サステナブル建築物等先導事業にみる中大規模木造建築物の傾向

お気に入りに追加

執筆・制作者：中島史郎（国立大学法人宇都宮大学 地域デザイン科学部 建築都市デザイン学科 教授）

掲載年月日：2022年12月15日

最近の先進的な木造建築物の動向について国土交通省が実施している「サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）」（評価委員会委員長：大橋好光氏）に2020年度までに採択された91件の事業を対象として、建物の規模と形態などについて簡単な整理を行ってみたい。当該事業に採択された建物の概要は以下の3つのサイトにて公表されている。

①http://www.sendo-shien.jp/case_archive/ [平成22～26年度]

②<http://www.sendo-shien.jp/02/case/> [平成27～令和元年度]

③<http://www.sendo-shien.jp/03/case/> [平成27～令和2年度]

図1は2010～2020年度に採択された91棟の建物の階数をグラフ化したものである。木造建築物ゆえに、2階建てと3階建ての棟数が多く、全採択棟数の半数以上を締めている。その一方で、階数が高い建物も一定数あり、10階建て以上の建物が8棟採択されている。その内訳は10階建て、11階建て、12階建てがそれぞれ2棟、13階建てと15階建てが1棟ずつとなっている。

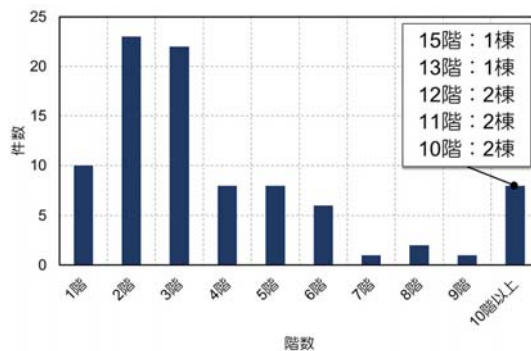


図1 建物の階数

さらに、建物の階数を年ごとに整理すると図2のようになる。2016年度までの7年間に採択された建物の最高階数は6階であったが、2017年度以降から10階建て以上の建物が採択されはじめ、資料が公表されている直近の2020年度には8階建て以上の建物が全体の半数弱を占めている。近年、木造建築物の高層化に対する積極的な取り組みが行われているが、その傾向が顕著に表れている。

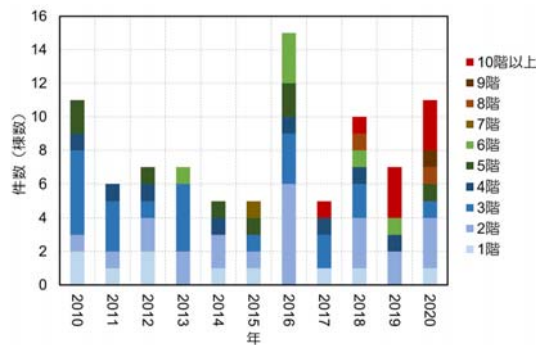


図2 年別の建物階数の内訳

一方、建物の構造形式について分類（注）すると、純木造の建物が約5割、混構造の建物が約4割となっている。この混構造の建物のうち、約3割は立面混構造の建物、約2割は平面混構造の建物であり、約1割は立面と平面の両方に対して混構造となっている建物である。また、木と鉄、または、木とコンクリートを部材レベルで複合化した複合部材を用いた建物も全体の約2割を占める。混構造や部材レベルでの複合化は、高層あるいは大規模な建物に相対的に多くみられ、改め言うまでもないが、木造建築物を中大規模化するにあたり、併用構造や複合化が重要な位置を占めていると考えられる。

混構造、並びに、複合部材の形態を模式的に表現する(注)と図3のようになる。図中のA～Dは立面混構造であり、1階部分がRC造で2階以上が木造(A)、低層階が非木造で上層階が木造(BとC)、RC造のメガストラクチャ内に木造(D)の形態がある。また、E～Lは平面混構造であり、木造にRC造のコア(E、K、L)、または、木造にS造のコア(F)が取り付く場合と、RC造またはS造に木造が取り付く場合(G、H、I、J)がある。後者には、木材を建物の正面または外周に見せるという意図がある。一方、M～PはRC造またはS造の構造要素の一部を木造とするものであり、柱梁に囲まれた部分に木造の耐震壁を設ける形態(MとN)と、RC造またはS造の柱のうちの一部を木造とする形態(OとP)がある。Q～Vは部材レベルの複合化であり、鉄骨を木で被覆するもの(QとR)、S造の床スラブを木とするもの(S)、木の床版とコンクリートの床版を複合化させたもの(T)がある。さらに、柱梁間の接合部をSRC造、または、S造として、パネルゾーンの強度を高めているもの(UとV)がある。

(注) 分類及び形態の模式的化は筆者の独自の判断によるものである。

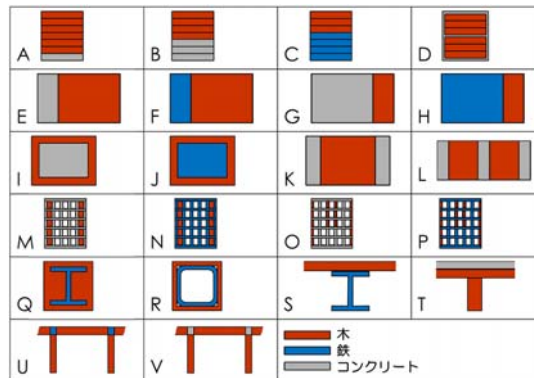


図3 混構造、または、複合部材の形態の模式的化
(注) A～DとM～Pは建物の断面、E～Lは建物の平面、QとRは部材の断面、SとTは床構面の断面、UとVは架構の断面。

(今回の執筆者は桜設計集団一級建築士事務所 代表 安井昇氏を予定しています)

この情報をシェアする→ [Facebook](#) [Twitter](#) [Line](#)

この情報のURL : <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=407&mode=one&code=10002240> [URLをコピー](#)

[<前へ](#)
[1..](#)
[6](#)
[7](#)
[8](#)
[9](#)
[10](#)
[..11](#)
[次へ>](#)

バックナンバー一覧はこちら

ホーム	ポータルサイトについて	中大規模木造建築入門ガイド	設計技術情報	動画情報	講習会情報	担い手・サプライチェーン情報	補助金・表彰制度情報	よくある質問	相談箱
リンク集	サイトマップ	委員会について	個人情報の取り扱いについて	サイトポリシー	お問い合わせ	アンケート			

国土交通省
林野庁

©2020 中大規模木造建築ポータルサイト検討委員会

リレーコラム もくlog バックナンバー



「木材はゆっくり燃える」を長所ととらえた防耐火技術いろいろ

お気に入りに追加

執筆・制作者：安井昇（桜設計集団一級建築士事務所 代表）
掲載年月日：2023年1月1日

「木材は燃える」を短所と考える人は少なくない。ただ、木材が燃えることで、松明（たいまつ）、暖房、調理、湯沸かしなど、たくさんのいいことを享受している。だから、ある日突然、木材が燃えなくなると大変なことになる。それなら、建築に使った「木材がたくさん燃えること」だけをどうにかすればよいのだと思う。

厚い太い「木材はゆっくり燃える」ことは、薪ストーブを使ったり、焚き火をする人なら知っている。その特徴（早くても1mm/分程度でしか内部に燃え進まない）を木造建築の防耐火設計に取り入れれば、普段は木材が見えていて、かつ、火災時に簡単に柱・はりが折れて建物が倒壊せず、壁の裏側に燃え抜けて容易に延焼しない建築ができる。

昭和62年（1987年）に建築基準法に導入された「燃えしろ設計（火災時に燃えるであろう寸法分を大きく使って木材を木材で耐火被覆する技術）」がまさにその考え方である。今から約35年前に、「木材はゆっくり燃える」を長所ととらえた防耐火技術が建築基準法に位置づけられているわけだ。その後、平成4年（1992年）に準耐火建築物が位置付けされて、イ準耐火建築物をつくる準耐火構造の一つの手段としても「燃えしろ設計」が位置付けされた。今では、柱・はり・壁・床・屋根の準耐火構造に「燃えしろ設計」が位置付けされ（表1）、軒裏・階段の準耐火構造にも、木材の厚板だけでできた仕様が並ぶ（写真1）。

JAS材の種類	主要構造部	45分準耐火構造	
		H12建告1358号	R1国交告195号
製材	柱・はり	45mm	60mm
	柱・はり	35mm	45mm
集成材	壁・床	35mm(レ) 45mm(イ)	45mm(レ) 60mm(イ)
	柱・はり	35mm	45mm
LVL (単板積層材)	壁・床	35mm(レ) 45mm(イ)	45mm(レ) 60mm(イ)
	壁・床	35mm(レ) 45mm(イ)	45mm(レ) 60mm(イ)

※(レ)レゾルシノール樹脂系接着剤・フェノール樹脂系接着剤、
(イ)水性高分子イソシアネート樹脂接着剤を示す
※屋根（集成材、LVL、CLT）は30分準耐火構造（H12建告1358号）
25mm（レ）、30mm（イ）

表1 建築基準法に位置づけられた燃えしろ寸法。数値から早くても1mm/分で燃えると想定されていることがわかる



写真1 野地板を厚さ30mm以上、面戸板を厚さ45mm以上とした45分準耐火構造の木材あらわし軒裏

45分準耐火構造（H12建設省告示第1358号）や1時間準耐火構造（R1国土省告示第195号）を用いた準耐火建築物とすれば、3階建て以下の建築をつることができる（防火地域の場合や3階部分に特殊建築物用途（共同住宅等・学校等を除く）を配置した場合等は除く）。それらは必ずしも不燃系の被覆面材を使わず、木の塊として建築できるわけである。軸組工法（写真2-1）、CLTパネル工法（写真2-2）、ログハウス（写真2-3）など、木材の厚さ太さを活かして防耐火上安全な建物をつくるための技術開発が活発に行われている。



写真2-1 スギ板厚さ40mm×2枚の落とし込み板壁の加熱実験の様子（日本板倉建築協会）加熱50分後に裏面温度は50℃程度。45分準耐火構造の性能を確保した。



写真2-2 スギCLT厚さ150mmの加熱実験の様子。加熱120分後でも裏面温度は100℃程度。



写真2-3 スギ240mm角のログ壁の加熱実験の様子（日本ログハウス協会）。加熱110分後でも裏面温度は加熱開始時から全く上昇せず。

これらの技術がある一方で、「木造は火事に弱い」とまだまだ一般の人に思われている。冬になると、毎日のようにニュースで木造の火事が報道されることが一因と思うが、それらは、1950年に建築基準法が制定される前や防火地域規制が施行される前に建築された裸木造と呼ばれる建物であることが多い。薄い細い木材でつくられていることが多いため、一旦火災になると簡単に壁や天井の裏面に燃え抜けていき、一気に燃え広がって、消防の手に負えない状態になる。防火構造や準耐火構造は、30分、45分、1時間の間、壁や天井の裏面に燃え抜けないことや柱・はりが折れないことを担保して火災を局所に留める技術であり、消防の手で消火できる可能性を高める部材といえる。そのため、ニュースによくでてくる火災の建物と、現在の防火構造・準耐火構造でつくった木造建物とは燃え方が大きくことなる。簡単に言えば、一気に燃え広がらず、ゆっくりと燃える建物である。ゆっくり燃えれば、避難安全上、周辺への放射熱による延焼抑制上、消防活動支援上、有利になる。このように厚い太い木材には火災安全性能を高める能力（特に3階建て以下の木造建築）があるわけだ。

また、現在では、耐火構造を木造でつくることもできるため、防火地域の建物や4階建て以上の建物も建築可能である。法令上はRC造と同じ性能を持った木造建築と言える。ただし、耐火構造の要求性能が、地震大国であることを踏まえて「大地震後など消防活動ができない火災でも部材が壊れない・燃え抜けないこと」となっており、「木材がゆっくり燃える」技術だけでは対応できない。鉄骨造がロックウールやケイ酸カルシウム板で耐火被覆をして耐火構造となるのと同じ考え方で、木造も強化せっこうボード総厚42～46mmで柱やはりを耐火被覆して1時間耐火構造（H12建設省告示第1399号）とすることができる。構造躯体の「木材を燃やさない」技術といえる。

このように、建物の階数や規模に応じて防耐火基準は異なるが、いずれにも木材を使って対応できる。そこで、今日から「木材は設計次第で防火材料（火を防ぐ材料）になり得る可燃物」であると覚えておきたい。

この情報をシェアする→



この情報のURL : <https://mokuazuportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=407&mode=one&code=10002278>

URLをコピー

<前へ

1..

3

4

5

6

7

..10

次へ>

バックナンバー一覧はこちら

ホーム

ポータルサイト
について

中大規模木造建築
入門ガイド

設計技術情報

動画情報

講習会情報

担い手・サプライ
チェーン情報

補助金・表彰
制度情報

よくある質問

相談箱

リンク集

サイトマップ

委員会について

個人情報の取り扱いについて

サイトポリシー

お問い合わせ

アンケート



林野庁 (Forestry Agency)

ホーム	ポータルサイト について	中大規模木造建築 入門ガイド	設計技術情報	動画情報	補助金・表彰 制度情報	講習会情報	担い手・サプライ チェーン情報	よくある質問	相談箱 (※登録者限定)
-----	-----------------	-------------------	--------	------	----------------	-------	--------------------	--------	-----------------

●ホーム > リレーコラムもくlog > リレーコラムもくlog/バックナンバー一覧 > 森林・林業白書を読んでみませんか？

リレーコラム もくlog バックナンバー



森林・林業白書を読んでみませんか？

● お気に入りに追加

執筆・制作者：小林 道和（株式会社竹中工務店 木造・木質建築推進本部 シニアチーフエンジニア）

掲載年月日：2023年2月1日

米国の住宅ローン金利が上昇して旺盛な住宅需要も落ち着き、ウッドショックと呼ばれた世界的な木材価格の高騰もひと段落しつつありますが^{※1}、時期を同じくしてESG投資、ESG経営が本格的に普及し始めたこともあって、森林を投資の対象や資産として保有する企業が増えてきました。企業が森に興味を持っていただくのは大歓迎ですが、新たに森林管理を任せられた担当者は眼前に広がる森林をこれからのように維持・管理すればよいのか迷うことが多いのではないかと思います。森林経営計画を近くの役所に提出していればよいのか？また、クリーンウッド法との関係は？森林認証制度との違いは？など調べれば調べるほどいろんな疑問点が湧いてきます。材料調達でのデュエリジェンスなんて言葉もちろはらと聞きます。さらに今年の9月には自然関連財務情報タスクフォース（通称TNFD）^{※2}から新たな経営情報の開示のガイドラインが出るなど、森林を所有するにも一筋縄にはいかなさそうです。

森林を保有、投資の対象とするには、他の投資分野と同じで、しっかりとした森林や木、林業経済の理解が必要となります。これから専門家への相談、コンサル契約が必要になるかもしれません。そこで、まずはお勉強と大手町・丸の内などの大型書店を訪れますが、意外と森林・林業関連の書籍売り場は小さく、また並ぶ書籍は数層が高そうなのがざらっと並びます。難解な言葉が並ぶ本でも果敢に手がのびればよいのですが、かつての筆者のようにくじけてしまいそうな方に私からオススメしたいのが、毎年林野庁から発行される「森林・林業白書」です。

令和3年度森林・林業白書の表紙をめくると次の説明文が見られます。

この文書は、森林・林業基本法（昭和39年法律第161号）第10条第1項の規定に基づく令和3年度の森林及び林業の動向並びに講じた施策並びに同条第2項の規定に基づく令和4年度において講じようとする森林及び林業施策について報告を行うものである。

この文にあるとおり森林・林業白書は森林・林業基本法に基づいて森林や林業の現状と国の施策が毎年まとめられたものになっています。ここだけを読むと森林や林業について書かれた難解な書物と想像してしまうのですが、実はこの森林・林業白書、日本の森林の今を伝えたいという林野庁職員の想い詰まった一冊の本に仕上がっていて^{※3}、一般向けに写真やグラフ、図表などふんだんに使用して解説された実用書となっています。

現物を手に取ってご覧いただきたいのですが、内容は第一部に森林及び林業の動向、第二部は森林及び林業施策として国の取り組みがまとめられています。第一部をもう少し細かく見ていくと、冒頭に特集記事があります。今年はウッドショックと建築分野での木材利用のトピックが取り上げられています。例えば、ウッドショックの記事は専門用語の使用が少なく、新聞記事を眺める感覚で読み進めることができます。震源地の北米の木材市場や海上運賃の動向、木材輸入量と住宅市場への影響から政府の対策までコンパクトにまとめられています。続いて、森林の整備・保全、林業と山村、木材需給・利用と木材産業、国有林野の管理経営、東日本大震災からの復興といった内容です。

森林・林業の幅広い領域の情報が簡潔に、また信頼性の高いデータでまとめられています。社有林や購入予定の山林の調査報告、環境関連商品、サービスのPR資料づくりなどで、森林・林業白書が大いに活躍、役立つと思います。

生物多様性の保全、森林環境の持続可能性を確保するために、森林の保有者は多くの法令や社会制度への対応が求められるようになりました。専門家に任せることが多くなっていくと思われそうですが、森林管理を“丸投げ”とならないように多少なりとも我が国の森林については知っておきたいところです。森林や国産木材に関連する仕事に携われる方々にとって森林・林業白書はきっと役に立つものと思っています。

あともうひとつ。林野庁が令和3年9月から「モクレボ」を発刊しています^{※4}。木材需給、木材価格の他、内外の住宅関連指標や為替、コンテナ運賃などのデータが集約・整理されています。直近のデータを確認したい方は、こちら是非ご覧ください。

森林・林業白書（林野庁）：

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/hakuso/>

※1：ウッドショック前水準に、日本経済新聞、2023年1月18日、朝刊、第17面

※2：Taskforce on Nature-related Financial Disclosures、<https://tnfd.global/>

※3：森林・林業白書が教えてくれること。林野庁が丁寧に綴った「森林の今と未来」、キノマチプロジェクト、<https://kinomachi.jp/>

2589/

※4：モクレボ、林野庁、<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/toukei/monthlyreport.html>

(次回の執筆者は株式会社青木工務店 代表取締役 青木哲也氏を予定しています)

この情報をシェアする→



この情報のURL： <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=407&mode=one&code=10002362>

URLをコピー

<前へ

1..

3

4

5

6

7

..11

次へ>

バックナンバー一覧はこちら

ホーム

ポータルサイト
について

中大規模木造建築
入門ガイド

設計技術情報

動画情報

講習会情報

担い手・サプライ
チェーン情報

補助金・表彰
制度情報

よくある質問

相談箱

リンク集

サイトマップ

委員会について

個人情報の取り扱いについて

サイトポリシー

お問い合わせ

アンケート



林野庁

©2020 中大規模木造建築ポータルサイト検討委員会

リレーコラム もくlog バックナンバー



良質で“普通の”木造建築へ

お気に入りに追加

執筆・制作者：青木哲也（株式会社青木工務店 代表取締役）

掲載年月日：2023年2月15日

私は神奈川県大和市で木造建築を専門とする地域工務店の4代目代表を務めております。神奈川県大和市にて114年目を迎えました。このコラムでは、これまで長く木造建築を生業にしてきた地域工務店としての自社の歩みを振り返りながら業界の今後の展望についてお伝えしたいと思います。

初代 梅太郎は静岡県静岡市清水区吉原で大工の棟梁として独立後、農家と兼業をしながら地域の住宅・非住宅建設を請負い、20名以上の大工を育てました。当時、梅太郎が手掛けた木造の住宅や病院など幾つかは現存し人々に活用され続けています。



写真1 初代が手掛けた現存する250坪の木造医療施設

2代目 廣吉（梅太郎の次男）は、8番弟子として大工修行に入りました（長男は戦死）。世界恐慌が波及した昭和恐慌の日本で、地元の建築工事は減少し厳しい時代を迎えます。その中で建設業を生業に求めた廣吉は家を飛び出し四国地方の大工集団に入職。仕事で全国を転々としながら、途中で工兵として東南アジア諸国を転戦、帰国後に旧日本海軍厚木基地の仕事で神奈川県大和市を訪れそのままここ大和に根を下ろしました。戦後の物資不足の中、廣吉は木材の確保の為、木こりと協業しながら地産材木を切り出し、あるいは紀州を訪れ市場で木材の買付を行い、建築を請負いました。自らも棟梁として現場に出ながら、大工育成・技術伝承の為に地方を回り次男三男をスカウトして弟子を取りました。住宅ローンが未発達だったこの時代に、割賦販売で事業が拡大していた住宅会社の指定工事店として登録、職人と木材を確保して旺盛な住宅需要の波に乗り事業が拡大しました。

3代目 宏之（廣吉の長男）は、学生時代は化学を専攻し卒業後は専門分野の研究機関へ就職が内定していました。しかし祖父梅太郎の説得で改めて建築学を学び直し家業の継承を決意。入社後は元請負へ復帰を進め、事務所と作業場の機能を現社屋に集約。前半はバブル景気に後押しされ、住宅だけでなく公共建築の分野にも進出。後半は技能者育成の為、工務店仲間と大工育成のための認定職業訓練校「番匠塾」を開塾。ここでのメンバーが現在の一般社団法人JBN・全国工務店協会の発起人として今に繋がります。80年代当時日本は、ペアガラスや木製サッシなど断熱性能の高い建材は普及しておらず、KD材など乾燥した構造材や、化学物質の発生が少ない無垢の建材の扱いもごく僅かの中、宏之はそれらを積極的に海外から輸入・導入していきます。

4代目として私（宏之の次男）が事業継承を決意したとき業界は既に“家余り”と“質の向上”の時代となっておりまして。業界はこれまで対応が遅れていた事項、例えば品確法の施行にともなう性能評価や保証など業界内のコンプライアンスなどが強化されていきました。需要減少と制度の厳格化の両面から、それまで“おおらかに”住宅建設をしていた時代から、業界に閉塞感が広がりました。私は団塊ジュニア最後の世代で常に競争にさらされ社会人生活は不景気時代真っ只中でスタートし、この閉塞感をあまり気にならず仕事に専念していました。しかし“家余り”の中で、家を作るこの仕事には常に矛盾も感じていました。転換点となったのは、住む人にとっての“良質な住宅”がまだまだ不足している現状でした。良質な住宅とは、性能が高いだけでは実現しません。木造が人に優しく環境建築として脚光を浴び、改めて私はこの良質な木造住宅を作る仕事に誇りを感じています。さらに住宅で培った技術とインフラを非住宅建築の木質化・木造化への取組みに繋げ、木造建築の魅力を未来の世代へ繋いでいきたいと考えています。

地域工務店の手掛ける非住宅木造建築は、特殊な工法や材料を用いず住宅建築の延長にある在来軸組工法などオープン工法を得意とします。これはコスト競争力があるだけではなく、他の地域工務店でも対応ができ、アフターに優れ、後の増改築、耐震補強にも対応しやすいという利点があります。ここで大事な点は構法だけでなく、この先の将来にわたり入手しやすい製材を中心に使った“普通の”木造建築であることです。特殊な材料では将来の入手は不安です。これは防耐火の分野でも同様です。JBNでは林野庁の補助事業で、特殊加工のない製材板での板張り防火構造・準耐火構造の大臣認定を取得。私自身も住・木センターでの防耐火試験に何度も立ち会い、木材がゆっくりと燃えて裏面の温度上昇も穏やか、つまり安全に避難できるという事を体感し、更に木材利用への自信を深めました。



写真2 在来軸組工法で手掛けた300坪の事務所

良質な食材もそうですが、木材もそのまま使うのが一番シンプルで旨味があります。特殊解とならない“普通の”木造が、名も無い建築から街角のシンボルまで街にあふれる時代を迎えられるように私も5代目、そして未来の業界に引き継ぎたいと思っています。

（次回の執筆者は株式会社マルレーヴ 代表取締役社長 功刀友輔氏を予定しています）

この情報をシェアする→



この情報のURL : <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=407&mode=one&code=10002363>

URLをコピー

ホーム	ポータルサイト について	中大規模木造建築 入門ガイド	設計技術情報	動画情報	補助金・表彰 制度情報	講習会情報	担い手・サプライ チェーン情報	よくある質問	相談箱 (※登録者限定)
-----	-----------------	-------------------	--------	------	----------------	-------	--------------------	--------	-----------------

●ホーム > リレーコラムもくlog > リレーコラムもくlog/バックナンバー一覧 > タガタメ

リレーコラム もくlog バックナンバー



タガタメ

♡ お気に入りに追加

執筆・制作者：功刀 友輔（株式会社マルレーヴ 代表取締役社長）
掲載年月日：2023年3月1日

タイトルでピンときた方はヘミングウェイがミスチルのファンで、私は後者のライトなファンです。ミスチルの楽曲「タガタメ」はヘミングウェイの「誰がために鐘は鳴る」から引用されていると思いますが、初めて聴いた時は暗い感じであり好きではありませんでした。

近年の木材利用促進に関する施策は非常に多くかつスピーディーに打ち出されており、このコラムを掲載している「中大規模木造ポータルサイト」もこうした取り組みの一つです。

私が中大規模木造建築の勉強を始めた頃は（今も勉強中です）、中大規模木造建築を実現するためにはどんな情報が必要で、「何がわからないのかわからない」という絶望感を抱きながら太洋の波間を漂う小舟の船員ように進むべき方向もわからず、情報収集をしていました。今思えば、このポータルサイトがあったらどんなに助かったことかと思ひ、ぜひ多くの方に利用して頂きたいと思ひます。

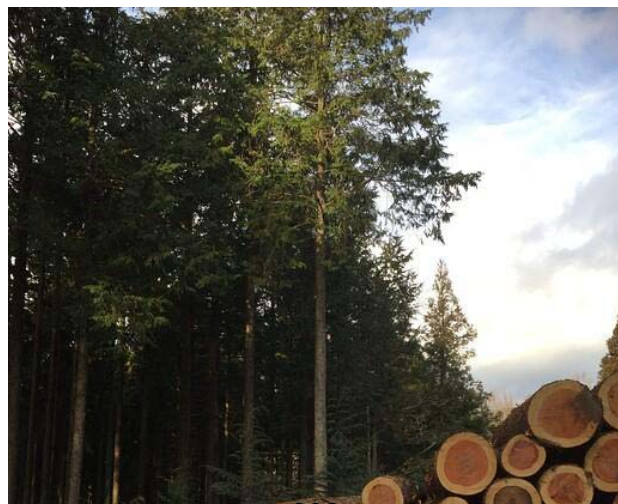
私が所属する一般社団法人中大規模木造プレカット技術協会（以下、PWA）も普及の一助となるように、各種のセミナーを開催しています。このセミナーの講師として年に数回登壇することがありますが、ここでお話しさせていただく際に木材利用促進がなぜ必要なのかをお伝えすることに時間を多く割いています。

昨今の建築業界では「木材」や「木造」がトレンドワードとしてはランキングの上位であると思ひますし、前述のセミナーには少なくとも木造建築に興味がある方が参加されているはずですが、「なぜ木造なのか」と聞くとなんとなく「環境に良いから」という答えをいただきます。他にも環境配慮の方法としてはいろいろあるのに日本がここまで「木推し」をする理由を尋ねると答えを持たない方がほとんどです。

こうした方々にお伝えしているのは、脱炭素社会の実現に対して日本が取りうる方策の一つとして、CO2を固定化する植物、とりわけ「木」がとても有効であるということです。

木がたくさん生えているところを林と言ったり森と言ったりしますが、ここでは林ということにします。長い年月をかけ、二酸化炭素を吸って（固定して）育ったこの林の木を切って我々が建築物や家具などを作って利用している間は、この固定された二酸化炭素は大気中には拡散されません。また、木を伐採した場所に新たに苗木を植え、それが育つとまた林になるわけですが二酸化炭素を吸って木は育っていくため、大気中の二酸化炭素は減少していきます。

我々が伐採し利用している木は、燃やしたり腐らせたりしなければ二酸化炭素を大気中に戻すことはありません。ゆえに、木をたくさん切って使い新たな木を育てることは、脱炭素社会の実現に資するというわけです。



ここからは私見ですが、現在の日本の建築業界は「使う」ことと「育てる」こととは頭張ってしまいが、「使う」ことと一対であるはずの「育てる」ことに興味が無いように感じています。

確かに、建築では「使う」ことしかできないのが現状かもしれませんが、「育てる」ことを意識的に使い方ができるのではないのでしょうか？

「使う」という行為には多くの投資が必要ですが、木材を育てることも投資が必要です。例えば「使う」時に「育てる」ために必要な投資ができるような配慮ができればより多くシリンを財源とする事ができます。このようにシリンはもちろん脱炭素社会の実現です。



ただやみくもにたくさん木を使うのではなく、無駄がないように使ったり（歩留まりをあげる）、高付加価値な材料として使ったり（内装材利用）することで、投資をするためのお金を山に返すことができるようになります。

前述の私が所属するPWAでは、低層非住宅を経済的に合理的かつ、歩留まりの良い国産製材をなるべく多用して実現できるようにさまざまな技術やツールを提供しています。PWAの活動は目立ちませんが、我々が必要だと思うものを少しずつ整備しており、こうした成果物も利用しやすいのだと思います。

この成果物で一番好評をえているのが「木質工事特記仕様書」「木造軸組接合標準図」です。これは中大規模木造を構造設計するためにPWA内の構造設計者の要望にあわせ、木造建築の技術者が情報を整理しながら作り上げたものです。ホームページから無料でダウンロードできるので、ご活用いただければ幸いです。

※「木質工事特記仕様書」「木造軸組接合標準図」はコチラ

<https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=401&mode=one&code=10001036>



このリレーコラムの前回担当は青木哲也氏でそのお父様はJBNの初代会長の故青木宏之氏です。生前、宏之氏の前でライフワークについて「自分の子供が通う学校を木造で建てたい」と宣言したのを覚えています。残念ながら、自分の子供の学校を木造にすることはできませんでしたが群馬県のある村の木造校舎に携わることができました。

ちょうど予定の字数となりました。タガタメの木材利用促進で、タガタメの木造の普及か、ミスチルを聴きながら次のライフワークについてもう一度考えてみたいと思います。

(今回の執筆者は三菱地所株式会社 関連事業推進室 CLT WOOD PROMOTIONユニット 統括 海老澤渉氏を予定しています)

この情報をシェアする→



この情報のURL : <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=407&mode=one&code=10002467>

URLをコピー

ホーム	ポータルサイト について	中大規模木造建築 入門ガイド	設計技術情報	動画情報	補助金・表彰 制度情報	講習会情報	担い手・サプライ チェーン情報	よくある質問	相談箱 (※登録者限定)
-----	-----------------	-------------------	--------	------	----------------	-------	--------------------	--------	-----------------

●ホーム > リレーコラムもくlog

リレーコラム もくlog

リレーコラムもくlogは、木造建築に関する出来事や気になる情報、各取り組みへの感想など
検討委員会委員を中心にリレー形式で定期的に掲載するページです。



広がる・繋がる木材利用の輪、いま思うこと

●お気に入りに追加

執筆・制作者：海老澤 渉（三菱地所設計 R&D推進部 木質建築推進室 兼 構造設計部 チーフエンジニア 兼務 三菱地所 関連事業推進室 CLT WOOD PROMOTIONユニット 統括 兼務 MEC Industry 企画部 商品開発課 クリエイティブエンジニア）

掲載年月日：2023年3月15日

この人誰？と思われる方が多いでしょうから、まずは簡単に自己紹介をさせて下さい（笑）。

私は1982年生まれの40歳で、2007年に三菱地所設計に入社しました。生まれは東京と言っていますが、小5から広島市五日市、高2から宮城県多賀城市、大学で東京に戻ってきたので、いわゆる「転勤族」の家庭で育ち、青春時代は自然豊かな場所で過ごすことが多かったです。

私が初めて木造建築に携わったのは2012年春からスタートした某寺院の大仏殿の設計業務でした。私の専門は構造設計ですが、当時の三菱地所設計は鉄骨造（S造）かRC造のプロジェクトしかない時代。これらを扱うときは会社の諸先輩方にさまざまなことを教わりながら設計していくのですが、木造については経験者が誰もいなかったため、社外のいろいろな方に教わりながら取り組んだことを思い出します。

大仏殿の設計は実施設計の終盤でクライアントの都合で中止になりましたが、同時期に進めていた敷地の隣の公園の公衆トイレも木造で設計しました。積み木のように木材を重ねた組積づくりの小さなかわいらしいトイレをつくりました。（写真1）



写真1 積み木トイレ

2016年に三菱地所の新規事業として、CLT等の木材を自社のアセット開発に取り入れるべく研究開発を行うCLTユニットを設立してからは、「PARK WOOD高森」（写真2）、「みやこ下地島空港ターミナル」、「PARK WOOD office iwamotocho」、「CLT PARK HA RUMI」、「ザ ロイヤルパーク キャンパス 札幌大通公園」などのプロジェクトに事業者として携わりました。これらの開発を通じて得られた知見を活かし、国産材活用を加速させるべく鹿児島に原木丸太の購入から商品の製造・開発・販売を一気通貫で行う「MEC Industry」という会社（写真3）を2020年1月に設立、2022年6月から工場が本格稼働しています。



写真2 PW高森現場建方



写真3 MEC Industry湧水工場

MEC Industryでは木をS造やRC造の技術と組み合わせた新建材の開発を行っており、「MIデッキ」という仕上げ材兼型枠材商品の製造販売をしています。特別な技術が必要とせず、S造やRC造で気軽に木質空間が作れる建材です。ご興味がある方はMEC Industryのホームページを是非ご覧ください。

2021年には三菱地所設計のR&D推進部の中に「木」の活用を推進する木質建築推進室を設立し、社内や三菱地所グループ会社への技術サポートだけでなく、いままでのノウハウを活用したコンサルやアドバイザー業務なども行っています。「木」に興味があるけど何したらよいか悩んでおられる方はお気軽にご連絡ください。

さて、本題に移りましょう。とは言っても自己紹介にかなりの文面を割いてしまいましたので簡単に。今年の1月23日に静岡県浜松市主催の「浜松地域FSC・CLT活用推進協議会」のCLT部会に参加し、三菱地所グループの木造木質化事業の取り組みを紹介する機会をいただきました。浜松で林業や建設業などに関わる多くの方々とディスカッションすることで、私自身も新たな気付きがありました。浜松だからできることや、地域ならではの特色を活かした木造木質建築の話などで盛り上がり、それぞれの地域に熱意をもって仕事されている方が多くいることを知りました。今までの取り組みで得た当グループのノウハウと地元ならではのノウハウを活かし、そこでしかできない木造木質建築を生み出していければと思います。



写真4 CLT部会の様子

実は今まで知らなかったのですが、浜松の森から出る木はすべて適切に管理された森林であることを保証する国際的な認証制度「FSC」の認証材だそうです。認証材は取得・維持が大変で、かつ認証材だからと言って高く買ってもらえる訳ではないと聞いたことがあったので、なかなか認証取得は進まないだろうと勝手に思っていたところ、FSCの森があり驚きました。

翌日は「浜松のSDGsとFSCを推進する会」に参加し、浜松の森と製材所を見学させていただきました。300年以上前から浜松市天竜区に森林を有し、伐採から搬出、出荷まで手がける自伐林業家の鈴木さんの「持続的かつ永続的な形で林業を営んでいる」との話を聞き、そのように大事に育てられた木を良い形で使い、森林の循環に貢献できる取り組みをしていきたいと思いました。このような機会をくださった株式会社HUGの山田さん、有限会社アランの中根さん、浜松市林業振興課の佐田さん・渡辺さん、一緒に講演した株式会社sofaの深川さんにこの場を借りて感謝申し上げます。



浜松の次は伊勢に向かい、「鈴工CLT Research & Designラボ」主催のシンポジウムに参加させていただきました。その様子はまたボタンが回ってきたときにお伝えしたいと思います。

話が逸れますが、伊勢では以前からどうしても見たかった中規模木造の元祖（私がそう思っているだけかもしれませんが）である海の博物館も見てきました。



建築の魅力もさることながら、展示の内容、ボリュームにも圧倒されました。この話も次の機会に。

CO2排出量の削減や炭素固定など地球環境への配慮がますます求められる中、増え続ける国内の森林資源の有効活用、林業活性化、地

方創生、国土強靱化、治山治水などの社会課題の解決のためには、木材活用による循環型社会の実現はさらに重要性を増してきます。本ポータルサイトを通して中大規模木造のプレイヤーが増えることを期待しています。

(次回の執筆者は東京都市大学 名誉教授 大橋好光氏を予定しています)

この情報をシェアする→



この情報のURL : <https://mokuzouportal.jp/cgi-bin/disp.cgi?no=406&mode=one&code=10002485>

URLをコピー

バックナンバーはこちら

ホーム ポータルサイトについて 中大規模木造建築入門ガイド 設計技術情報 動画情報 講習会情報 担い手・サプライチェーン情報 補助金・表彰制度情報 よくある質問 相談箱

リンク集 サイトマップ 委員会について 個人情報の取り扱いについて サイトポリシー お問い合わせ アンケート



林野庁

©2020 中大規模木造建築ポータルサイト検討委員会

ホーム	ポータルサイト について	中大規模木造建築 入門ガイド	設計技術情報	動画情報	講習会情報	担い手・サブライ チェーン情報	補助金・表彰 制度情報	よくある質問	相談箱 (※登録者限定)
-----	-----------------	-------------------	--------	------	-------	--------------------	----------------	--------	-----------------

●ホーム > ユーザー登録

ユーザー登録

ユーザー登録について（登録無料）

メリット！

- ・新着情報の一覧をメールにて受け取れます（登録・更新日の当日または翌日配信）
※新着情報が無い日は、配信ありません
- ・相談箱へ質問、回答することができます
- ・お気に入りの情報を登録できるなど、便利な機能「マイページ」をご利用いただけます。
- ・リレーコラム「もくlog」のバックナンバーをご覧いただけます。

下記「個人情報の取り扱いについて」をよくお読みいただき、同意の上、お申込手続きをして下さい。

●個人情報の取り扱いについて

中大規模木造建築ポータルサイト検討委員会（以下「当委員会」という）は、本ポータルサイトを運用するに当たり、データの提供者あるいはお問い合わせ頂いた利用者のみみなさまの個人情報の取り扱いにつきまして、下記のとおり実施致します。

（1）個人情報の利用

当委員会がお預かりした個人情報は、個人情報を頂いた方に了承を得た範囲内で、利用目的に沿った範囲内で利用致します。

①利用目的の範囲について

基本情報の入力

■携帯電話（フィーチャーフォン、スマートフォン）のメールアドレスをご利用の方へ「ドメイン指定受信」及び「なりすましメール規制」の設定をされている方は、必ず、送信前に『mokuzouportal.jp』からのメールが受信できるよう許可リストに設定してください。設定の手順は、各携帯電話会社によって異なります。（詳しくは携帯電話の取扱い説明書もしくは各携帯電話会社のホームページをご覧ください）

■メールが迷惑メールフォルダ等に分別されることがあります。メールが届かない場合は、迷惑メールフォルダ等もご確認ください。

■送信後、ご入力いただいたメールアドレスに確認用のパスコードを記載したメールを送信いたしますので、表示された画面にパスコードを入力し、登録を完了させてください。

メールアドレス **必須**

メールアドレス（確認） **必須** @

お名前 **必須**

フリガナ **必須**

性別 男性 女性

誕生年月 お選びください ▼ 年 お選びください ▼ 月

法人・個人 法人 個人

会社名 **必須**

部署名

郵便番号

都道府県 **必須**

ご住所 **必須**

お電話 **必須**

FAX

ユーザー属性（複数入力可） **必須**

パスワード **必須**

※パスワードは、①アルファベット、②数字を
「それぞれ1文字以上含んだ8文字以上（¥は使用不可）」を設定してください。

パスワード（確認） **必須**

本ポータルサイトからの
メールを受け取る **必須**

個人情報の取り扱いについて **必須** 個人情報の取り扱いに同意する

入力内容の確認

初めの方へ

トップページの概要

トップページは中大規模木造建築ポータルサイトの入り口です。

ここでは新着情報が掲載されていたり、いろいろなページへのリンクを整理して表示しています。



(1) 共通ヘッダー

他のページにも共通して表示される場所です。文字のサイズ変更による閲覧環境を補助する機能を設置しています。また、それぞれの項目については下記にてご説明いたします。

◆ホーム

トップページに戻ることができます。

◆ポータルサイトについて

ポータルサイトの設立背景と目的、対象者や本サイトで扱う中大規模木造建築物の定義を説明しています。

◆中大規模木造建築入門ガイド

木造で中大規模建築を建ててみたいと思った時に見るページです。実現に必要な情報を紹介しています。

◆設計技術情報

お知りになりたい設計技術情報、資料の種別、工法、建物用途等の選択項目をクリックして、設計技術情報（解説書や手引き等の名称やサマリー、リンク先の情報等）について検索することができます。

◆動画情報

お知りになりたい設計技術情報、工法等の選択項目をクリックして、動画情報について検索することができます。

◆講習会情報

お知りになりたい講習会種別、講習内容、工法等の選択項目をクリックして、講習会情報(木造建築物の設計や建築等に関する各種の講習会の開催予定のほか、過去に開催された講習会の受講情報)について検索することができます。

◆担い手・サプライチェーン情報

中大規模木造建築の実現に必要な各事業者(構造設計者、施工者、プレカット工場・コンポーネント会社等)の情報を閲覧できるWebサイトを紹介しています。

◆補助金・表彰制度情報

各種支援制度の概要等の情報について、利用可能地域、応募者、対象事業等の選択項目をクリックし、補助金・表彰制度情報(国が行う木造建築物の設計、建築等に関する補助事業や表彰制度等)について検索することができます。

◆よくある質問

中大規模木造建築を設計・施工に関する、一般的によくある質問をまとめています。

◆相談箱

ユーザー登録して頂いている「ユーザー属性」をもとに、質疑することができます。回答者は、ユーザー登録して頂いている「ユーザー属性」又は「会社名・お名前」の選択した情報が表示されます。登録している方がお互いに意見交換できるページになります。相談箱への回答は、回答者個人の知識に基づくものであり、回答者が所属する組織の見解を示すものではありません。

(2) サイト内検索

各ページのトップに、ポータルサイト内を検索する機能があります。検索ウィンドウにキーワードをいれて様々な情報をお探しいただけます。

◆詳細な検索方法◆

単一キーワードによる検索

調べたい単語を一つ指定する、最も基本的な検索手法です。

キーワード入力欄に、目的の情報に関連するキーワードを入力し、[検索] ボタンをクリックします。

入力例) 事務所

いずれのキーワードも含むページを検索 (AND検索)

複数の単語のすべてを含む文書を検索します。すでに入力してあるキーワードのあとにスペースを入れてから、新しいキーワードを追加します。

入力例) 幼稚園 事例

◆検索結果の表示・確認◆

最大100件の検索結果が一画面に表示されます。該当する検索結果が多数の場合、検索結果画面の下部に画面番号リンク、[前へ]、[次へ] リンクが表示されます。

最初に表示された検索結果画面で目的の情報が見つからない場合、検索結果下部の各リンクをクリックすることで、他の検索結果候補を確認することができます。

“結果はありません”と表示される場合

入力キーワードが多い、あるいは長すぎる場合、検索結果が表示されない場合があります。

キーワードを減らす、または短くするなどして、再度検索してください。

なお、公開直後の情報は、検索対象となるまで時間を要する場合があります。

(3) ログイン

ユーザー登録をしている方はこちらからログインすることができます。ログインすることにより最新情報がメールにて受け取れたり、相談箱への記入、お気に入りの情報を登録できるマイページなど様々なサービスを利用することができます。

(4) 新着情報


本サイトにて新たに追加された情報を、新しい順に掲載しています。



(5) 共通フッター

他のページにも共通して表示される場所となります。共通ヘッダーの項目のほか、委員会について、個人情報の取り扱いについて、サイトポリシーなど、基本的かつ補足的な内容ページへリンクします。

目的の情報にたどり着く方法はありません

中大規模木造建築ポータルサイトでは、一つの情報に対しさまざまな方法でたどり着くことができます。それぞれの情報検索ページから、新着情報の一覧から、またキーワード検索により、よりの確な情報の検索も可能になっています。

ホーム	ポータルサイトについて	中大規模木造建築入門ガイド	設計技術情報	動画情報	講習会情報	担い手・サプライチェーン情報	補助金・表彰制度情報	よくある質問	相談箱
 初めての方へ	リンク集	サイトマップ	委員会について	個人情報の取り扱いについて	サイトポリシー	お問い合わせ	アンケート		



©2020 中大規模木造建築ポータルサイト検討委員会

ホーム	ポータルサイト について	中大規模木造建築 入門ガイド	設計技術情報	動画情報	補助金・表彰 制度情報	講習会情報	担い手・サプライ チェーン情報	よくある質問	相談箱 (※登録者限定)
-----	-----------------	-------------------	--------	------	----------------	-------	--------------------	--------	-----------------

●ホーム > リンク集

リンク集

国土交通省

林野庁

株式会社 日経BP

国立研究開発法人 建築研究所

国土交通省国土技術政策総合研究所

一般社団法人 不動産協会

公益社団法人 日本建築士会連合会

一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会

公益社団法人 日本建築家協会

一般社団法人 日本建築構造技術者協会

一般社団法人 日本建設業連合会

一般社団法人 新都市ハウジング協会

一般社団法人 プレハブ建築協会

一般社団法人 日本木造住宅産業協会

一般社団法人 日本ツーバイフォー建築協会

一般社団法人 日本CLT協会

一般社団法人 日本木造耐火建築協会

一般社団法人 JBN・全国工務店協会

一般社団法人 中大規模木造プレカット技術協会

日本集成材工業協同組合

一般社団法人 建築性能基準推進協会

一般社団法人 木を活かす建築推進協議会

公益財団法人 日本住宅・木材技術センター

ホーム	ポータルサイト について	中大規模木造建築 入門ガイド	設計技術情報	動画情報	補助金・表彰 制度情報	講習会情報	担い手・サプライ チェーン情報	よくある質問	相談箱 (※登録者限定)
-----	-----------------	-------------------	--------	------	----------------	-------	--------------------	--------	-----------------

●ホーム > サイトマップ

サイトマップ

ホーム

初めての方へ

ポータルサイトについて

新着情報

各種情報の掲載マニュアル

中大規模木造建築入門ガイド

設計技術情報

動画情報

講習会情報

担い手・サプライチェーン情報

補助金・表彰制度情報

ログイン

新規ユーザー登録

パスワードの再設定

ユーザー登録情報の変更

よくある質問

相談箱 (登録ユーザー専用)

リンク集

サイトマップ

委員会について

個人情報の取り扱いについて

サイトポリシー

お問い合わせ

ホーム

ポータルサイト
について

中大規模木造建築
入門ガイド

設計技術情報

動画情報

講習会情報

担い手・サプライ
チェーン情報

補助金・表彰
制度情報

よくある質問

相談箱

リンク集

サイトマップ

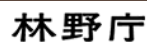
委員会について

個人情報の取り扱いについて

サイトポリシー

お問い合わせ

アンケート



ホーム	ポータルサイト について	中大規模木造建築 入門ガイド	設計技術情報	動画情報	補助金・表彰 制度情報	講習会情報	担い手・サプライ チェーン情報	よくある質問	相談箱 (※登録者限定)
-----	-----------------	-------------------	--------	------	----------------	-------	--------------------	--------	-----------------

●ホーム > 委員会について

中大規模木造建築ポータルサイト整備検討委員会（敬称略、順不同）

委員長：	大橋 好光	東京都市大学 名誉教授
委員：	稲山 正弘	東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授
	腰原 幹雄	東京大学 生産技術研究所 教授
	中島 史郎	宇都宮大学 地域デザイン科学部 教授
	安井 昇	桜設計集団一級建築士事務所 代表 早稲田大学大学院 理工学研究所 招聘研究員
	山代 悟	有限会社ビルディングランドスケープ 代表取締役 芝浦工業大学建築学部 教授
	安達 功	株式会社 日経BP 執行役員 総合研究所所長
	槌本 敬大	国立研究開発法人 建築研究所 材料研究グループ 上席研究員
	犬飼 瑞郎	国土交通省国土技術政策総合研究所 建築研究部 建築品質研究官
	海老澤 渉	一般社団法人 不動産協会
	村上 淳史	公益社団法人 日本建築士会連合会
	南 孝雄	一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会
	筒井 信也	公益社団法人 日本建築家協会
	山田 憲明	一般社団法人 日本建築構造技術者協会
	小林 道和	一般社団法人 日本建設業連合会
	白井 清広	一般社団法人 新都市ハウジング協会
	中村 孝	一般社団法人 プレハブ建築協会
	逢坂 達男	一般社団法人 日本木造住宅産業協会
	清野 明	一般社団法人 日本ツーバイフォー建築協会
	坂部 芳平	一般社団法人 日本CLT協会
	安達 広幸	一般社団法人 日本木造耐火建築協会
	青木 哲也	一般社団法人 JBN・全国工務店協会
	功刀 友輔	一般社団法人 中大規模木造プレカット技術協会
	清水 邦夫	日本集成材工業協同組合
	山田 誠	一般社団法人 建築性能基準推進協会
	沼田 良平	一般社団法人 木を活かす建築推進協議会
	向井 昭義	公益財団法人 日本住宅・木材技術センター
事務局：		公益財団法人 日本住宅・木材技術センター 株式会社 アルセッド建築研究所

ホーム	ポータルサイトについて	中大規模木造建築入門ガイド	設計技術情報	動画情報	補助金・表彰制度情報	講習会情報	担い手・サプライチェーン情報	よくある質問	相談箱 (※登録者限定)
-----	-------------	---------------	--------	------	------------	-------	----------------	--------	-----------------

個人情報の取り扱いについて

中大規模木造建築ポータルサイト検討委員会（以下「当委員会」という）は、本ポータルサイトを運用するに当たり、データの提供者あるいはお問い合わせ頂いた利用者のみならず、みなさまの個人情報の取り扱いにつきまして、下記のとおり実施致します。

（１）個人情報の利用

当委員会がお預かりした個人情報は、個人情報を頂いた方に了承を得た範囲内で、利用目的に沿った範囲内で利用致します。

①利用目的の範囲について

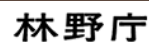
- ・ポータルサイトの内容として掲載する場合
- ・業務上のご連絡をする場合
- ・ご利用者様からのお問い合わせへの対応をさせて頂く場合
- ・その他、ご利用者様のご同意を頂いた場合

（２）個人情報の第三者提供

当委員会は、ご利用者様の同意なしに第三者へのご利用者様の個人情報の提供は行いません。ただし、個人情報に適用される法律その他の規範により、当委員会が従うべき法令上の義務等の特別な事情がある場合は、この限りではありません。

ホーム	ポータルサイトについて	中大規模木造建築入門ガイド	設計技術情報	動画情報	講習会情報	担い手・サプライチェーン情報	補助金・表彰制度情報	よくある質問	相談箱
-----	-------------	---------------	--------	------	-------	----------------	------------	--------	-----

リンク集 サイトマップ 委員会について 個人情報の取り扱いについて サイトポリシー お問い合わせ アンケート



ホーム	ポータルサイト について	中大規模木造建築 入門ガイド	設計技術情報	動画情報	補助金・表彰 制度情報	講習会情報	担い手・サプライ チェーン情報	よくある質問	相談箱 (※登録者限定)
-----	-----------------	-------------------	--------	------	----------------	-------	--------------------	--------	-----------------

サイトポリシー

1.著作権について

当ホームページに掲載されている個々の情報（文字、写真、図）は著作権の対象となっております。また、当ホームページ全体も編集著作物として著作権の対象となっており、ともに各国の著作権法及び国際条約により保護されています。

当ホームページの掲載情報（写真、図を除く）の全部又は一部については、私的使用又は引用等著作権法上認められた行為として、適宜の方法により出所を明示することにより、引用を行うことができます。無断転載・複製は禁じます。

当ホームページの内容の全部又は一部について、無断で改変を行うことはできません。

2.免責事項について

当ホームページに情報を掲載する際には、情報の正確さについては万全を期しておりますが、技術的・法的に不完全な記述や誤植が含まれる場合があります。当方は利用者が当ホームページの情報をを用いて行う一切の行為について、何ら責任を負うものではありません。

当ホームページの保守、火災・停電その他の自然災害及びウイルスや第三者の妨害等行為などの不可抗力によって、当ホームページによるサービスが停止したことに起因して利用者に生じた損害につき、当方は責任を負いかねますのでご了承ください。

ブラウザソフトや各種ツールなどのダウンロード及びインストールは、利用者の責任に基づいて行ってください。ダウンロード及びインストールに際して発生する障害やトラブルについて、当方は損害賠償や問題解決の責任を一切負いません。

3.リンクについて

当ホームページへのリンクは原則として自由ですので、リンクする場合のご連絡は不要です。ただし、悪用の意図があきらかな場合やリンク元の内容が法令や公序良俗に反する場合などの場合には、リンクの削除をお願いすることがありますので、あらかじめご了承ください。

当ホームページをフレーム内に表示することは誤解を招く恐れがあるためご遠慮ください。

その他当ホームページは予告なしに内容を変更又は削除する場合があります。あらかじめご了承ください。

ホーム	ポータルサイト について	中大規模木造建築 入門ガイド	設計技術情報	動画情報	講習会情報	担い手・サプライ チェーン情報	補助金・表彰 制度情報	よくある質問	相談箱
-----	-----------------	-------------------	--------	------	-------	--------------------	----------------	--------	-----

ホーム	ポータルサイト について	中大規模木造建築 入門ガイド	設計技術情報	動画情報	補助金・表彰 制度情報	講習会情報	担い手・サプライ チェーン情報	よくある質問	相談箱 (※登録者限定)
-----	-----------------	-------------------	--------	------	----------------	-------	--------------------	--------	-----------------

●ホーム > お問い合わせ

お問い合わせ

本ポータルサイトについての要望やご意見、ご提案などがありましたら、下記フォーム入力後、「入力内容の確認へ」ボタンをクリックし、ご送信よろしくお願い致します。なお、ポータルサイトの掲載内容に関する個別のお問い合わせにつきましては、ポータルサイト及びリンク先に記載されているお問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

■携帯電話（フィーチャーフォン、スマートフォン）のメールアドレスをご利用の方へ「ドメイン指定受信」及び「なりすましメール規制」の設定をされている方は、必ず、送信前に『mokuzouportal.jp』からのメールが受信できるよう許可リストに設定してください。設定の手順は、各携帯電話会社によって異なります。（詳しくは携帯電話の取扱い説明書もしくは各携帯電話会社のホームページをご覧ください）

■メールが迷惑メールフォルダ等に分別されることがあります。メールが届かない場合は、迷惑メールフォルダ等もご確認ください。

お問い合わせ内容 **必須**

法人・個人

法人 個人

お名前 **必須**

高橋秀樹

フリガナ **必須**

タカハシヒデキ

会社名

公益財団法人日本住宅・木材技術センター

部署名

研究技術部

郵便番号

1360075

都道府県

東京都 ▼

ご住所

江東区新砂3-4-2

お電話（携帯可） **必須**

03-5653-7662

FAX

メールアドレス **必須**

h-takahashi@howtec.or.jp

メールアドレス（確認） **必須**

h-takahashi

@ howtec.or.jp

個人情報の取り扱いについて **必須**

中大規模木造建築ポータルサイト検討委員会（以下「当委員会」という）は、本ポータルサイトを運用するに当たり、データの提供者あるいはお問い合わせ頂いた利用者のみなさまの個人情報の取り扱いにつきまして、下記のとおり実施致します。

(1) 個人情報の利用

当委員会がお預かりした個人情報は、個人情報を頂いた方に了承を得た範囲内で、利用目的に沿った範囲

個人情報の取り扱いに同意する

入力内容の確認

ホーム

ポータルサイト
について

中大規模木造建築
入門ガイド

設計技術情報

動画情報

講習会情報

担い手・サプライ
チェーン情報

補助金・表彰
制度情報

よくある質問

相談箱

リンク集

サイトマップ

委員会について

個人情報の取り扱いについて

サイトポリシー

お問い合わせ

アンケート



林野庁

©2020 中大規模木造建築ポータルサイト検討委員会

中大規模木造建築ポータルサイトご利用アンケート

<アンケートご協力のお願い>

中大規模木造建築ポータルサイトをご利用いただき、ありがとうございます。

みなさまのお役に立てるページ作りのためにアンケートを実施しております。みなさまの声をお聞かせください。

1. 中大規模木造建築ポータルサイトの内容について

①ポータルサイトで入手したい設計技術情報の項目（複数回答可）

- 意匠設計 材料 構造設計 防耐火設計
- 設備設計 耐久性・維持管理 環境・省エネ 遮音・振動
- 積算 施工 コスト 木造の良さ
- その他

▼その他と回答した方はご記入ください

▼入手したい具体的な情報内容やその理由など、ございましたらお書き下さい。

②ポータルサイトで入手したい設計技術情報の種別（複数回答可）

- テキスト 事例集 Web・データベース 標準図・設計例
- その他

▼その他と回答した方はご記入ください

▼入手したい具体的な情報種別やその理由など、ございましたらお書き下さい。

③ポータルサイトで役に立ったコンテンツ（複数回答可）

- 中大規模木造建築入門ガイド 設計技術情報 講習会情報
- 担い手・サプライチェーン情報 補助金・表彰制度情報 相談箱

④ポータルサイトで拡充してほしい機能（複数回答可）

拡充してほしい機能（検索機能、情報項目）がありましたら自由にご記入下さい。

▼拡充してほしい機能項目

▼拡充してほしい機能の内容

▼拡充してほしい機能項目

▼拡充してほしい機能の内容

⑤ポータルサイトで掲載してほしい情報（複数回答可）

掲載してほしい情報（設計技術情報、講習会情報等）がありましたら自由にご記入下さい。

▼掲載して欲しい情報項目

▼掲載してほしい情報の内容

▼掲載して欲しい情報項目

▼掲載してほしい情報の内容

⑥ポータルサイトに対する意見（任意回答）

2.回答者の属性（任意回答）

職業

- | | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|
| <input type="radio"/> 意匠設計事務所 | <input type="radio"/> 構造設計事務所 | <input type="radio"/> 設備設計事務所 |
| <input type="radio"/> ゼネコン（設計） | <input type="radio"/> ゼネコン（施工） | <input type="radio"/> ゼネコン（その他） |
| <input type="radio"/> ハウスメーカー（設計） | <input type="radio"/> ハウスメーカー（施工） | <input type="radio"/> ハウスメーカー（その他） |
| <input type="radio"/> 工務店・大工 | <input type="radio"/> 建材メーカー | <input type="radio"/> 林業 |
| <input type="radio"/> 製造業 | <input type="radio"/> プレカット加工業 | <input type="radio"/> 木材流通業 |
| <input type="radio"/> 行政 | <input type="radio"/> 大学／研究機関 | <input type="radio"/> 公益法人／NPO |
| <input type="radio"/> 建築主 | <input type="radio"/> その他 | |

▼その他と回答した方はご記入ください

建築物の設計・施工の従事経験

構造種別毎に該当する年数を選択してください

木造

- 未経験 1年未満 1、2年 3～5年
 6～10年 11～20年 21年以上

R C造

- 未経験 1年未満 1、2年 3～5年
 6～10年 11～20年 21年以上

S造

- 未経験 1年未満 1、2年 3～5年
 6～10年 11～20年 21年以上

中大規模建築物

4階以上又は延べ面積1,000㎡以上、木造以外の構造も含む)の設計・施工の従事経験

- 未経験 1年未満 1、2年 3～5年
 6～10年 11～20年 21年以上

年齢

--

性別

- 男性
 女性

アンケートにご協力くださいますと、ありがとうございます。



私はロボットではありません

reCAPTCHA
プライバシー・利用規約

アンケートを送信

ホーム

ポータルサイト
について

中大規模木造建築
入門ガイド

設計技術情報

動画情報

講習会情報

担い手・サプライ
チェーン情報

補助金・表彰
制度情報

よくある質問

相談箱

リンク集

サイトマップ

委員会について

個人情報の取り扱いについて

サイトポリシー

お問い合わせ

アンケート

3. 2 中大規模木造建築普及促進策

(1) 背景、目的

中大規模木造建築ポータルサイト整備事業においては、中大規模木造建築ポータルサイト（以下「ポータルサイト」という。）の整備、拡充により、中大規模木造建築を実現していくための一元的な情報提供を行うとともに、中大規模木造建築の普及促進策の総合的な展開を図るため、関係団体等の協力を得て、「中大規模木造建築の普及促進に向けた課題と対応策（案）の整理」のとりまとめを行った。

令和4年度においては、ポータルサイトのシステム改良、コンテンツの充実を図るとともに、ヒアリングやアンケートにより、関係団体等の取組に関する情報共有を進め、必要に応じて新たな普及促進策の具体化検討を行い、「中大規模木造建築の普及促進に向けた課題と対応策の整理（案）」の充実等を図る。

これにより、中大規模木造建築の実現における各分野別の課題と取組方策について整理するとともに、中大規模木造建築を手掛ける設計施工者のみならず、建築主や金融・投資家サイド、部材供給事業者等への効果的な普及促進の取組に寄与することを目的とした。

(2) 検討の進め方

① 中大規模木造建築の普及促進策の取組状況等のヒアリング、情報共有

ポータルサイトの改良、充実に関する関係団体等に対するヒアリングとともに、関係団体の取組状況、予定等（中大規模木造建築の普及促進に関する課題、設計技術資料等の作成、講習会の開催の取組、普及促進のターゲット等）について、昨年度における普及促進策の検討項目（次頁参照）に沿って、ヒアリングやアンケートを行い、普及促進策の取組状況の確認、情報共有を行った。

② 新たな普及促進策の具体化検討等

(1)の普及促進策の取組状況等のヒアリングや、今後の課題、普及方策に関するヒアリングを行う中で、必要に応じて新たな課題や普及促進策（案）について検討整理を行い、今後の具体化に向けた検討を行った。

【検討すべき新たな普及促進策のケース例】

- ・中大規模木造建築の具体化を進める中で新たな課題が明らかとなり、それに対する普及促進策が必要なケース
- ・ポータルサイトを利用、掲載運用していく中で新たな課題が明らかとなり、それに対する普及促進策が必要なケース
- ・既に課題が明らかになっているものの、未だ十分な普及促進策が用意できていないケース（ポータルサイトの掲載項目のうち掲載内容が不足しているケースや上記の取組確認様式における今後の取組予定が空欄のケース等）

- ③ 「中大規模木造建築の普及促進に向けた課題と対応策の整理（案）」の充実等
（１）、（２）の検討を踏まえ、「中大規模木造建築の普及促進に向けた課題と対応策の整理（案）」について、時点修正とともに内容の充実を図った。

凡例：赤字は新発項目、下線部は昨年度からの追加、変更点

- 実施済、実施中の取組
- 未実施の取組
- 取組が多い課題領域
- 取組がまだ少ない課題領域

中大規模木造の普及に向けた課題と対応策の整理（案）（その4）

2. 新たな技術の開発、技術基準の整備（設計者・施工者向け）（各種用途別）

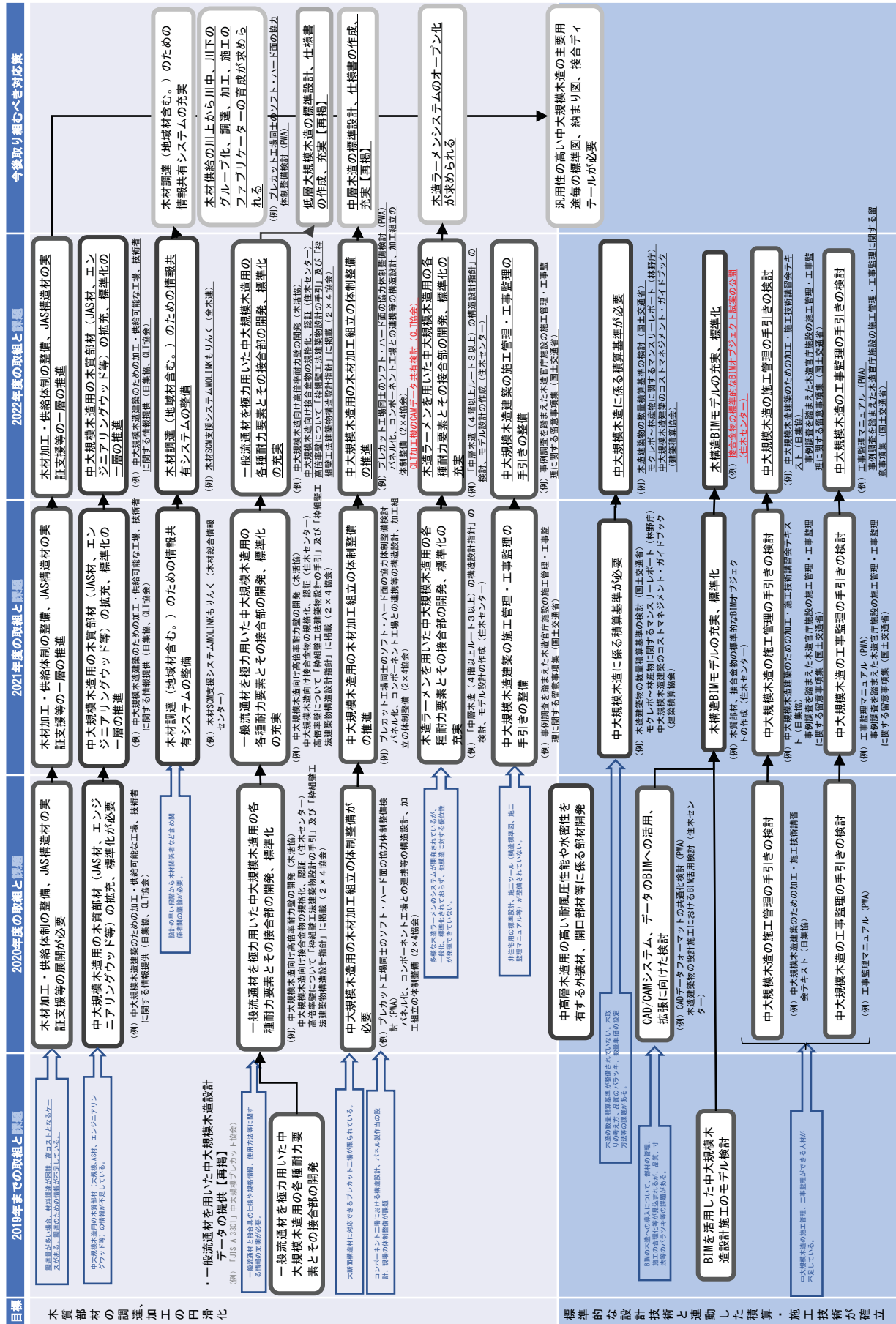
目標	2019年までの取組と課題	2020年度取組と課題	2021年度取組と課題	2022年度取組と課題	今後取り組むべき対応策	
木造の店舗、飲食店等に係る標準的な設計技術が確立、普及する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低層店舗、飲食店等の中大規模木造設計データの提供 <small>(例) 10名超える客席を有するレストランの無柱空間を本連棟で実現している事例が豊富（設計・運用）中大規模木造設計情報サイト（仮称）の構築検討</small> 	<ul style="list-style-type: none"> 中大規模木造建築ポータルサイトの開設、運営 Web情報提供の改良、コンテンツ充実 <small>(例) 中大規模木造建築ポータルサイトの改良、コンテンツ充実</small> 	<ul style="list-style-type: none"> Web情報提供の改良、コンテンツ充実 ユーザアンケート等 	<ul style="list-style-type: none"> Web情報提供の改良、コンテンツ充実 ユーザアンケート等 	<ul style="list-style-type: none"> Web情報提供の改良、コンテンツ充実 ユーザアンケート等 	<ul style="list-style-type: none"> Web情報提供の改良、コンテンツ充実 ユーザアンケート等
木造の福祉、医療施設等に係る標準的な設計技術が確立、普及する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉・医療施設等の中大規模木造設計データの提供 <small>(例) 本を活かした医療施設・福祉施設の手引きの発行（仮称）</small> 	<ul style="list-style-type: none"> 各種用途の低層木造建築モデルの充実、普及 <small>(例) 低層木造福祉・医療施設の設計モデルの充実（住本センター）</small> 	<ul style="list-style-type: none"> 各種用途の低層木造建築モデルの充実、普及 福祉・医療施設の低層木造建築モデルの検討、普及 <small>(例) 本を活かした医療施設・福祉施設の手引き（仮称）</small> 	<ul style="list-style-type: none"> 各種用途の低層木造建築モデルの充実、普及 福祉・医療施設の低層木造建築モデルの検討、普及 木造建築供給支援システム認定事業の導入 	<ul style="list-style-type: none"> 各種用途の低層木造建築モデルの充実、普及 福祉・医療施設の低層木造建築モデルの検討、普及 木造建築供給支援システム認定事業の導入 	<ul style="list-style-type: none"> 各種用途の低層木造建築モデルの充実、普及 福祉・医療施設の低層木造建築モデルの検討、普及 木造建築供給支援システム認定事業の導入
木造の事務所、庁舎に係る標準的な設計技術が確立、普及する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中高層事務所等の中大規模木造設計データの提供 <small>(例) 「ワットチェンジネットワーク」の普及資料</small> 	<ul style="list-style-type: none"> 中層木造事務所モデルの試験（住本センター） 	<ul style="list-style-type: none"> 中層木造事務所モデルの充実、普及 低層木造事務所標準モデルの検討 <small>(例) オープン工法で設計施工可能な低層木造事務所標準モデルが必要。</small> 	<ul style="list-style-type: none"> 中層木造事務所モデルの試験（住本センター） 低層木造事務所標準モデルの検討 中層木造事務所標準モデルの検討 	<ul style="list-style-type: none"> 中層木造事務所モデルの試験（住本センター） 低層木造事務所標準モデルの検討 中層木造事務所標準モデルの検討 	<ul style="list-style-type: none"> 中層木造事務所モデルの試験（住本センター） 低層木造事務所標準モデルの検討 中層木造事務所標準モデルの検討
木造のその他の用途に係る標準的な設計技術が確立、普及する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 木造3階建て校舎の設計データの提供 <small>(例) アスベストの調査・除去の設計（仮称）</small> ・ 木造大スパン倉庫の設計データの提供 <small>(例) 本連棟木造建築物の構造設計の手引き（仮称）</small> 	<ul style="list-style-type: none"> 中層木造事務所標準モデルの試験（住本センター） 中層木造事務所標準モデルの試験（住本センター） 	<ul style="list-style-type: none"> 中層木造事務所標準モデルの試験（住本センター） 中層木造事務所標準モデルの試験（住本センター） 中層木造事務所標準モデルの試験（住本センター） 	<ul style="list-style-type: none"> 中層木造事務所標準モデルの試験（住本センター） 中層木造事務所標準モデルの試験（住本センター） 中層木造事務所標準モデルの試験（住本センター） 	<ul style="list-style-type: none"> 中層木造事務所標準モデルの試験（住本センター） 中層木造事務所標準モデルの試験（住本センター） 中層木造事務所標準モデルの試験（住本センター） 	<ul style="list-style-type: none"> 中層木造事務所標準モデルの試験（住本センター） 中層木造事務所標準モデルの試験（住本センター） 中層木造事務所標準モデルの試験（住本センター）

凡例：赤字は新項目目、下線部は昨年度からの追加、変更点

- 実施済、実施中の取組
- 未実施の取組
- 取組が多い課題領域
- 取組が未だ少ない課題領域

中大規模木造の普及に向けた課題と対応策の整理（案）（その6）

3. サプライチェーンの整備（設計者・施工者向け）



凡例：赤字は新規項目、下線部は昨年度からの追加、変更点

- 実施済、実施中の取組
- 未実施の取組
- 取組が多い課題領域
- 取組が未だ少ない課題領域

中大規模木造の普及に向けた課題と対応策の整理（案）（その7）

4. 木造プロジェクトの価値が適正に評価され、価値に見合うコストの負担

目標	2018年までの取組と課題	2020年度までの取組と課題	2021年度までの取組と課題	2022年度までの取組と課題	今後取り組むべき対応策
木造プロジェクトの価値を高め、事業性を高める	<p>木を活かした収益性・事業性を高めた優良プロジェクト</p> <p>中大規模木造建築の普及資料等の充実</p>	<p>中大規模木造建築に関するWeb情報提供</p> <p>Web情報提供の改良、コンテンツ充実</p> <p>Web情報提供の改良、コンテンツ充実</p> <p>ユーザーアンケート等</p>	<p>Web情報提供の改良、コンテンツ充実</p> <p>Web情報提供の改良、コンテンツ充実</p> <p>ユーザーアンケート等</p> <p>建築主や意匠設計者向けの各種講演会、セミナー、個別相談等</p> <p>建築主や意匠設計者向けの各種講演会、セミナー、個別相談等</p> <p>ユーザーアンケート等</p>	<p>Web情報提供の改良、コンテンツ充実</p> <p>Web情報提供の改良、コンテンツ充実</p> <p>ユーザーアンケート等</p> <p>建築主や意匠設計者向けの各種講演会、セミナー、個別相談等の充実</p> <p>建築主、設計者向けの広報ツール等の充実</p> <p>中大規模木造建築の普及資料等の充実</p> <p>建築主、設計者向けの広報ツール等の充実</p> <p>中大規模木造建築の普及資料等の充実</p>	<p>Web情報提供の改良、コンテンツ充実</p> <p>Web情報提供の改良、コンテンツ充実</p> <p>ユーザーアンケート等</p> <p>建築主や意匠設計者向けの各種講演会、セミナー、個別相談等の充実</p> <p>建築主、設計者向けの広報ツール等の充実</p> <p>中大規模木造建築の普及資料等の充実</p> <p>建築主、設計者向けの広報ツール等の充実</p> <p>中大規模木造建築の普及資料等の充実</p>
I 低層系	<p>低コストの一般流通材を用いた中大規模木造設計データの提供</p> <p>（例）中大規模プロジェクトに活用</p>	<p>設計の早い段階から木匠関係者など各関係者間の連携が必要</p> <p>木製部材の流通状況など各関係者間の連携が必要</p> <p>木製部材の流通状況など各関係者間の連携が必要</p>	<p>設計の早い段階から木匠関係者など各関係者間の連携が必要</p> <p>木製部材の流通状況など各関係者間の連携が必要</p> <p>木製部材の流通状況など各関係者間の連携が必要</p>	<p>木製部材の流通状況など各関係者間の連携が必要</p> <p>木製部材の流通状況など各関係者間の連携が必要</p> <p>木製部材の流通状況など各関係者間の連携が必要</p>	<p>木製部材の流通状況など各関係者間の連携が必要</p> <p>木製部材の流通状況など各関係者間の連携が必要</p> <p>木製部材の流通状況など各関係者間の連携が必要</p>
II 低層耐火系					
III 断面中層高層系					
共通	<p>BIMを活用した中大規模木造設計施工のモデル検討</p>	<p>CAD/CAMシステム、データのBIMへの活用、拡張に向けた検討</p> <p>（例）CADデータフォーマットの共通化検討（PMA）</p> <p>木造建築物の設計施工におけるBIM活用検討（住木センター）</p>	<p>木造建築物の数量積算標準の検討（国土交通省）</p> <p>モジュール系建築物に関するマンスリーレポート（林野庁）</p> <p>中大規模木造建築のコストマネジメント・ガイドブック（建築積算協会）</p>	<p>木造建築物の数量積算標準の検討（国土交通省）</p> <p>モジュール系建築物に関するマンスリーレポート（林野庁）</p> <p>中大規模木造建築のコストマネジメント・ガイドブック（建築積算協会）</p>	<p>木造建築物の数量積算標準の検討（国土交通省）</p> <p>モジュール系建築物に関するマンスリーレポート（林野庁）</p> <p>中大規模木造建築のコストマネジメント・ガイドブック（建築積算協会）</p>

○普及策 1 新たな技術の開発、技術基準の整備

		2021 年度のまとめ		2022 年度までの取組、今後の取組予定			
	課題	施策	取組名称	実施者	時期	関連する事項	ポータルサイトでの掲載可否
遮音・振動	<ul style="list-style-type: none"> 歩行振動に関する知見が少なく、基準がない【2x4 協会】 室内の音や焼みが不安【JBN】 	<ul style="list-style-type: none"> 遮音性能を簡易に向上できる材料・仕様とデータ整備（特に共同住宅）が必要【2x4 協会、木住協】 歩行振動に関する基準の制定が必要【2x4 協会】 音については、性能が規定された工法の開発が必要、焼みについては、事務用途のスパン表が必要【JBN】 →非住宅用途に対応した遮音・振動に関するデータ収集・整備、非住宅用スパン表の作成事業の実施について検討（遮音についてはサステナブル建築物等先導事業での計測事例の蓄積あり、振動については官庁営繕の事業で 10Hz より固くした方が良いとの知見あり） 	<ul style="list-style-type: none"> サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）で整備した中大規模木造建築の遮音性の試験データの収集データをベースに「木造建築物の床衝撃音対策」／考え方と測定データの名称で冊子にまとめ、サステナブル建築物等先導事業（木造先導）HP の木造先導資料集の中で公開 NLT の振動実験の実施 竣工した建築物の床遮音性能の実測 界壁遮音性能測定（ラボ） 	木活協	2020 年度 2022 年度	<ul style="list-style-type: none"> 準耐火構造、耐火構造の被覆材による遮音性能（遮音効果）を測定できるとよい【木住協】 	○
			<ul style="list-style-type: none"> 大阪に CLT 遮音実験棟を建設し、7 年間様々な遮音実験に利用していく CLT 床遮音性能向上の研究開発 2014 年以來継続してきた遮音実験 DATA の取りまとめと公表（マニュアル制作） 	CLT 協会	2019 年度～ 2020 年度～ 2022 年度 2023 年度～	<ul style="list-style-type: none"> 主として重量衝撃音対策 CLT 遮音実験棟の一般利用促進 	×
構造（スパン）	<ul style="list-style-type: none"> 工場、倉庫建築では、大スパンを飛ばす構造の工夫が必要【JBN】 大空間を取り込む場合どの様に計画 	<ul style="list-style-type: none"> 工場、倉庫建築では、施工性とコストパフォーマンスに優れるスパンを飛ばす構法が必要【JBN】 流通材を活用した大スパン構法の開発【2x4 協会】 	JIS トラスマニユアル講習会、張弦梁・平行弦トラス講習会を実施	PWA	20XX 年	<ul style="list-style-type: none"> 関連してコストが整理できると良い【木住協】 	

	すればよい対応方法に苦慮する【2x4 協会】 ・大スパンに対応した木材、木質材料の情報がない。材長を超える大スパンの設計が標準化されていない(接合金物の長期耐力の評価方法等が規定されていない)【木住協】	・大スパンを想定した木質材料の情報整理、部材開発が必要【木住協】。 →オープンに利用可能なトラス梁等の高スパン構法の情報(対応可能スパン、概算コスト等)を整理し、中大規模木造建築ポータルサイト(仮称)への集録を検討(一般の設計者向けには安全率をオーソライズすることでスパン表の様に簡便に使えるとよい)	・20m 以上の大スパンを実現可能なネイルプレートトラスに関する情報公開	日本トラス協会(2x4 協会の情報)	20XX 年			
構造(接合部・耐力要素)	・各社独自の構造金物で汎用性がない、普及資材によるオープン工法な高倍率耐力壁、金物がない【JBN】 ・壁倍率 5 倍を超える耐力要素がない、25kN を超える接合金物が限られている【木住協】	・下層階における高倍率壁、金物の開発及び普及が必要【2x4 協会】 →林野庁補助事業により高倍率耐力壁の開発【木活協】と高耐力柱脚金物の規格化【住木センター】を実施中。 →耐力壁、金物の具体の仕様等について、中大規模木造建築ポータルサイト(仮称)への集録を検討	「 <u>木造軸組工法 中大規模木造建築物の構造設計の手引き(許容応力度設計編)</u> (以下「 <u>中大規模グレード一本</u> という。)(トラス架構の計算法)の出版	<u>住木センター</u>	<u>2023 年度内</u>	<u>○</u>		
構造(設計手法)	・階高の高い耐力壁がない【木住協】 ・グレースの仕様規定ルートの構造計算が一般的なため、一般的な解析を行う構造設計者が参入しにくい【木住協】 ・許容応力度計算は基準せん断耐力 14kN 以下にしか適用できない、限界耐力計算では構造計算が成立し難い、フレーム解析等の高度な計算は費用が掛かる【木住協】	・階高の高い耐力壁の開発が必要【木住協】 ・フレーム解析による構造計算手法、終局性能の検討方法の確立が必要【木住協】 ・グレースを超える構造計算手法の整備が必要【木住協】 ・高耐力壁事故のせん断力(複合応力)検定:必要と方 法整理【木住協】 →林野庁補助事業により実施中の中大規模版グレード作成(壁倍率 7 倍越え、高さ幅比 3.5 超に対応可)【住木センター】を実施中。	高倍率壁について「 <u>枠組壁工法建築物設計の手引</u> 」及び「 <u>枠組壁工法建築物構造設計指針</u> 」に掲載	2x4 協会	2018 年	○		
			「 <u>中大規模グレード一本</u> 」(壁倍率 15 倍相当、ルート 1、2)の出版	<u>住木センター</u>	<u>2023 年度</u>	<u>○</u>		
			中層木造(4階以上、高耐力壁+ララーメン架構)の構造設計の手引き(保有水平耐力計算編)の作成	<u>住木センター</u>	<u>2023 年度以降</u>			
			「木造建築構造の設計」の改訂、中大規模木造を追加	JSCA	2020 年度内			
			中大規模木造向け高倍率耐力壁の開発を目標に、高耐力壁の面内せん断試験と要素試験等を実施し解析モデルの検討を実施	木活協	<u>2023 年 3 月 目途</u>	<u>△</u>		まだ、検討途中である点(継続の必要性あり)
			中大規模木造向け高耐力接合金物(最大 113kN)の規格化、認証	<u>住木センター</u>	<u>2023 年 3 月</u>	<u>○</u>		
			CLT パネル工法向け高耐力接合金物(最大 225kN)の規格化、認証	<u>住木センター</u>	<u>2023 年 3 月</u>	<u>○</u>		

	<p>・令46条1項の計算では、柱脚接合部のせん断力の検定を行わないため、高耐力壁を使うと危険側になる可能性【木住協】</p> <p>・高さが高い耐力壁の評価が難しい、立面不整形があると検討しづらい【PWA】</p>	<p>・実務者が中大規模木造建築物を設計する講習会が必要 →耐火建築物を成立させる仕様やRC造と木造、鉄骨造と木造などの異種構造との組み合わせ、設計上必要な関連法規や技術基準を事例ごとに解説。【木耐建】</p>	<p>2018年マニユアルを改訂し、「木質耐火部材を用いた木造耐火建築物設計マニユアル2022」を発刊、引き続き実務者向けの講習会を実施する。</p>	木耐建	2022年度内	〇	
耐震性評価	<p>・CLTを構造材として利用して中高層建物を建築するための技術開発。</p> <p>・CLT耐震壁とS造或いはRC造との混合構造（CLT混合構造）が実用的。</p> <p>・実験データ、設計例等の知見に乏しく、法的にも構造設計ルート3（保有水平耐力計算）を実施できる状況にない。【新都市ハウジング】</p>	<p>・国交省住宅局住宅生産課の補助事業を利用した技術開発を実施中。【新都市ハウジング】</p>	<p>採択テーマ名：「CLT混合構造の耐力・剛性評価方法の開発及びガイドラインの作成と普及」</p>	新都市ハウジング協会	2020～2023年度計画（但し、各年度毎の採択）		
耐震性評価	<p>・公共性の高い施設系木造の場合、繰り返す災害への評価が問われる【2x4協会】</p>	<p>・2x4建築物でも、Wallstatのような時刻歴応答解析が使えるようになるよ【2x4協会】 →引き続き、検討</p>		2x4協会	20XX年		
耐久性	<p>・防水や防蟻の対策方法が十分に整備されていない（通気工法外壁など）【木住協】</p>	<p>・防水工事・仕様・収まり等の非住宅用の標準的な設計指針が必要【木住協】 →耐久設計・維持管理に関する検討（主に雨水侵入・結露）【国総研】、耐久性向上の設計施工マニユアル整備【住木センター】を実施中。</p>	<p>「中大規模木造用の耐久性向上設計マニユアル」の出版</p>	住木センター	2022年度内	〇	<p>・LCC(ライフサイクルソフト)に関する情報を収集、提供していくことも必要【木住協】</p>
			<p>・CLT現し使用のQ&A作成</p> <p>・CLTメンテナンスプログラムの検討</p> <p>・中高層開口部（サッシ）納まり検討。</p> <p>・外壁通気工法の検討</p>	CLT協会	2020年～ 2021年 2020年～ 2023年 2021年～		<p>・耐火構造を考慮した納まりを検討。</p>

耐火	<ul style="list-style-type: none"> 耐火構造の場合、石膏ボードの使用量削減により工期短縮が、耐火材料(強化石膏ボード)の軽量化により施工性向上が必要【2x4 協会】。 	<ul style="list-style-type: none"> 石膏ボードによる被覆を軽減できる耐火仕様の開発、劇的な技術革新があると良い(職人不足の実態を踏まえて、施工効率を考慮すべき)【2x4 協会】 →施工効率を向上させる方策がないか引き続き検討(必要に応じて石膏ボード工業会等にヒアリング) 	<ul style="list-style-type: none"> 高度な準耐火構造仕様に ついて開発中 ・75分準耐火構造の合理化 検討。 ・非耐力外壁 30分耐火構造 の研究開発 	木住協 <u>CLT協会</u>	2020年度内 <u>2022年度</u> <u>2023年度以</u> <u>降</u>			
構造計算ソフト	<ul style="list-style-type: none"> 延べ面積 2000m² 以上だと、対応できる構造計算ソフトがない【JBN】 耐力量素の課題に対応しているソフトがない【PWA】 	<ul style="list-style-type: none"> 対応可能な構造計算ソフトの開発が必要【JBN】 →中大規模版のグレー本の作成と合わせて、それに対応した設計ソフトの作成を打診中【住木センター】 	<ul style="list-style-type: none"> 中大規模木造建築物(壁倍率 15 倍相当、レート 1、2)の構造計算プログラムの開発支援、プログラム認証の 検討 	<u>住木センター</u>	2023年度以 <u>降</u>	<u>「中大規模グレー本」に準拠</u>	<u>△</u>	<u>構造計算プログラム認証を受けた者の了解が必要</u>
		<ul style="list-style-type: none"> 各種の既往構造計算プログラムの特徴を整理、公開 	JSCA	2022年度				
		<ul style="list-style-type: none"> CLTパネル工法の構造モデル化手法、プログラム開発 検討 	<u>CLT協会</u>	<u>2024年度以</u> <u>降</u>				

○普及策2 人材育成

2021年度のまとめ		2022年度までの取組、今後の取組予定				
課題	施策	取組名称	実施者	時期	関連する事項	ポータルサイトでの掲載可否 (※) 掲載する場合の課題
<p>意匠設計者</p> <p>・設計者が木造に不慣れ。慣れているS造、RC造を選択しがち。提案力不足【PWA、JBN】</p> <p>・2000m²超えの案件を木造とする意識がない【JBN】</p> <p>・大断面集材材が必要なことが見積もり後に分かることがあり、価格の比較検討が行えないことがある【JBN】</p>	<p>・計画の初期段階でまず木造を検討するようになってもらうことが必要、中大規模木造設計セミナーを実施中【PWA】</p> <p>・構造との整合をとれるようになる必要がある【JBN】</p> <p>・トラスマニュアル講習会では経済優位性について説明【PWA】</p> <p>・木造設計手法を啓蒙し、難しいイメージを払拭すべき【2x4協会】</p> <p>・知見不足のため、見積もり作成時に必要な図面が間に合わない【JBN】</p> <p>→資料編集WGにより作成したテキストを用いた意匠設計者向け講習会の実施を検討(同テキストに意匠計画段階からの構造、設備、生産関係者協働について記述を検討)。</p> <p>→意匠設計者向け講習会(木造設計セミナー、伏せ図講習会)を実施中。構造木工事監理マニュアルを整備済み。今後、セミナーを予定【PWA】</p> <p>→中大規模木造建築ポータルサイト(仮称)における設計者向け各種講習会の情報(開催日程、内容、対象者等)の集約・一元化を検討</p>	<p>・意匠設計者向け講習会(木造設計セミナー、伏せ図講習会)テキスト改訂作業中</p> <p>・意匠設計者向けの木造設計手法に関する講習会を実施</p> <p>・「木でつくる中大規模建築の設計入門」オンライン講習会を実施。及びオンラインデマンド配信を実施。</p> <p>・「木でつくる中大規模建築の設計入門」の出版</p> <p>・木造の医療・福祉施設の設計者向け手引きの作成、オンラインシンポジウムの開催</p>	<p>PWA</p> <p>2x4協会</p> <p>木活協</p> <p>住木センター</p> <p>木活協</p> <p>PWA</p> <p>住木センター</p> <p>住木センター</p>	<p>20XX年</p> <p>20XX年</p> <p>2020年12月～2021年2月、2021年11月～2022年1月、2022年12月～2023年1月</p> <p>2022年8月</p> <p>2020年2月</p> <p>20XX年</p> <p>2021年3月、9月、2022年3月</p> <p>2023年2月</p>	<p>・建築士会と連携して実施【PWA】</p> <p>「木でつくる中大規模建築の設計入門」を 利用</p> <p>〇</p> <p>〇</p> <p>〇</p> <p>〇</p> <p>〇</p> <p>〇</p>	<p>掲載する場合の課題</p>
<p>・シンボリックな計画で、複雑な収まりを選択しがち【PWA】</p> <p>・特殊性がアピールされ過ぎており、もっと標準的な建築物があってよい【木住協】</p> <p>・建築計画上、構造が優先される場合が多く、非木造を中心とした設計者は特に制約を感じるのでは【木住協】</p>	<p>・JISA3301を案内している【PWA】</p> <p>・標準的な木造設計事例の蓄積・整理・公開が必要【木住協】</p> <p>・構造計画の整備・普及が必要【木住協】</p> <p>→各種の非住宅用途の木造建築モデルの検討、整理、充実、普及を促進</p> <p>→既存の設計事例の収集し、構造計画、収まり等の標準化を行った上で、中大規模木造建築ポータルサイト(仮称)への集録を検討</p>	<p>JISトラスマニュアル講習会、張弦梁・平行弦トラス講習会を実施</p> <p>中規模ビル、低層店舗等の設計モデルの普及資料作成、セミナー開催</p> <p>中低層木造事務所の標準モデル、木造ホテルの設計モデルの普及資料作成、セミナー開催</p>	<p>PWA</p> <p>住木センター</p> <p>住木センター</p>	<p>20XX年</p> <p>2021年3月、9月、2022年3月</p> <p>2023年2月</p>	<p>〇</p> <p>〇</p> <p>〇</p>	<p>掲載する場合の課題</p>

構造設計者	2000m ² 以上に対応できる構造設計者が見つかからない。構造設計、構造計算できる技術者が不足【JBN、2x4協会】 ・木構造設計者の不足は深刻【PWA】 ・学校、病院等の複雑な構造計画に対応できない【JBN】 ・木造として構造図面が書けてない場合がある【2x4協会】	→黒本講習会を実施中【PWA】 →Webを中心に構造設計の実務研修を実施中【2x4協会】 →林野庁補助事業により中大規模版グレー本を作成中。令和元年度末より講習を開始予定【住木センター】 →資料編集WGにより作成したテキストを用いた構造設計者向け講習会の実施を検討 →中大規模木造建築ポータルサイト(仮称)における設計者向け各種講習会の情報(開催日程、内容、対象者等)の集約・一元化を検討	木造建築供給支援システムの認定事業を予定 ・黒本講習会の開催 ・「木造軸組工法 中大規模木造建築物の構造設計の手引き(許容応力度設計編)」オンライン講習会の実施及び2日間対面構造計算講習を実施(東京2回・大阪1回)	住木センター PWA 木活協 住木センター	2022年度 20XX年 2020年11月、12月、2022何11月～1月	「木造軸組工法 中大規模木造建築物の構造設計の手引き(許容応力度設計編)」講習用テキストを利用。※住木センターで演習課題を作成	○	対面構造演習は東京・大阪での開催のみだったため、北海道・東北・中国・四国・九州からの参加者が無いか少ない。
施工者・施工管理	・ゼネコンに木造の施工管理ができる人材が不足【PWA】 ・中大規模木造、耐火木造に積極的に取り組む施工者が少なく、コストが高止まりしている【2x4協会】 ・施工者の管理能力が不足している	・元請として受注できる体制の整備のため、安全・品質・書類を中心とした勉強が必要。マネジメント教育を受けた大工の育成が必要【JBN】 ・協会事業により施工者の管理能力向上研修を実施中。資格、施工体制、管理方法等の整備・普及が必要【木住協】	中大規模木造構造設計情報サイト(仮称)の構築検討 ・工事監理マニュアル講習会の開催 ・中大規模木造施工管理マニュアルの作成と講習会を実施	JSCA PWA JBN	20XX年 20XX年 2023年2月	中大規模木造構造設計情報サイト(仮称)の構築検討 ・工事監理マニュアル講習会の開催 ・中大規模木造施工管理マニュアルの作成と講習会を実施	○	コロナで対面演習がR4年が初回となったため遅延
構造設計者	・2000m ² 以上に対応できる構造設計者が見つかからない。構造設計、構造計算できる技術者が不足【JBN、2x4協会】 ・木構造設計者の不足は深刻【PWA】 ・学校、病院等の複雑な構造計画に対応できない【JBN】 ・木造として構造図面が書けてない場合がある【2x4協会】	→黒本講習会を実施中【PWA】 →Webを中心に構造設計の実務研修を実施中【2x4協会】 →林野庁補助事業により中大規模版グレー本を作成中。令和元年度末より講習を開始予定【住木センター】 →資料編集WGにより作成したテキストを用いた構造設計者向け講習会の実施を検討 →中大規模木造建築ポータルサイト(仮称)における設計者向け各種講習会の情報(開催日程、内容、対象者等)の集約・一元化を検討	木材・木造建築に係る担い手育成事業による地域リーダー(100名弱)を育成、フォローアップ ・中大規模木造建築ポータルサイトの開設、情報提供、システム改良、コンテンツの充実 ・「CLTパネル工法 設計入門」の発行 ・CLT関連告示の改正、ルール2の適用範囲の拡大等 ・CLT関連告示解説書、CLT建築物の設計施工マニュアルの改訂	木活協 住木センター CLT協会 CLT協会 CLT協会、住木センター	20XX年 2021年2月から 2021年5月 2022年11月 2023年度	「木造軸組工法 中大規模木造建築物の構造設計の手引き(許容応力度設計編)」講習用テキストを利用。※住木センターで演習課題を作成	× ○ ○ ○	コロナで対面演習がR4年が初回となったため遅延

	<p>【木住協、JBN】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2000m²以上の規模になると、施工管理の経験がある現場監督が少ない【JBN】 ・工務店では、本業の住宅事業の傍らで人員を割くことができない【JBN】 	<p>・技術者の確保、育成が必要【JBN】</p> <p>→中大規模木造の標準管理マニュアルの作成について、引き継ぎ検討(官庁営繕部の木造普及委員会の事業内容に留意)</p> <p>→中大規模木造の施工管理者の育成について、引き継ぎ検討</p>	<p>・トラス加工や特殊加工に対応可能なプレカット工場のリスト化、公表検討</p> <p>・木質構造材料の加工・施工技術に関する講習会の開催、受講者名簿の公表</p> <p>・「CLTパネル工法 中高層・大規模建築物 施工ハンドブック」の発行</p> <p>・CLTパネル工法 中層施工マニュアルの作成</p>	PWA	20XX年			
プレカットCADオペレーター	<p>・プレカットCADオペレーターの知識・技術が不十分【PWA】</p> <p>・プレカット作業人材が不足、知識レベルが整備されていない(ファンデーター等による特殊加工を含む)【木住協】</p>	<p>・プレカットに関する資格制度を創設し、プレカットCAD人材の地位向上が必要、特殊な加工・設計に対する技術情報の整備が必要【木住協】</p> <p>→CAD講習会を実施し、プレカットCAD技術者認定登録制度を運用中【木造住宅機械プレカット協会】</p>	<p>・CAD技術者研修を実施、プレカットCAD技術者認定登録制度を実施し、認定登録者名簿を公開中</p>	木造住宅機械プレカット協会	実施中 2022年度以降も継続して実施予定			
確認審査機関	<p>・木造審査担当の知識不足により、不必要と思われる追加の指摘や検討指示がある【PWA】</p> <p>・令46条2項ルートなどグレー本以外の構造計算手法だと確認審査が滞ることがある【木住協】</p>	<p>・審査担当が相談できる窓口があると良い【PWA】</p> <p>→林野庁補助事業により中大規模版グレー本を作成中。令和元年度末より審査機関向けの講習も開始予定【住木センター】</p>						
他(設備工事者等)	<p>・各業種の木造耐火建築の知識が乏しいため、耐火建築の施工品質を一定に保つことに苦慮する【2x4協会】</p> <p>・設備設計者の木造経験が乏しく、設備計画が意匠計画委に及ぼす影響が大きい【木住協】</p>	<p>・建築確認、設備設計、構造設計、耐火設計、部材供給、部材加工、組立て等々、相談先を含めデータベースが整備されるとよい(が必要)【木住協】</p> <p>→引き継ぎ検討</p>					<ul style="list-style-type: none"> ・木造では配管を梁貫通できないため、意匠と設備の効率な設計手順に関する事例がある 	

○普及策3 サプライチェーンの整備

2021年度まとめ		2022年度までの取組、今後の取組予定						
実施者	課題	施策	取組名称	実施者	時期	関連する事項	ポータルサイトでの掲載可否 (※)	掲載する場合の課題
木材供給	<ul style="list-style-type: none"> ・2000m²を上回る案件では木材供給に不安がある【JBN】 ・住宅用部材以外の木材やJAS製材の入手が困難【木住協】 ・国産2x4材の認知が進んでいないため、公共建築物を受注できない【2x4協会】 	<ul style="list-style-type: none"> ・製材事業者の供給力の拡大が必要【JBN】 ・使用可能な木材についての資料の整備、JAS製材の供給整備【木住協】 ・国産材産地の活性化が必要。川上から川下までの連携を官と連携して組織化できないか【2x4協会】 →林野庁補助事業により、木材加工・供給体制の整備、JAS構造材の実証支援を実施中 	<ul style="list-style-type: none"> ・構造用集成材の生産能力、加工能力に関するメーカー別情報の公表 ・CLTの定尺寸法の開発 	日集協	実施中	<ul style="list-style-type: none"> ・材料の調達に関する情報が提供できるとよい【木住協】 ・国産材での供給の可否に関する情報の共有が必要【2x4協会】 	○	
プレカット工場	<ul style="list-style-type: none"> ・大断面構造材に対応できるプレカット工場に限られており、納期、コスト面で割高になる【2x4協会】 ・標準断面寸法(幅10.5cm、12cm)以上の木材加工ができない【木住協】 ・繁忙期に加工キャパシティを超えることがあり、複雑な構造に対応できる工場に限られる【PWA】 	<ul style="list-style-type: none"> ・大断面プレカット工場の増設が必要【2x4協会】 ・幅15cm以上、材せい42cm以上の木材加工の整備【木住協】 →プレカット工場同士の横持ち体制の確立に取組中【PWA】 →林野庁補助事業により、木材加工・供給体制の整備、JAS構造材の実証支援を実施中 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレカット工場同士のソフト・ハード面の協力体制整備検討 ・CLT加工機のCAMデータ共有検討(違うメーカー間) 	PWA	20XX年	<ul style="list-style-type: none"> ・プレカット事業者(工場)の情報があるとうよい【JSCA、2x4協会、JBN】 ・CLTパネルの加工工場の情報は有用【JSCA】 	○	
	<ul style="list-style-type: none"> ・コンポーネント工場は構造設計、パネル製作など、設計、現場の省力化の要【2x4協会】 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンポーネント会社が早期に設計・施工に関わる仕組みに変更し、ここに構造設計者を配備することが必要【2x4協会】 →資料編集WGで作成中のテキストに、設計の初期段階でプレカット工場と木材調達・加工に関する情報共有が必要な旨の記載を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・パネル化、コンポーネント工場との連携等の構造設計の前提条件を整理したマニュアルがあるとよい(施工合理化を国土交通省補助事業として2021年～2023年実施中) 	2x4協会	2023年予定	<ul style="list-style-type: none"> ・構造設計者が、コンポーネント工場と早期に協議することで効率的な設計・施工が可能に【2x4協会】 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・横持ち体制の確立を推進するにあたり、加工データフォーマットが業界で統一されていない【PWA】 	<ul style="list-style-type: none"> ・国内の主要プレカットCADベンダーにより2019年6月にGDEXMフォーマットVer.9.0が発表済み。当該フォーマットへのプレカット各社の対応が必要【PWA】 ・加工や金物の標準化、フォーマット化が必要【JBN】 →引き続き検討(BIMを介した連携強化の検討実施中【住木センター】) 	<ul style="list-style-type: none"> ・CADデータフォーマットの共通化検討 ・BIMを介した加工データの連携強化検討(木質部材のBIMモデルのサンプル作成) 	PWA	20XX年	<ul style="list-style-type: none"> ・CDXEM協議会との連携【PWA】 		

				2022年3月								
				住木センター	・BIMを介した加工データの連携、構造計算連動強化検討(木質部材+接合金物等のBIMモデルのサンプル作成) ・ 接合金物の標準的なBIMオブジェクト試案の公開	住木センター	2023年3月	O				
外壁、サッシ、屋根	<ul style="list-style-type: none"> ・非住宅に適した製品がない、高さ13mを超える住宅用サッシ、サイディングがない(メーカーによる保証対象にならない)、住宅用サッシとビル用サッシでは収まりが異なる【木住協、JBN】 ・採用しやすい排煙窓、躯体現しの場合の折板屋根がない【JBN】 ・ビル用サッシは、雨仕舞等に問題がある【PWA】 ・サイディングのデザインの種類が少なく、完成時点での見た目の木造らしさが出せない【2x4協会】 	<ul style="list-style-type: none"> ・メーカーによる製品(非住宅用サッシ、サイディング、排煙窓、折板屋根)開発が必要、標準収まりの整備が必要【木住協、JBN】 ・中大規模木造の普及のため、資材供給体制の整備は必須【木住協】 <p>→引き続き検討</p>										
	<ul style="list-style-type: none"> ・耐火構造に対応した使いやすいサッシがない、改正建築基準法に対応する耐火性能をもつサッシが商品化されていない【JBN】 	<p>→林野庁補助事業により、法61条対応(+α+β)の仕様の技術開発を実施中【住木センター】</p>		住木センター	・高性能準耐火用サッシ等の開発支援	住木センター	2021年度、 2022年度		<ul style="list-style-type: none"> ・基整促(F16)で高性能準耐火構造の防火設備の検討を実施、躯体に溶接するようになっており、納まりがよくない【2x4協会の情報】 	△		開発の依頼者の掲載協力

○普及策 4 情報の蓄積・整理・公表

		2021年度のみ			2022年度までの取組、今後の取組予定		
	課題	施策	取組名称	実施者	時期	関連する事項	ポータルサイトでの掲載可否 (※)
コスト・事業性	<ul style="list-style-type: none"> ・木造化の話が持ち込まれる場合に必ずコスト情報が求められるが実例が十分でなく提供できない【2x4 協会】 ・木造の優位性について、施主に訴求できるデータが不十分、木造軸組み工法にすることの明快なメリットがない【JBN】 ・建設を促す情報が少ない【2x4 協会】 	<ul style="list-style-type: none"> ・建物用途別標準プランと概算金額を共有【2x4 協会】 ・データベース(資料集)の整備【木住協】 →コスト情報の集約のあり方(既存のコスト比較事例の収集・整理など)について、引き続き検討 →中大規模木造建築物に対応した積算ツールの整備について検討(積算協会の取組状況について要確認) ・躯体を木造で造る啓蒙活動が必要。設計者、発注者、施工者の理解が必要【JBN】 ・コスト情報、計画自由性などのメリット・デメリットを事業者に説得するツールづくりが必要、健康・快適性など木造の建物性能の可視化と資産価値への適正な反映が必要【2x4 協会】 →健康・快適性などの木造建築を訴求するためのデータについて、中大規模木造建築ポータルサイト(仮称)への集録を検討 	<ul style="list-style-type: none"> 建物用途別標準プランと概算金額の検討 ・「地域工務店の中大規模木造建築事例集」 	日本積算協会(2x4協会の協会の情報)	20XX年	<ul style="list-style-type: none"> ・コスト情報の扱いも視野に入れてほしい【JSCA、JBN】 	
担い手情報	<ul style="list-style-type: none"> ・発注者からは、木造に対応可能な意匠設計者が分らない【JBN】 ・意匠設計者が、木造の構造図面が書けない場合がある【2x4 協会】 	<ul style="list-style-type: none"> ・意匠設計者から、木造構造設計の専門家に対して、設計段階から連絡が取れる情報が必要【2x4 協会】 →木造対応可能な(又は経験のある)意匠設計者、構造設計者の情報の集約・公表の可否、あり方等について引き続き検討(中大規模木造事例のデータベースから辿ることも一案) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「中大規模木造建築に関する工事費、積算に関するデータの収集、整理、ポータルサイトへの掲載検討」 ・「木でつくる中大規模建築の設計入門」オンデマンド講習会を実施《再掲》 	住木セクター	2023年度		○
防火設計情報		<ul style="list-style-type: none"> ・告示仕様による防火設計の共通標準詳細図集や共用設計ツールの公開が必要【2x4 協会】 →協会事業により実施予定【2x4 協会】 ・中大規模木造建築物の防火設計の事例紹介による情報発信が必要 →関連した事例を集めセミナーを実施【木耐建】 	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域工務店の中大規模木造建築事例集」《再掲》 ・建築基準法改正を踏まえ「ここまでできる木造建築のすすめ」の改訂 ・建築基準法改正を踏まえ「図解 木造住宅・建築物の防・耐火設計の手引き」の改訂 	JBN	2019年11月		○
				木活協	2021年6月		○
				住木セクター	2023年度中		○

○普及策5 その他

		2020年度のまとめ				2022年度までの取組、今後の取組予定			
課題		施策		取組名称	実施者	時期	関連する事項	ポータルサイトでの掲載可否	
								(※)	掲載する場合の課題
構造関係規定	<ul style="list-style-type: none"> ・耐火は高さ16m超となったが、構造は高さ13m超でレポート2が求められる【JBN】 ・46条2項1号を適用すると製材はSD15が求められるが流通していない。SD20を使用するようにならないか【PWA】 ・RC造、S造との混構造では、剛性率の規定を順守すると設計が成立しない【2x4協会】 	<ul style="list-style-type: none"> ・16m以下はレポート1+α許容応力度等計算の「等」の部分等を簡略化した内容の処置などで可能とできないか【JBN】 →引き続き検討 ・46条2項のただし書きの基準が不明確で審査機関では判断できないため、通達等で周知できないか【PWA】 →引き続き検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・建築基準法の改正(2022年6月)にて、高さ16m以下かつ階数3以下に見直し(2025年4月施行) 	<ul style="list-style-type: none"> ・住団連より緩和要望を提出【木住協】 		2025年4月1日			
防耐火関係規定	<ul style="list-style-type: none"> ・RC造、S造との混構造では、剛性率の規定を順守すると設計が成立しない【2x4協会】 ・令114条3項により、木造小屋組みに12m以内での界壁の設置が求められるが、天井が塞がれていない場合の界壁は不要ではないか【JBN】 ・防火設備のサッシが個別認定なため、木造の認定取得が困難【2x4協会】 	<ul style="list-style-type: none"> ・混構造の法的補完及び構造解析方法への施策による設計緩和ができないか(実大振動台実験を実施してみないと計算通りの性能があるか確認できない)【2x4協会】 →引き続き検討 ・通達等により小屋裏が天井で塞がれていない場合の取り扱いを修正できないか【JBN】 →どのような対応が可能か引き続き検討(中大規模木造建築ポータルサイト(仮称)に関するQ&Aのリンクを設定するなど) ・木造用防火設備サッシ等を個別認定とせず、RC造、S造用のサッシと同じもの(連窓、段窓を含む)を使用できないか【2x4協会】 →引き続き検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・高性能準耐火用サッシ等の開発支援《再掲》 	住木センター	2021年度 2022年度	<ul style="list-style-type: none"> ・基整促(F16)で高性能準耐火構造の防火設備の検討を実施、躯体に溶接するようになっっており、納まりがよくない【2x4協会の情報】《再掲》 			
建築士受験資格	<ul style="list-style-type: none"> ・構造設計者の不足は深刻【PWA】 	<ul style="list-style-type: none"> ・土を不燃材料として告示化できないか【JBN】 →引き続き検討 ・プレカットCADオペレーターが木構造の担い手になる可能性があるため、建築士受験資格の実務要件に追加できないか(4号特例を含めて考えると、建築士の実務経験に入れて、魅力ある仕事としたい。こ 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレカットCADオペレーターについて、建築士受験資格の実務要件に追加された 			2021年度			

4. 參考資料

4.1 中大規模木造建築ポータルサイトコンテンツ作成掲載マニュアル

中大規模木造建築ポータルサイト 各種情報の掲載マニュアル

1. マニュアルの目的

中大規模木造建築物の設計の円滑化に資するよう、中大規模木造建築ポータルサイト（以下「ポータルサイト」という。）の掲載情報の充実を図るため、中大規模木造建築に関する各種情報の掲載依頼に係るポータルサイトへの掲載手順について解説します。

2. 掲載対象とする情報、コンテンツ

(1) 情報

掲載対象とする情報は次のとおりです。

- ・中大規模木造建築物（3階（地階を除く。以下同じ。）以下の非住宅用途の木造建築物（混構造を含む。以下同じ。）又は4階以上の木造建築物）の設計、施工、維持管理等において必要とされる技術情報
- ・中大規模木造建築物の設計、施工、維持管理等に関する技術者、法人等及び中大規模木造建築物に用いられる材料、部品等に関する情報
- ・中大規模木造建築物の実現において重要な積算やコスト、木造の良さ等の情報
- ・その他中大規模建築物の普及促進に資する情報

(2) コンテンツ

掲載対象とするコンテンツの内容は次のとおりです。

- ・設計技術情報
- ・動画情報
- ・講習会情報
- ・担い手・サプライチェーン情報
- ・補助金・表彰制度情報

(3) 掲載対象とならない情報コンテンツ

掲載対象とならない情報コンテンツは次のとおりです。

- ・第三者の著作権、特許権その他の権利を侵害するおそれのある情報コンテンツ
- ・営利目的の不正確な表現が含まれる情報コンテンツ
- ・ポータルサイトの内容にふさわしくない情報コンテンツ

【例：戸建て木造住宅、小規模木造建築に限ったもの（中大規模木造建築ではないため）、S造・RC造に限ったもの、特定の個人又は法人を誹謗中傷するもの、特定の商品又はサービスの不当表示に相当するもの】

3. 各種情報の掲載の流れ

ポータルサイトに掲載したい情報について、以下の手順により掲載依頼を受け、ポータルサイトへの掲載、更新を行います。

(1) ポータルサイトへの掲載依頼

ポータルサイトへの掲載を希望する者は、ポータルサイトの「お問い合わせ」ページから掲載を希望する「掲載内容の説明、URL」（以下、コンテンツ掲載原案）を記入し、事務局にポータルサイトへの掲載を依頼します。

(2) 掲載条件の適合性の判断

事務局は、掲載依頼のあったコンテンツ掲載原案について、掲載条件に適合するか否かを判断するものとします。

なお、事務局において適合性の判断が難しい場合には、運営 WG に諮問し、運営委員会の意見を踏まえて判断するものとします。

【掲載条件】

- ・ 1の(1)に掲げる中大規模木造建築物に関する情報であること
- ・ 1の(2)に掲げる中大規模木造建築物に関するコンテンツであること
- ・ 1の(3)に掲げる条件に該当しないこと

(3) コンテンツ掲載案の作成

事務局は、コンテンツ掲載原案が(2)の掲載条件に適合すると判断した場合、コンテンツ掲載案(当該コンテンツの紹介文、検索条件等を含む。)を作成し、掲載の依頼者にコンテンツ掲載案を送ります。

(4) コンテンツ掲載案の確認

掲載の依頼者は、事務局から送られたコンテンツ掲載案について確認し、必要に応じて事務局に修正を依頼します。

(5) コンテンツ掲載案の修正、掲載

修正依頼に応じて、事務局はコンテンツ掲載案に所要の修正を行い、ポータルサイトにコンテンツを掲載します。

(6) コンテンツ掲載後の修正

運営 WG 委員及び掲載の依頼者は、ポータルサイトに掲載されたコンテンツについて、修正の必要があれば、前述の(4)、(5)の手続きに準じて修正依頼を行います。

(7) コンテンツの更新

ポータルサイトのコンテンツを更新しようとする場合には、前述の(1)～(5)の手続きに準じて行います。

4.2 中大規模木造建築ポータルサイト広告掲載マニュアル

中大規模木造建築ポータルサイト広告掲載マニュアル

1. マニュアルの目的

中大規模木造建築物の設計の円滑化に資するよう、中大規模木造建築ポータルサイト（以下「ポータルサイト」という。）の掲載情報の充実を図るとともに、ポータルサイトの持続的な運営のための自主財源の確保を目的として、ポータルサイトへの民間企業等の中大規模木造建築に関する広告の掲載手順について解説します。

2. 掲載対象とする広告

(1) 広告

掲載対象とする広告は、バナー広告（ポータルサイト内に掲示される広告画像で、掲載者の指定する外部の Web ページにリンクするものをいう。）とし、中大規模木造建築物に関連したものであって、バナー広告及びそのリンク先の Web ページ（以下「広告」という。）の内容及び表現が、次の各号のいずれにも該当しないものとします。

- ・法令等に違反しているもの又はそのおそれがあるもの
- ・第三者の著作権、特許権その他の権利を侵害しているもの又はそのおそれがあるもの
- ・消費者被害の未然防止の観点から適切でないと認められるもの
- ・その他ポータルサイトの信頼性を損なうおそれがあるもの

(2) 掲載対象とならない広告の依頼者

次に掲げる者又は団体が依頼者となる広告は、掲載しないこととします。

- ・法令等に違反している者
- ・反社会的勢力又は反社会的勢力の構成員その他これに準ずる者
- ・その他広告を掲載する広告主として適当でないと認めるもの

3. 広告の掲載ページ、位置、掲載料等

ポータルサイトに掲載する広告の掲載ページ、位置、掲載料、サイズ等は次のとおりとします。

掲載ページ	位置	掲載料(注)	サイズ等
トップページ	左欄	2万円/月	縦 192 ピクセル×横 230 ピクセル
トップページ	下段	1万円/月	縦 46 ピクセル×横 210 ピクセル

(注) 1年間継続して掲載する場合には、5/6 を乗じた金額とします。

4. 広告掲載の流れ

ポータルサイトに掲載したい広告について、以下の手順により掲載依頼を受け、ポータルサイトへの掲載、更新を行います。

(1) ポータルサイトへの広告掲載依頼

ポータルサイトへの広告の掲載を希望する者は、ポータルサイトの「お問い合わせ」ページから掲載を希望する広告掲載原案（広告バナー原案及びそのリンク先の Web ページ）を登録し、事務局にポータルサイトへの掲載を依頼します。

(2) 掲載条件の適合性の判断

事務局は、広告掲載依頼のあった広告掲載原案について、ポータルサイトの掲載枠の範囲で、掲載条件に適合するか否かを判断するものとします。

なお、事務局において適合性の判断が難しい場合には、運営 WG に諮問し、運営委員会の意見を踏まえて判断するものとします。

【掲載条件】

- ・ 2の(1)に掲げる広告であること
- ・ 2の(2)に掲げる条件に該当しないこと

(3) 広告バナー案の作成

事務局は、広告掲載原案が(2)の掲載条件に適合すると判断した場合、広告バナー掲載案（当該広告バナーの掲載文及びデザインを含む。）を作成し、掲載の依頼者（以下「広告主」という。）に広告バナー掲載案及び掲載料の請求書を送ります。

(4) 広告バナー案の確認、掲載料の支払い

広告主は、事務局から送られた広告バナー案について確認し、必要に応じて事務局に修正を依頼します。

広告主は、掲載料の請求書に応じて、支払い期日までに掲載料を支払うものとします。

(5) 広告バナー案の修正、広告の掲載

修正依頼に応じて、事務局は広告バナー案に所要の修正を行い、掲載料の支払いを確認して、ポータルサイトに広告バナーを掲載し、広告を掲載します。

(6) 広告掲載後の修正

運営 WG 委員及び広告主は、ポータルサイトに掲載されたコンテンツについて、修正の必要があれば、前述の(4)、(5)の手続きに準じて修正依頼を行います。

(7) 広告主の責務等

広告主は、広告の内容について、一切の責任を負うものとし、第三者の権利の侵害、財産権の不適正な処理、第三者に不利益を与える行為その他の不正行為を行ってはなりません。

広告主は、(1)のリンク先の Web ページの内容を変更した場合又は当該 Web ページの内容が(2)の条件に適合しない状態となった場合には、直ちに事務局に報告するとともに、その指示に従わなければなりません。

広告主は、(1)のリンク先の Web ページが、ウイルス感染又は不正アクセスの被害を受けたことが判明した場合は、直ちに事務局に報告するものとし、事務局は当該 Web ページの安全性が確認できるまでの間、当該 Web ページへのリンクの削除等を行うこと

ができるものとしします。

事務局は、既に掲載済みの広告に関して、4の(2)の条件に適合しない状態となつたと認めるときは、その掲載を中止することができるものとしします。

事務局は、既に納付されている広告掲載料は返還しないものとしします。

事務局は、広告掲載に関連する損害賠償の一切の責を追わないものとしします。